

「武豊町人口ビジョン」及び「武豊町まち・ひと・しごと
創生総合戦略」策定支援業務

調査・分析報告書

平成27年11月

武豊町 企画部 企画政策課

目 次

1	調査の概要.....	1
(1)	調査の目的.....	1
(2)	調査の概要.....	1
(3)	調査結果の見方.....	2
2	調査結果の総括.....	3
3	町民アンケートの結果.....	6
(1)	回答者の属性.....	6
(2)	武豊町の暮らしやすさ.....	8
(3)	日常生活における意識.....	17
(4)	武豊町のまちづくりに対する評価.....	66
(5)	幸福度.....	71
(6)	町民参加・協働のまちづくり.....	77
(7)	知多武豊駅・J R武豊駅間の町の中心部.....	81
(8)	自由意見.....	99
4	中学生アンケートの結果.....	100
(1)	回答者の属性.....	100
(2)	武豊町での暮らしについて.....	101
(3)	幸福度.....	107
(4)	家庭や学校などでの生活.....	110
5	若年アンケートの結果.....	115
(1)	回答者の属性.....	115
(2)	回答者の就業状況.....	117
(3)	ライフプラン.....	121
(4)	定住について.....	125
(5)	子育てについて.....	132
(6)	仕事と家庭の両立について.....	146
(7)	結婚について.....	152
6	企業・事業所アンケートの結果.....	160
(1)	回答者の属性.....	160
(2)	人材の確保について.....	162
(3)	今後の事業展開.....	169
(4)	地域活性化.....	174
(5)	仕事と家庭の両立支援.....	177
7	調査票.....	186
(1)	町民アンケート.....	186
(2)	中学生アンケート.....	193
(3)	若年アンケート.....	196
(4)	企業・事業所アンケート.....	201

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「武豊町人口ビジョン」及び「武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、必要となるデータ・資料等を整備するために、4種類の調査を行いました。

(2) 調査の概要

上記の目的を踏まえ、以下の4つの調査を実施しました。

区分	町民アンケート	中学生アンケート
目的	人口減少対策等の検討の基礎資料となる暮らし方や定住意向等に関する住民の意識・希望を把握・分析するとともに、ゆめたろうプランの進捗状況に対する評価や幸福度を把握しました。	地域への愛着や誇り、地域に対する認識等を把握・分析しました。
対象	町民 2,000 人 (15 歳以上の町民から無作為抽出)	武豊町内に在学する中学生 (中学 1、2 年生 903 名)
方法	郵送による配布・回収	学校を通じた配布・回収
期間	平成 27 年 6 月 3 日に配布し、6 月 21 日を返信期限として回収	平成 27 年 5 月 15 日に配布し、5 月 29 日までに回収
回収状況	・ 配布数 2,000 票 ・ 有効回収数 863 票 ・ 有効回収率 43.2%	・ 配布数 903 票 ・ 有効回収数 861 票 ・ 有効回収率 95.3%

区分	若年者アンケート	企業・事業所アンケート
目的	暮らし方や定住意向、結婚・出産・子育て観など、若年層の住民の意識・希望を把握・分析しました。	雇用や労働環境、事業活動等に関する意識や実態を把握・分析しました。
対象	町民 1,000 人 (10 ～30 代の町民から無作為抽出)	町内に立地する企業・事業所 500 社
方法	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収
期間	平成 27 年 6 月 3 日に配布し、6 月 21 日を返信期限として回収	平成 27 年 6 月 12 日に配布し、6 月 30 日までに回収
回収状況	・ 配布数 1,000 票 ・ 有効回収数 319 票 ・ 有効回収率 31.9%	・ 配布数 500 票 ・ 有効回収数 229 票 ・ 有効回収率 45.8%

(3) 調査結果の見方

標本誤差

アンケートを行う場合、該当者全員を対象として調査を実施することが最も望ましいといえますが、実際には全員を対象とすることは困難であり、相応な人数を選んで精度の高い調査結果を得なければなりません。

町民アンケートでは、863 名の町民に協力をいただき回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるのかを示す指標として「標本誤差」があります。

町民アンケートの標本誤差は以下の早見表のとおりです。

この表の見方は、例えば、「ある設問の回答者数が 1,000 人あり、その設問中の選択肢の回答比率が 90%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±1.87%以内（88.13%～91.87%）である」となります。

（標本誤差早見表）

回答比率 回答者数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,500 人	1.52%	2.02%	2.32%	2.48%	2.53%
1,000 人	1.87%	2.49%	2.86%	3.06%	3.12%
500 人	2.66%	3.55%	4.07%	4.35%	4.44%
250 人	3.78%	5.04%	5.78%	6.18%	6.30%

凡例

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- 1 人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示しています。この場合、その比率の合計は 100.0%を上回ることがあります。

2 調査結果の総括

○武豊町の暮らしやすさ（町民・中学生・若年）

『武豊町の住みごころはどう思いますか？』と尋ねたところ、町民アンケートでは「大変住みやすい」が 19.1%、「まあまあ住みやすい」が 66.9%であり、あわせて 86.0%が武豊町は住みやすいと評価し、前回調査（平成 25 年、85.4%）と比べて、評価が 0.6 ポイント上昇しています。中学生アンケートでは、この割合が今回調査では 86.6%で、前回調査（87.5%）と比べて 0.9 ポイント低下しています。

『今後も武豊町で暮らしたいと思いますか？』と尋ねたところ町民アンケートでは、「今後も暮らしたい」が 87.4%で、前回調査（89.3%）と比べて、1.9 ポイント低下しています。一方、中学生アンケートでは「今後も暮らしたい」が 80.5%で、前回調査（79.4%）と比べて 1.1 ポイント上昇しています。

武豊町で暮らしたいと思う理由について町民アンケートでは、「住みなれていて愛着がある」が最も多く、以下、「自然環境が良い」「買い物や外食が便利」「住環境が良い」「交通の便が良い」が続いています。中学生アンケートでは「安全だから」「地域での人間関係が良い」、若年アンケートでは「学校や仕事、家族の都合」との回答も多く見られます。

一方、武豊町で暮らしたいとは思わない理由については、町民アンケートでは「買い物や外食が不便」「交通の便が良くない」の回答が多く、中学生アンケートでは「遠くで進学や就職を考えている」、若年アンケートでは「学校や仕事、家族の都合」との回答も多く見られます。

○日常生活における意識（町民）

日常生活における意識・行動については、「ごみの分別をきちんとしている」「家族との関係は良好である」「省エネルギーやリサイクルに心がけている」「食生活に満足している」「武豊町に愛着がある」「普段から健康に心がけている」など、家族や環境、健康に対する意識が高くなっています。

町に対する満足度としては、「水や緑などの自然を身近に感じられる」「暮らしやすい住環境が整っている」「幹線道路が整備され車で移動しやすい」など、自然に恵まれた住環境や道路交通の利便性について高くなっています。

一方、不満度としては、「徒歩や自転車で道路を安全に通行できる」「町の中心部に魅力や活気がある」「公共交通機関が利用しやすく便利である」など、身近な生活道路や公共交通の利便性、町の活気などが指摘されています。

○結婚、子育てについて（若年）

結婚の喜びや希望について、「非常に感じる」が 49.8%、「どちらかといえば感じる」が 41.4%で、多くの人が結婚を肯定的に考えています。

これまで結婚したことがない人を対象に、結婚についての考えを尋ねたところ、「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」が 39.4%、「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない）」が 35.2%で、多くの人が結婚したいと考えています。

結婚していない理由としては、「適当な相手にめぐり会わない」が最も多く、以下、「自由や気楽さを失いたくない」「経済的な余裕がない」「趣味や娯楽を楽しみたい」と続いています。

子育てについて、「喜びを感じるときの方がやや多い」が41.7%、「喜びを感じるときの方がかなり多い」が32.0%で、子育てが楽しいと考えている人が多いことがわかります。

将来の理想の子ども的人数について、「2人」が55.8%、と最も多く、次いで「3人」が28.2%となっています。「1人」は8.2%、「0人」は5.0%で、平均すると2.11人です。

今後持ちたい人数を持ってない場合の可能性が高い原因を尋ねたところ、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が最も多く、「収入が不安定なこと」「自分や配偶者の仕事の事情」「保育所など子どもの預け先がないこと」「家事・育児の協力者がいないこと」と続き、年齢、経済的な負担、仕事との両立、子どもの預け先が上位となっています。

「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて、「非常に共感する」が28.2%、「ある程度共感する」が48.6%で、両立支援が重要なことがうかがわれます。

○産業界の動向（事業所）

町内事業所の従業員数について、「減少した」が24.9%、「増加した」が22.7%となっています。ただし、人材確保について、「十分な確保ができていない」が25.3%と課題を有する事業所が見られます。

事業所について、「拡張する予定・拡張させたい」が8.3%、「業績が良くなれば拡張させたい」が14.4%と、一部の事業所で「工場」や「店舗」等の拡張のニーズが見られます。

これからのビジネス展開を行うために武豊町において必要なこととして、「公共交通の利便性の向上」「道路交通網の充実」「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」「より多くの人が武豊町に訪れるためのまちの魅力の向上」が上位となっています。

○まちづくりに対する評価（町民）

第5次総合計画で取り組みを進めている22のめざすべきまちの姿について、達成率（現在、まちの姿が達成されていると思いますか「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計した値）でみると、「楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる」が42.3%と最も高く、以下、「子どもが楽しく学校生活を送っている」が40.9%、「道路や公共交通を利用して気軽に移動できる」が39.1%、「安心して子どもを生み育てることができる」が37.3%と続いており、未達成率（現在、まちの姿が達成されていると思いますか「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合を合計した値）でみると、「中心市街地ににぎやかに活気づいている」が51.7%と最も高く、以下、「徒歩や自転車で安全に道路を通行できる」が45.3%、「道路や公共交通を利用して気軽に移動できる」が26.0%、「集い・憩える魅力的な場所がある」が24.2%と続いています。

重要度指数が高く達成度指数が低い施策、すなわち重点的な対応が望まれると想定される施策としては、「住民に満足される行政サービスが行われている」「徒歩や自転車で安全に道路を通行できる」「働きながらも子育てをしやすい環境が整っている」の3施策があげられます。

○幸福度（町民・中学生）

『現在あなたは、どの程度幸せですか。』と10点満点で尋ねたところ、町民は「8点」が最も多く、平均は7.0点、中学生は7点」が最も多く、平均は6.0点となっています。5年前からの変化について、「より幸せになった」が25.1%、「変わらない」が65.5%、「より不幸になった」が8.6%となっており、幸福感が増した人の方が多くなっています。

幸福感を判断する際に重視した事項については、「家族関係」「健康状況」「家計の状況（所

得・消費)」「精神的なゆとり」などに多くの回答が見られます。

○町政（武豊町のまちづくり）や町民参加について（町民）

町政（武豊町のまちづくり）や町民参加について、前回調査と比較すると、「武豊町の町政（町の仕事）、まちづくりに関心がある」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は59.7%で1.8ポイント低下、「地域活動やボランティア、NPO活動に参加したい」は35.7%で5.5ポイント低下しています。

○知多武豊駅・JR武豊駅間の町の中心部（町民・事業所）

町民アンケートで、『駅周辺地域への来訪頻度はどの程度ですか？』と尋ねたところ、「週に1日以上」（住んでいるを含む）が33.9%である一方、「あまり利用したことがない」が42.1%でした。

駅周辺地域へ訪れる目的については、「役場・金融機関・郵便局」が最も多く、以下、「買い物」「勤務・通学」と続いています。

駅周辺地域の課題としては「活気」「お店の魅力」がない、「若者が楽しめる施設」「駐車場」が少ない、「一方通行や狭い道路」が多いとの回答が多く見られます。

将来の駅周辺地域に相応しいイメージとして、「歩いて楽しい」「治安がいい、安全・安心」「交通が便利」「ショッピングが楽しめる」との回答が多く見られます。

事業所アンケートで、「知多武豊駅東地区」で何が必要かを尋ねたところ、「より多くの人々が武豊町を訪れるためのまちの魅力の向上（特産品、名所旧跡のアピール等）」（46.3%）、「訪問者を受け入れる「駅東地区の賑わい」」（41.5%）、「接待、慰労（飲み会）等ができる飲食店等の充実」（32.8%）が上位となり、街のにぎわいや魅力向上に関する回答が多く見られます。

3 町民アンケートの結果

(1)回答者の属性

性別、年代別、居住地区別、居住年数別、同居家族別、職業別及び通勤通学地別の回答者の割合は以下のとおりです。

性別

区分	回答数	割合
男性	359	41.6
女性	471	54.6
無回答	33	3.8

年代

区分	回答数	割合
10代	49	5.7
20代	76	8.8
30代	115	13.3
40代	103	11.9
50代	116	13.4
60代	174	20.2
70代以上	198	22.9
無回答	32	3.7

居住地区

区分	回答数	割合
北山区	97	11.2
中山区	44	5.1
下門区	42	4.9
馬場区	107	12.4
市場区	19	2.2
上ヶ区	51	5.9
小迎区	14	1.6
玉東区	70	8.1
玉西1区	75	8.7
玉西2区	52	6.0
原田区	3	0.3
緑区	21	2.4
大足区	70	8.1
富貴区	75	8.7
富貴市場区	32	3.7
東大高区	46	5.3
市原区	7	0.8
新田区	7	0.8
無回答	31	3.6

居住年数

区分	回答数	割合
2 年未満	26	3.0
2 年以上 5 年未満	26	3.0
5 年以上 10 年未満	62	7.2
10 年以上 20 年未満	133	15.4
20 年以上 30 年未満	134	15.5
30 年以上	455	52.7
無回答	27	3.1

同居家族

【複数回答】

区分	回答数	割合
6 歳未満の子	112	13.0
6 歳以上 18 歳未満の子	220	25.5
65 歳以上の方	410	47.5
介護を要する方	48	5.6
無回答	224	26.0

職業

区分	回答数	割合
農業	7	0.8
会社員・団体職員	217	25.1
自営業	38	4.4
公務員	19	2.2
学生	67	7.8
パート・アルバイト	120	13.9
専業主婦	133	15.4
求職中	8	0.9
無職	202	23.4
その他	17	2.0
無回答	35	4.1

通勤・通学地

区分	回答数	割合
武豊町内	175	20.3
名古屋市	57	6.6
半田市	97	11.2
常滑市	23	2.7
その他知多地域	59	6.8
その他愛知県内	57	6.6
愛知県外	6	0.7
通勤・通学していない	274	31.7
無回答	115	13.3

(2)武豊町の暮らしやすさ

武豊町の住みごころ（設問 1）

『武豊町の住みごころはどう思いますか？』と尋ねたところ、「大変住みやすい」が 19.1%、「まあまあ住みやすい」が 66.9%であり、あわせて 86.0%が武豊町は住みやすいと評価しています。一方、「大変住みにくい」は 0.7%、「どちらかというに住みにくい」は 3.2%と少なくなっています。

前回調査(平成 25 年)では、「大変住みやすい」が 20.9%、「まあまあ住みやすい」が 64.4%、あわせて 85.3%が住みやすいと評価しており、今回の調査では住みやすいとの評価が 0.7 ポイント上昇しています。

以下、回答者の属性別に「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた回答割合で傾向を分析します。

性別	性別では、大きな違いは見られません。
年代	10 代で 89.8%と最も多く、以下、30 代 89.6%、70 歳以上 86.4%、40 代・50 代 85.4%、20 代 84.2%、60 代 83.9%と続いています。
居住地区※	富貴小学校区は 78.5%で、他地区に比べて少なくなっています。
居住年数	居住年数では、大きな違いは見られません。
同居家族	介護を要する方がいる人で 77.1%とやや少なくなっています。
職業	公務員で 94.8%と、他の職業に比べて多くなっています。
通勤通学地※	名古屋市で 91.2%と最も多くなっています。

※集計上の居住地区区分は、緑丘小学校区（北山区、中山区、玉西 1 区、緑区）、武豊小学校区（下門区、馬場区、市場区、上ヶ区、小迎区）、衣浦小学校区（玉東区、玉西 2 区、原田区、大足区）、富貴小学校区（富貴区、富貴市場区、東大高区、市原区、新田区）としています。

※集計上の通勤通学地区区分は、知多地域（半田市、常滑市、その他知多地域）としています。

図. 武豊町の住みごころに対する評価

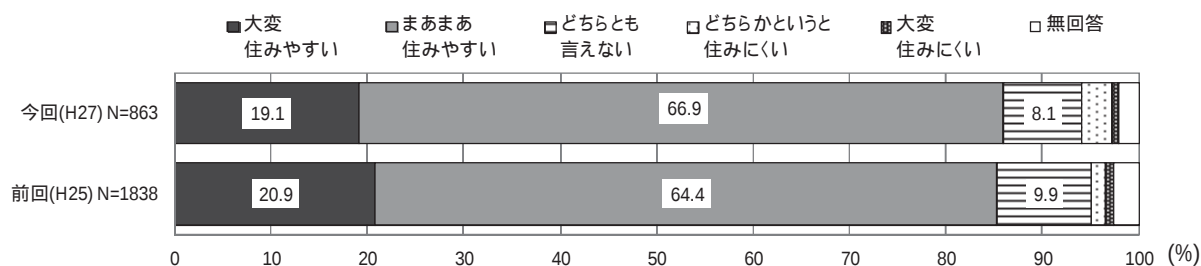
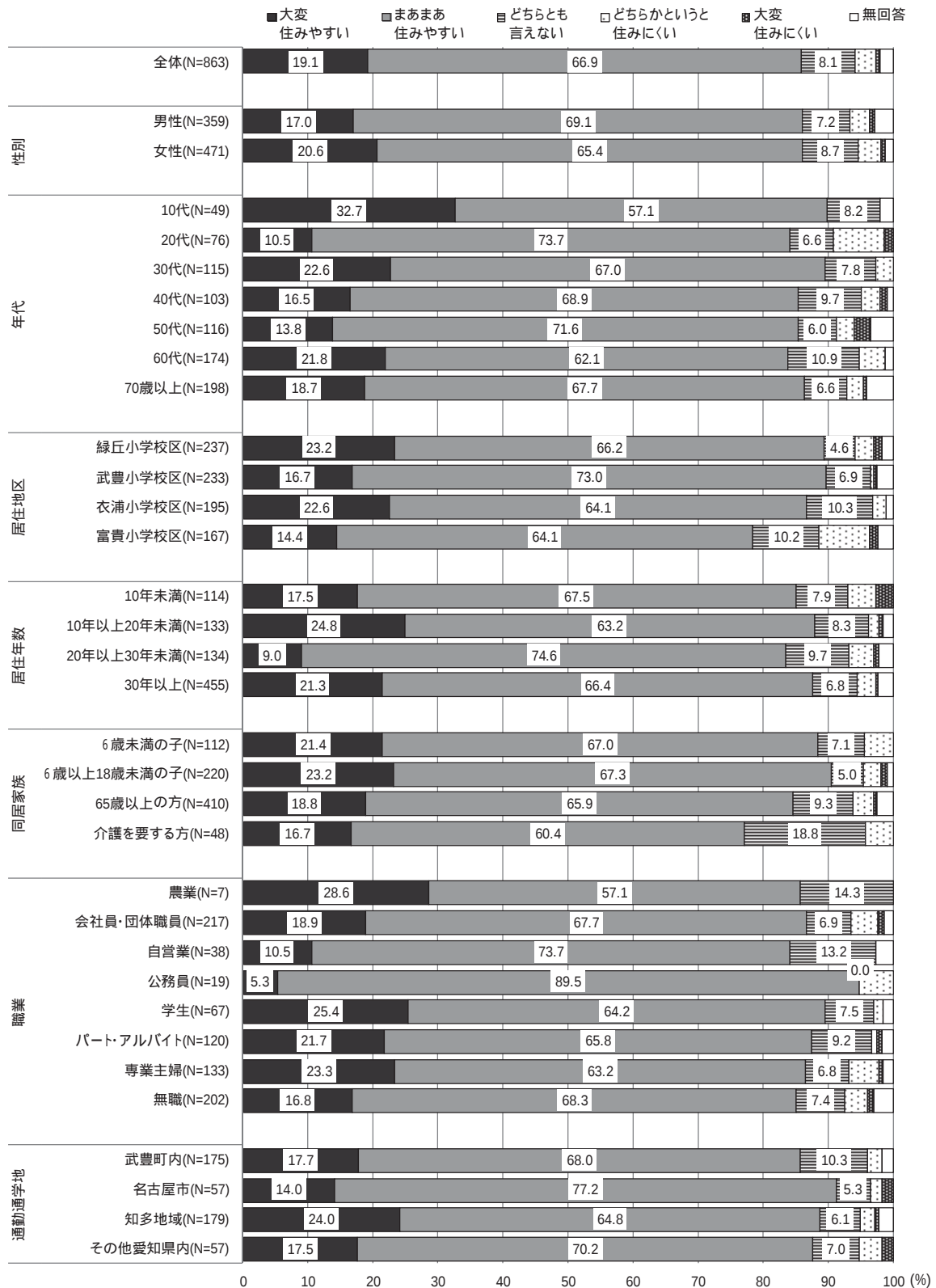


図. 武豊町の住みごこちに対する評価



今後の居住意向（設問２）

『今後も武豊町で暮らしたいと思いますか？』と尋ねたところ、「今後も暮らしたい」が 87.4%であり、「暮らしたいとは思わない」の 10.0%を大きく上回っています。

前回調査では、「今後も暮らしたい」が 89.3%であり、今回の調査では 1.9 ポイント低下しています。

以下、回答者の属性別に「今後も暮らしたい」の回答割合で傾向を分析します。

性別	性別では、大きな違いは見られません。
年代	20 代が 71.1%、10 代が 77.6%と、他の年代に比べて少なくなっています。
居住地区	居住地区では、大きな違いは見られません。
居住年数	30 年以上で 92.1%と、他に比べて多くなっています。
同居家族	同居家族に 6 歳未満の子がいる人で 93.8%と、他に比べてやや多くなっています。
職業	農業で 100.0%と最も多く、以下、専業主婦 92.5%、無職 89.6%、パート・アルバイトで 87.5%、会社員・団体職員 87.1%、自営業 86.8%、公務員 84.2%と続いています。学生は 76.1%と、他に比べて少なくなっています。
通勤通学地	知多地域で 87.7%、武豊町内で 87.4%となっており、その他愛知県内で 82.5%、名古屋市で 80.7%と、やや少なくなっています。

図．今後の居住意向

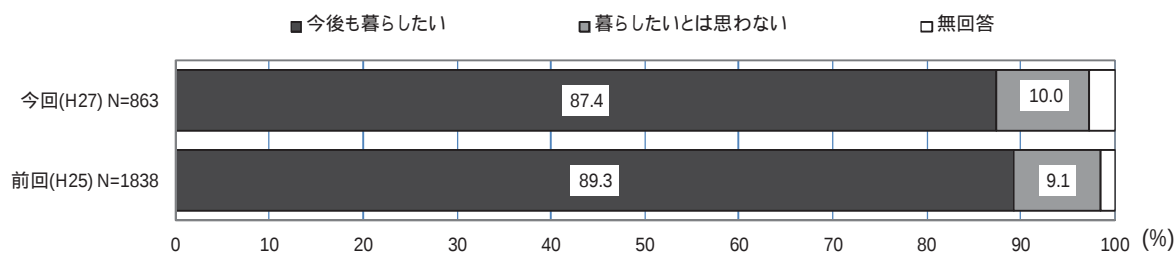
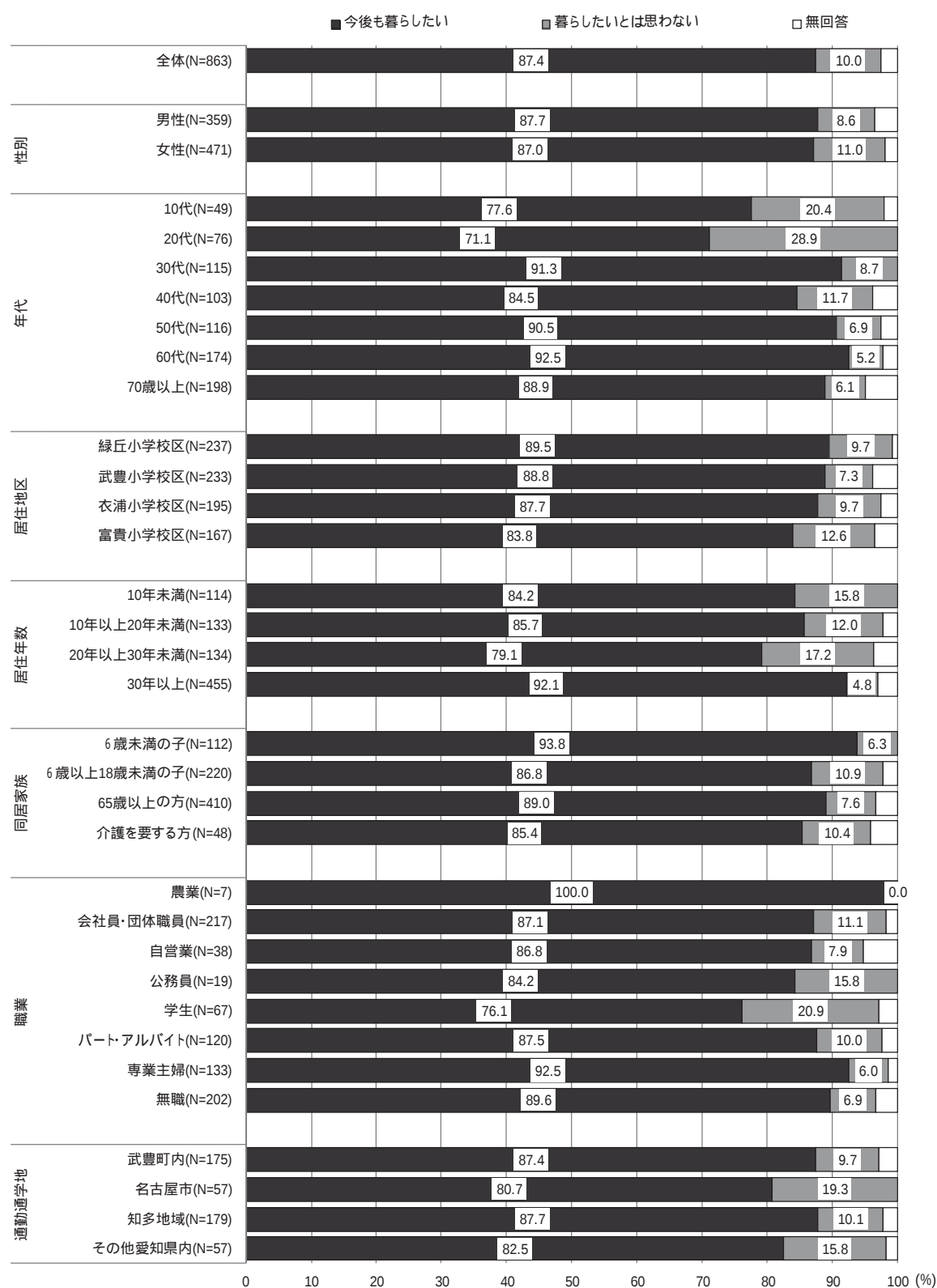


図. 今後の居住意向



武豊町で暮らしたい理由（設問 2-1）

「今後も暮らしたい」と回答した人に対して、『武豊町で暮らしたいと思う理由は何ですか？』と尋ねたところ、「住みなれていて愛着がある」が 59.9%と最も多く、以下、「自然環境が良い」が 29.6%、「買い物や外食が便利」が 29.4%、「住環境が良い」が 28.6%、交通の便が良い」が 24.9%と続いています。前回調査に比べて、「住みなれていて愛着がある」を理由にあげる割合が大きくなっています。

性別	男性では「住環境が良い」が、女性では「学校や仕事、家族の都合」が、他の性別に比べて多くなっています。
年代	30代で「学校や仕事、家族の都合」が 41.0%と、他の年代に比べて多くなっています。
居住地区	富貴小学校区で「住みなれていて愛着がある」が 72.1%と、他地区に比べて多くなっています。
居住年数	10年未満で「住環境が良い」が 37.5%と、他に比べて多くなっています。
同居家族	6歳未満の子がいる人で「子育てをしやすい」が 42.9%と、他に比べて多くなっています。
職業	自営業で「住みなれていて愛着がある」が 72.7%、公務員で「住環境が良い」が 43.8%と、他の職業に比べて多くなっています。
通勤通学地	知多地域で「住みなれていて愛着がある」が 47.1%と、他に比べて少なくなっています。

図．武豊町で暮らしたい理由

【複数回答】

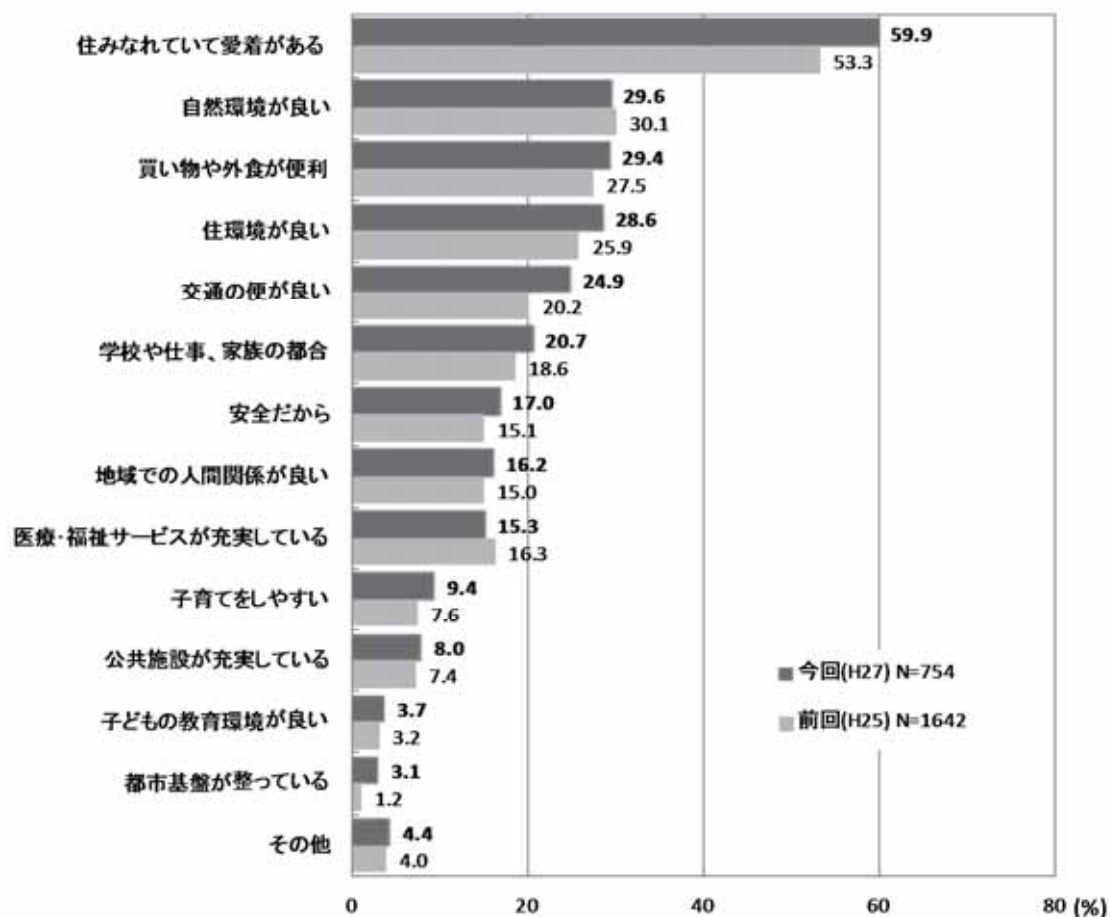


表. 武豊町で暮らしたい理由 (クロス集計)

【複数回答】

		住 み な れ て い て 愛 着 が あ る	自 然 環 境 が 良 い	買 い 物 や 外 食 が 便 利	住 環 境 が 良 い	交 通 の 便 が 良 い	学 校 や 仕 事 、 家 族 の 都 合	安 全 だ か ら	地 域 で の 人 間 関 係 が 良 い	医 療 ・ 福 祉 サ ー ビ ス が 充 実 し て い る	子 育 て を し や す い	公 共 施 設 が 充 実 し て い る	子 ど も の 教 育 環 境 が 良 い	都 市 基 盤 が 整 っ て い る	そ の 他	無 回 答
全体(N=754)		59.9	29.6	29.4	28.6	24.9	20.7	17.0	16.2	15.3	9.4	8.0	3.7	3.1	4.4	0.1
性 別	男性(N=315)	61.3	27.6	30.2	32.7	26.3	17.8	15.6	16.8	12.1	8.3	6.7	2.5	3.2	5.7	0.3
	女性(N=410)	58.8	30.2	29.3	24.9	23.4	23.7	16.1	15.4	17.8	10.5	8.8	4.4	3.2	2.9	0.0
年 代	10代(N=38)	52.6	39.5	13.2	18.4	21.1	18.4	26.3	21.1	5.3	2.6	5.3	2.6	5.3	0.0	0.0
	20代(N=54)	63.0	18.5	29.6	16.7	31.5	27.8	9.3	3.7	18.5	18.5	5.6	1.9	3.7	5.6	0.0
	30代(N=105)	36.2	21.9	24.8	31.4	13.3	41.0	16.2	11.4	17.1	32.4	7.6	9.5	3.8	6.7	0.0
	40代(N=87)	52.9	21.8	34.5	18.4	27.6	33.3	11.5	11.5	11.5	11.5	6.9	1.1	2.3	4.6	0.0
	50代(N=105)	61.9	28.6	21.0	21.0	27.6	22.9	13.3	14.3	8.6	3.8	5.7	4.8	2.9	4.8	0.0
	60代(N=161)	66.5	33.5	30.4	40.4	26.7	14.3	18.6	23.6	11.2	5.0	9.3	3.1	3.7	2.5	0.0
	70歳以上(N=176)	70.5	34.1	38.1	30.7	25.0	6.8	17.0	17.6	25.0	1.1	10.2	1.7	2.3	4.0	0.6
居 住 地 区	緑丘小学校区(N=212)	57.1	34.0	31.1	34.9	19.8	18.9	20.3	14.6	15.6	11.8	9.0	3.8	1.9	1.4	0.0
	武豊小学校区(N=207)	56.0	20.8	38.2	32.4	24.6	21.3	17.4	15.9	15.0	8.7	7.7	2.4	4.3	5.3	0.0
	衣浦小学校区(N=171)	59.1	19.9	35.7	28.7	38.6	22.8	14.0	16.4	18.7	6.4	7.0	4.1	3.5	7.6	0.6
	富貴小学校区(N=140)	72.1	47.1	9.3	16.4	17.9	19.3	14.3	18.6	13.6	10.7	7.1	4.3	2.9	3.6	0.0
居 住 年 数	10年未満(N=96)	14.6	20.8	31.3	37.5	15.6	39.6	15.6	13.5	20.8	34.4	8.3	8.3	4.2	5.2	0.0
	10年以上20年未満(N=114)	41.2	29.8	31.6	24.6	31.6	21.1	11.4	17.5	10.5	9.6	5.3	5.3	5.3	1.8	0.0
	20年以上30年未満(N=106)	71.7	23.6	30.2	25.5	23.6	23.6	15.1	8.5	11.3	6.6	5.7	0.0	0.9	5.7	0.0
	30年以上(N=419)	72.6	33.2	29.1	29.4	26.0	15.5	19.3	18.1	16.7	4.3	9.1	2.9	2.9	4.8	0.2
同 居 家 族	6歳未満の子(N=105)	39.0	18.1	21.9	33.3	10.5	38.1	13.3	14.3	22.9	42.9	8.6	11.4	4.8	4.8	0.0
	6歳以上18歳未満の子(N=191)	54.5	29.3	25.1	22.0	24.6	28.8	12.0	15.2	13.6	14.1	7.3	4.7	2.6	3.1	0.0
	65歳以上の方(N=365)	68.8	33.2	30.7	31.2	25.2	14.8	18.1	18.1	17.5	4.7	9.9	1.4	2.5	5.2	0.3
	介護を要する方(N=41)	46.3	24.4	24.4	36.6	19.5	19.5	17.1	17.1	26.8	4.9	4.9	2.4	4.9	7.3	0.0
職 業	農業(N=7)	71.4	71.4	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員・団体職員(N=189)	54.5	23.8	24.9	28.0	25.4	36.5	13.2	12.2	11.6	12.7	4.8	4.2	2.6	7.9	0.0
	自営業(N=33)	72.7	24.2	27.3	18.2	30.3	12.1	15.2	18.2	15.2	9.1	9.1	3.0	12.1	9.1	0.0
	公務員(N=16)	43.8	18.8	25.0	43.8	31.3	25.0	6.3	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生(N=51)	64.7	39.2	15.7	23.5	21.6	13.7	21.6	15.7	5.9	2.0	5.9	2.0	5.9	0.0	0.0
	パート・アルバイト(N=105)	51.4	34.3	34.3	21.9	29.5	22.9	15.2	16.2	16.2	12.4	7.6	5.7	1.9	1.9	0.0
	専業主婦(N=123)	62.6	30.9	26.8	32.5	25.2	18.7	16.3	17.9	20.3	13.8	8.9	5.7	4.1	1.6	0.0
	無職(N=181)	66.9	29.3	39.8	35.4	19.9	8.8	24.3	18.2	20.4	2.2	9.9	1.7	2.2	5.5	0.6
通 勤 通 学 地	武豊町内(N=153)	60.1	28.8	30.7	26.1	26.8	34.0	13.1	16.3	14.4	13.7	7.8	3.9	3.3	2.6	0.0
	名古屋市(N=46)	63.0	37.0	23.9	26.1	30.4	13.0	23.9	17.4	8.7	13.0	4.3	6.5	6.5	2.2	0.0
	知多地域(N=157)	47.1	24.8	22.3	25.5	23.6	29.3	14.0	14.6	11.5	10.8	5.7	3.2	3.2	8.3	0.0
	その他愛知県内(N=47)	53.2	36.2	40.4	36.2	25.5	19.1	12.8	8.5	12.8	6.4	6.4	4.3	2.1	2.1	0.0

武豊町で暮らしたいとは思わない理由（設問 2-2）

「暮らしたいとは思わない」と回答した人に対して、『武豊町で暮らしたいとは思わない理由は何ですか?』と尋ねたところ、「買い物や外食が不便」が 44.2%と最も多く、以下、「交通の便が良くない」が 41.9%、「愛着がない」が 22.1%、「医療・福祉サービスが充実していない」が 19.8%、「地域での人間関係が良くない」が 19.8%と続いています。前回調査に比べて、「地域での人間関係が良くない」「住環境が良くない」「安全でない」を理由にあげる割合が大きくなっています。

性別	男性は「交通の便が良くない」が 38.7%と最も多く、女性は「買い物や外食が不便」が 53.8%と最も多くなっています。
年代	40 代で「買い物や外食が不便」「愛着がない」が 50.0%、60 代で「医療・福祉サービスが充実していない」が 55.6%、70 歳以上で「交通の便が良くない」が 66.7%と、特に多くなっています。
居住地区	緑丘小学校区で「交通の便が良くない」が 65.2%、武豊小学校区で「愛着がない」が 35.3%、衣浦小学校区で「安全でない」が 36.8%、富貴小学校区で「買い物や外食が不便」が 66.7%と、最も多くなっています。
居住年数	10 年未満と 10 年以上 20 年未満で「買い物や外食が不便」が、20 年以上 30 年未満と 30 年以上で「交通の便が良くない」が最も多くなっています。
同居家族	介護を要する方がいる人で「交通の便が良くない」が 100%と最も多くなっています。
職業	パート・アルバイトで「医療・福祉サービスが充実していない」が 50.0%と、最も多くなっています。
通勤通学地	「交通の便が良くない」は、名古屋市で 45.5%である一方、その他愛知県で 11.1%と少なくなっています。

図. 武豊町で暮らしたいとは思わない理由

【複数回答】

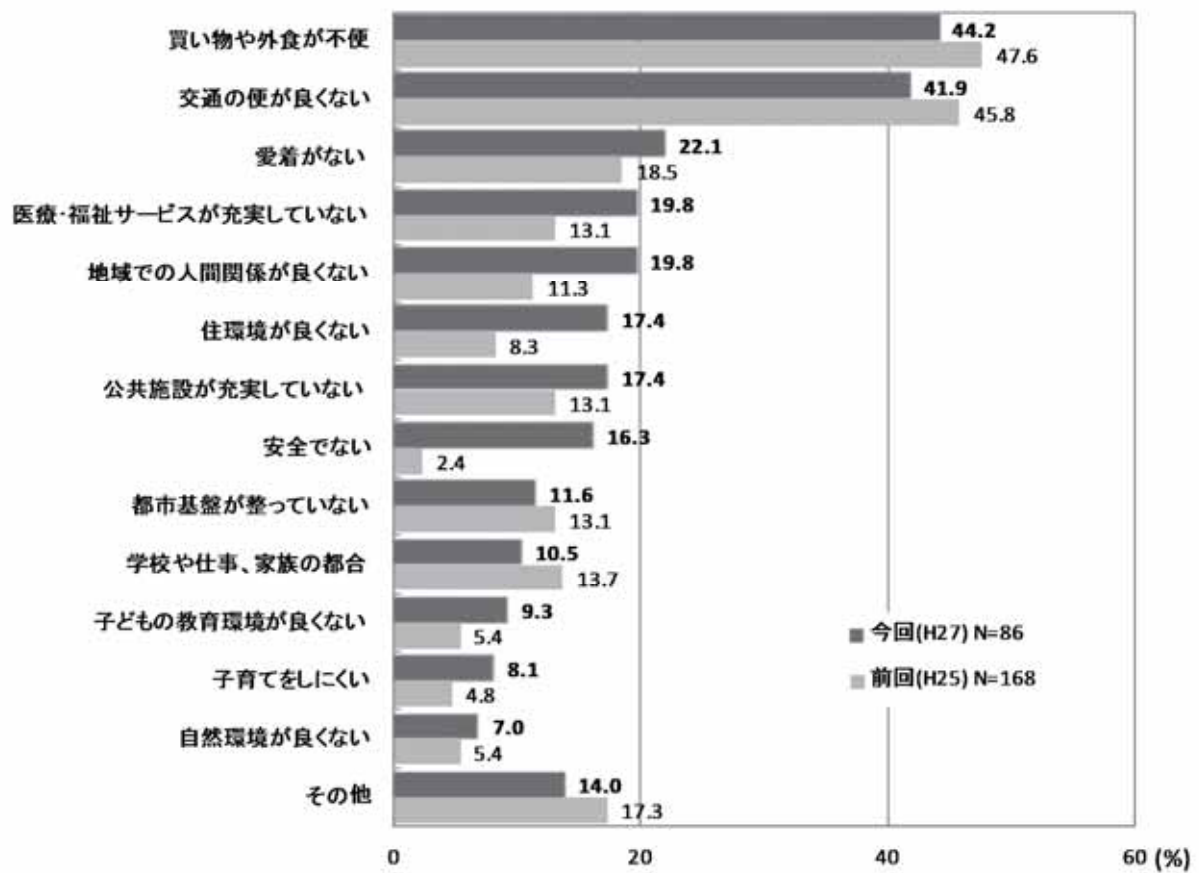


表. 武豊町で暮らしたいとは思わない理由 (クロス集計)

【複数回答】

		買 い 物 や 外 食 が 不 便	交 通 の 便 が 良 く な い	愛 着 が な い	医 療 ・ 福 祉 サ ー ビ ス が 充 足 し て い な い	地 域 で の 人 間 関 係 が 良 く な い	住 環 境 が 良 く な い	公 共 施 設 が 充 実 し て い な い	安 全 で な い	都 市 基 盤 が 整 っ て い な い	学 校 や 仕 事 ・ 家 族 の 都 合	子 ど も の 教 育 環 境 が 良 く な い	子 育 て を し に く い	自 然 環 境 が 良 く な い	そ の 他	不 明
全体(N=86)		44.2	41.9	22.1	19.8	19.8	17.4	17.4	16.3	11.6	10.5	9.3	8.1	7.0	14.0	0.0
性 別	男性(N=31)	29.0	38.7	19.4	32.3	9.7	16.1	16.1	19.4	22.6	12.9	16.1	6.5	12.9	22.6	0.0
	女性(N=52)	53.8	42.3	21.2	13.5	26.9	19.2	19.2	13.5	3.8	7.7	5.8	9.6	3.8	7.7	0.0
年 代	10代(N=10)	60.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0
	20代(N=22)	50.0	45.5	13.6	9.1	9.1	4.5	22.7	9.1	9.1	18.2	4.5	4.5	0.0	13.6	0.0
	30代(N=10)	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	30.0	30.0	0.0	10.0	30.0	50.0	10.0	10.0	0.0
	40代(N=12)	50.0	41.7	50.0	25.0	16.7	33.3	8.3	25.0	8.3	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	50代(N=8)	12.5	50.0	37.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	0.0
	60代(N=9)	33.3	33.3	22.2	55.6	33.3	22.2	22.2	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	70歳以上(N=12)	50.0	66.7	8.3	25.0	41.7	41.7	25.0	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
居 住 地 区	緑丘小学校区(N=23)	56.5	65.2	4.3	30.4	21.7	17.4	21.7	8.7	13.0	8.7	4.3	13.0	4.3	13.0	0.0
	武豊小学校区(N=17)	17.6	17.6	35.3	5.9	29.4	11.8	0.0	0.0	11.8	11.8	17.6	0.0	17.6	23.5	0.0
	衣浦小学校区(N=19)	31.6	31.6	21.1	10.5	26.3	21.1	15.8	36.8	0.0	15.8	15.8	15.8	5.3	10.5	0.0
	富貴小学校区(N=21)	66.7	38.1	23.8	33.3	4.8	19.0	28.6	19.0	23.8	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	0.0
居 住 年 数	10年未満(N=18)	55.6	44.4	33.3	27.8	11.1	0.0	27.8	22.2	11.1	11.1	27.8	11.1	16.7	11.1	0.0
	10年以上20年未満(N=16)	31.3	6.3	25.0	12.5	18.8	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	18.8	18.8	12.5	31.3	0.0
	20年以上30年未満(N=23)	43.5	47.8	13.0	17.4	17.4	21.7	17.4	17.4	8.7	13.0	0.0	4.3	0.0	13.0	0.0
	30年以上(N=22)	45.5	50.0	13.6	27.3	31.8	36.4	18.2	13.6	22.7	9.1	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0
同 居 家 族	6歳未満の子(N=7)	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0
	6歳以上18歳未満の子(N=24)	50.0	37.5	25.0	16.7	12.5	8.3	8.3	16.7	8.3	4.2	29.2	16.7	12.5	25.0	0.0
	65歳以上の方(N=31)	38.7	38.7	19.4	19.4	22.6	25.8	19.4	19.4	16.1	9.7	3.2	6.5	3.2	16.1	0.0
	介護を要する方(N=5)	80.0	100.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
職 業	農業(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員・団体職員(N=24)	41.7	37.5	25.0	25.0	20.8	20.8	12.5	16.7	20.8	12.5	12.5	12.5	4.2	12.5	0.0
	自営業(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	公務員(N=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	学生(N=14)	50.0	42.9	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0
	パート・アルバイト(N=12)	33.3	8.3	25.0	50.0	25.0	8.3	33.3	16.7	8.3	8.3	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0
	専業主婦(N=8)	87.5	50.0	25.0	25.0	25.0	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
通 勤 通 学 地	無職(N=14)	50.0	71.4	7.1	21.4	35.7	35.7	14.3	21.4	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0
	武豊町内(N=17)	47.1	29.4	29.4	35.3	17.6	5.9	17.6	11.8	23.5	5.9	11.8	29.4	0.0	11.8	0.0
	名古屋市(N=11)	27.3	45.5	9.1	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0
	知多地域(N=18)	33.3	33.3	22.2	27.8	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0
地	その他愛知県内(N=9)	22.2	11.1	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	33.3	0.0

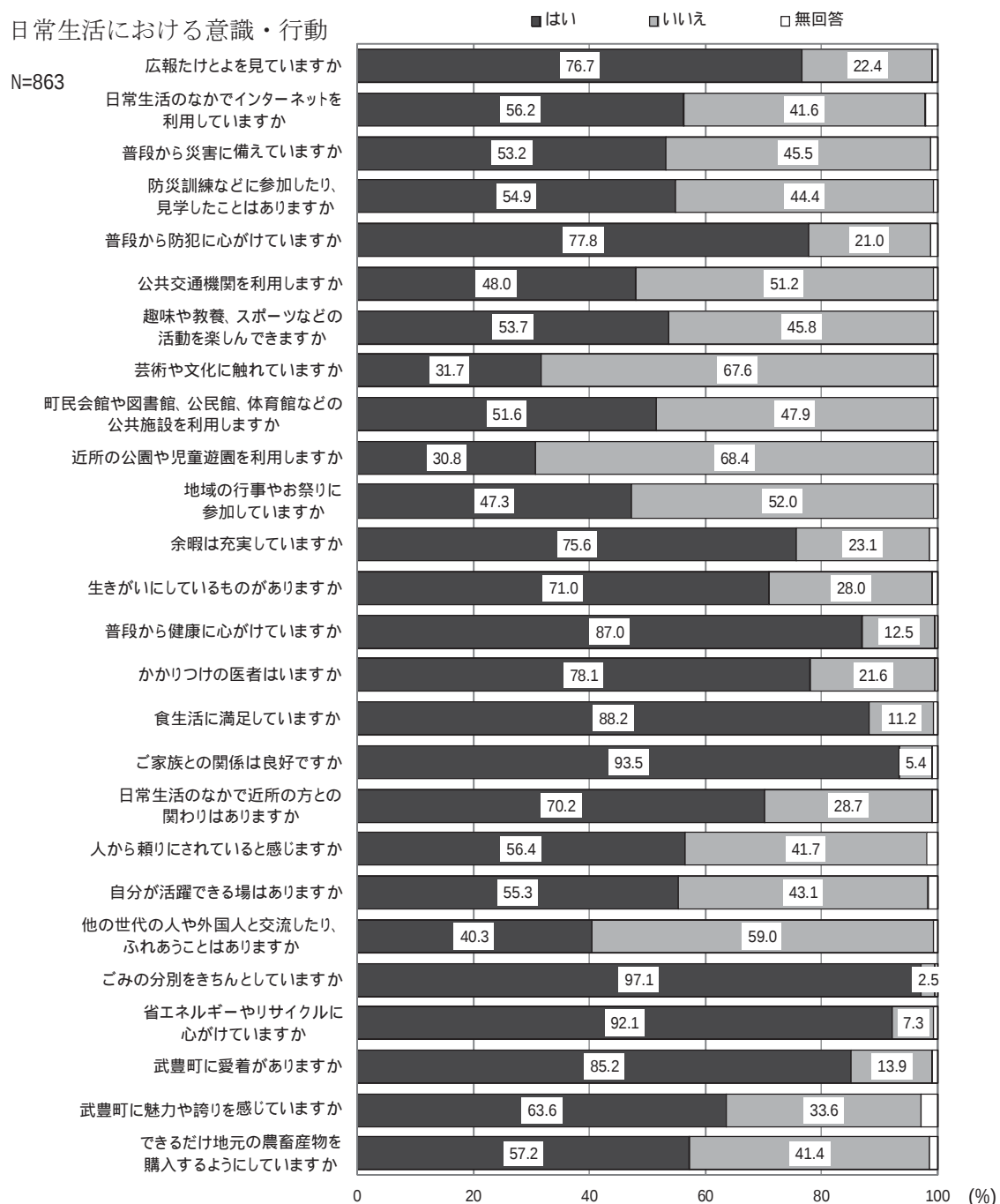
(3)日常生活における意識

日常生活における意識（設問3）

日常生活における意識について、第5次総合計画の7つの基本目標ごとに『あなたの「日常生活における意識・行動」や「町に対する満足度」をお答えください』とし、『日常生活における意識・行動を「はい」「いいえ」』『町に対する満足度を「5：満足」「4：やや満足」「3：ふつう」「2：やや不満」「1：不満」「0：わからない』で尋ねました。

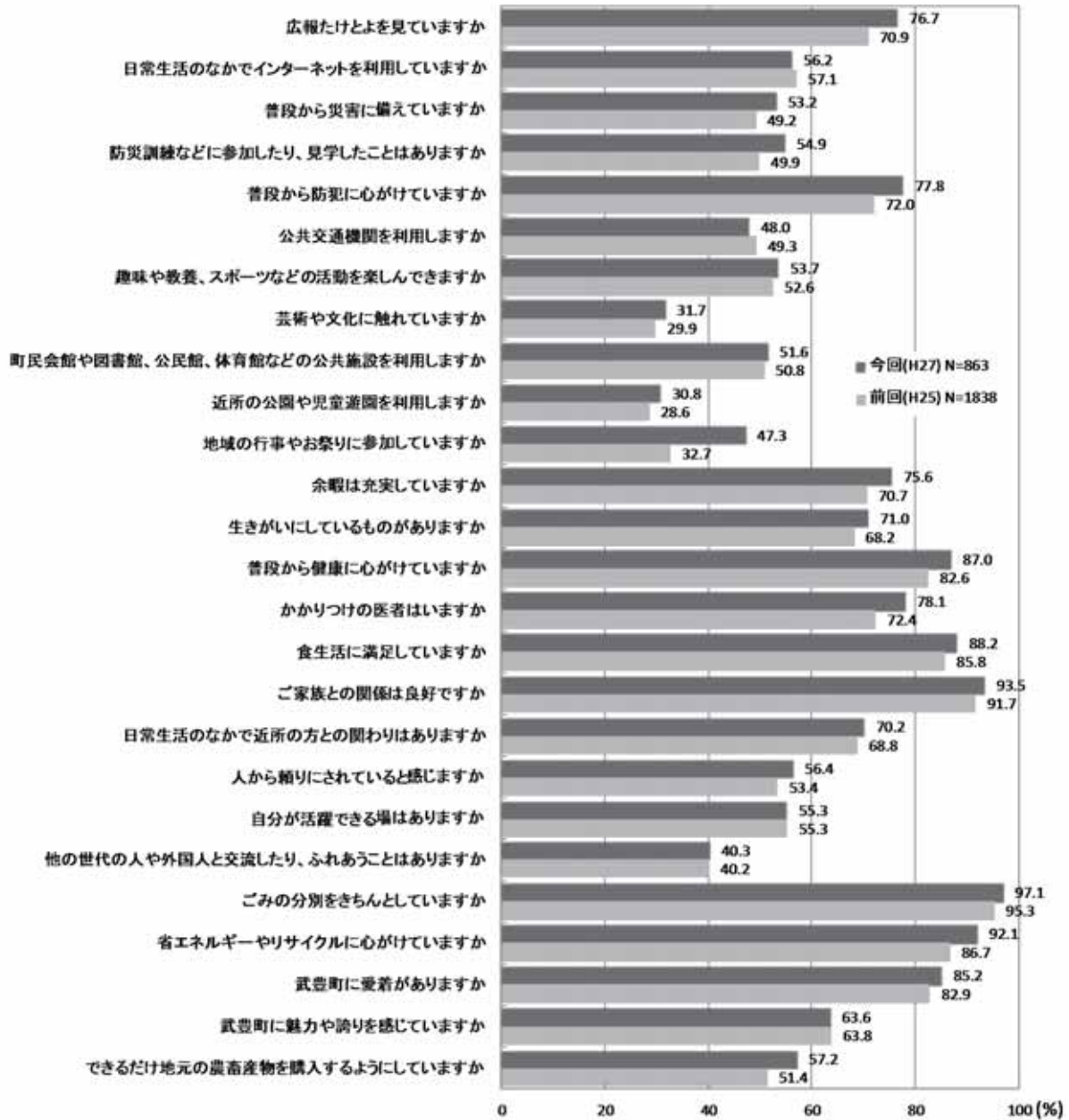
日常生活における意識・行動については、「ごみの分別をきちんとしている」が97.1%、「家族との関係は良好である」が93.5%、「省エネルギーやリサイクルに心がけている」が92.1%、「食生活に満足している」が88.2%、「武豊町に愛着がある」が82.9%、「普段から健康に心がけている」が87.0%と家族や環境、健康に対する意識が高くなっています。

図. 日常生活における意識・行動



前回調査との比較では、「地域の行事やお祭りに参加していますか」に対する「はい」が特に多くなっています。

図. 日常生活における意識・行動（前回調査との比較）

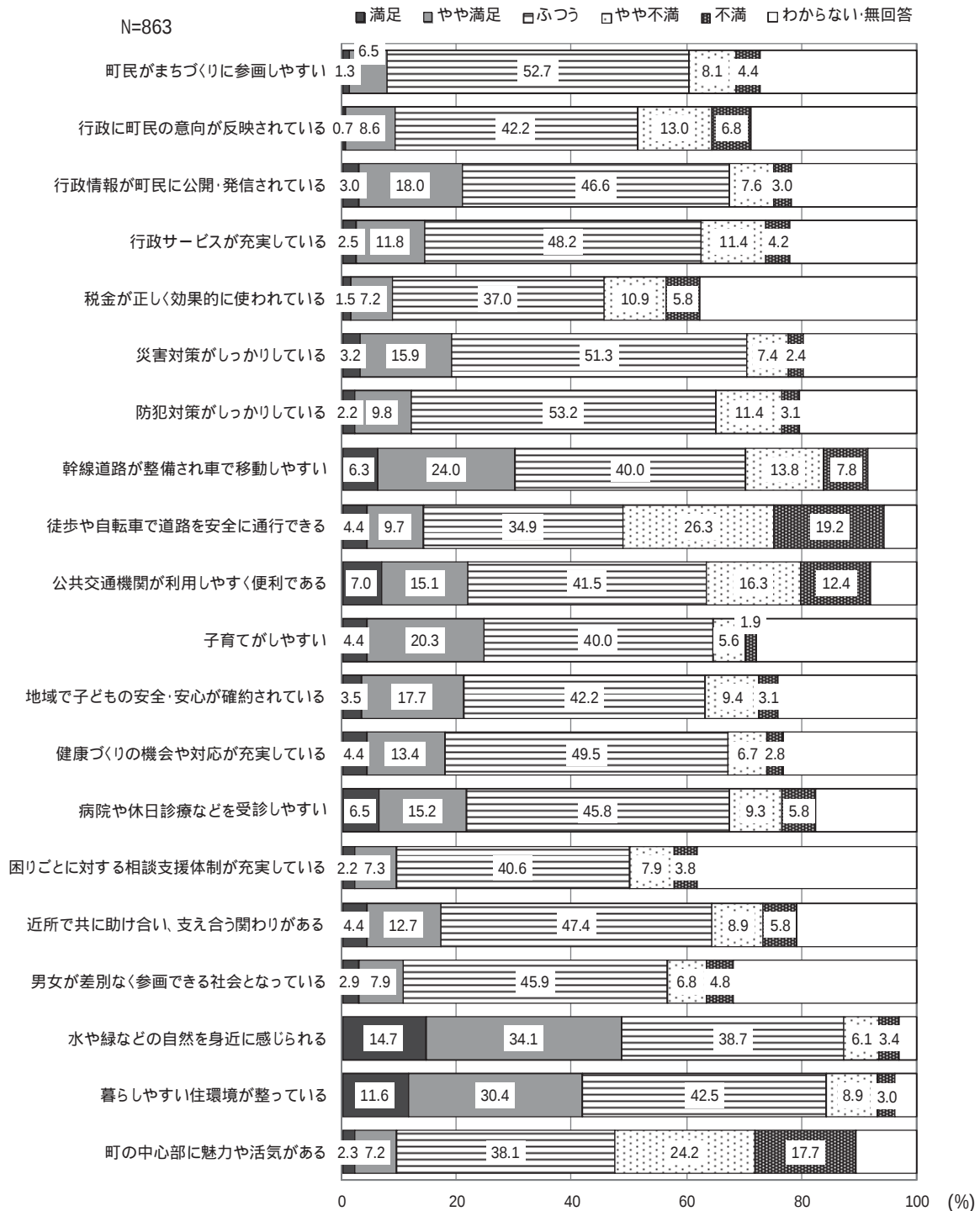


3 町民アンケートの結果

町に対する満足度としては、「水や緑などの自然を身近に感じられる」が48.8%、「暮らしやすい住環境が整っている」が42.0%、「幹線道路が整備され車で移動しやすい」が30.3%と満足度が高く、自然に恵まれた住環境や道路交通の利便性の満足度が高くなっています。

一方、不満度としては、「徒歩や自転車で道路を安全に通行できる」が45.5%、「町の中心部に魅力や活気がある」が41.9%、「公共交通機関が利用しやすく便利である」が28.7%で、身近な生活道路や公共交通の利便性、町の活気などの不満が高くなっています。

図. 町に対する満足度



『基本目標 1 とともに創るまち（行政経営）』について

図. 広報たけとよをしていますか

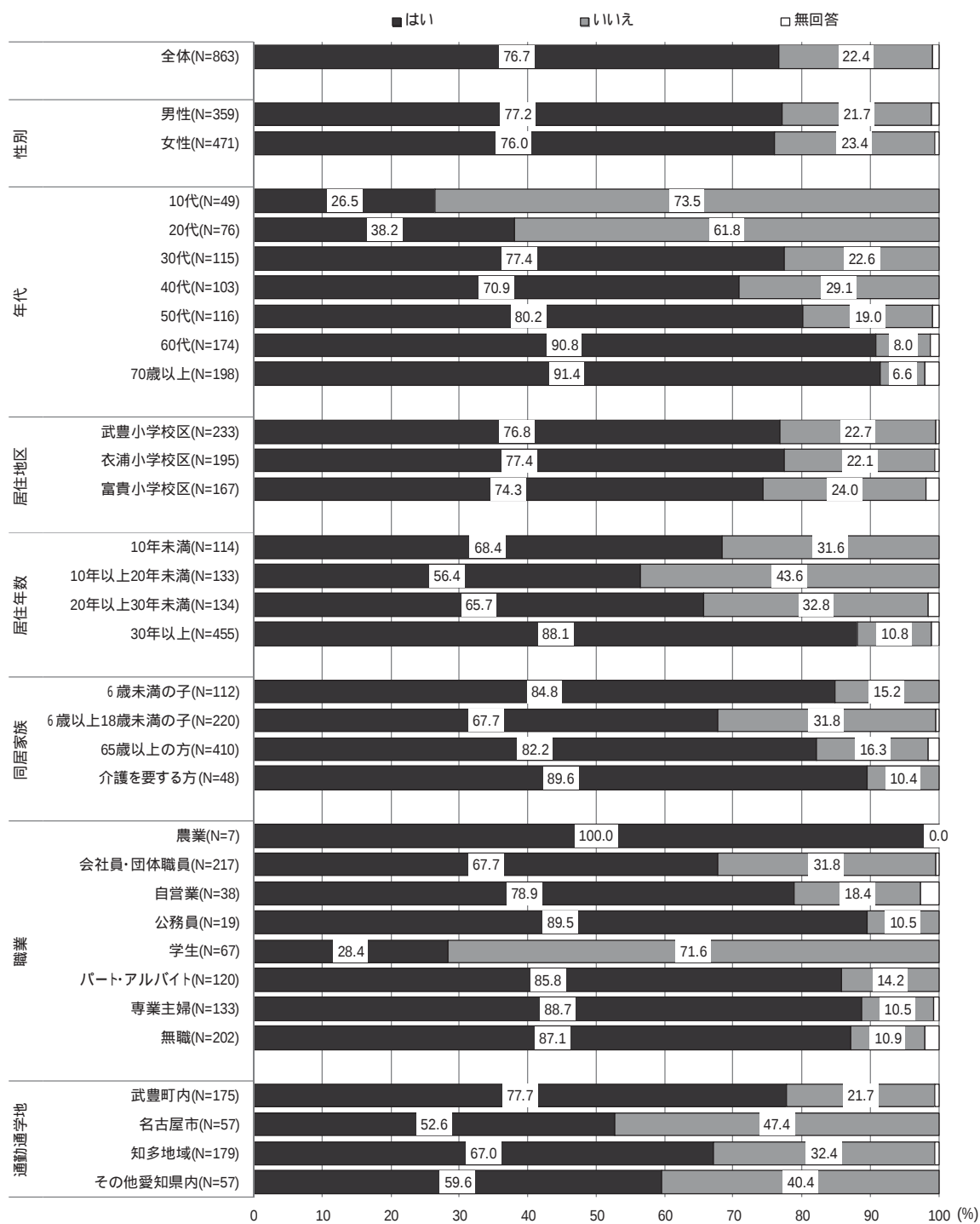


図. 日常生活のなかでインターネットを利用していますか

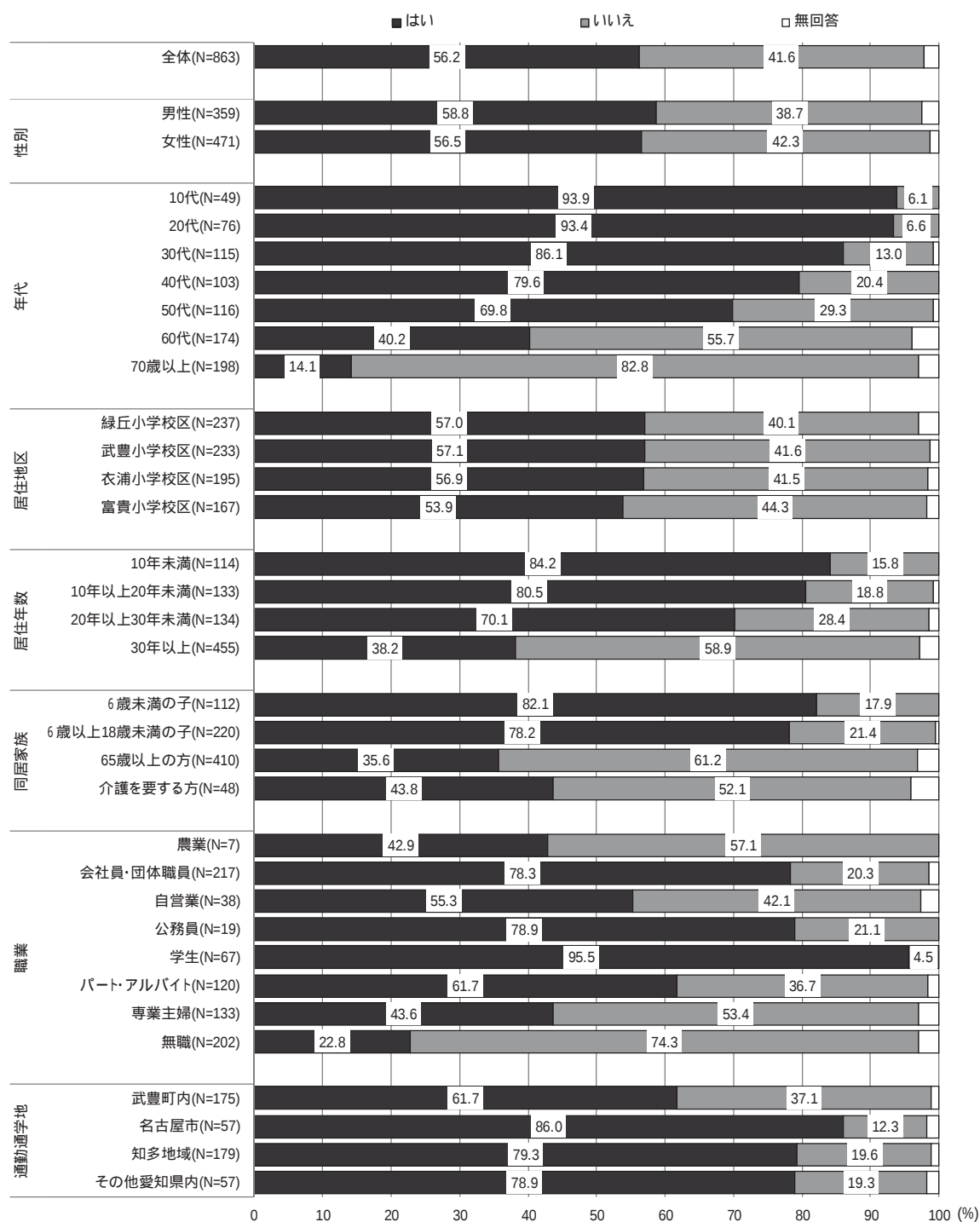


図. 町民がまちづくりに参画しやすい

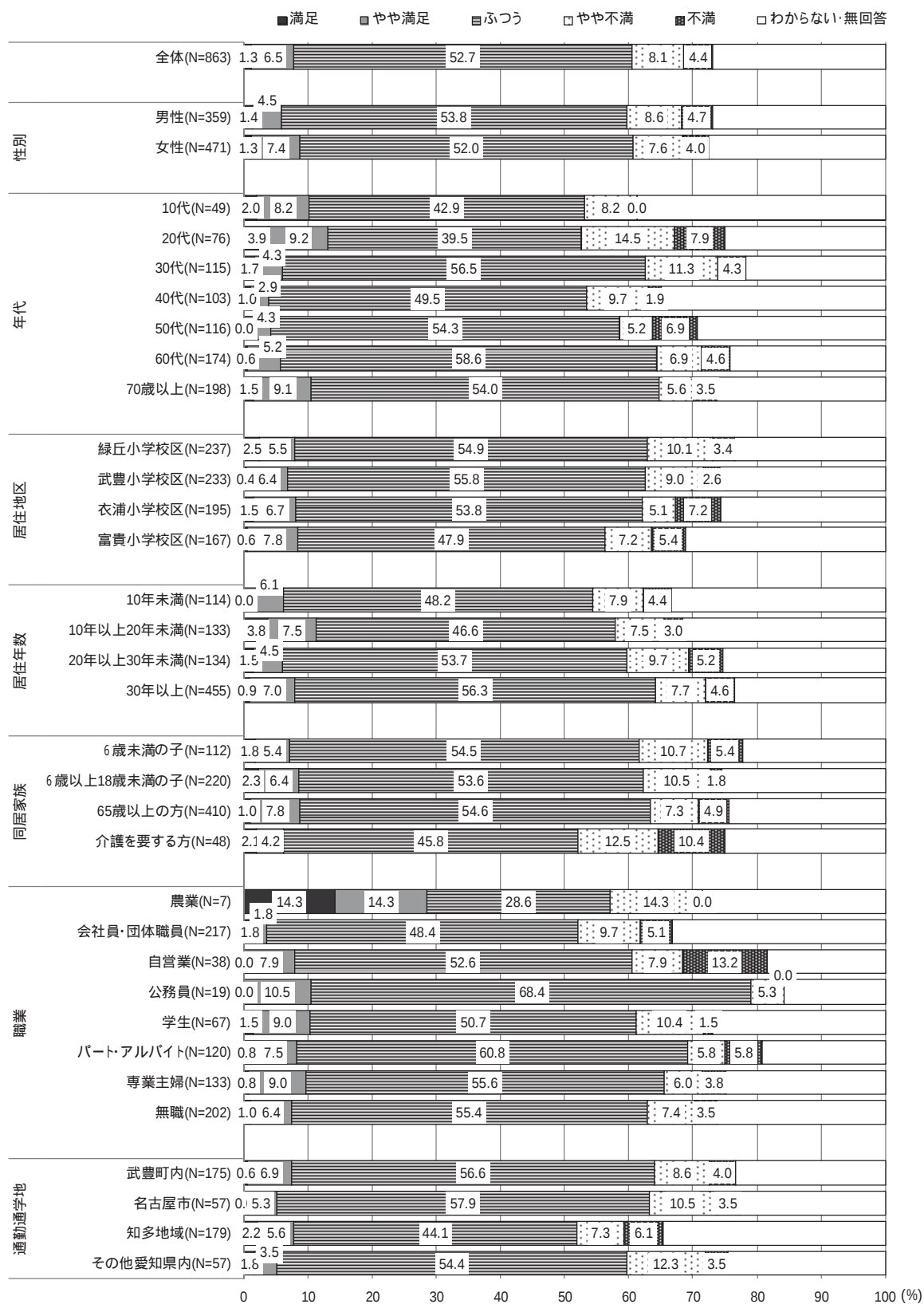


図. 行政に町民の意向が反映されている

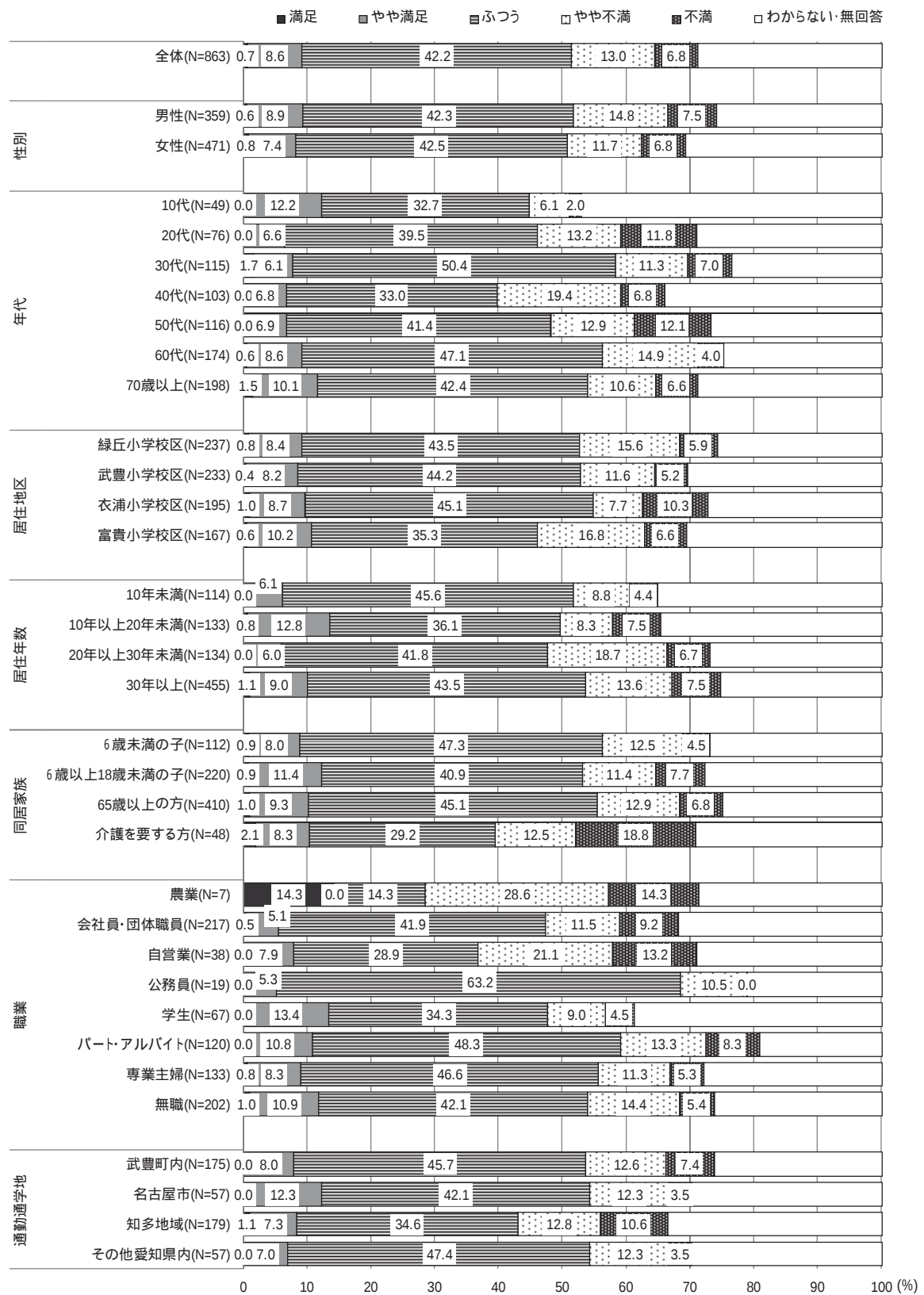


図. 行政情報が町民に公開・発信されている

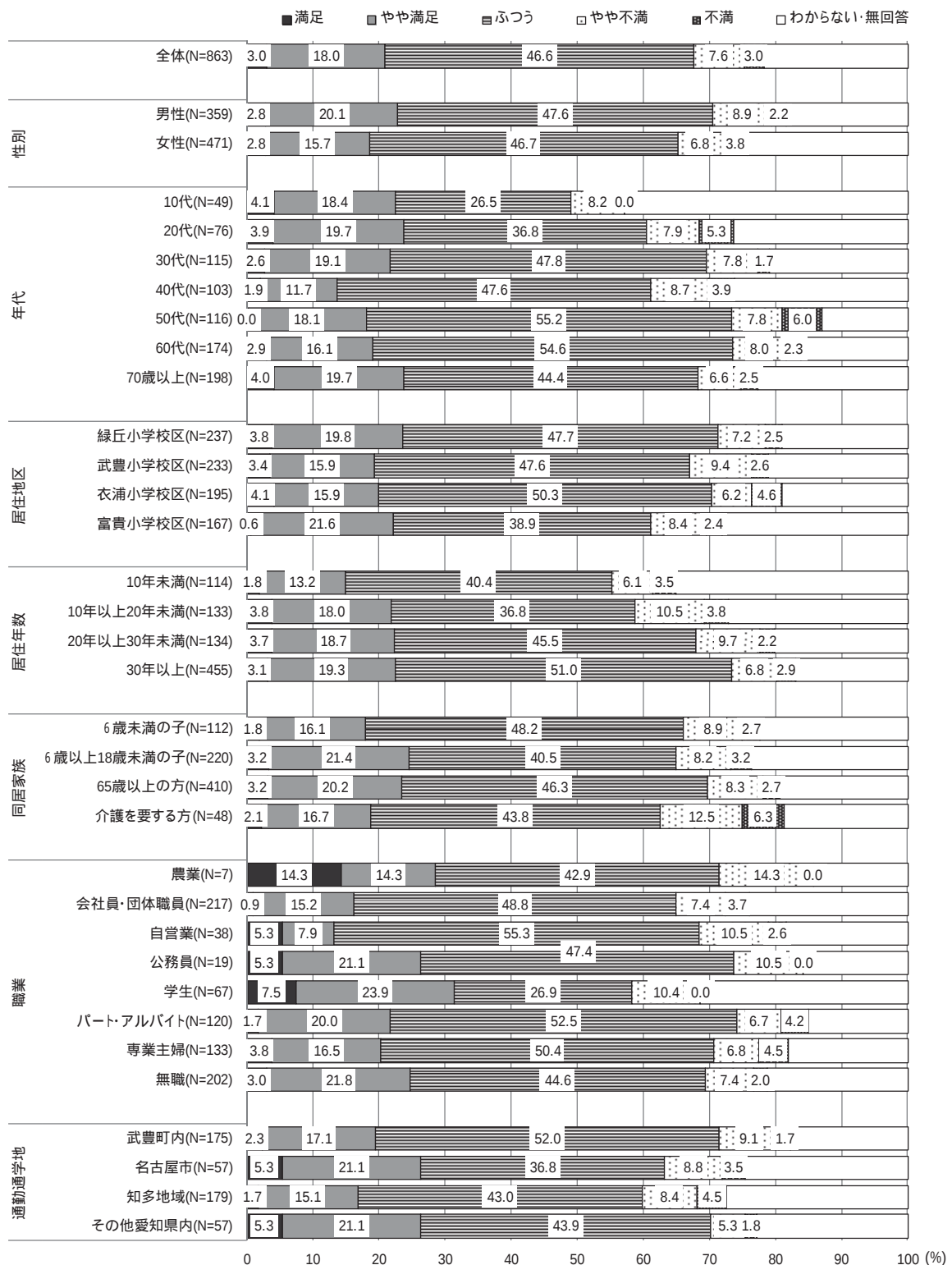


図. 行政サービスが充実している

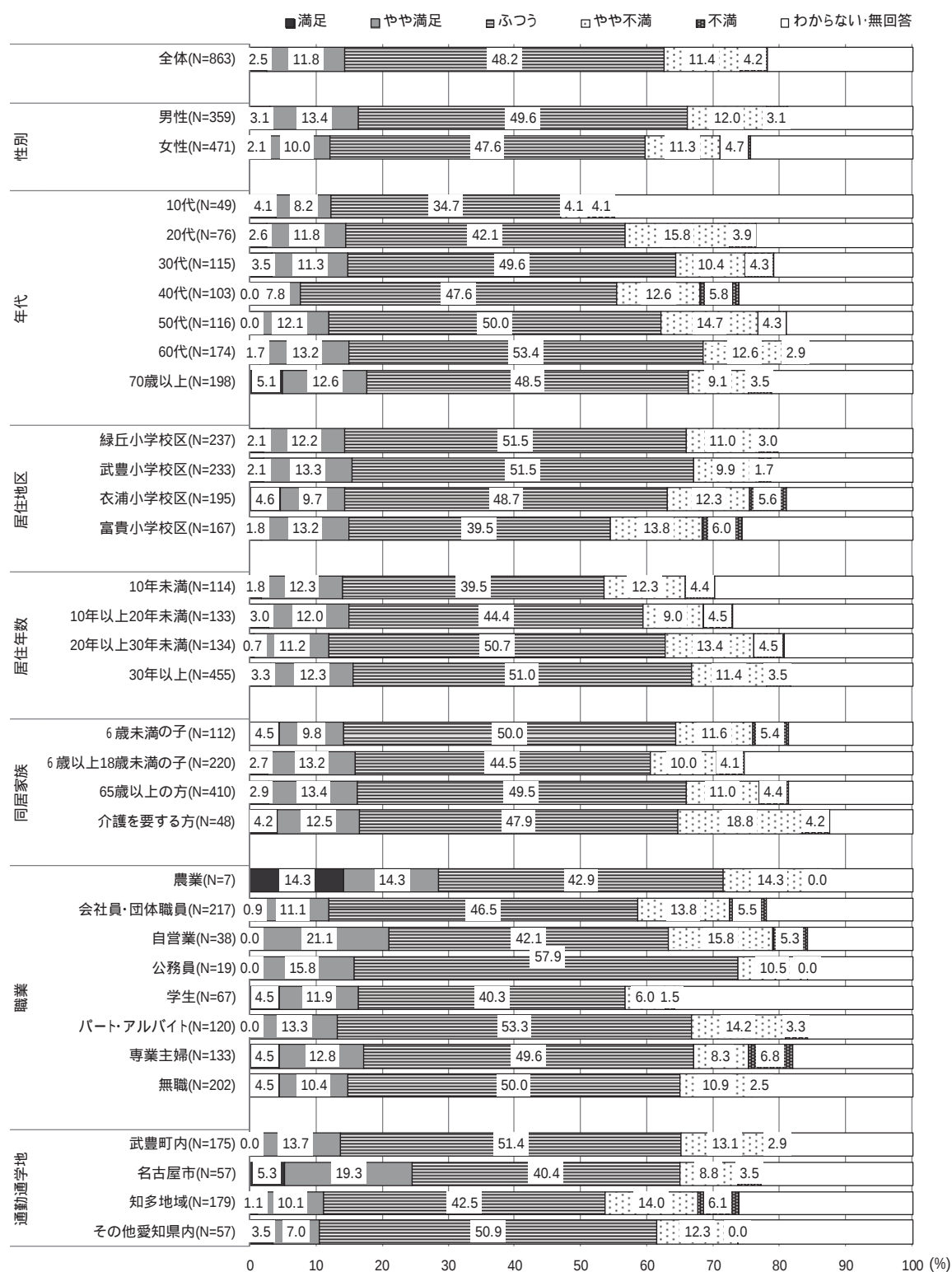
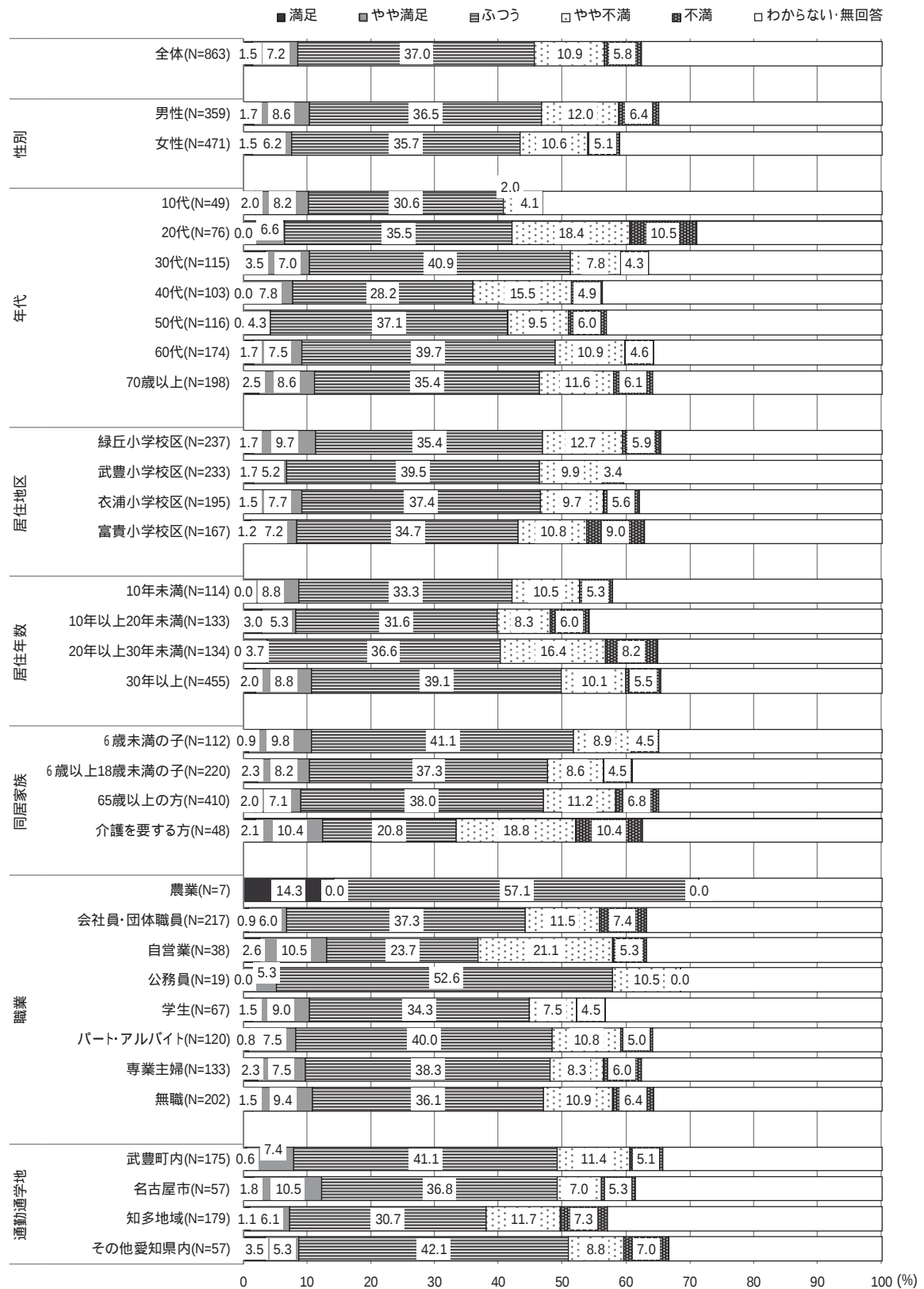


図. 税金が正しく効果的に使われている



『基本目標2 安全に暮らせるまち（安全環境）』について

図. 普段から災害に備えていますか

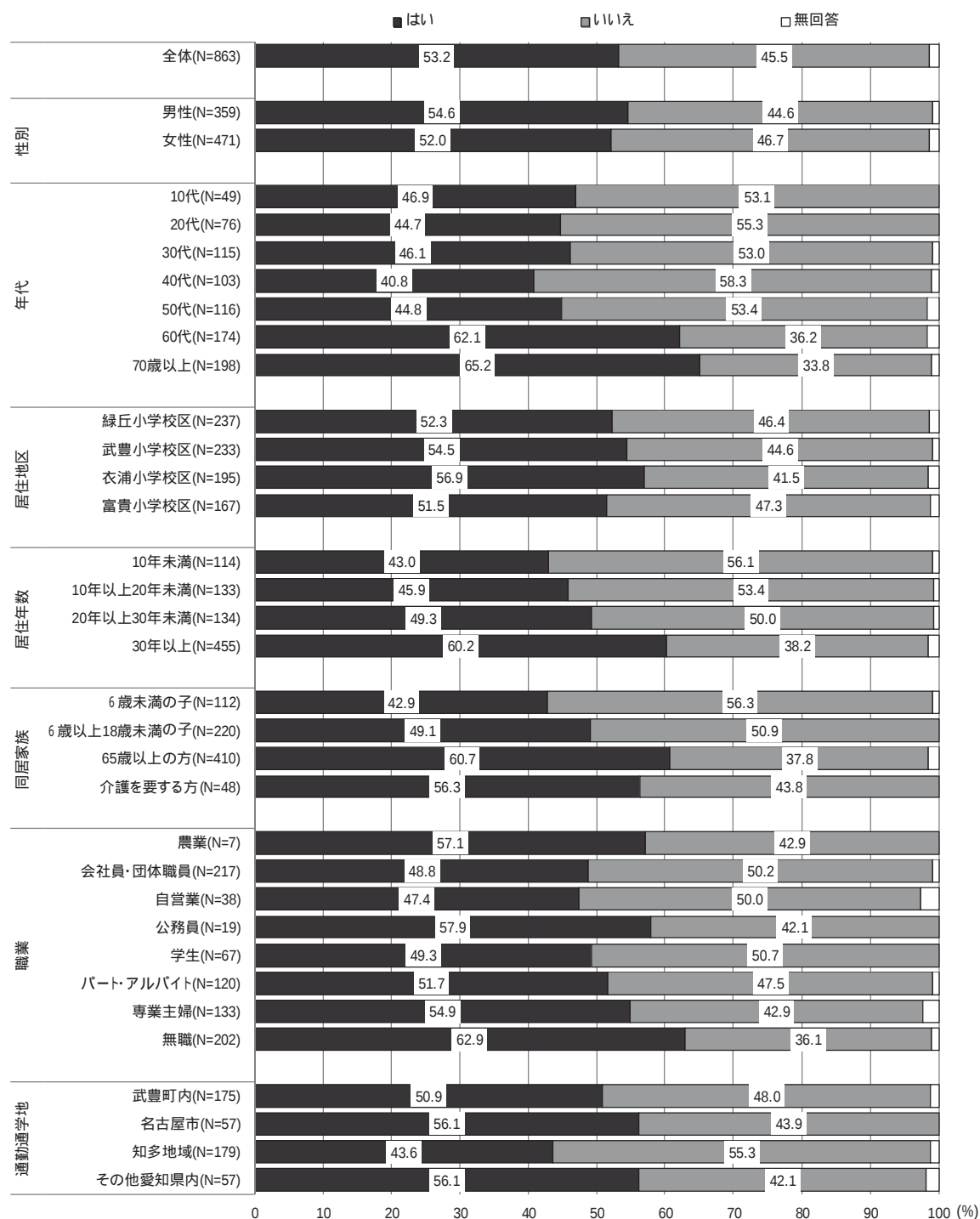


図. 防災訓練などに参加したり、見学したことはありますか

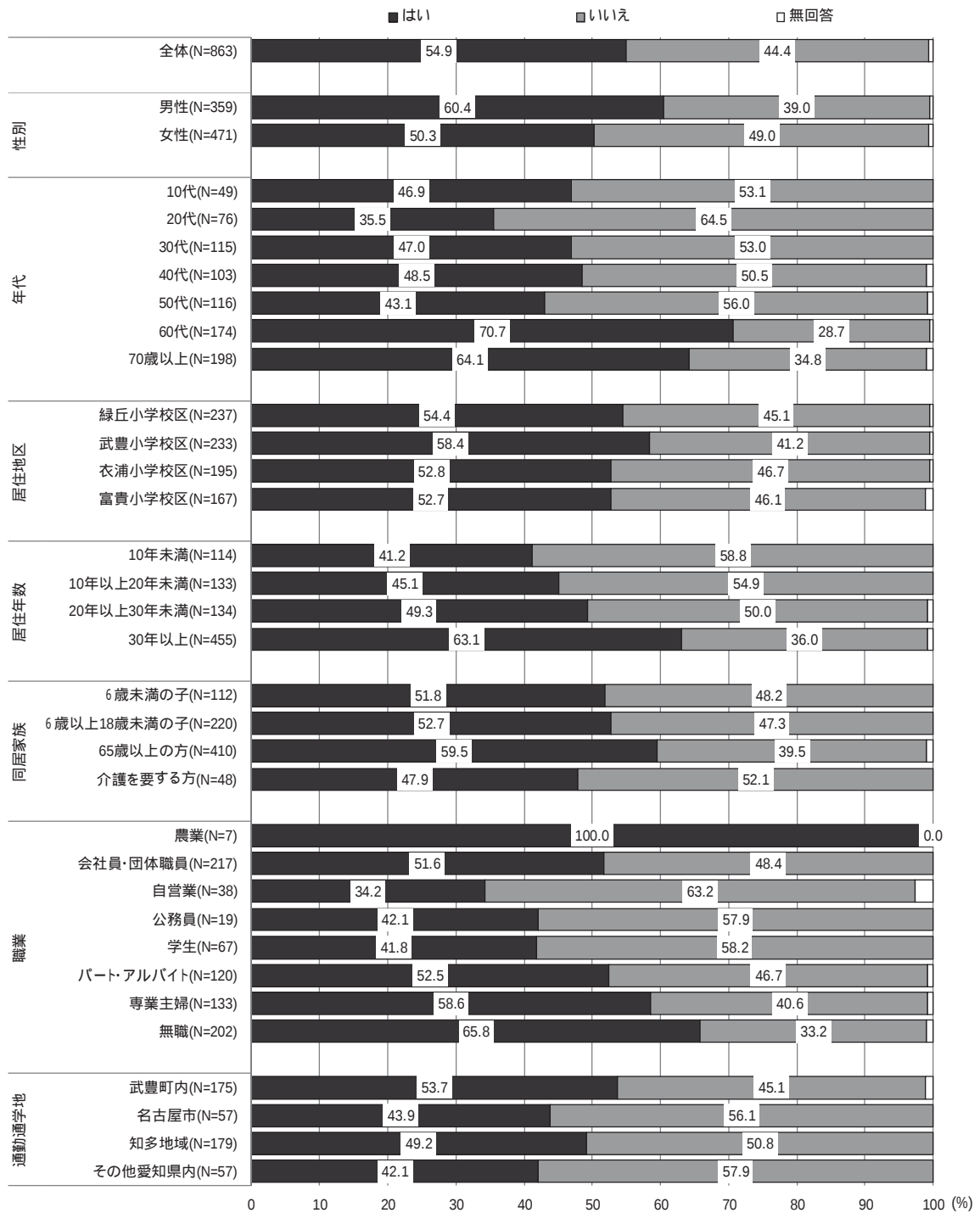


図. 普段から防犯に心がけていますか

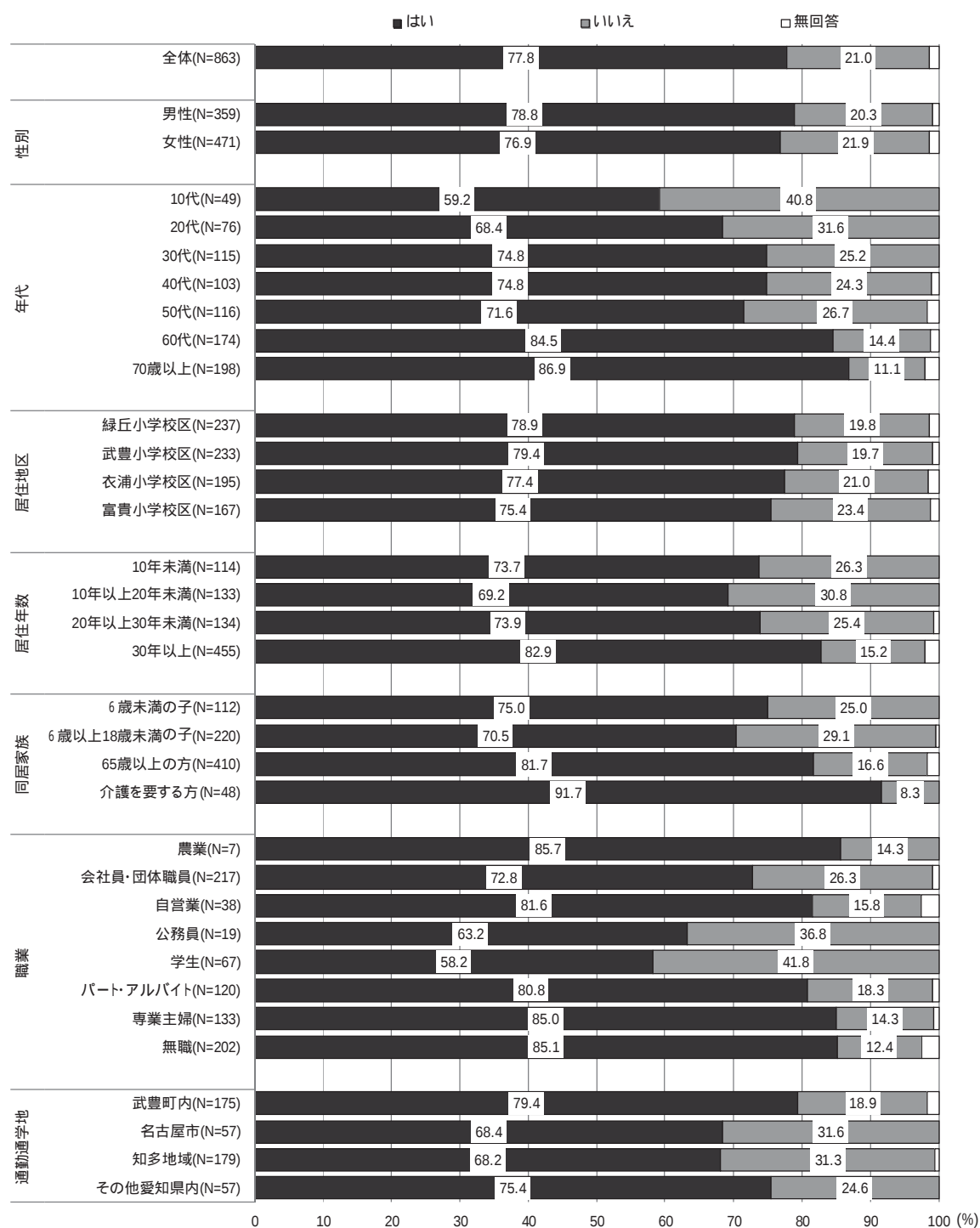


図. 公共交通機関を利用しますか

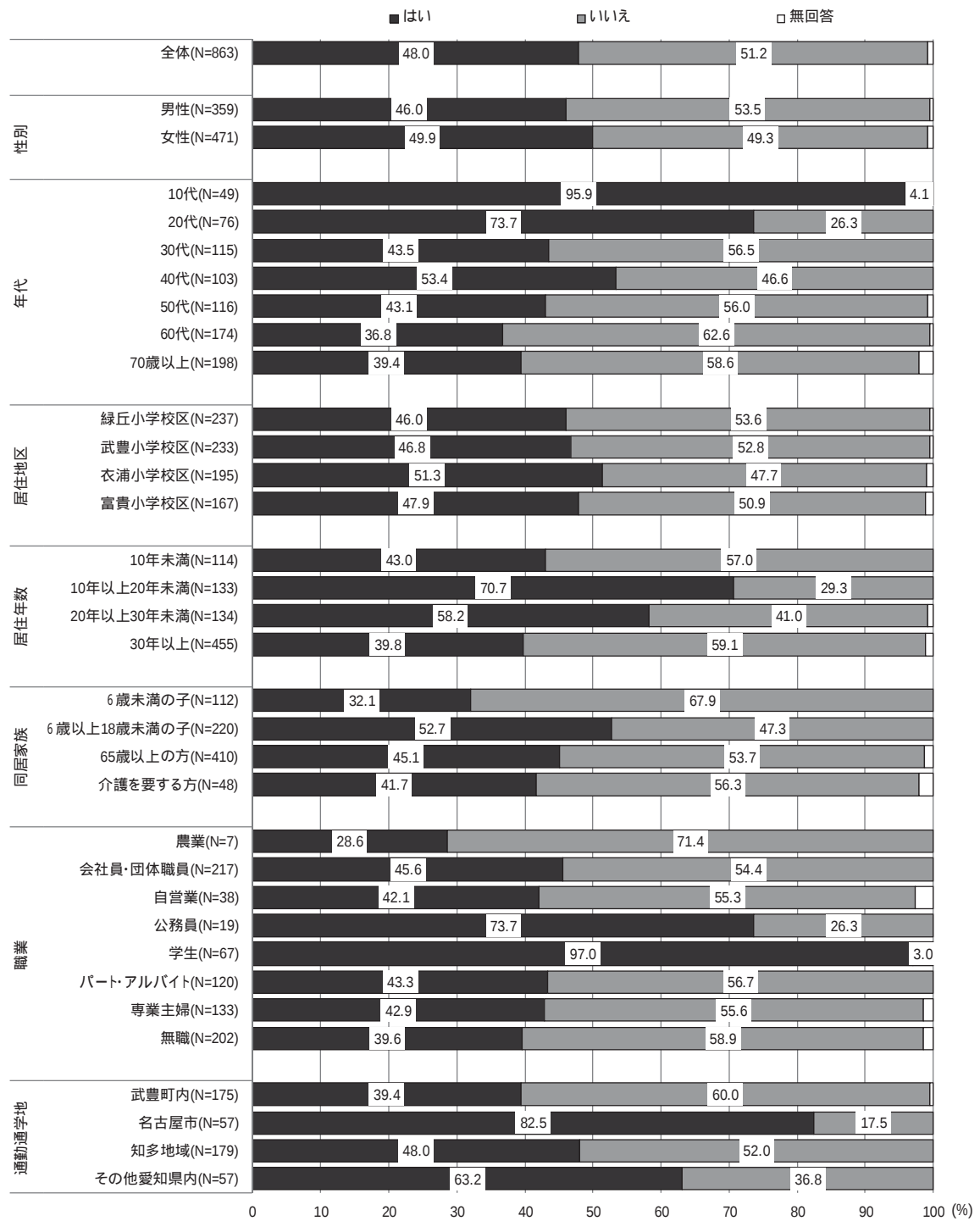


図. 災害対策がしっかりしている

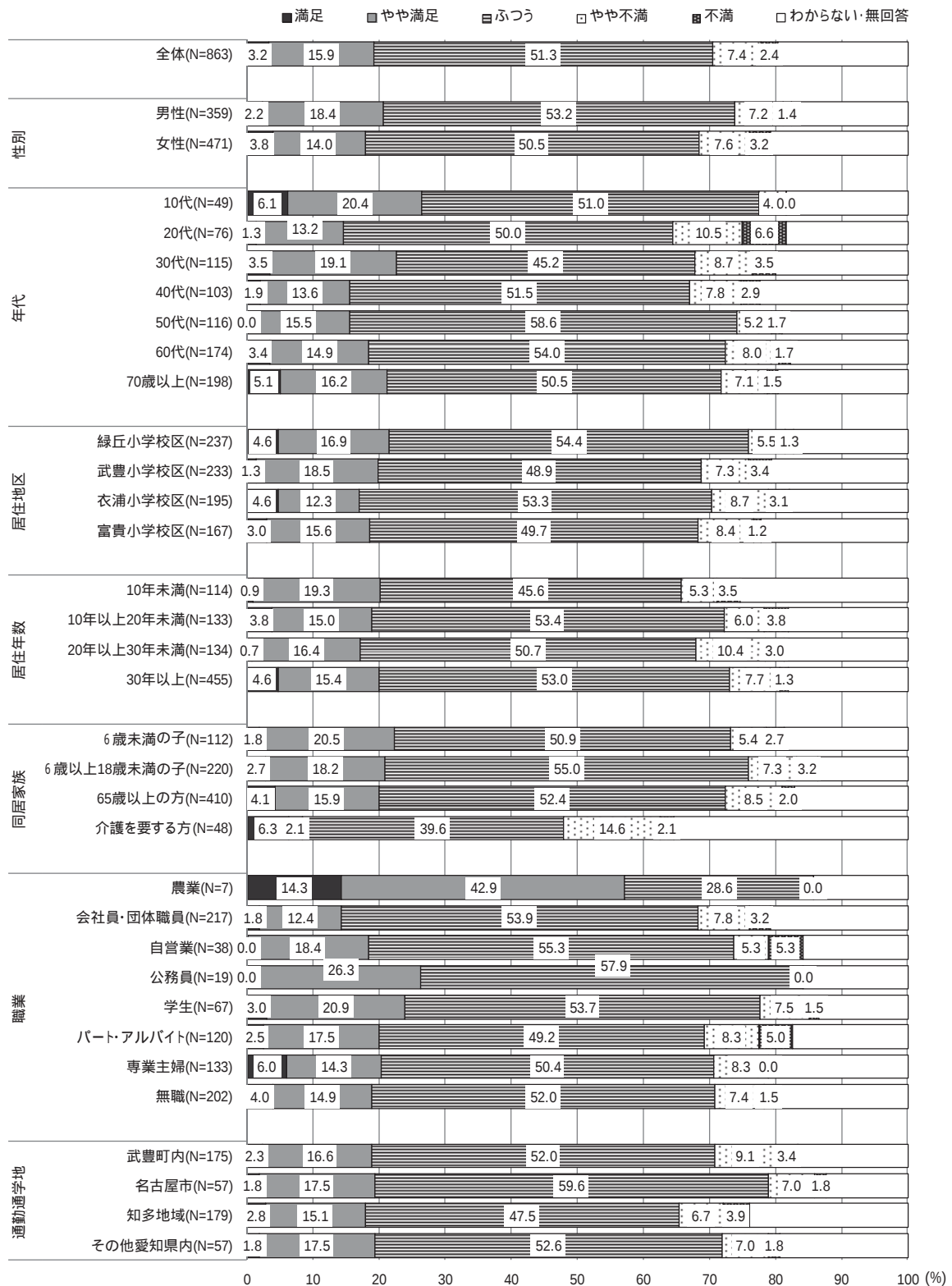


図. 防犯対策がしっかりしている

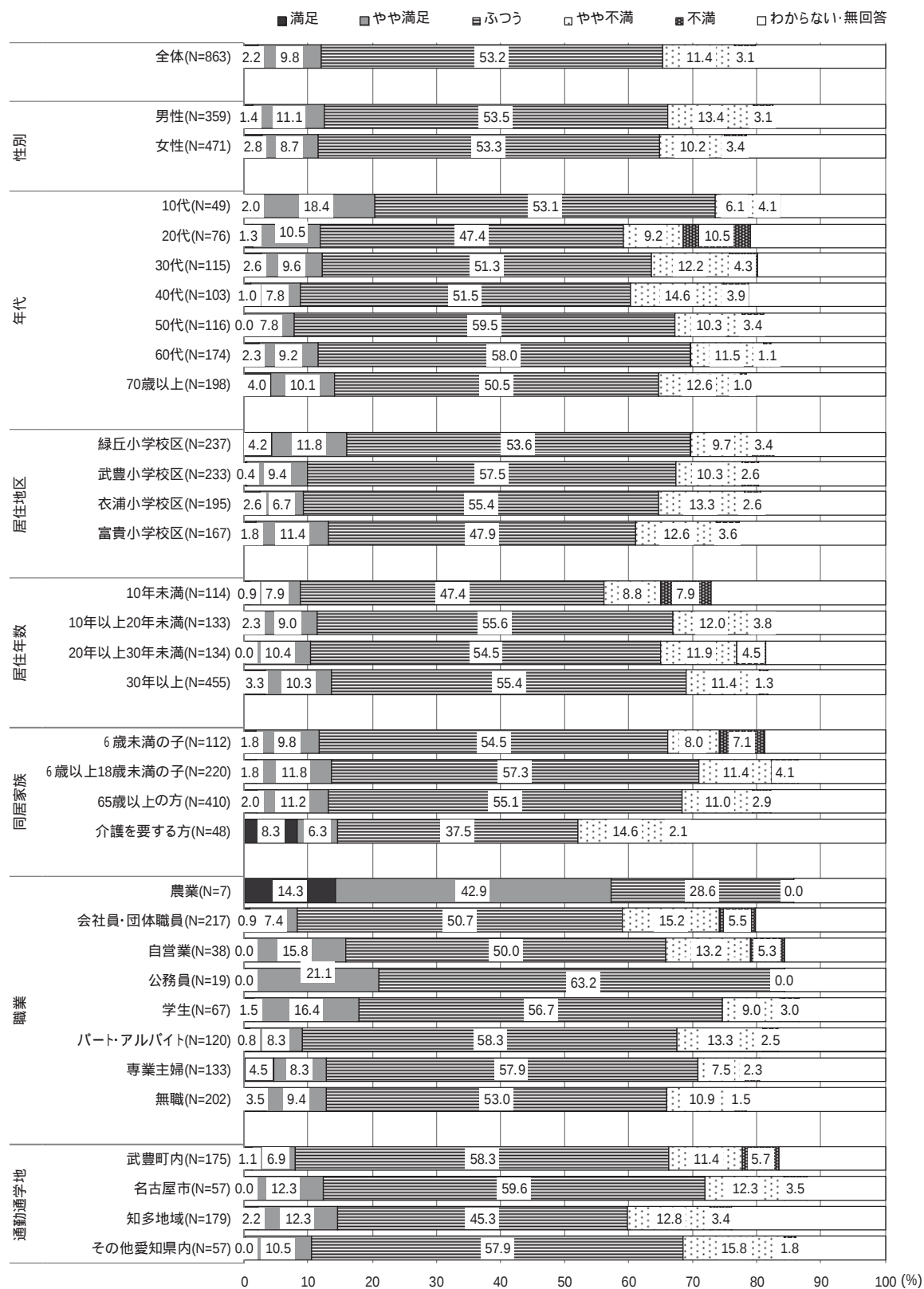


図. 幹線道路が整備され車で移動しやすい

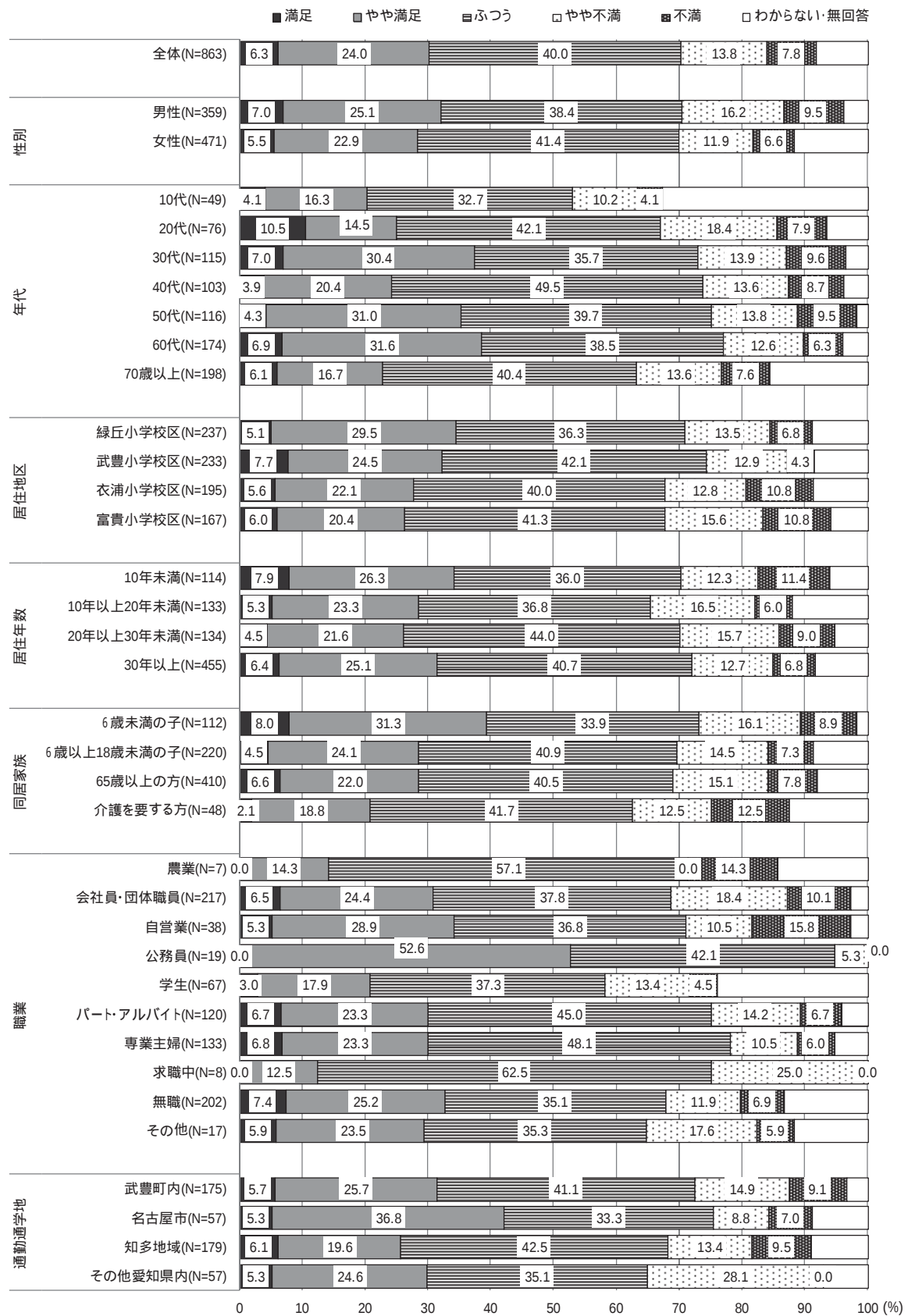


図. 徒歩や自転車で道路を安全に通行できる

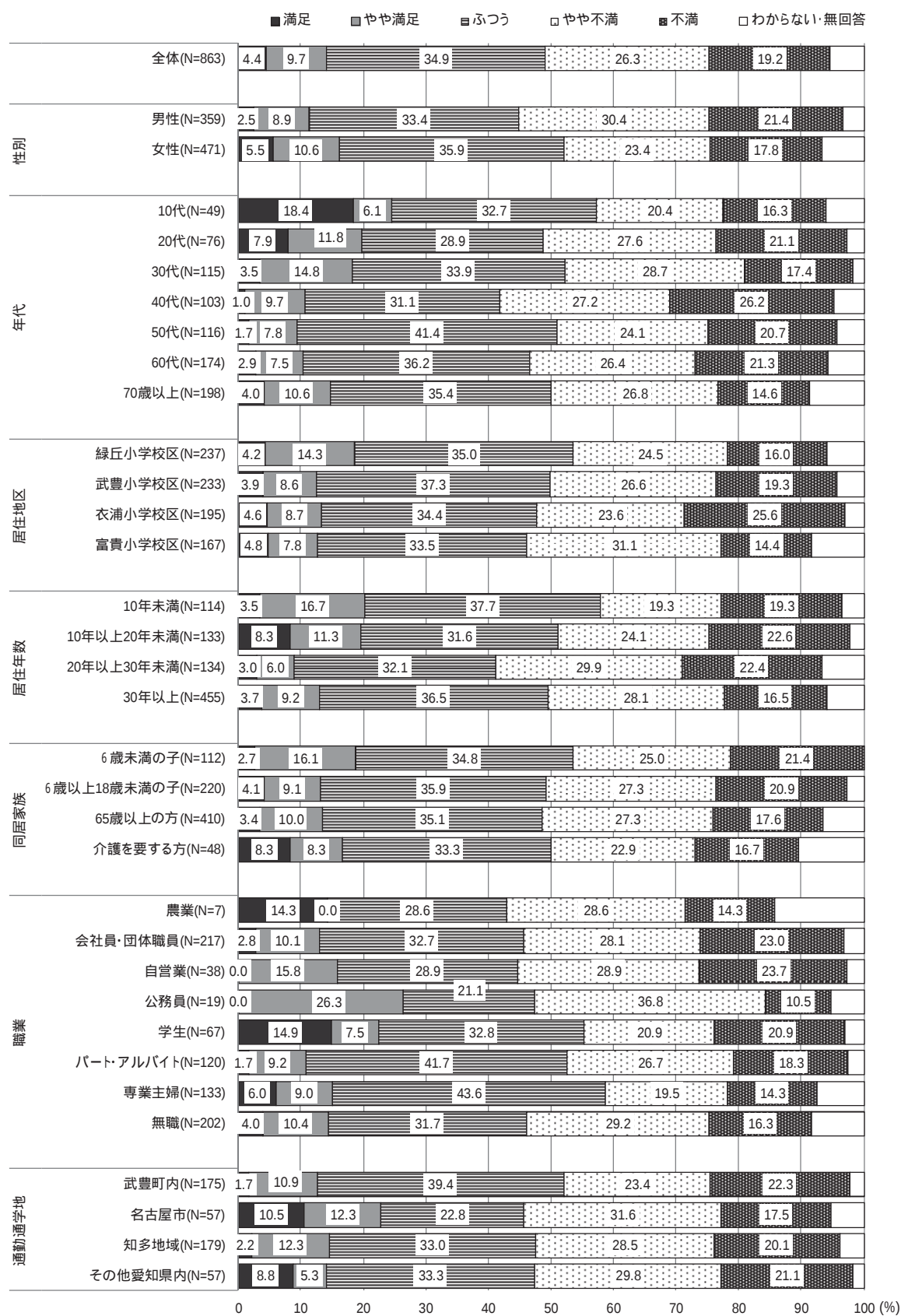
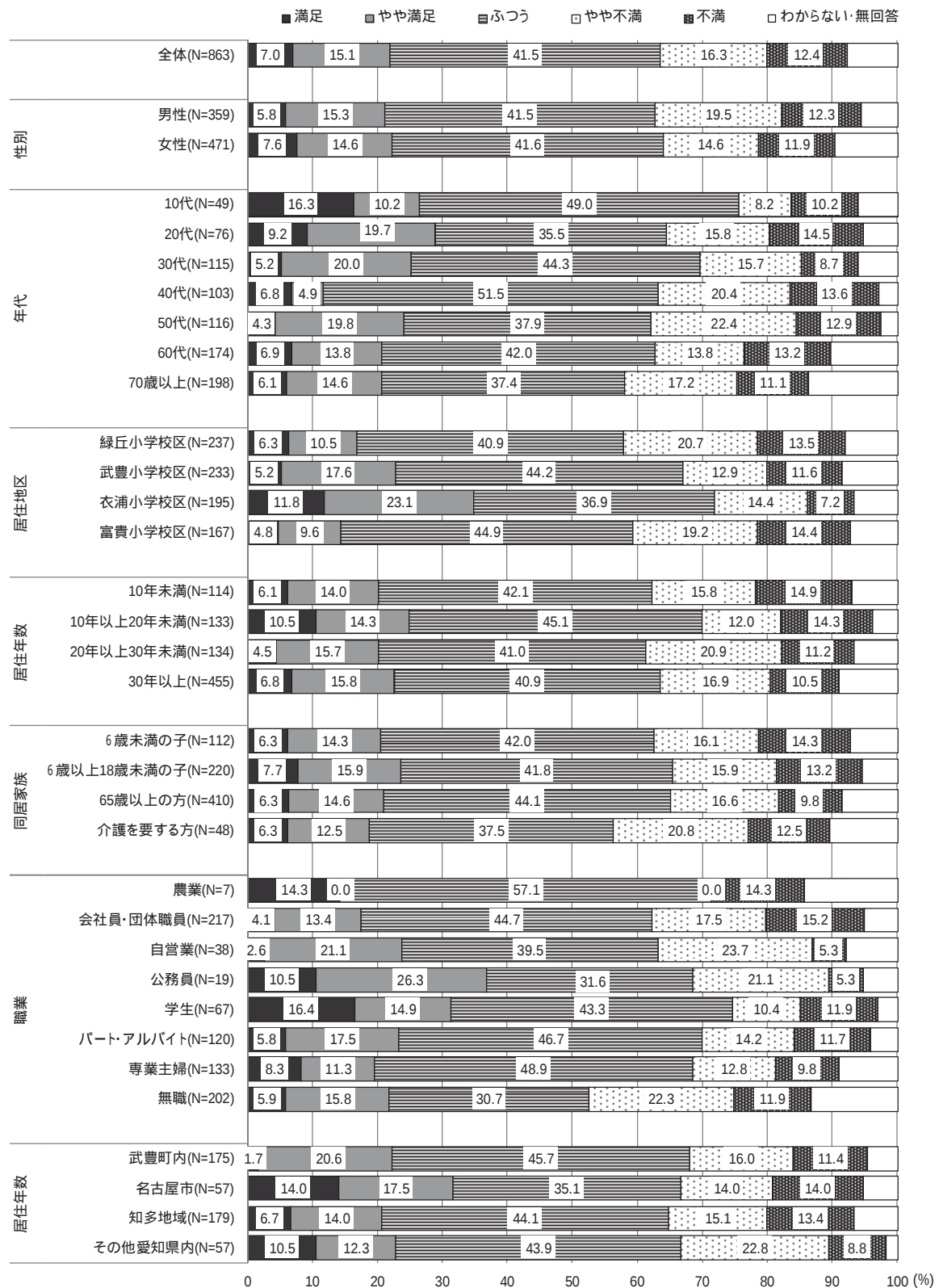


図. 公共交通機関が利用しやすく便利である



『基本目標3 ふれあいのあるまち（地域交流）』について

図. 趣味や教養、スポーツなどの活動を楽しんでいますか

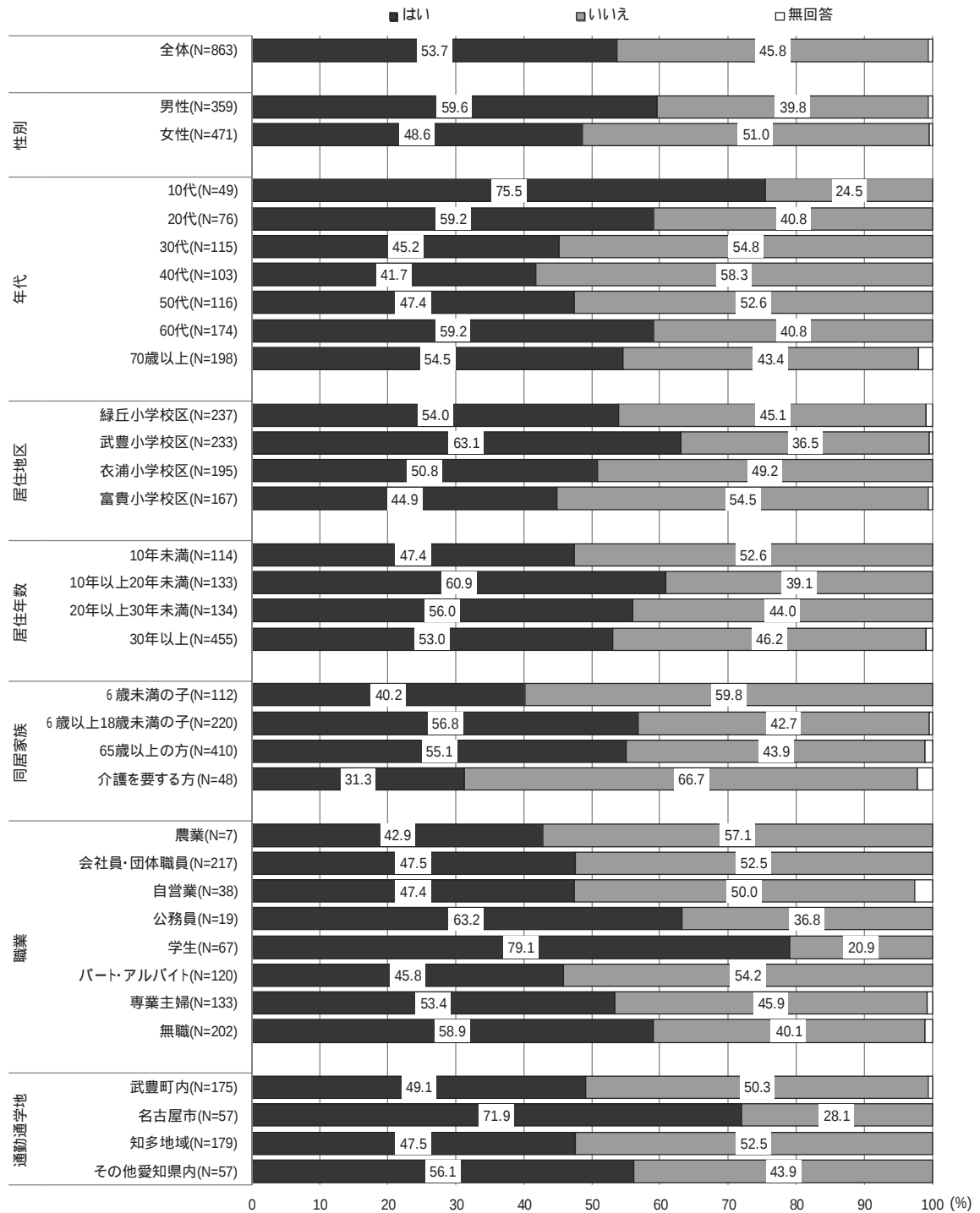


図. 芸術や文化に触れていますか

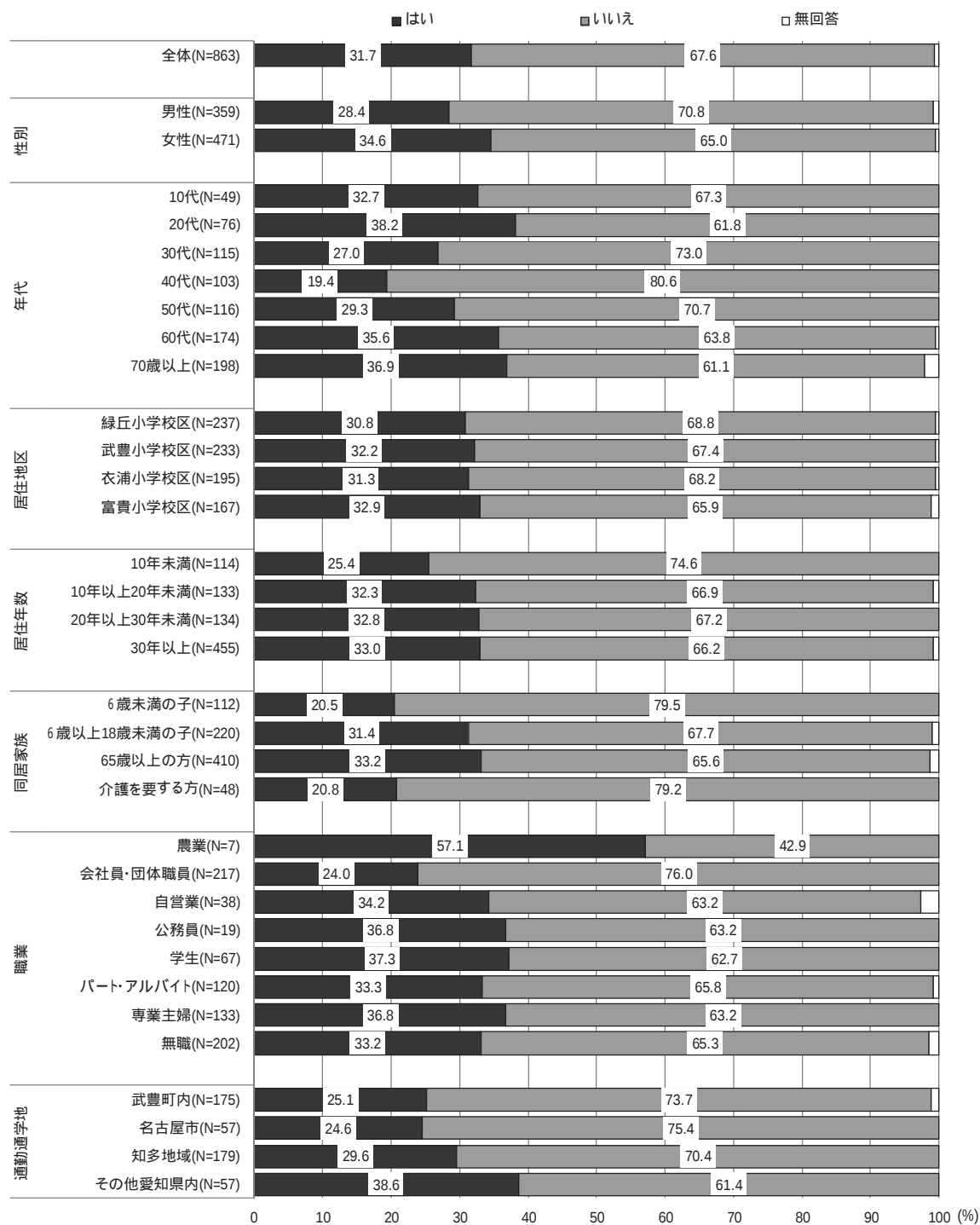


図. 町民会館や図書館、公民館などの公共施設を利用しますか

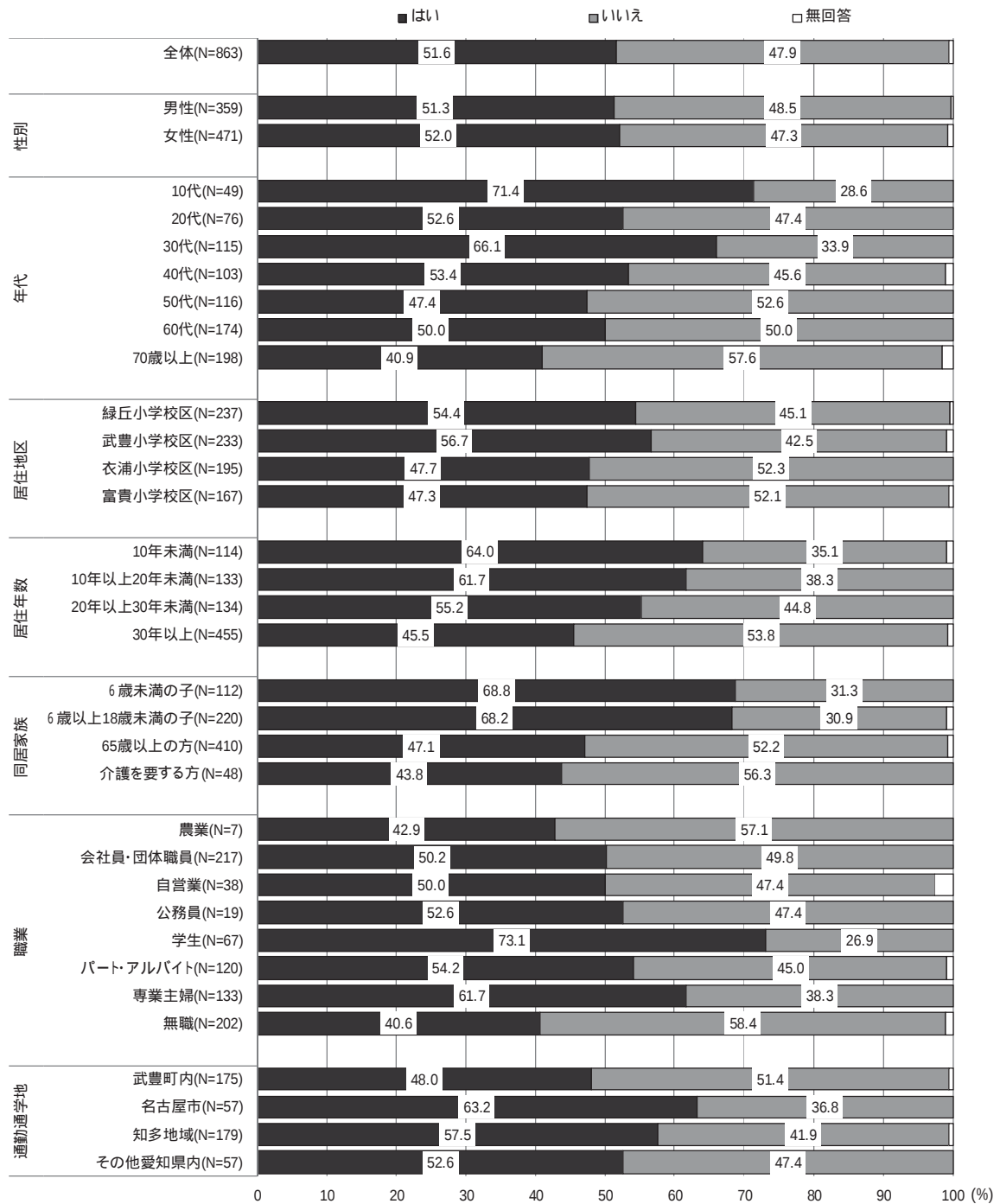


図. 近所の公園や児童遊園を利用しますか

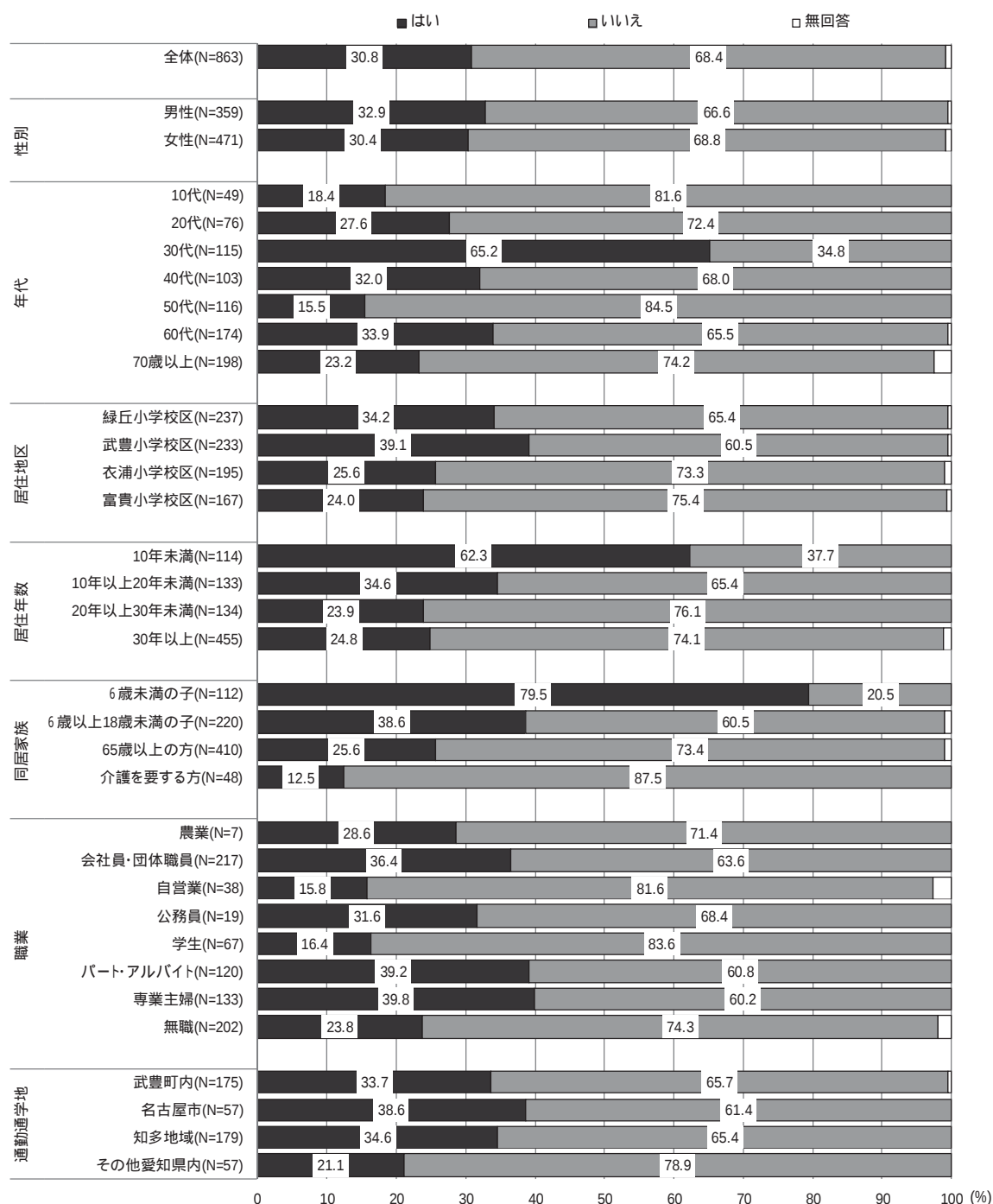


図. 地域の行事やお祭りには積極的に参加していますか

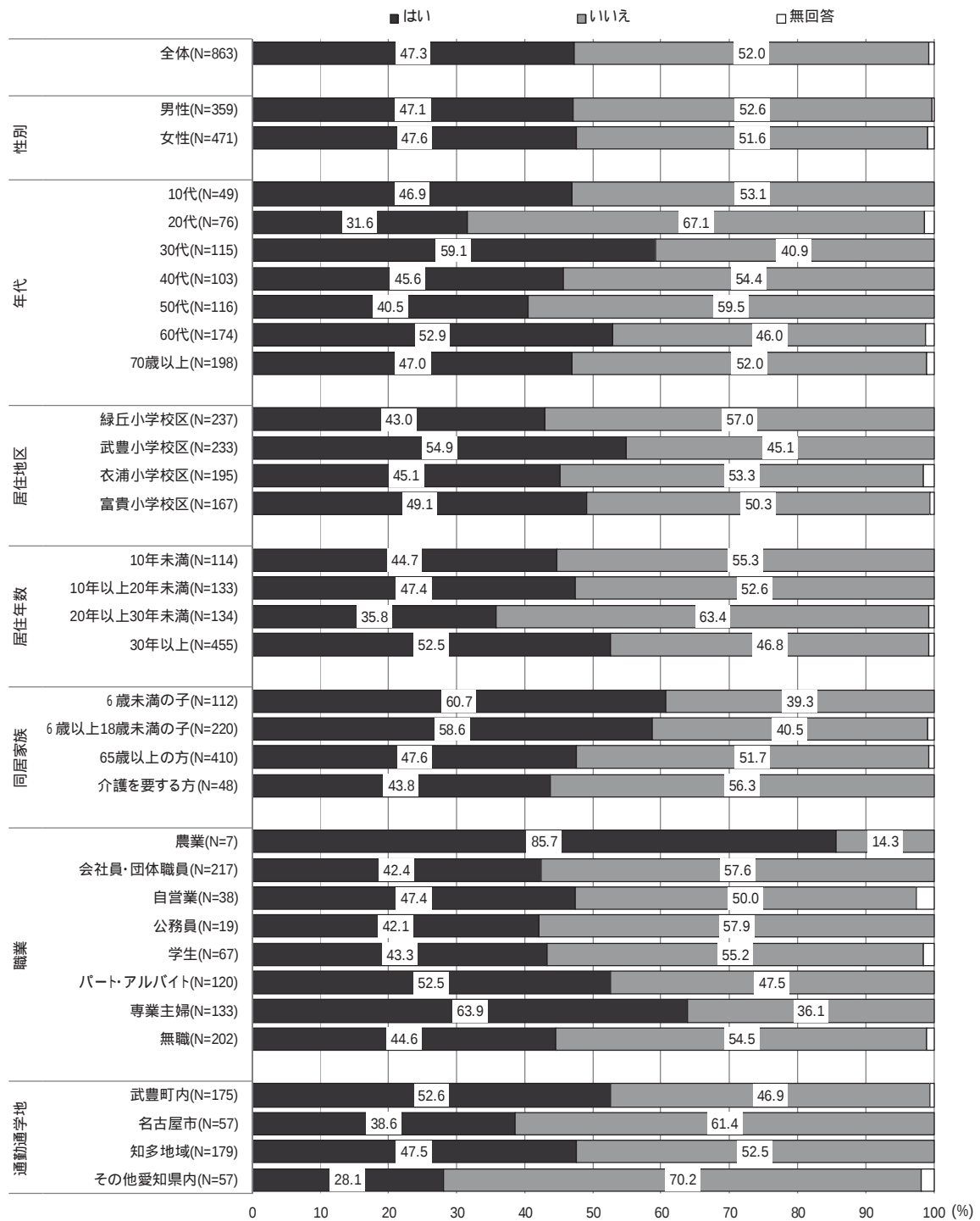


図. 余暇は充実していますか

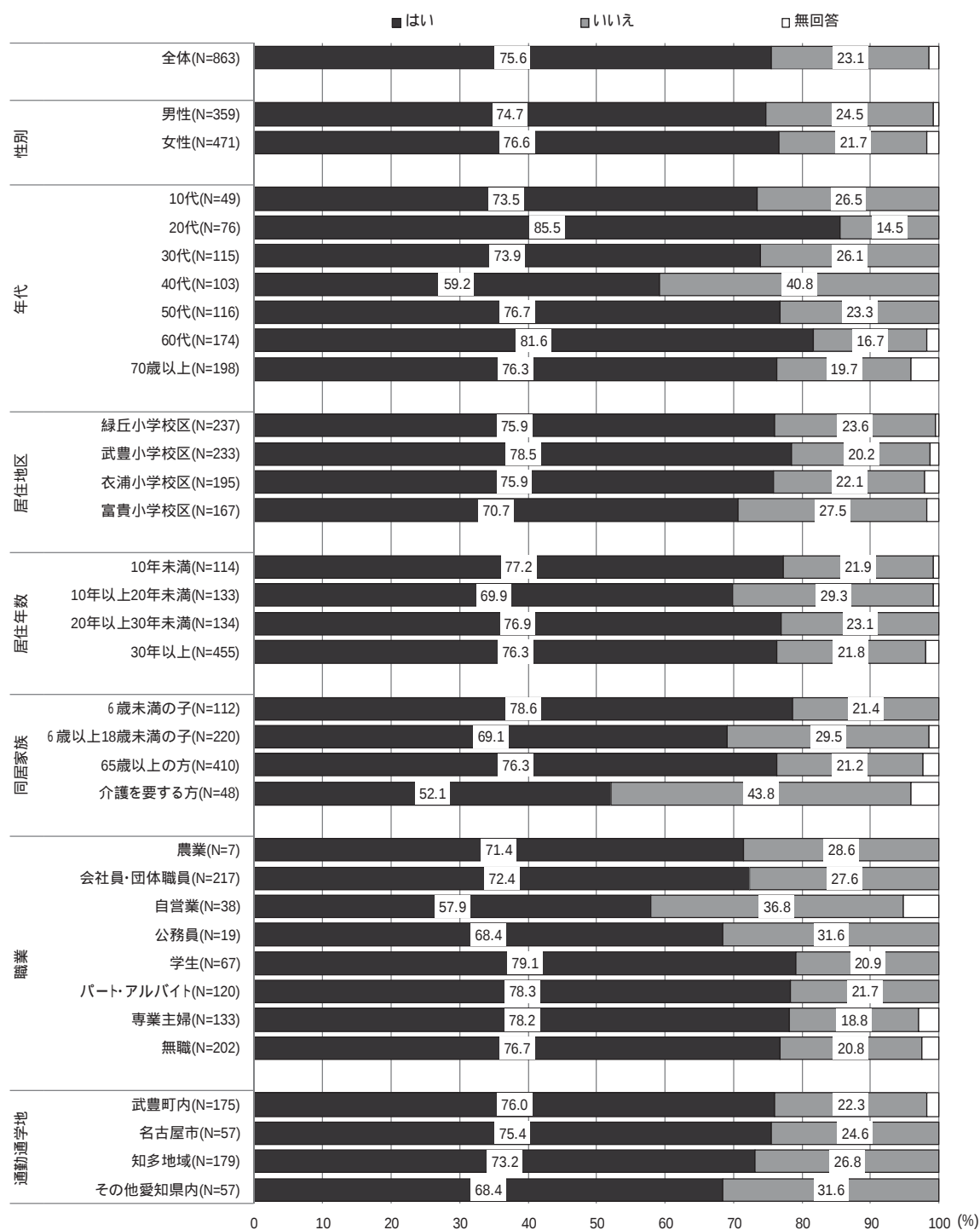
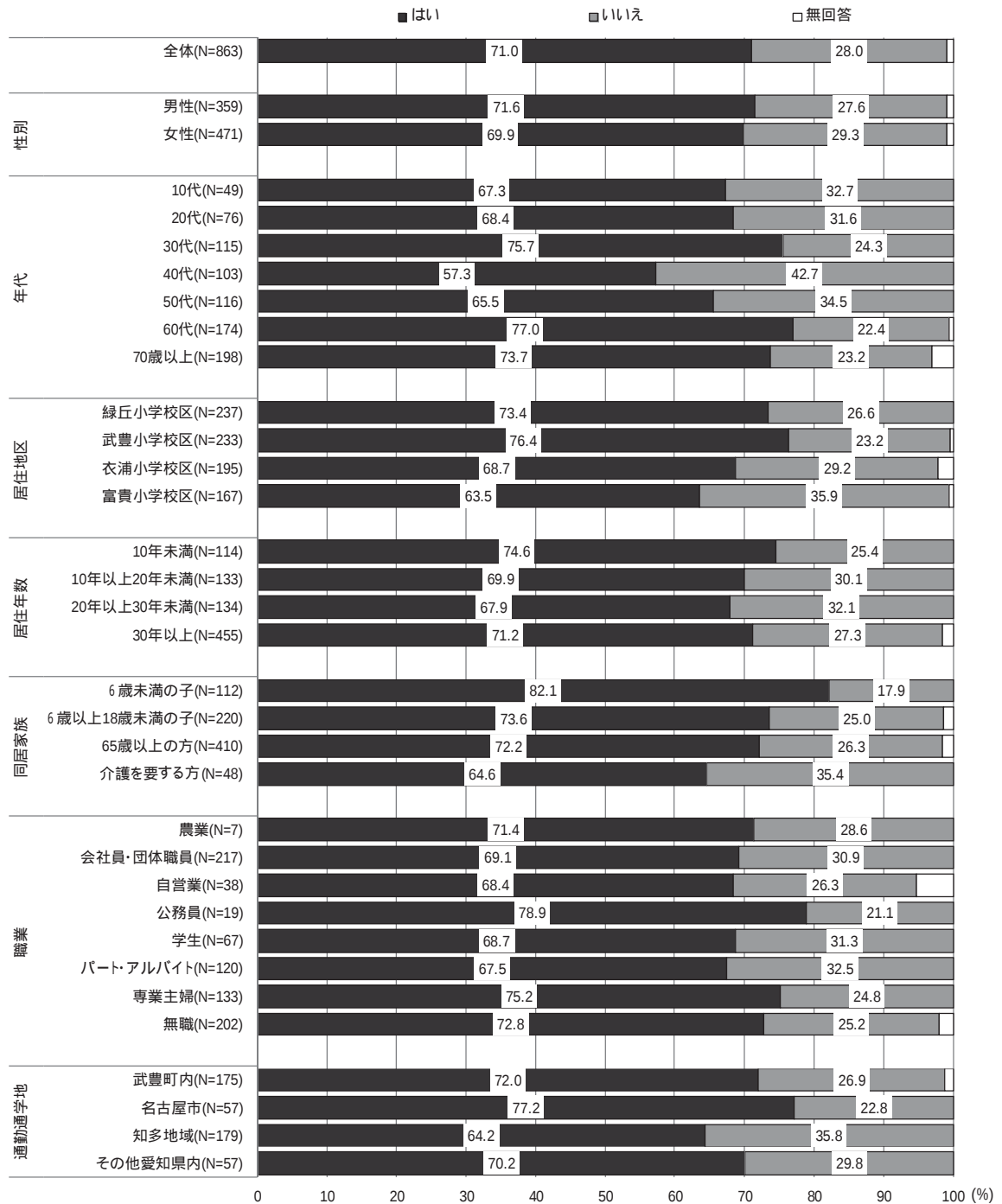


図. 生きがいにしているものがありますか



『基本目標4 子どもが健やかに育つまち（次世代育成）』について

図. 子育てがしやすい

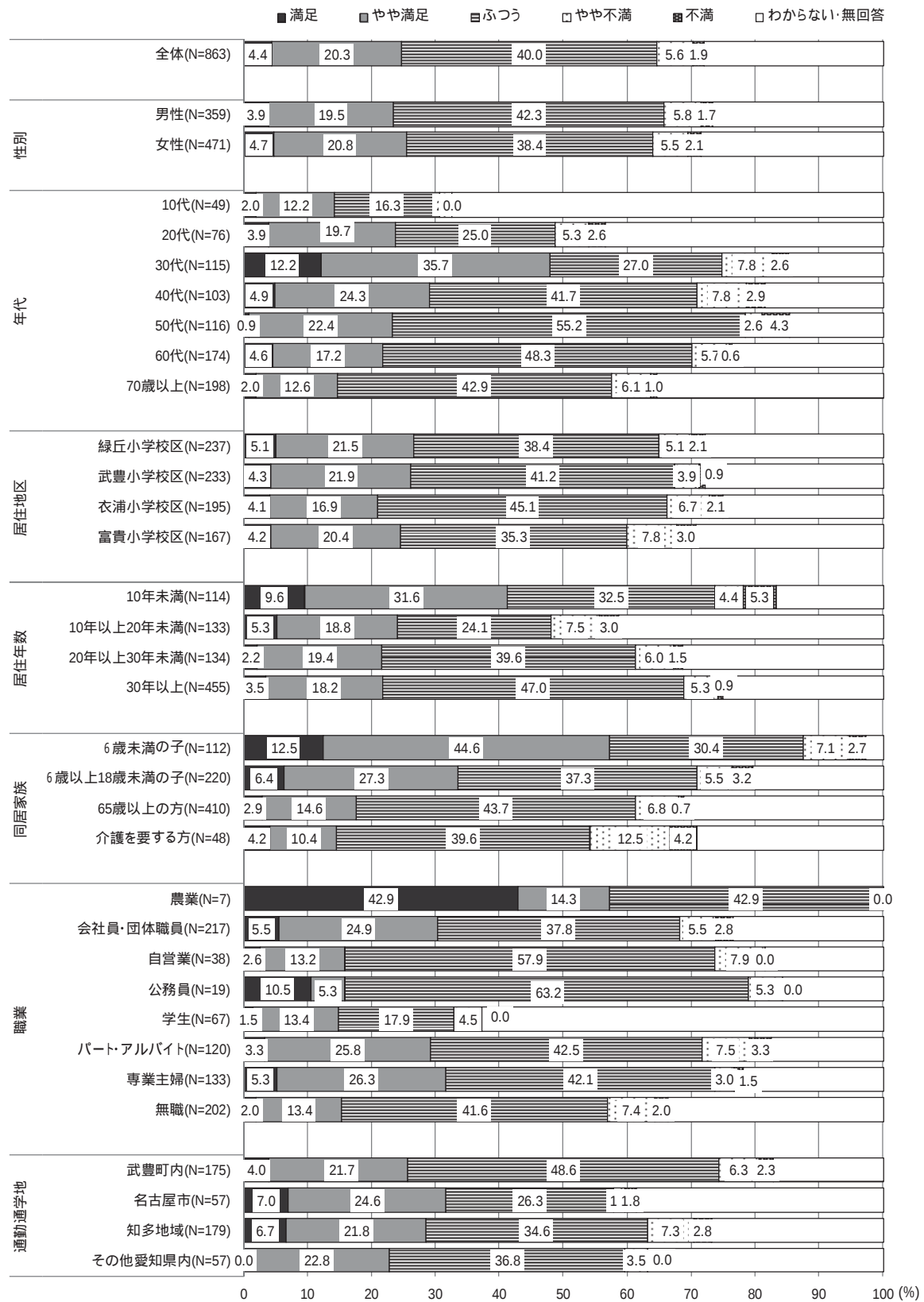
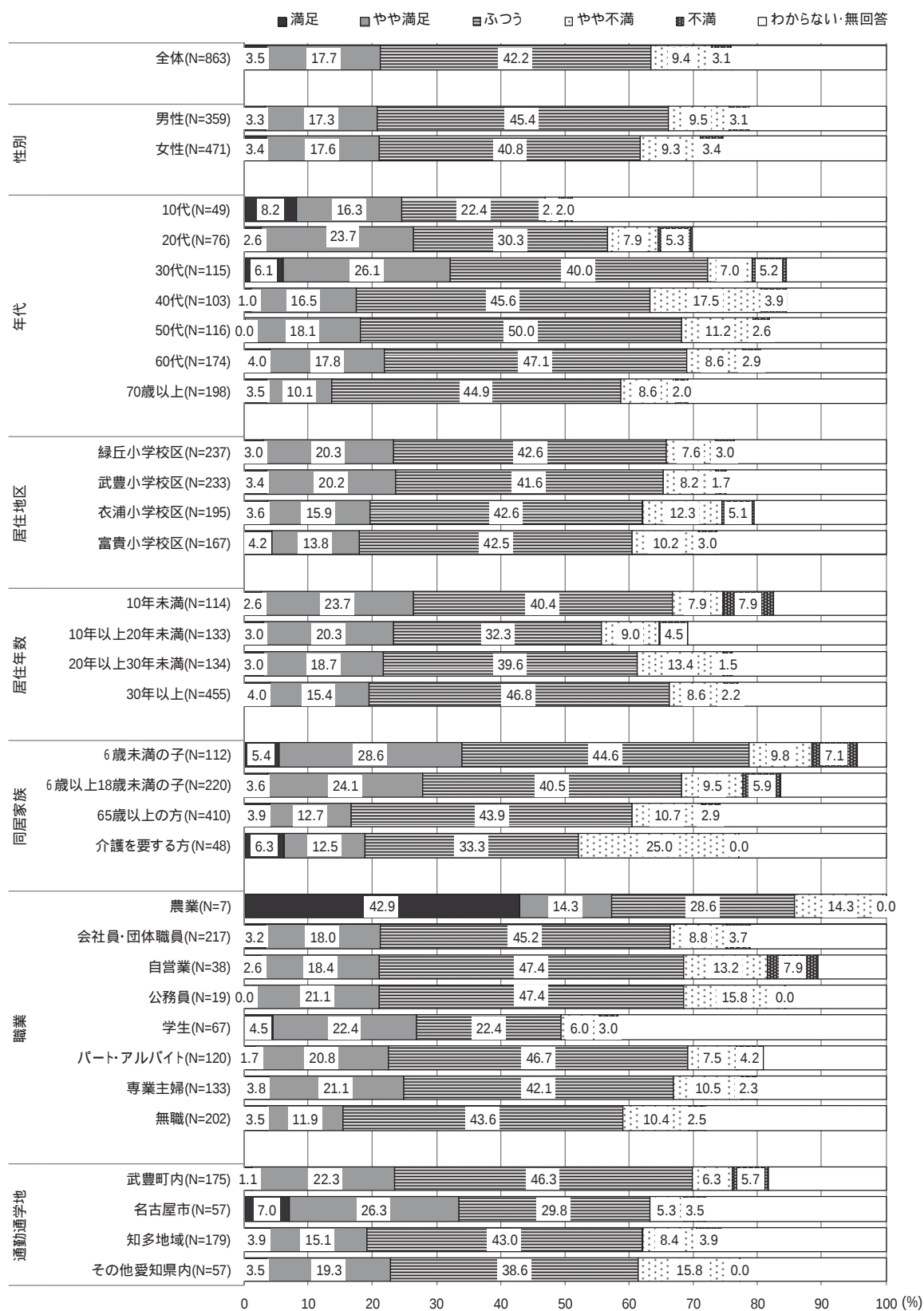


図. 地域で子どもの安全・安心が確保されている



『基本目標5 いきいきと暮らせるまち（健康福祉）』について

図. 普段から健康に心がけていますか

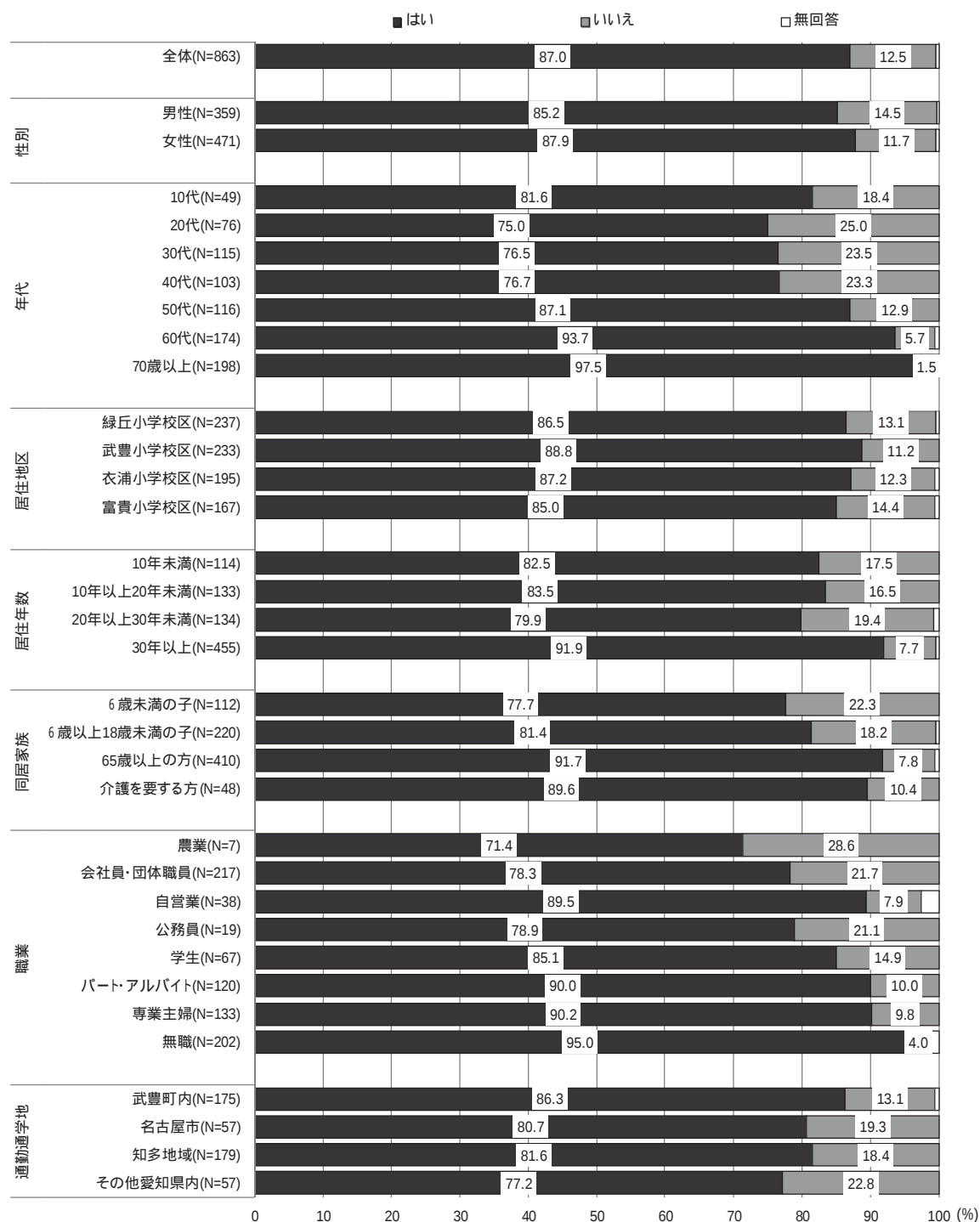


図. かかりつけの医者はいますか

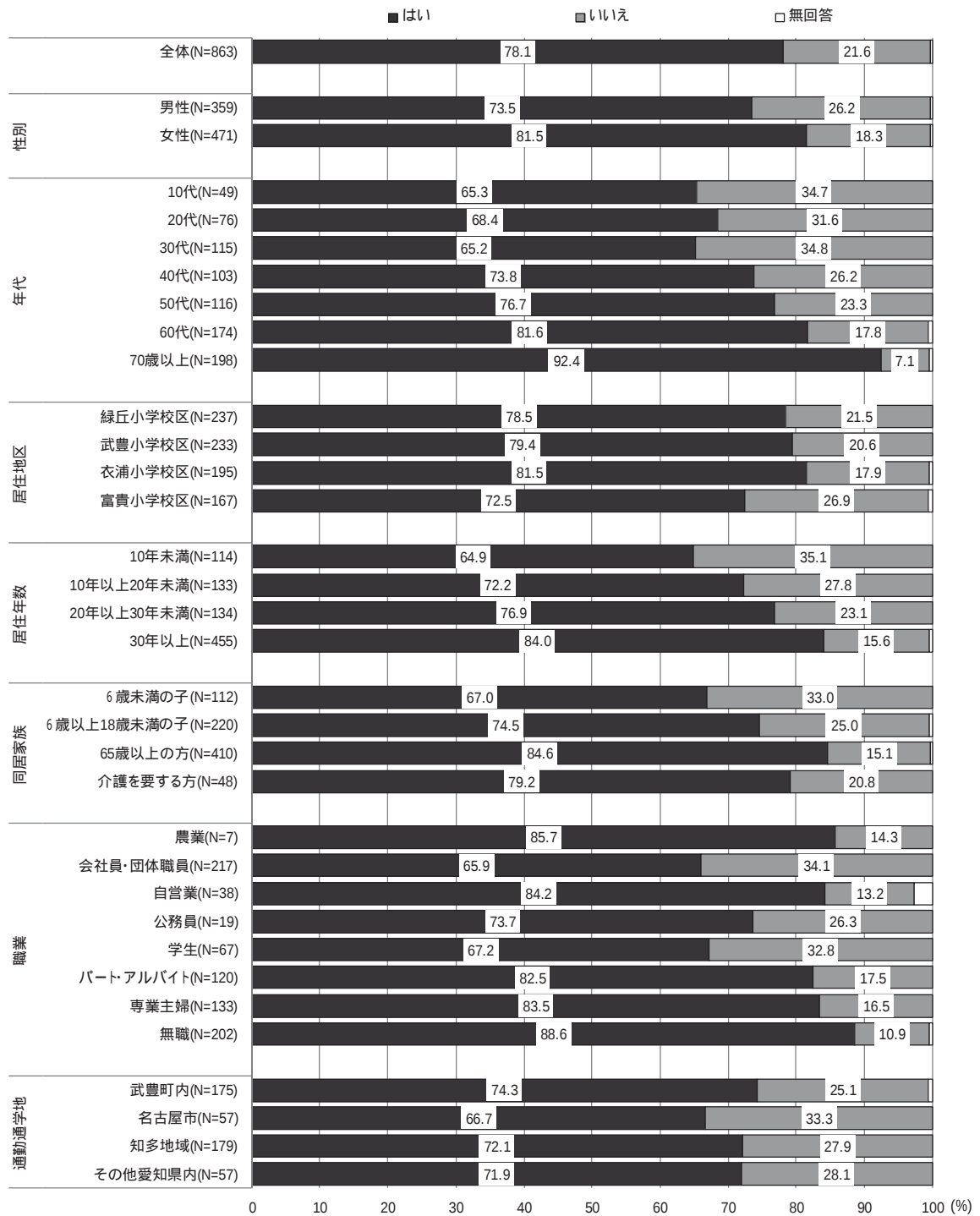


図. 食生活に満足していますか

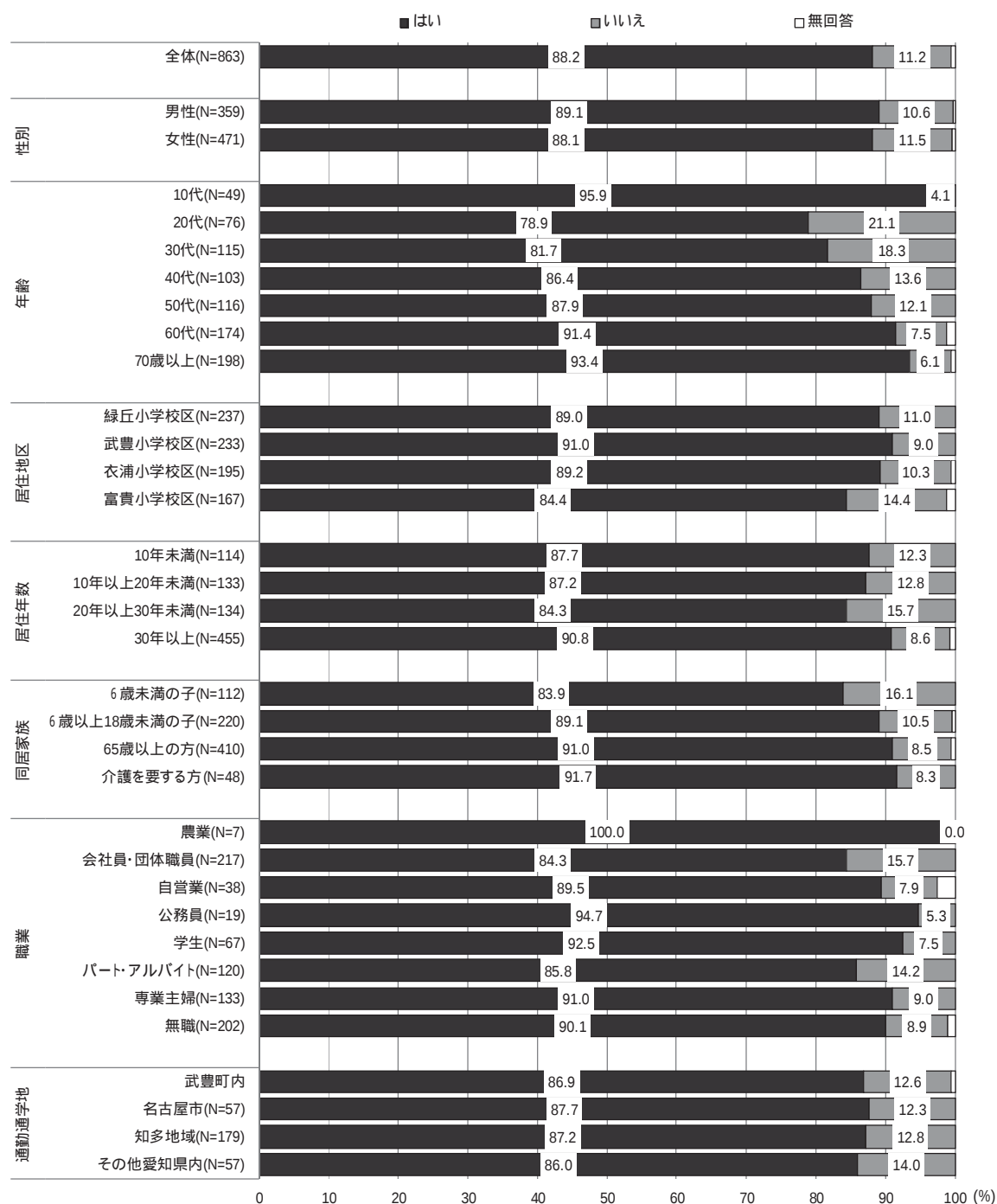


図. ご家族との関係は良好ですか

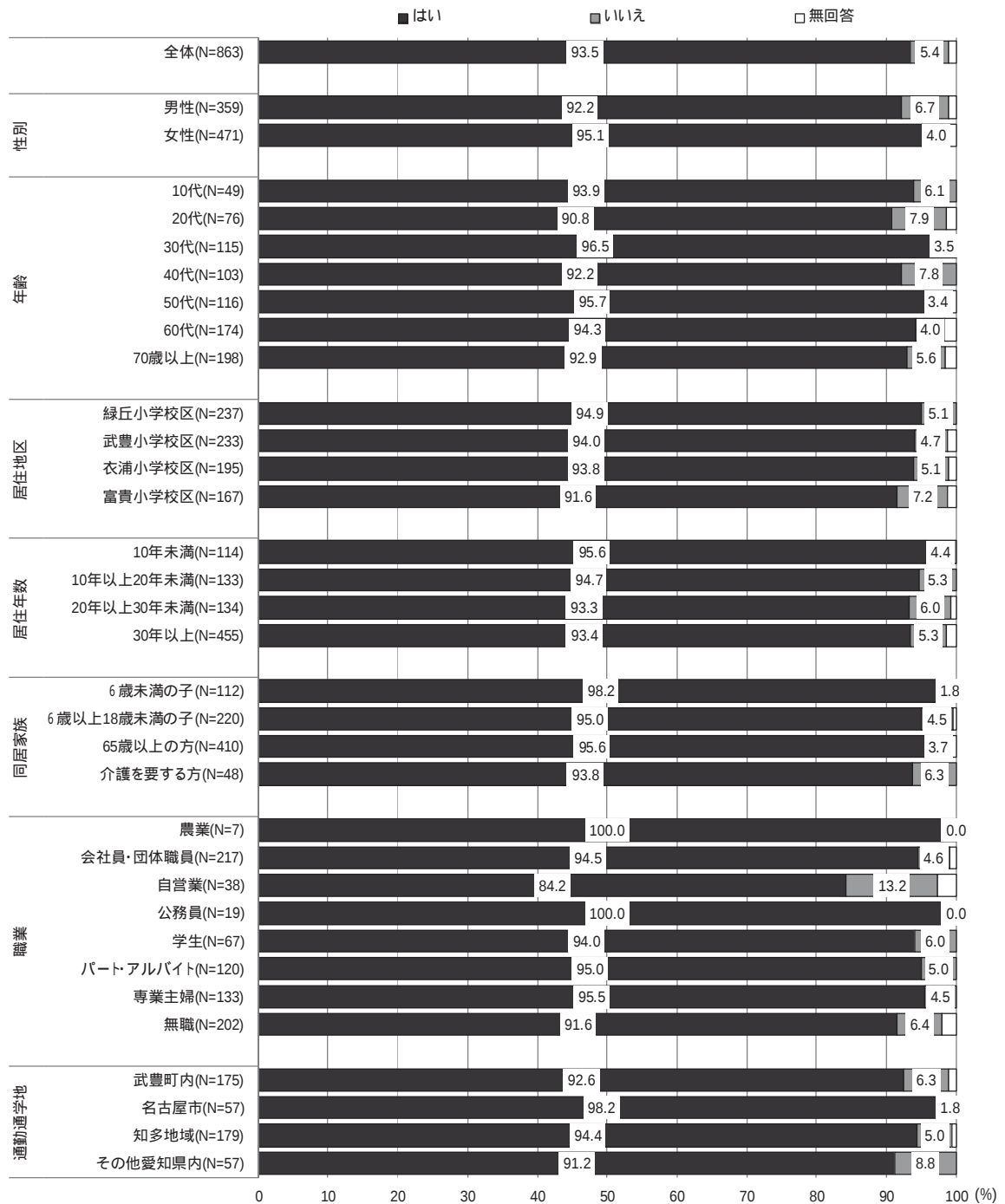


図. 日常生活のなかで近所の方との関わりはありますか

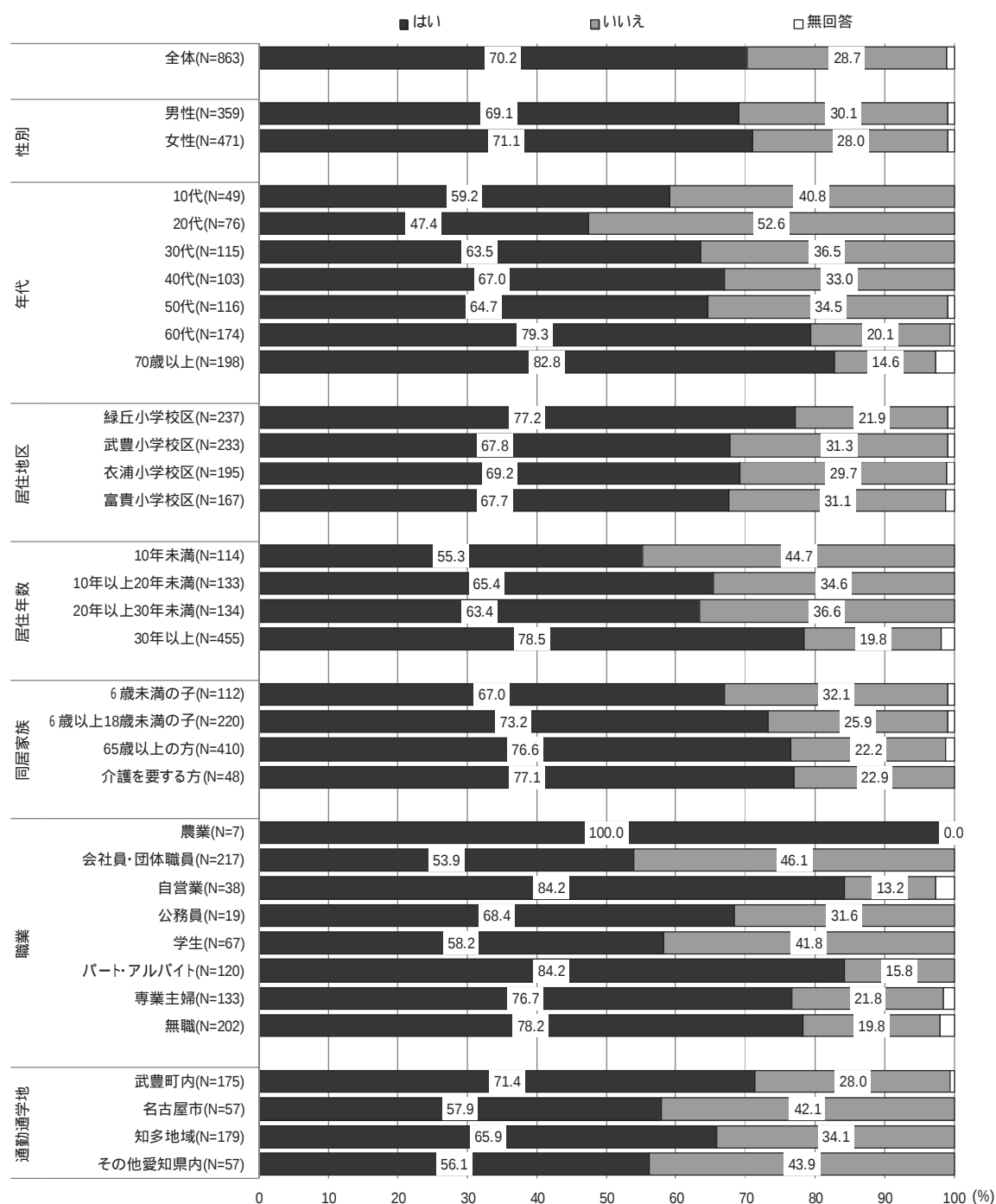


図. 人から頼りにされていると感じますか

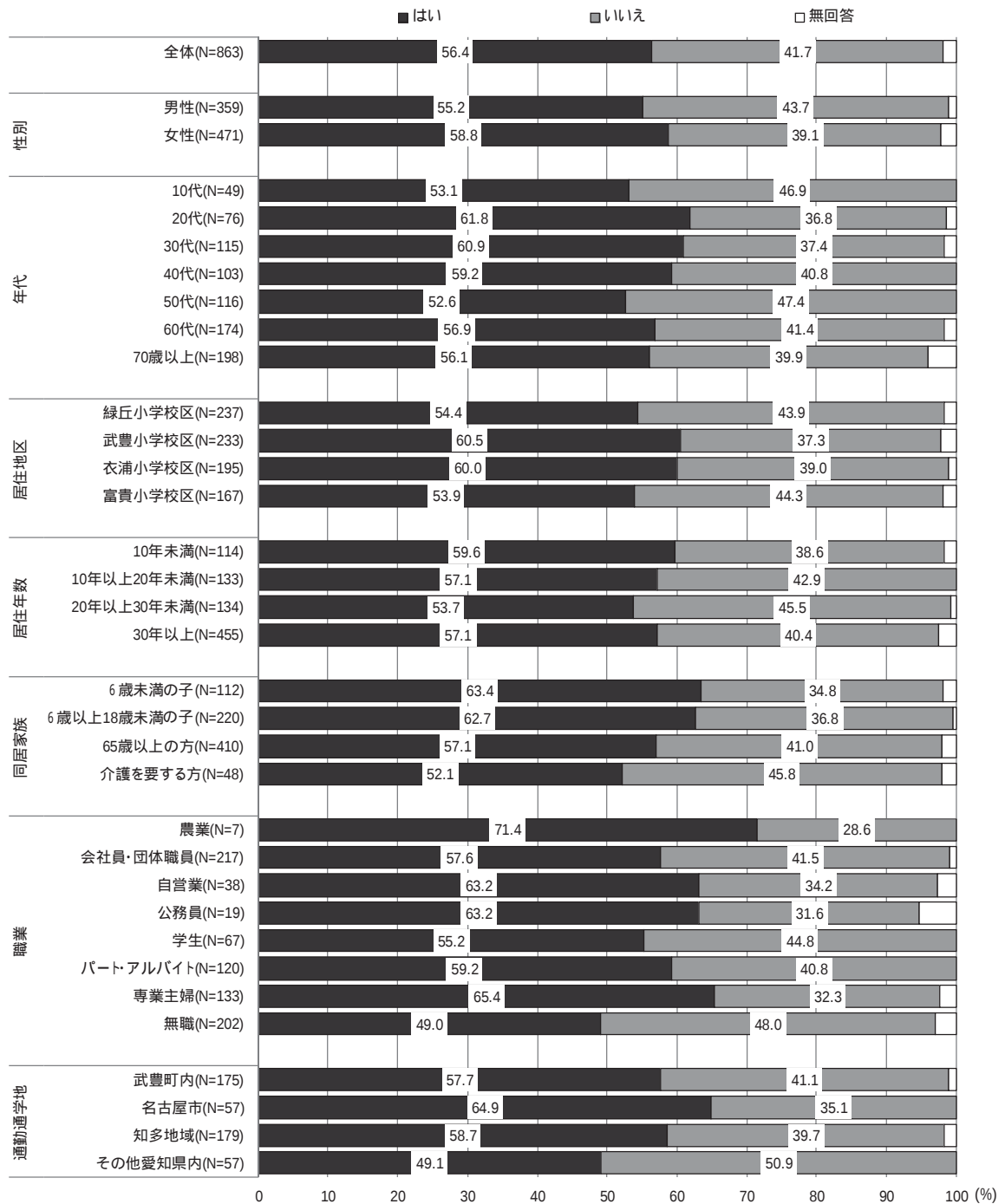


図. 自分が活躍できる場はありますか

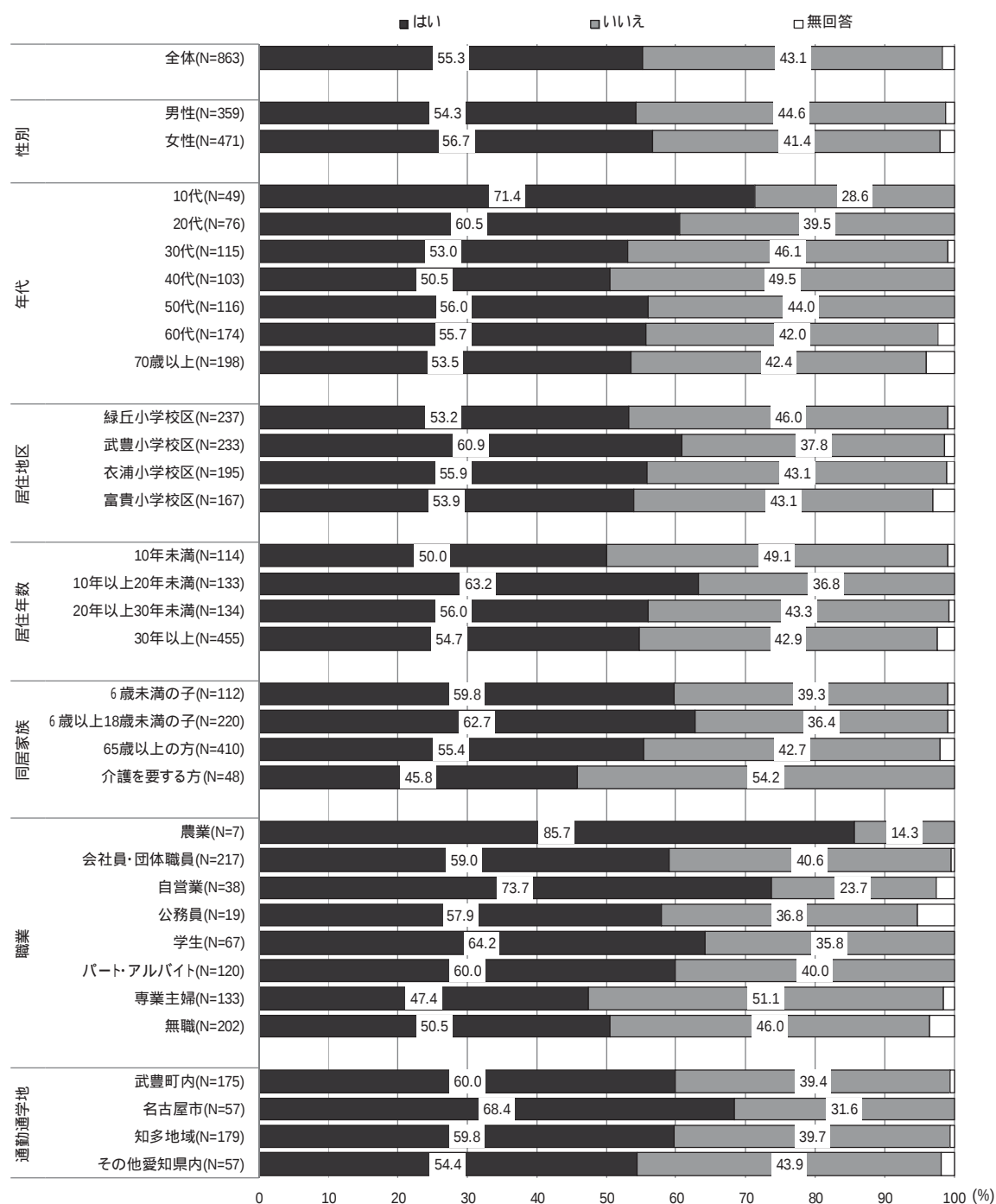


図. 他の世代の人や外国人と交流したり、ふれあうことはありますか

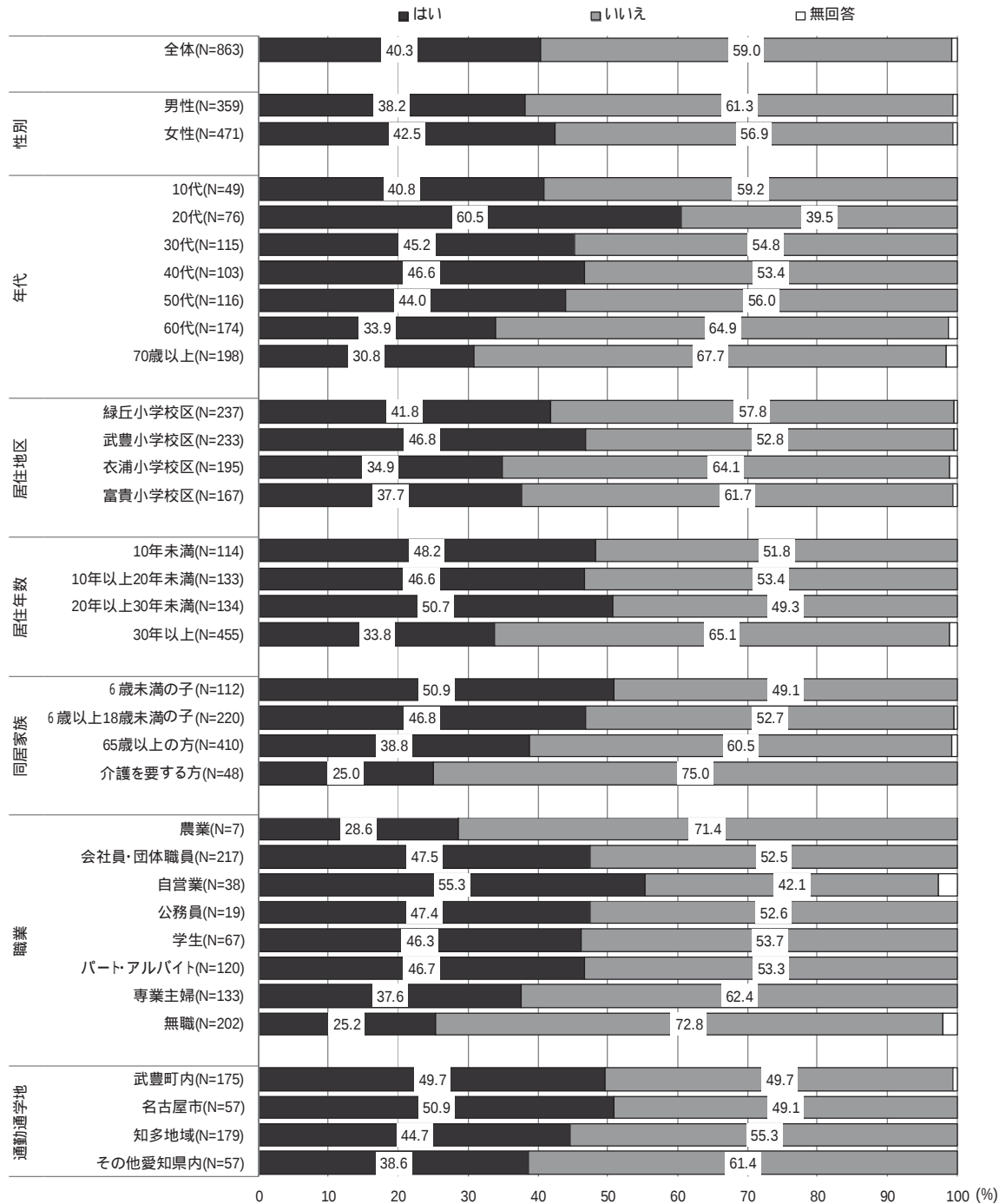


図. 健康づくりの機会や対応が充実している

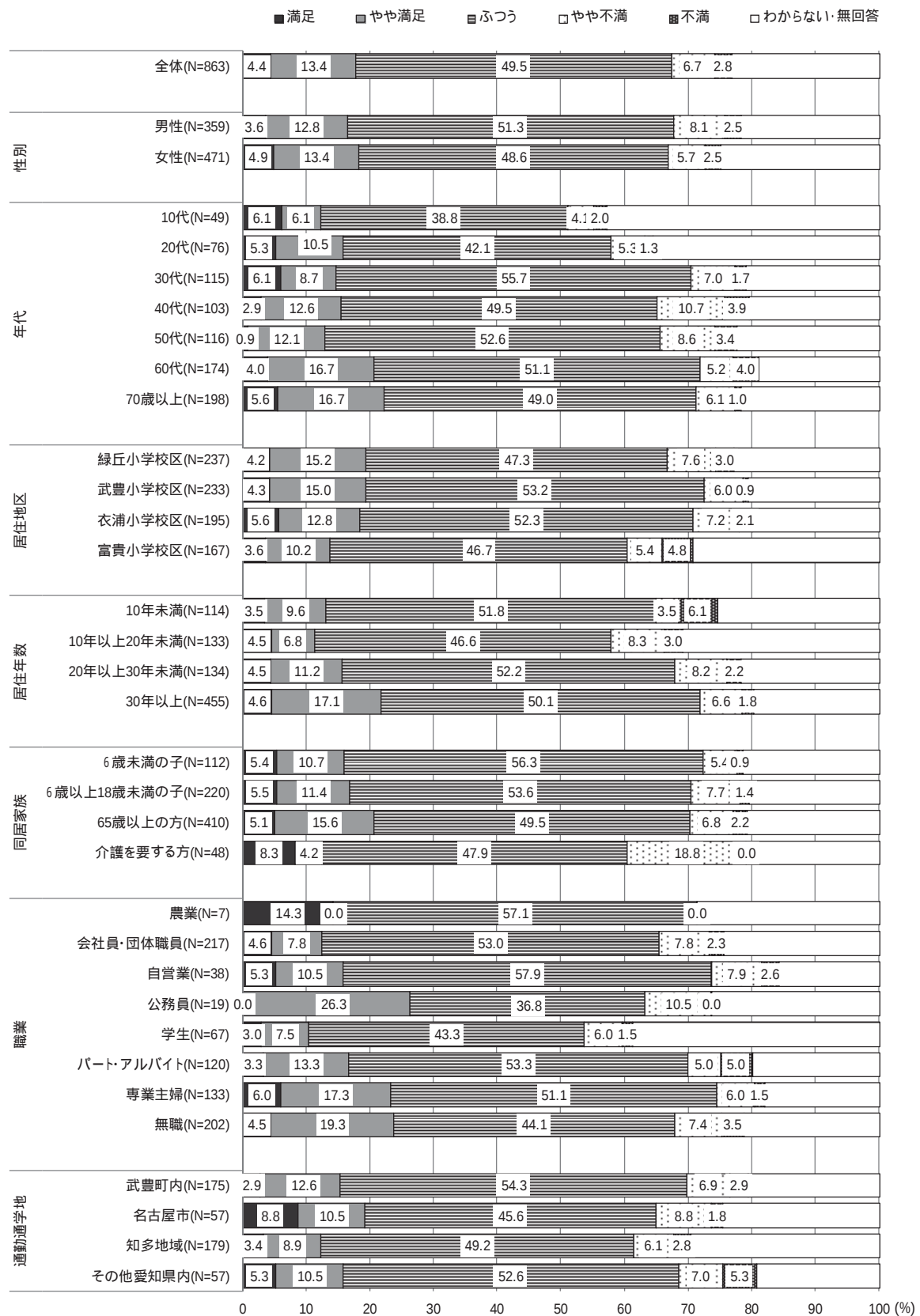


図. 病院や休日診療などを受診しやすい

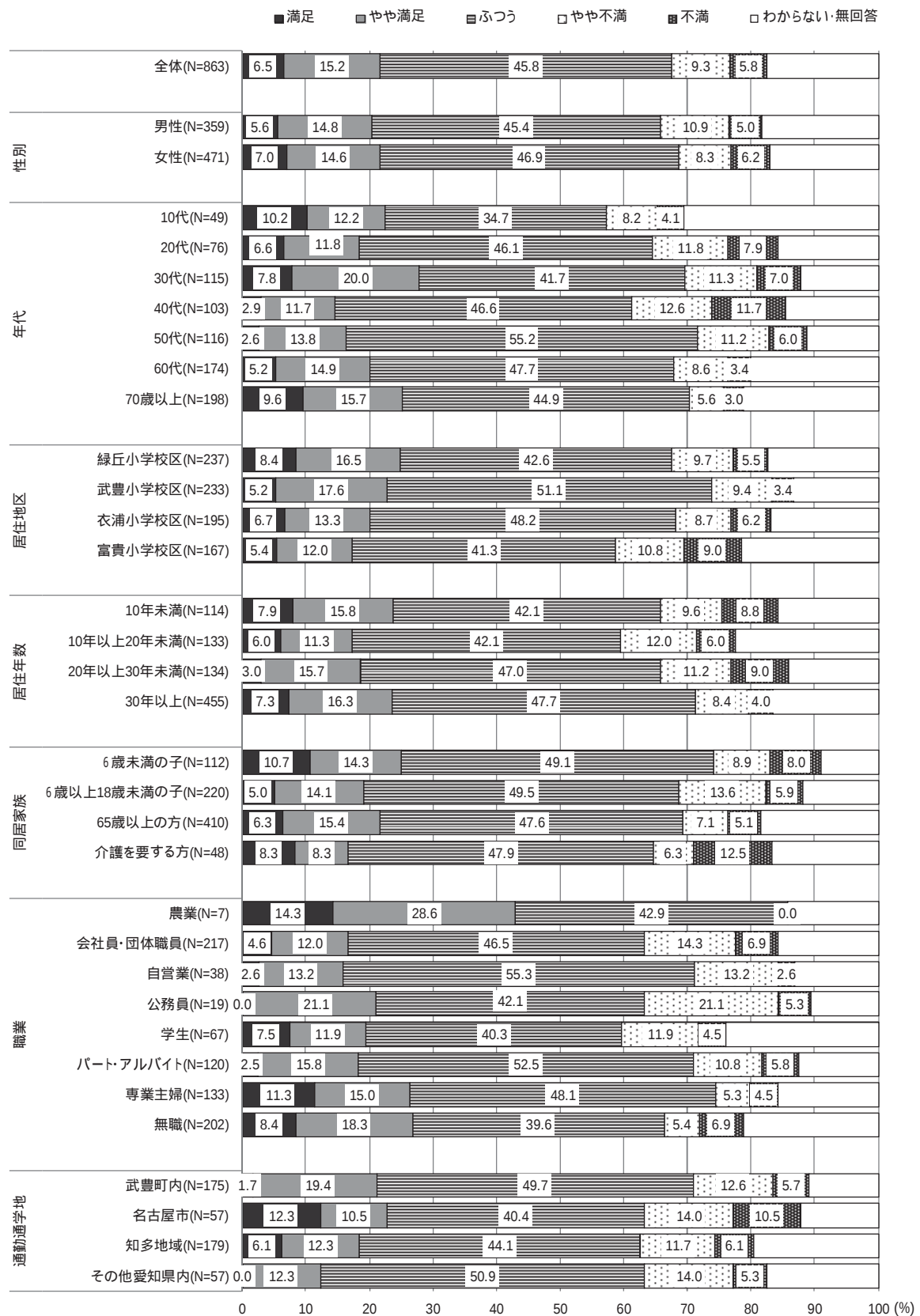


図. 困りごとに対する相談支援体制が充実している

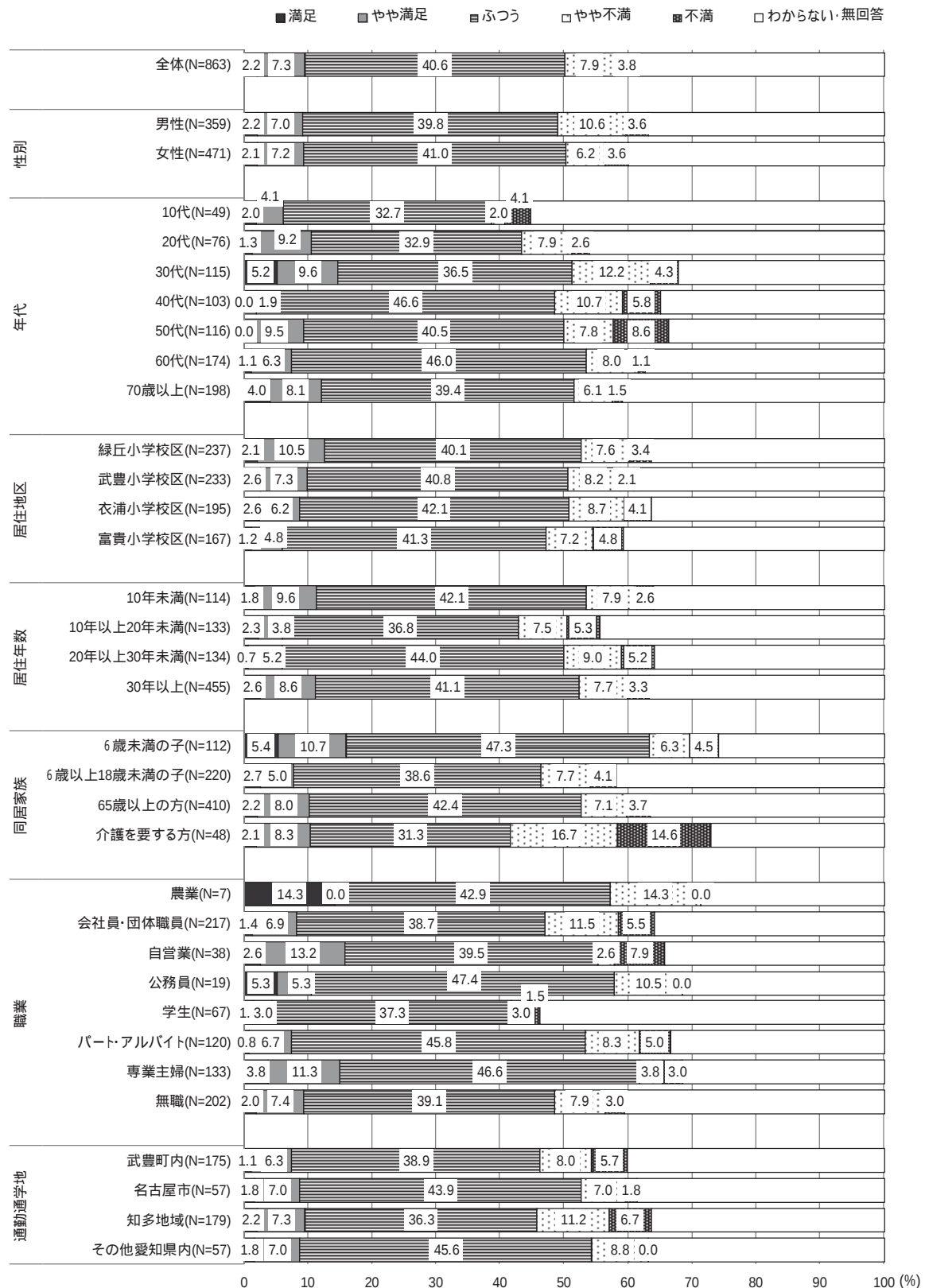


図. 地域で共に助け合い、支え合う風土がある

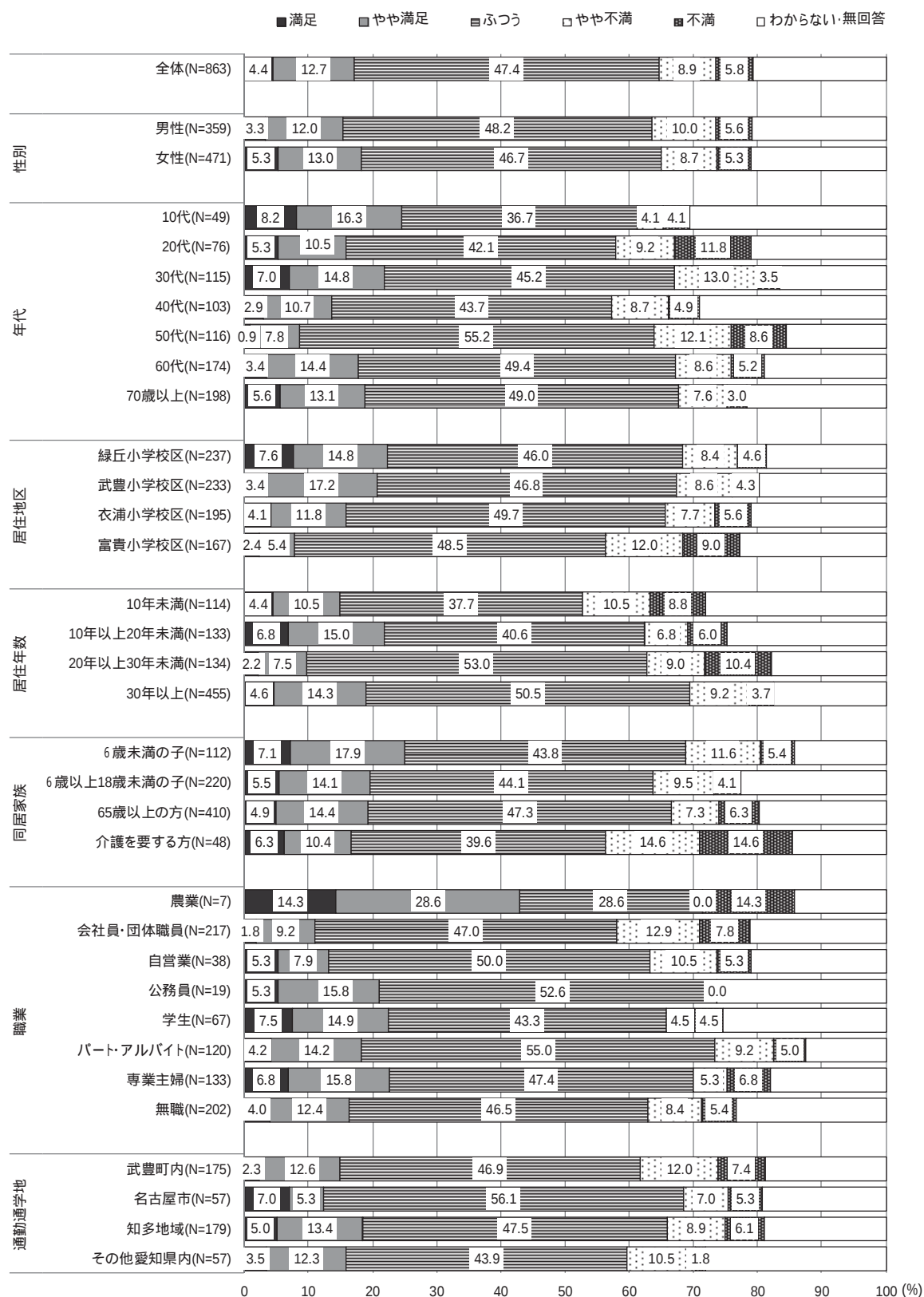
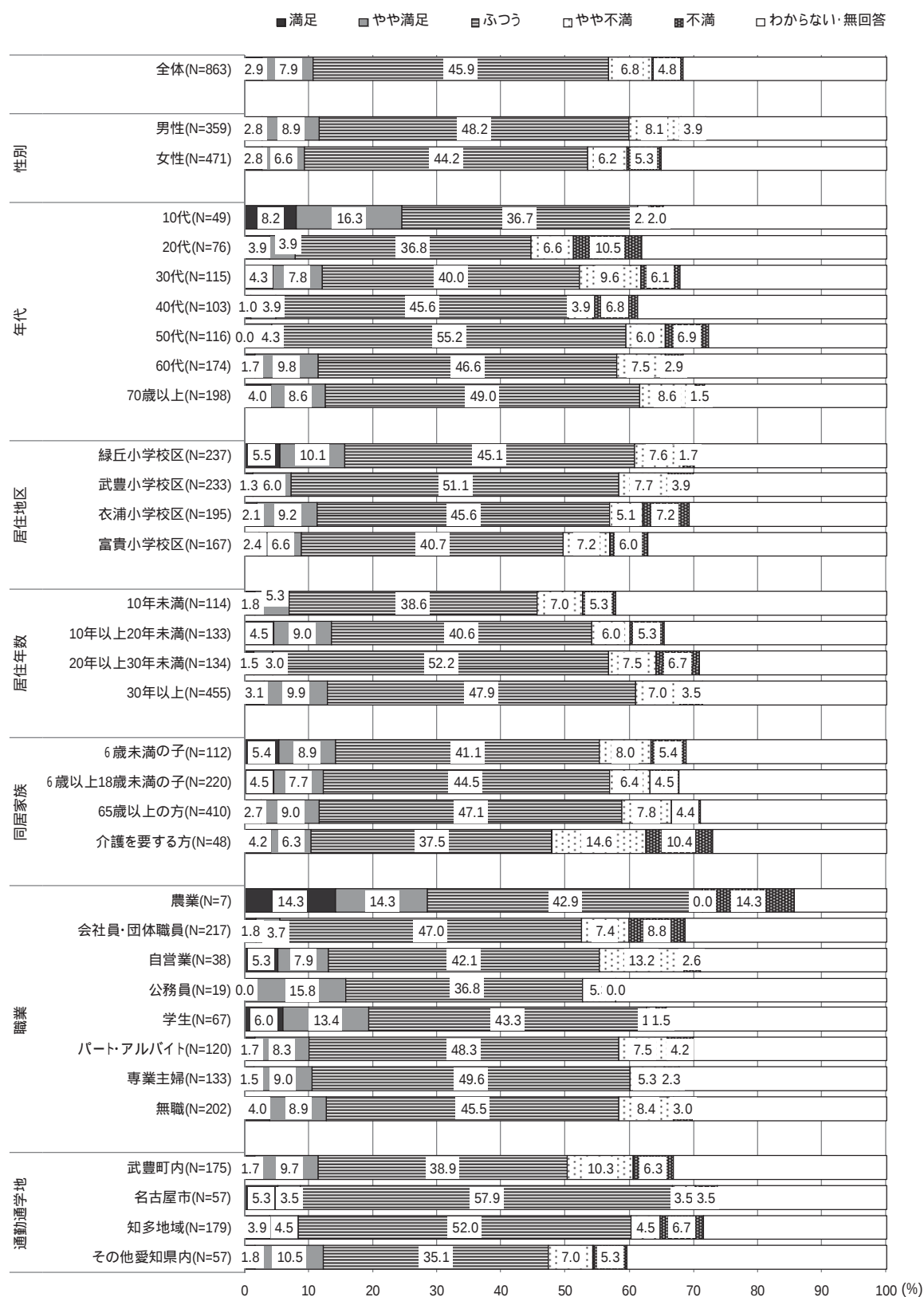


図. 男女が差別なく参画できる社会となっている



『基本目標6 自然環境と生活環境が調和したまち（生活環境）』について

図. ごみの分別をきちんとしていますか

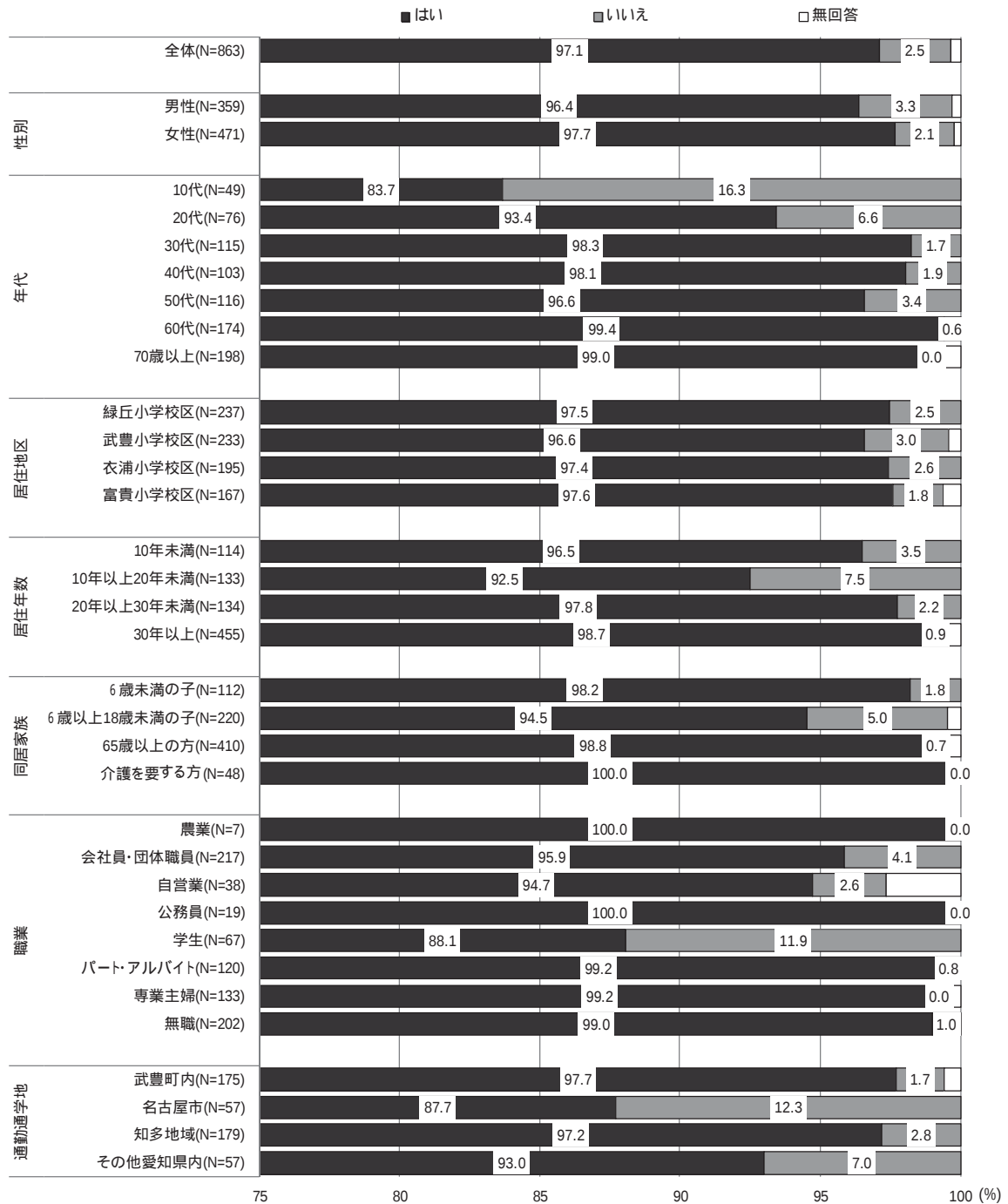


図. 省エネルギーやリサイクルに心がけていますか

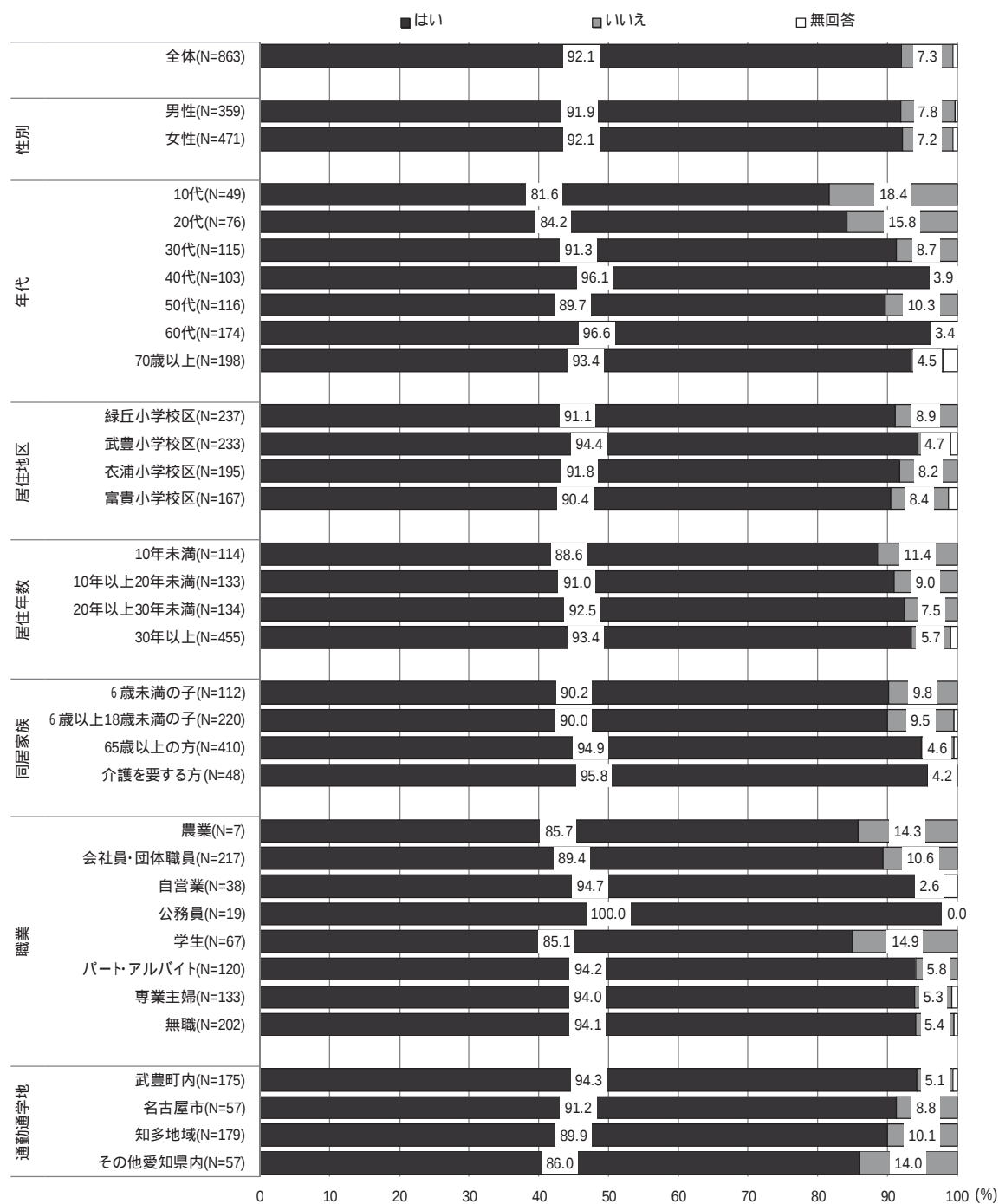


図. 水や緑などの自然を身近に感じられる

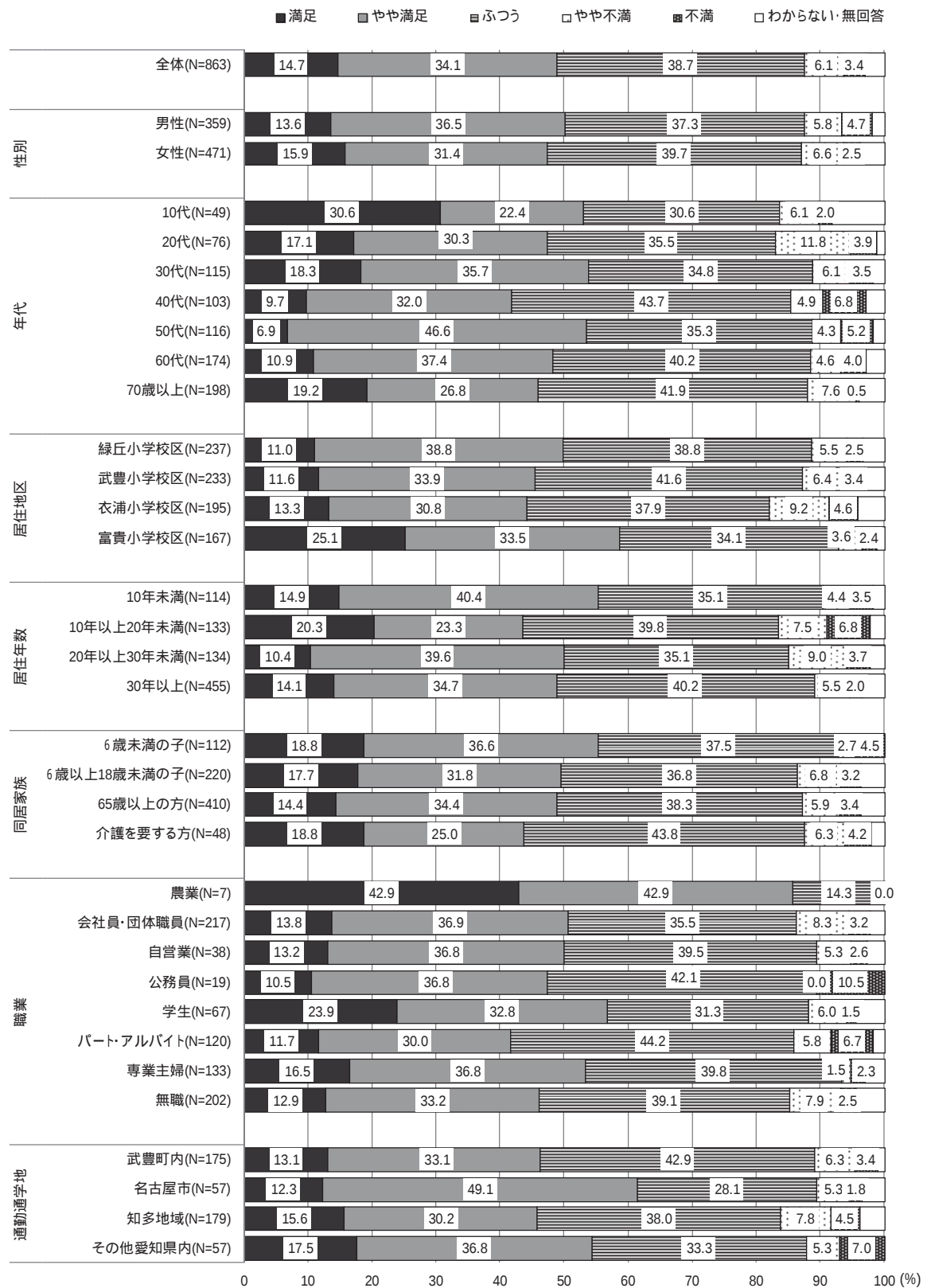
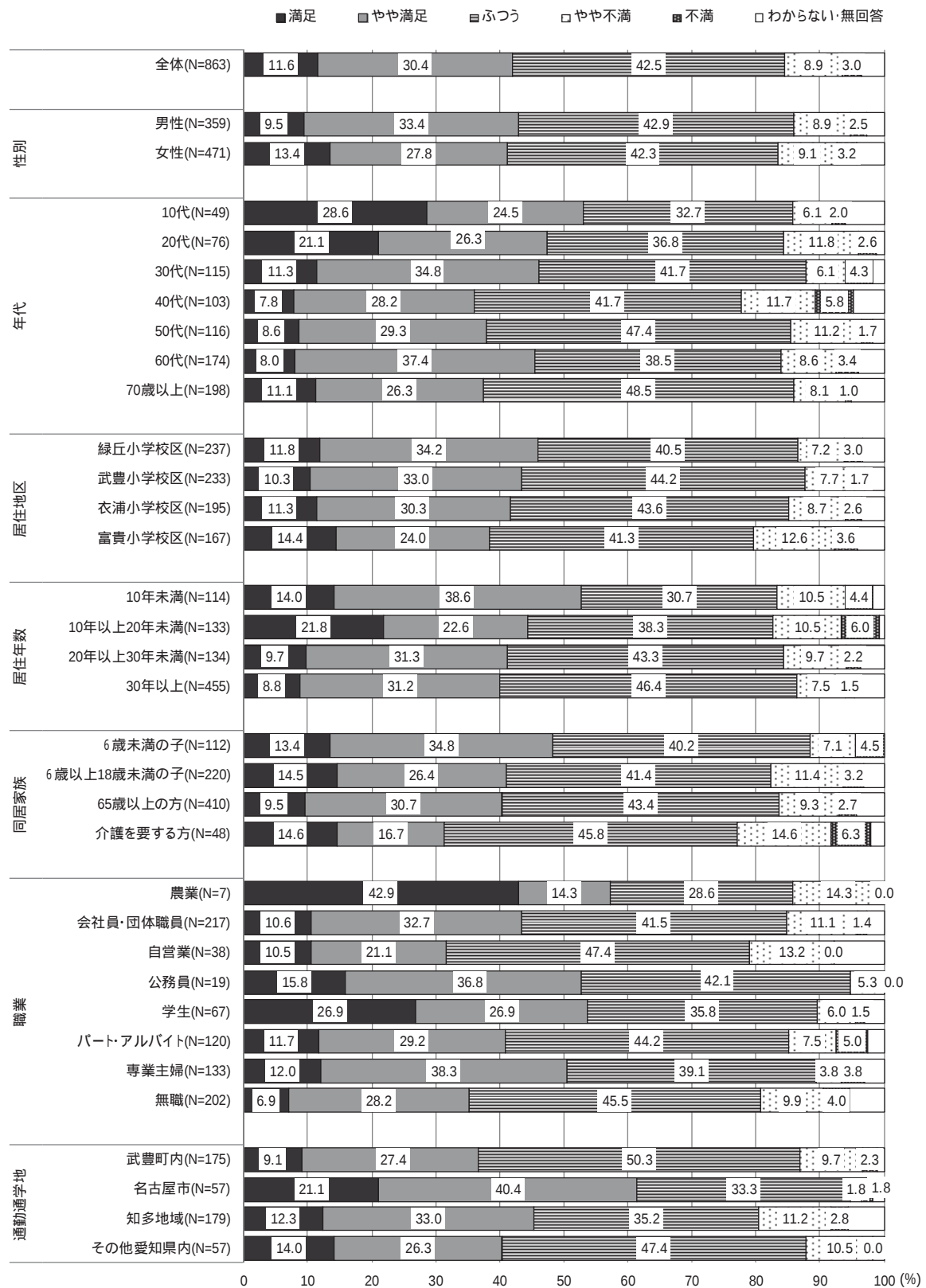


図. 暮らしやすい住環境が整っている



『基本目標7 活力に満ち誇りをもてるまち（地域活性）』について

図. 武豊町に愛着がありますか

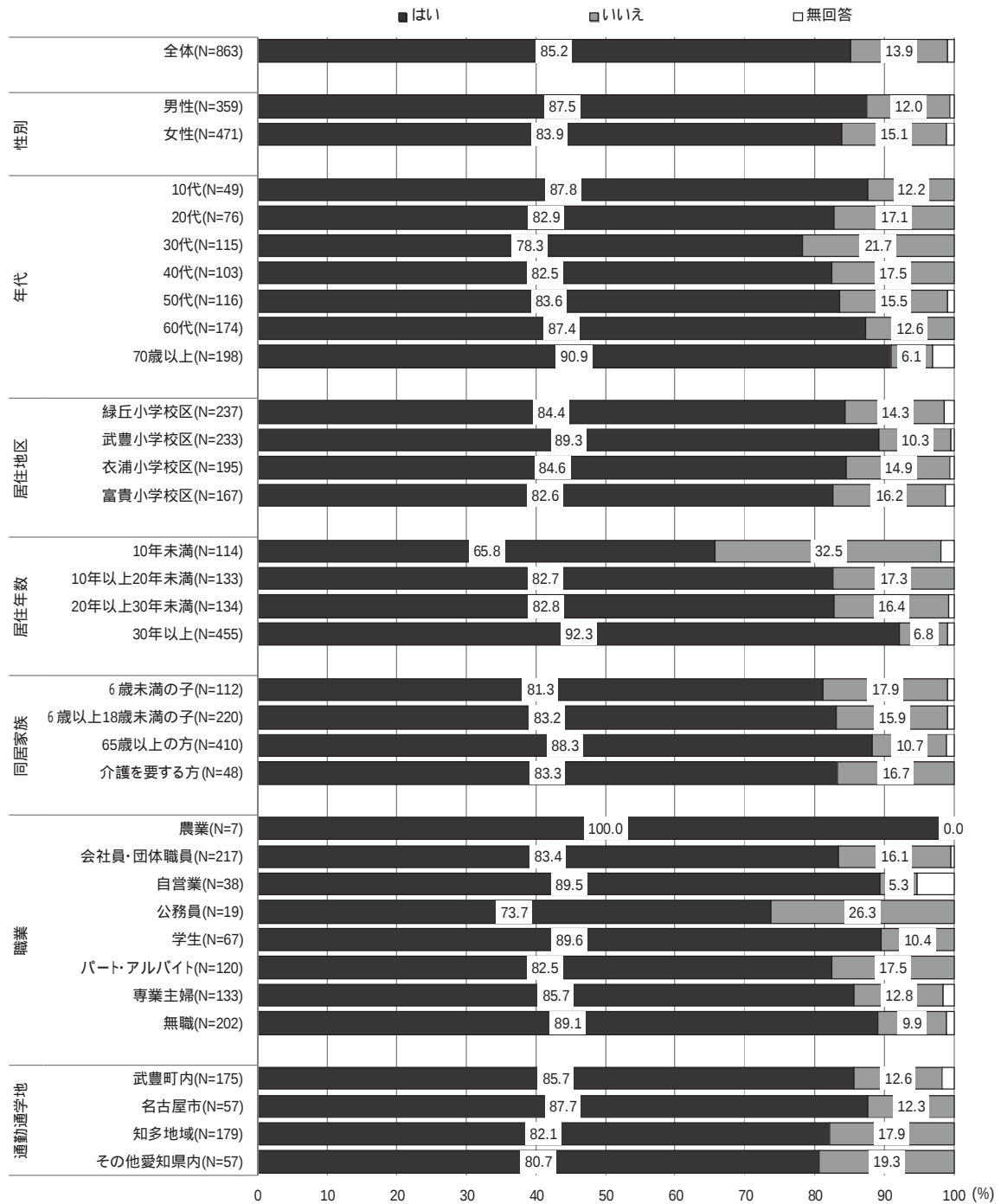


図. 武豊町に魅力や誇りを感じていますか

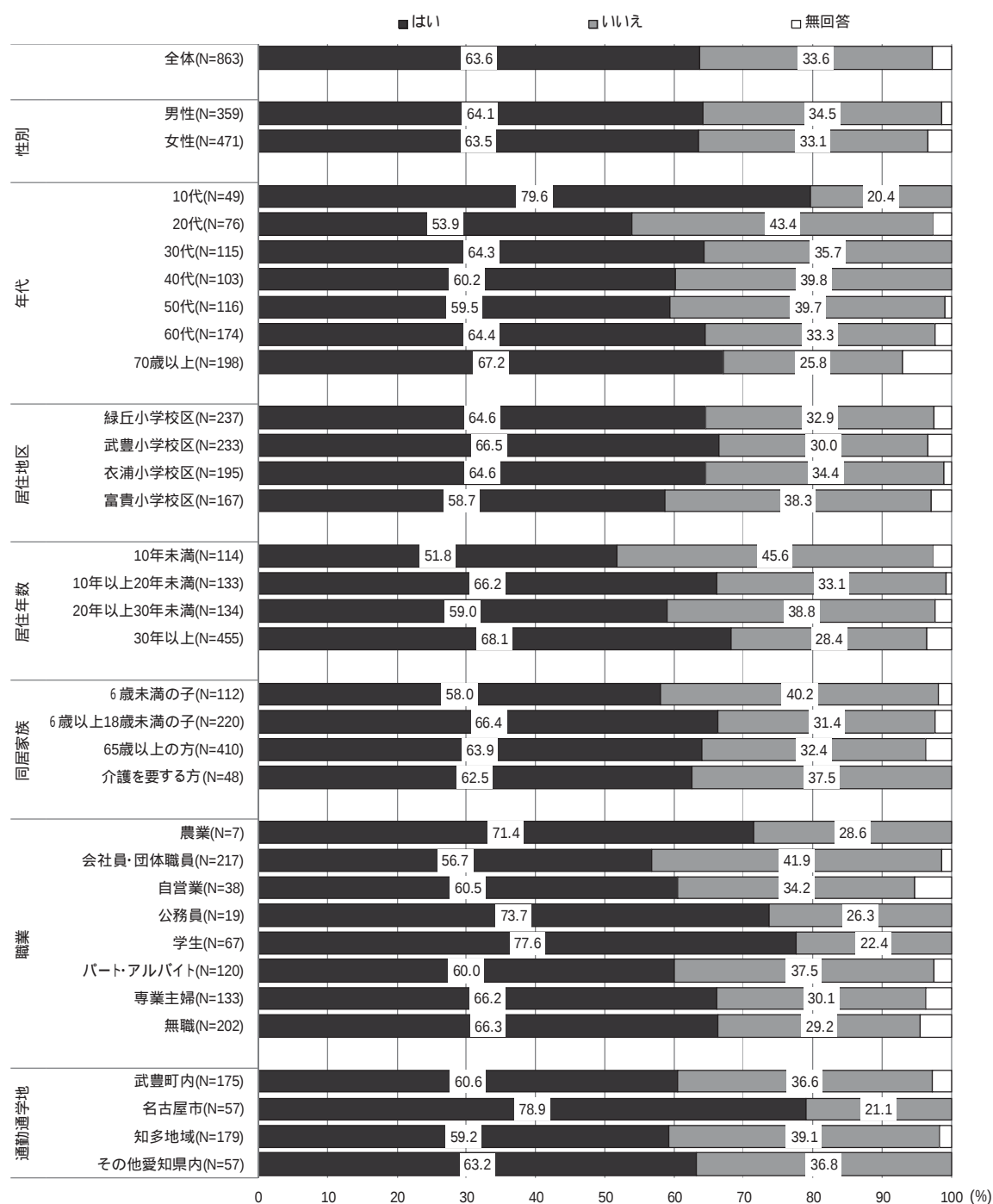


図. できるだけ地元の農畜産物を購入するようにしていますか

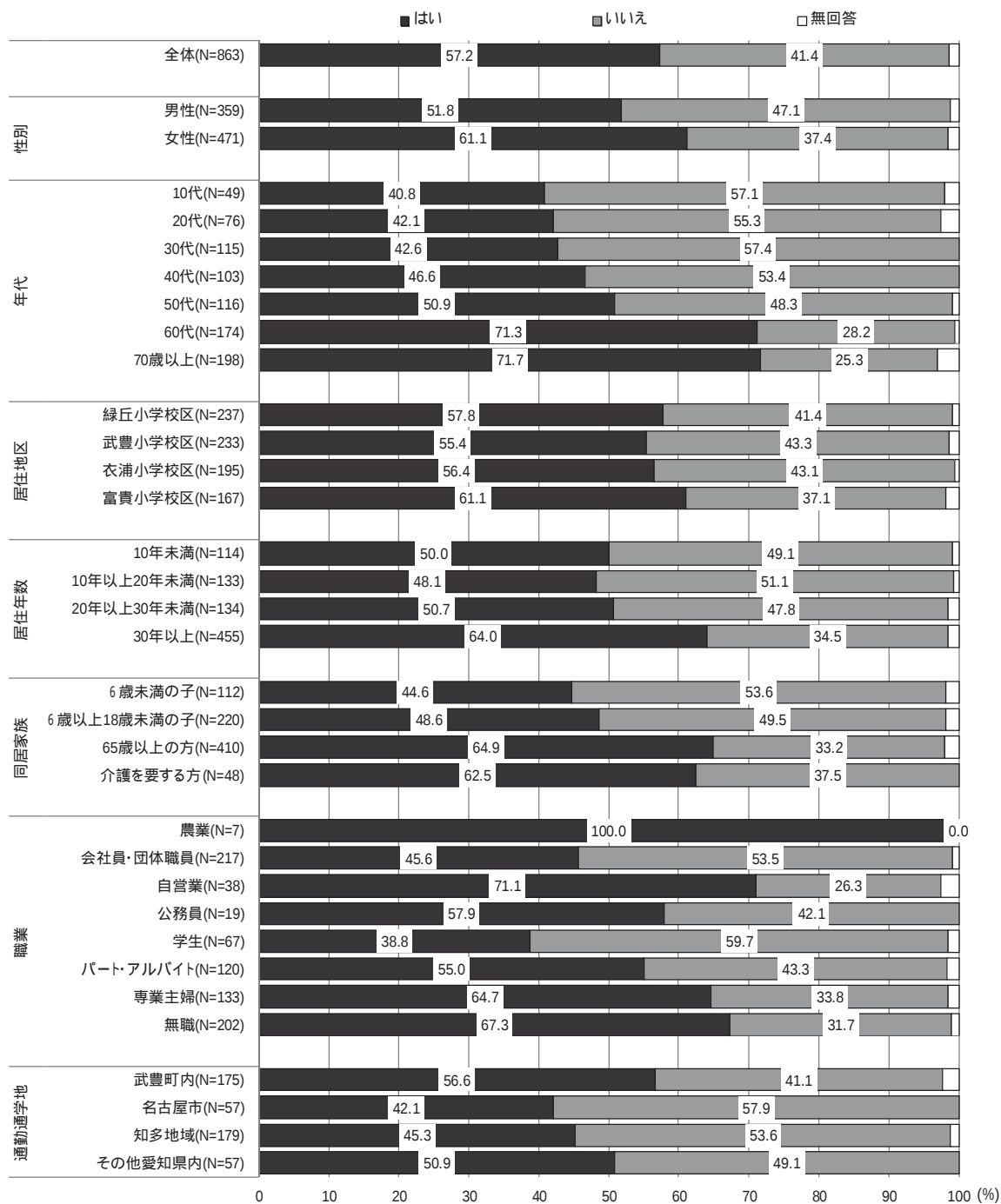
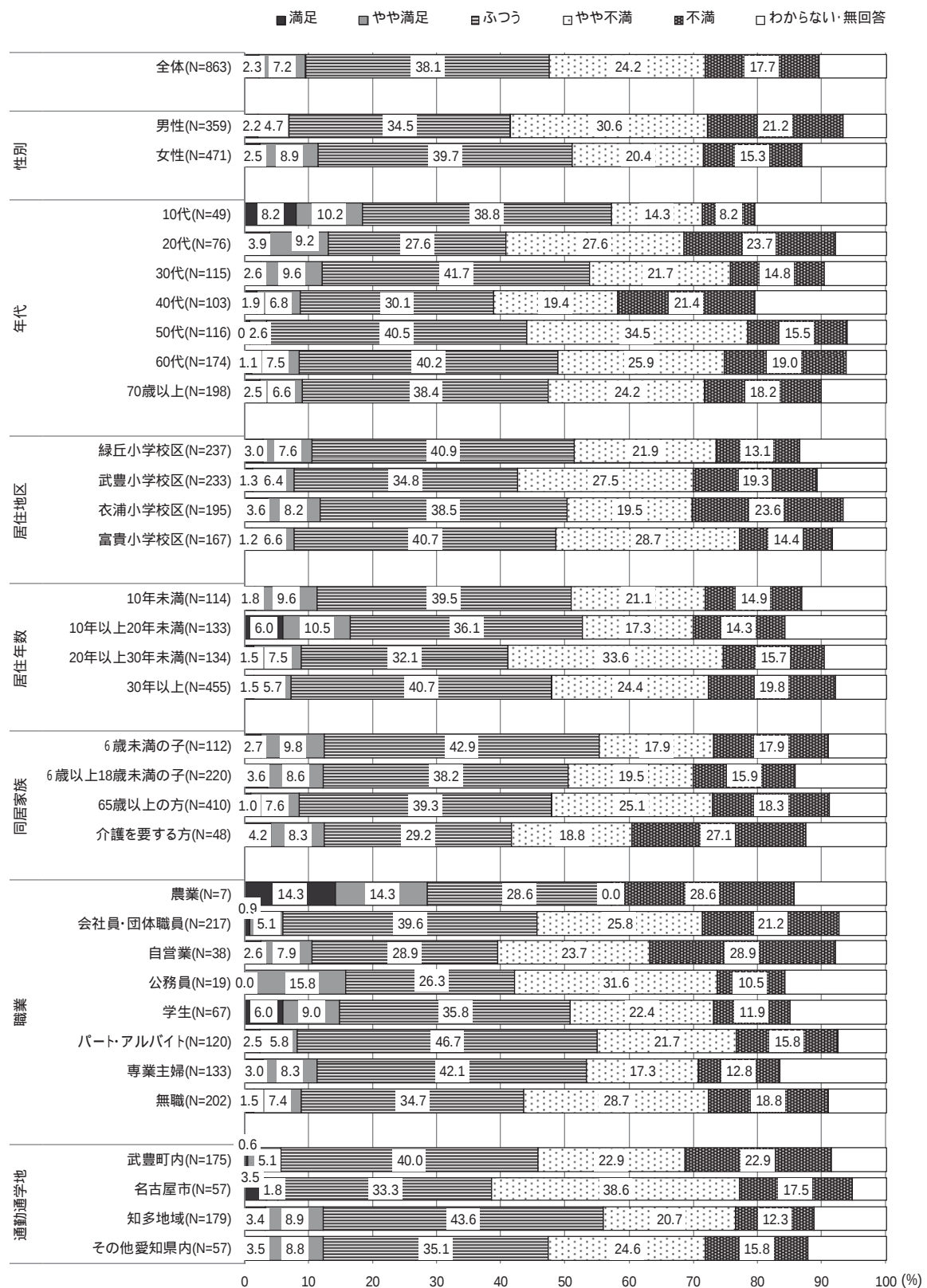


図. 町の中心部に魅力や活気がある



(4)武豊町のまちづくりに対する評価

個別施策の達成度・重要度（設問4）

第5次総合計画で取り組みを進めている22のめざすべきまちの姿について、達成度と重要度を尋ねたところ、達成率（現在、まちの姿が達成されていると思いますか「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計した値）でみると、「楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる」が42.3%と最も高く、以下、「子どもが楽しく学校生活を送っている」が40.9%、「道路や公共交通を利用して気軽に移動できる」が39.1%、「安心して子どもを生み育てることができる」が37.3%と続いており、未達成率（現在、まちの姿が達成されていると思いますか「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合を合計した値）でみると、「中心市街地がにぎやかに活気づいている」が51.7%と最も高く、以下、「徒歩や自転車で安全に道路を通行できる」が45.3%、「道路や公共交通を利用して気軽に移動できる」が26.0%、「集い・憩える魅力的な場所がある」が24.2%と続いています。

また、重要率（今後、重点的に考えていくことは重要だと思いますか「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計した値）でみると、「徒歩や自転車で安全に道路を通行できる」が73.0%と最も高く、以下、「楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる」が72.3%、「災害への備えや日常生活の安全性が確保されている」が70.3%「道路や公共交通を利用して気軽に移動できる」が69.6%、と続いています。

表. 施策の達成率・未達成率（それぞれ上位10施策）

順位	施策名	達成率	施策名	未達成率
1	楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる	42.3%	中心市街地がにぎやかに活気づいている	51.7%
2	子どもが楽しく学校生活を送っている	40.9%	徒歩や自転車で安全に道路を通行できる	45.3%
3	道路や公共交通を利用して気軽に移動できる	39.1%	道路や公共交通を利用して気軽に移動できる	26.0%
4	安心して子どもを生み育てることができる	37.3%	集い・憩える魅力的な場所がある	24.2%
5	快適で豊かな住環境が整っている	31.2%	産業が活性化している	21.9%
6	高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている	30.8%	働きながらも子育てをしやすい環境が整っている	18.8%
7	災害への備えや日常生活の安全性が確保されている	29.9%	環境へ負荷をかけない生活環境になっている	17.4%
8	誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できる	29.6%	みんなが自然環境を大切にしている	17.3%
9	みんなが自然環境を大切にしている	29.5%	情報が相互に発信されている	17.2%
10	地域活動が活発に行われている	28.7%	誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できる	17.1%

表. 施策の重要率（上位10施策）

順位	施策名	重要率	順位	施策名	重要率
1	徒歩や自転車で安全に道路を通行できる	73.0%	6	子どもが楽しく学校生活を送っている	66.7%
2	楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる	72.3%	7	安心して子どもを生み育てることができる	66.3%
3	災害への備えや日常生活の安全性が確保されている	70.3%	8	働きながらも子育てをしやすい環境が整っている	66.1%
4	道路や公共交通を利用して気軽に移動できる	69.6%	9	みんなが自然環境を大切にしている	64.0%
5	高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている	67.8%	10	快適で豊かな住環境が整っている	63.2%

図. 施策に対する達成度評価

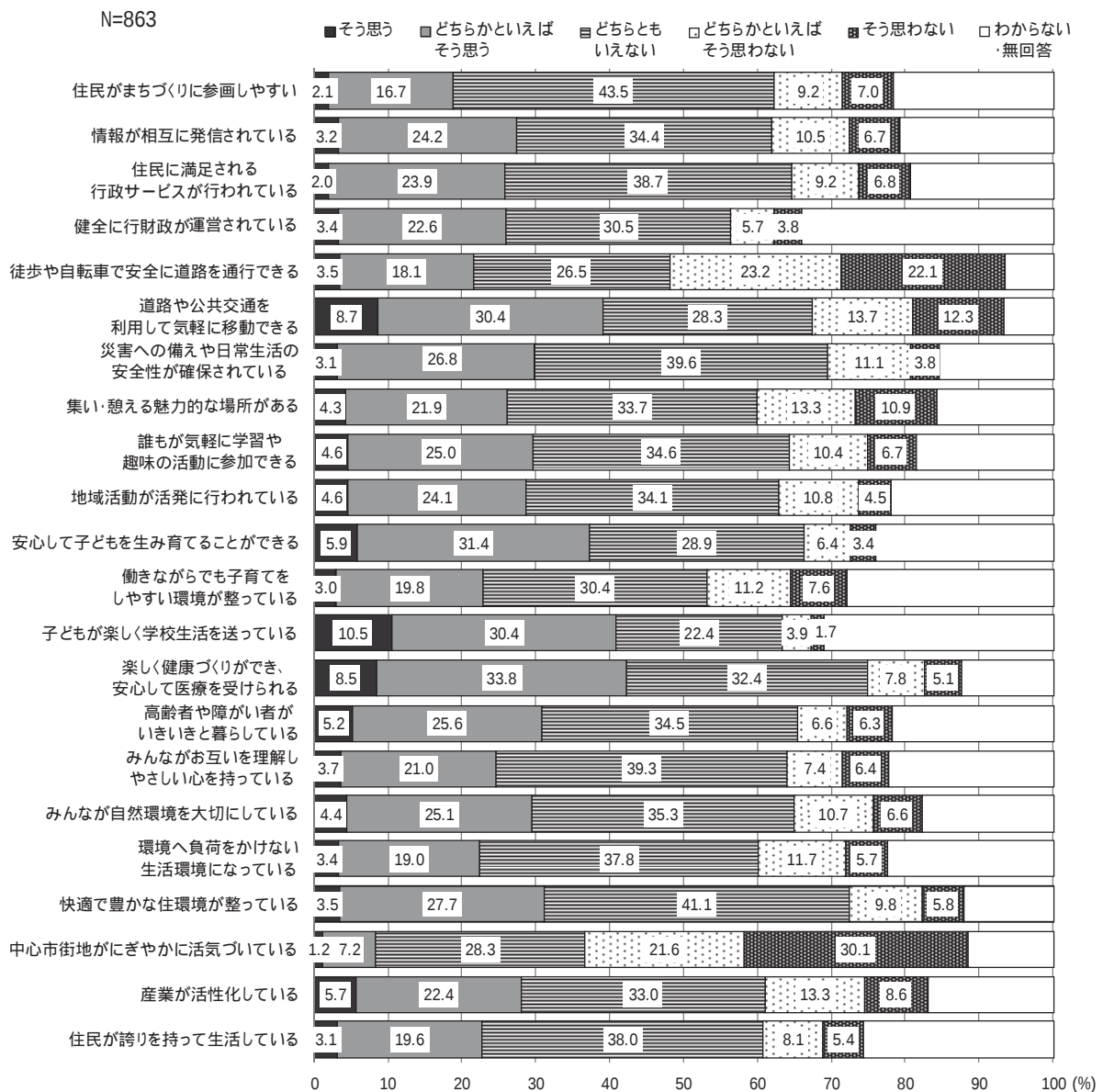
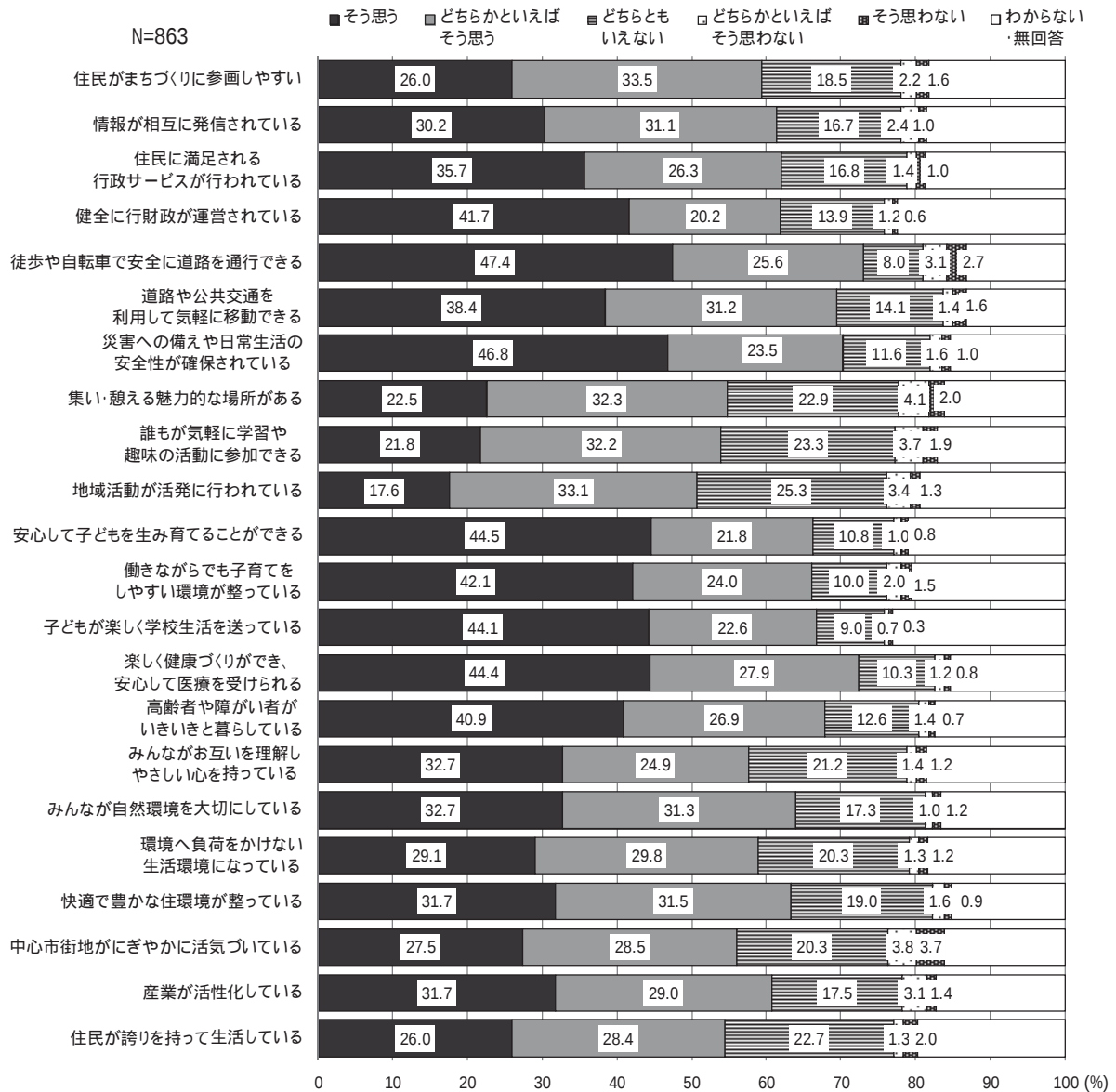


図. 施策に対する重要度評価



個別施策の達成度指数・重要度指数（設問４）

施策に対する「現在までの達成度」と「今後に向けた重要度」を一層明確化するため、「達成度指数」と「重要度指数」を設定します。指数は、次の表に示した算出式により施策ごとの各回答者の評価を点数化し、全回答者の平均値として算出します。

表．達成度指数と重要度指数の算出方法

評価区分		点 数	算 出 式 (達成度指数の算出式を例示します。重要度指数も同様)
達成度	重要度		
そう思う	そう思う	+100	$M_i = (A_{i5} \times 100 + A_{i4} \times 50 - A_{i2} \times 50 - A_{i1} \times 100) / A_i$ M_i ：施策 i の達成度指数 A_i ：施策 i の回答者数（無回答を除く） A_{i5} ：施策 i を「そう思う」と評価した回答者数 A_{i4} ：施策 i を「どちらかといえばそう思う」と評価した回答者数 A_{i2} ：施策 i を「どちらかといえばそう思わない」と評価した回答者数 A_{i1} ：施策 i を「そう思わない」と評価した回答者数
どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思う	+50	
どちらともいえない	どちらともいえない	0	
どちらかといえばそう思わない	どちらかといえばそう思わない	-50	
そう思わない	そう思わない	-100	

※ある施策の達成度評価に対して、

- ・ 全員が「そう思う」と回答した場合、達成度指数は 100 となります。
- ・ 半分が「どちらかといえばそう思う」、半分が「どちらかといえばそう思わない」と回答した場合、達成度指数は 0 となります。
- ・ 達成度指数は、施策に対する達成度が最大るとき 100 となり、最小のとき -100 となります。また、達成と未達成の評価が等しいときに 0 となります。

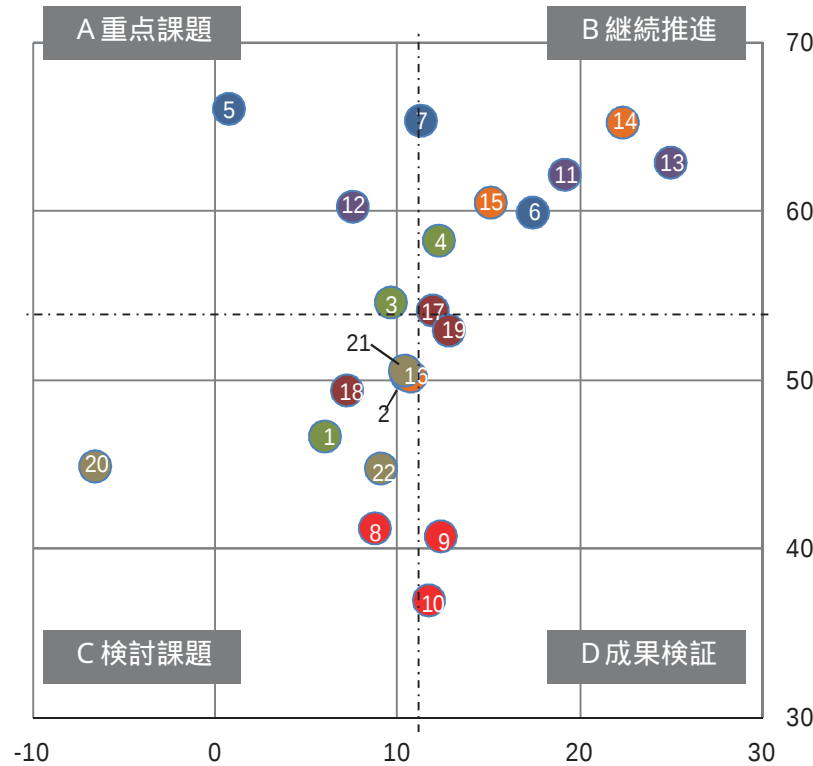
達成度指数を X 軸、重要度指数を Y 軸とするグラフ上に各施策の指数を描画すると次ページの図となります。全施策について達成度指数の平均値は「11.2」、重要度指数の平均値は「53.5」であり、この平均値で区分される 4 つの領域のどこに位置しているかで各施策を評価します。各領域の定義は次のとおりです。

表．達成度指数と重要度指数による施策評価の考え方

重要度指数	A 重点課題 達成度：平均未満 重要度：平均以上 この区分の施策は、重要性の認識は高いが、取り組みに対する達成度は低く、他区分の施策に優先した重点的な対応が望まれます。	B 継続推進 達成度：平均以上 重要度：平均以上 この区分の施策は、重要性の認識も取り組みに対する達成度もともに高く、現在の水準を下げないように継続的な対応が望まれます。
	C 検討課題 達成度：平均未満 重要度：平均未満 この区分の施策は、重要性の認識が低く、取り組みに対する達成度も低く、必要性の検証や施策内容の見直しなどを検討し適切な対応が望まれます。	D 成果検証 達成度：平均以上 重要度：平均未満 この区分の施策は、重要性の認識は低いが、取り組みに対する達成度は高く、一定成果を遂げているため、必要性を検証し適切な対応が望まれます。
達成度指数		

「A 重点課題」である重要度指数が高く達成度指数が低い施策、すなわち重点的な対応が望まれると想定される施策として、「住民に満足される行政サービスが行われている」「徒歩や自転車で安全に道路を通行できる」「働きながらも子育てをしやすい環境が整っている」、の3施策があげられます。

図. 達成度指数と重要度指数による散布図



基本 目標 1	1	住民がまちづくりに参画しやすい	基本 目標 4	11	安心して子どもを産み育てることができる
	2	情報が相互に発信されている		12	働きながらも子育てをしやすい環境が整っている
	3	住民に満足される行政サービスが行われている		13	子どもが楽しく学校生活を送っている
	4	健全に行財政が運営されている		14	楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる
基本 目標 2	5	徒歩や自転車で安全に道路を通行できる	基本 目標 5	15	高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている
	6	道路や公共交通を利用して気軽に移動できる		16	みんながお互いを理解しやすい心を持っている
	7	災害への備えや日常生活の安全性が確保されている		17	みんなが自然環境を大切にしている
基本 目標 3	8	集い・憩える魅力的な場所がある	基本 目標 6	18	環境へ負荷をかけない生活環境になっている
	9	誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できる		19	快適で豊かな住環境が整っている
	10	地域活動が活発に行われている		20	中心市街地がにぎやかに活気づいている
			基本 目標 7	21	産業が活性化している
				22	住民が誇りを持って生活している

(5)幸福度

現在の幸福感（設問5）

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか?』と尋ねたところ、「8点」が最も多くなっており、平均は7.0点となっています。

前回調査に比べて、平均は変化していません。

性別	男性の平均が6.8点であるのに対し、女性の平均が7.1点とやや高くなっています。
年代	30代が平均7.4点で他の年代に比べて高くなっています。
居住地区	居住地区では、大きな差は見られません。
居住年数	居住年数では、大きな差は見られません。
同居家族	6歳未満の子がいる世帯の平均が7.7点と高く、6歳以上18歳未満の子がいる世帯の平均も7.3点と、いずれも全体の平均値を上回っており、子どもがいる世帯の幸福感が高い傾向がうかがえます。
職業	農業の平均が7.6点、公務員の平均が7.5点と、他の職業に比べて高くなっています。
通勤通学地	名古屋市が平均7.5点と、他に比べて高くなっています。

図. 現在の幸福感

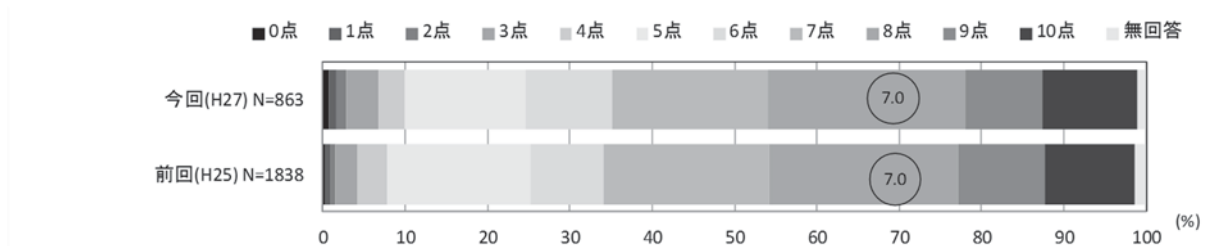
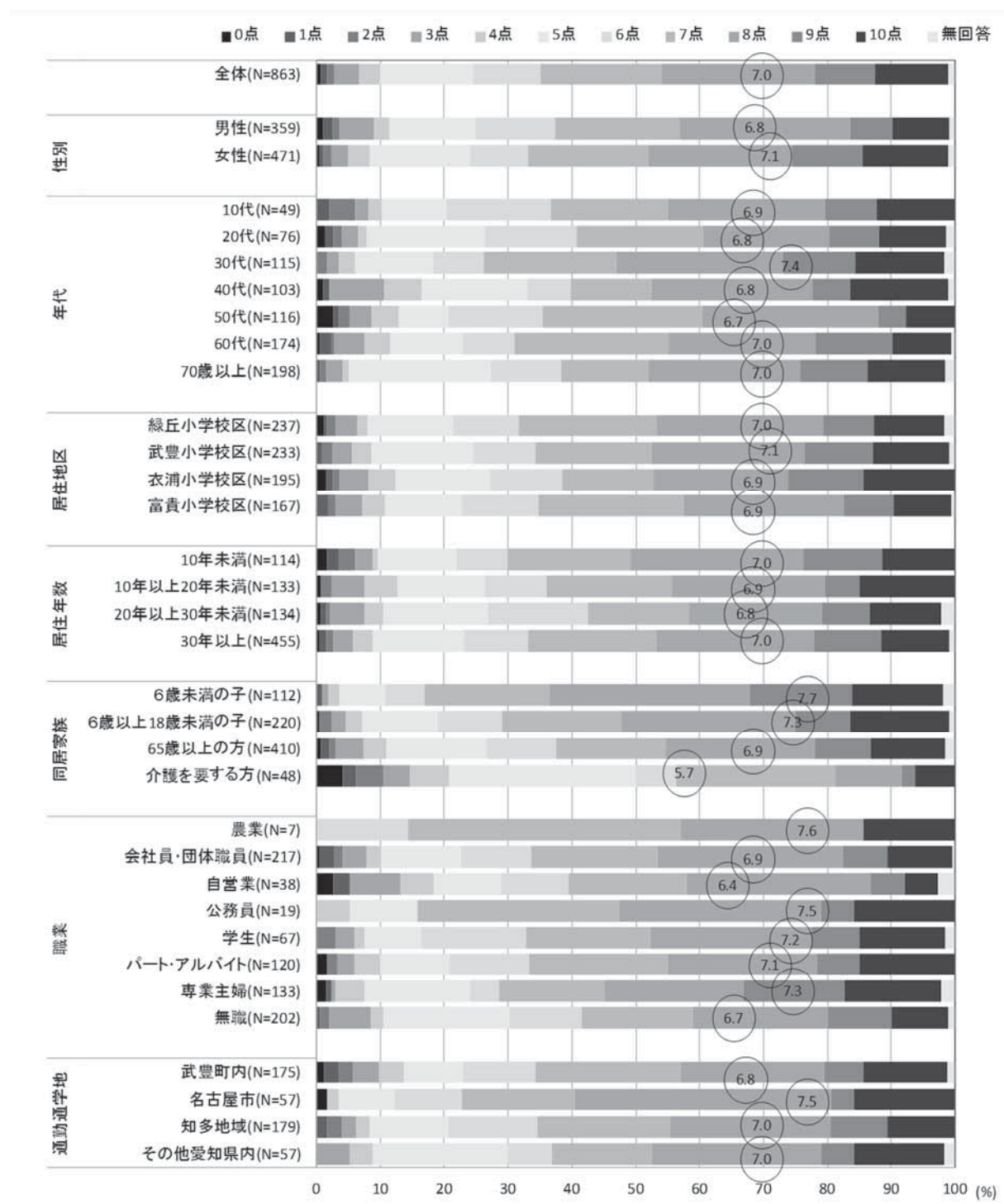


図. 現在の幸福感



5 年前と比べた幸福感の変化（設問 6）

『5 年前と比べて、あなたの幸福感に変化はありますか？』と尋ねたところ、「より幸せになった」が 25.1%、「変わらない」が 65.5%、「より不幸になった」が 8.6%となっており、幸福感が増した人の方が多くなっています。前回調査に比べて、「より不幸になった」が減っています。

以下、回答者の属性別に「より幸せになった」の回答割合で傾向を分析します。

性別	性別では、大きな差は見られません。
年代	20 代と 30 代で約 5 割と、他の年代に比べて多くなっています。
居住地区	武豊小学校区で 28.8%と、他地区に比べてやや多くなっています。
居住年数	10 年未満で 47.4%と、他に比べて多くなっています。
同居家族	6 歳未満の子で 58.0%と、他に比べて多くなっています。
職業	公務員で 36.8%と最も多く、次いで会社員・団体職員が 33.2%となっています。
通勤通学地	知多地域で 38.0%と最も多くなっています。

図. 5 年前と比べた幸福感の変化

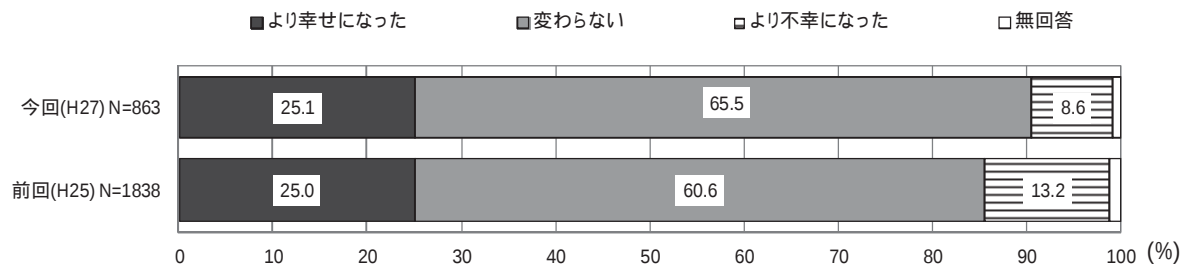
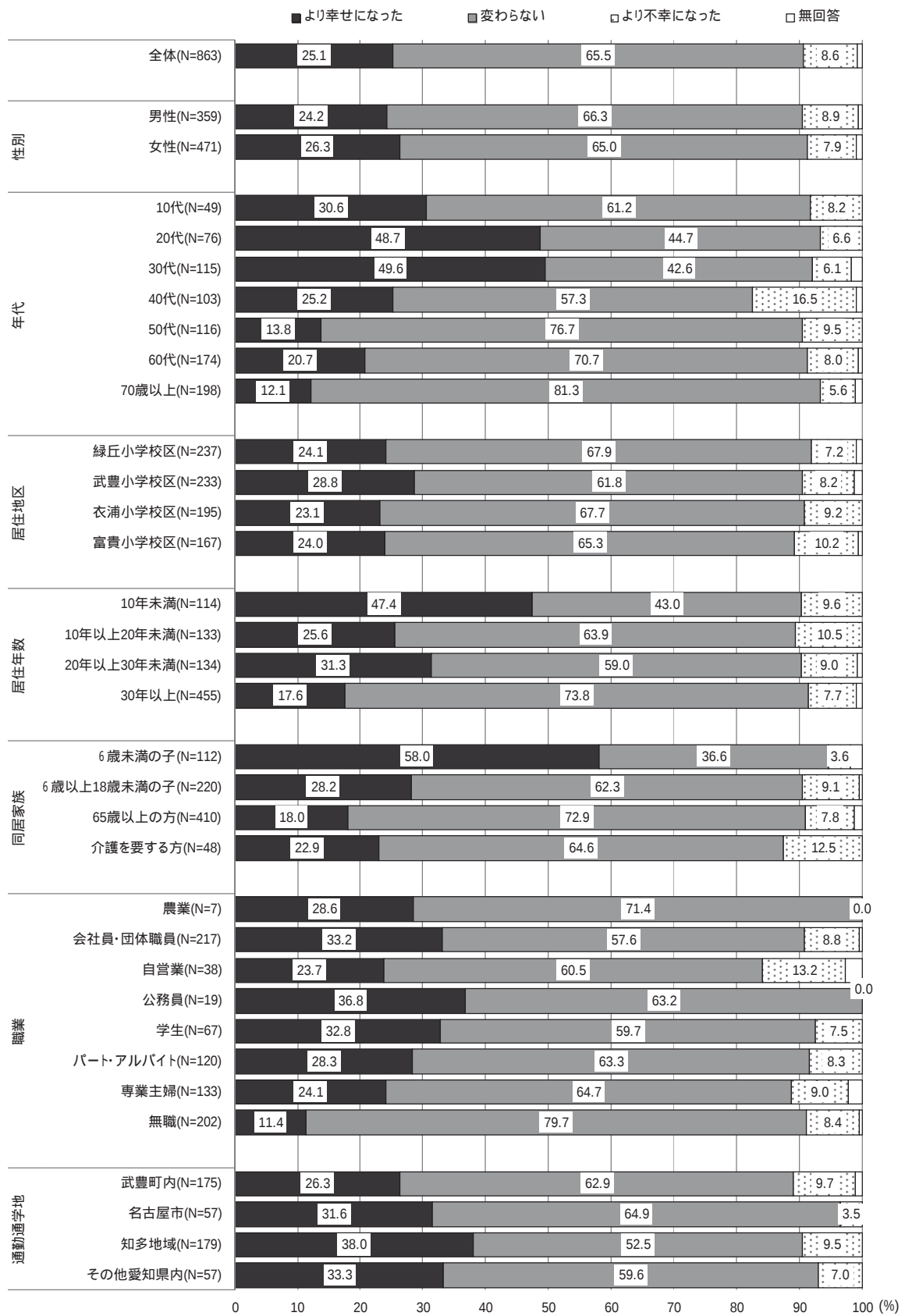


図. 5年前と比べた幸福感の変化



幸福感を判断する際に重視した事項（設問7）

『あなたが幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか？』と尋ねたところ、「家族関係」が63.3%と最も多く、以下、「健康状況」が62.3%、「家計の状況（所得・消費）」が54.3%、「精神的なゆとり」が48.6%と続いています。前回調査に比べて、「仕事の充実度」を除くすべての項目で大きくなっています。

性別	性別では、大きな差は見られません。
年代	若年層と高年齢層で「友人関係」や「自由な時間」、30代、40代では「家族関係」や「家計の状況（所得・消費）」を重視する傾向が大きくなっています。
居住地区	居住地区では、大きな差は見られません。

図. 幸福感を判断する際に重視した事項

【複数回答】

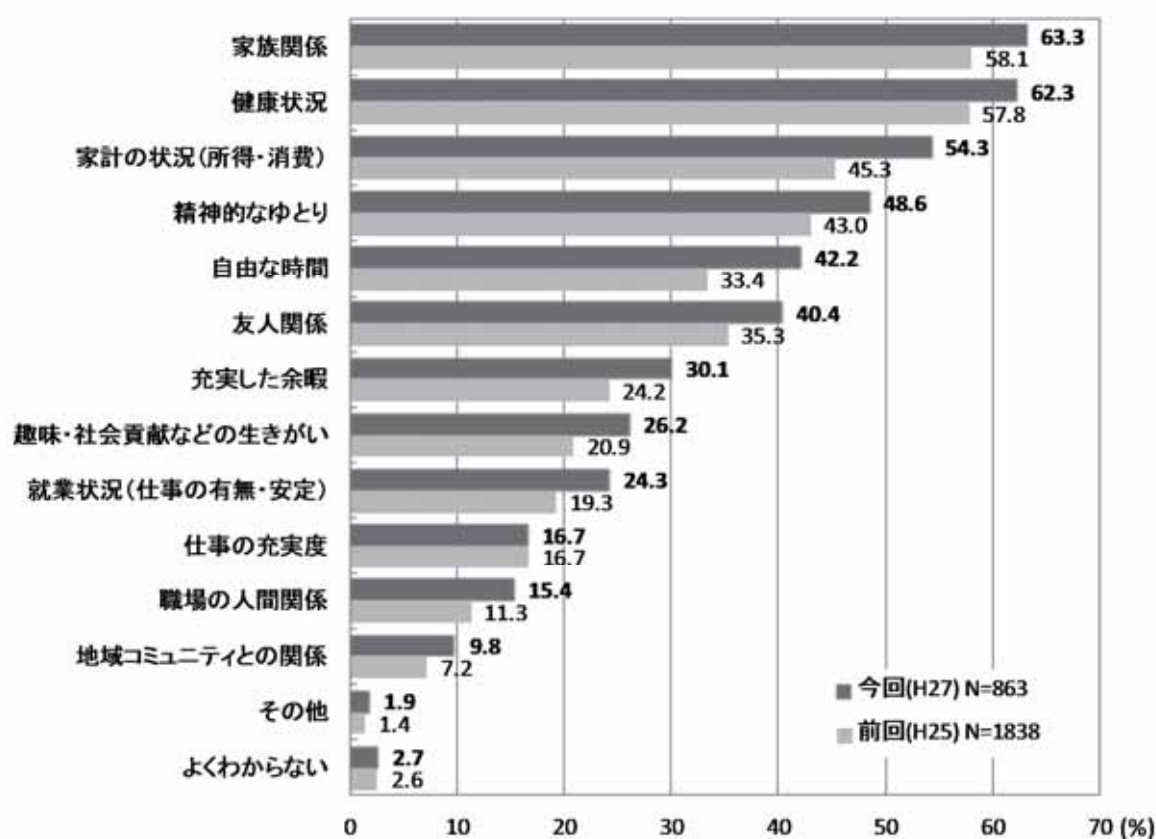
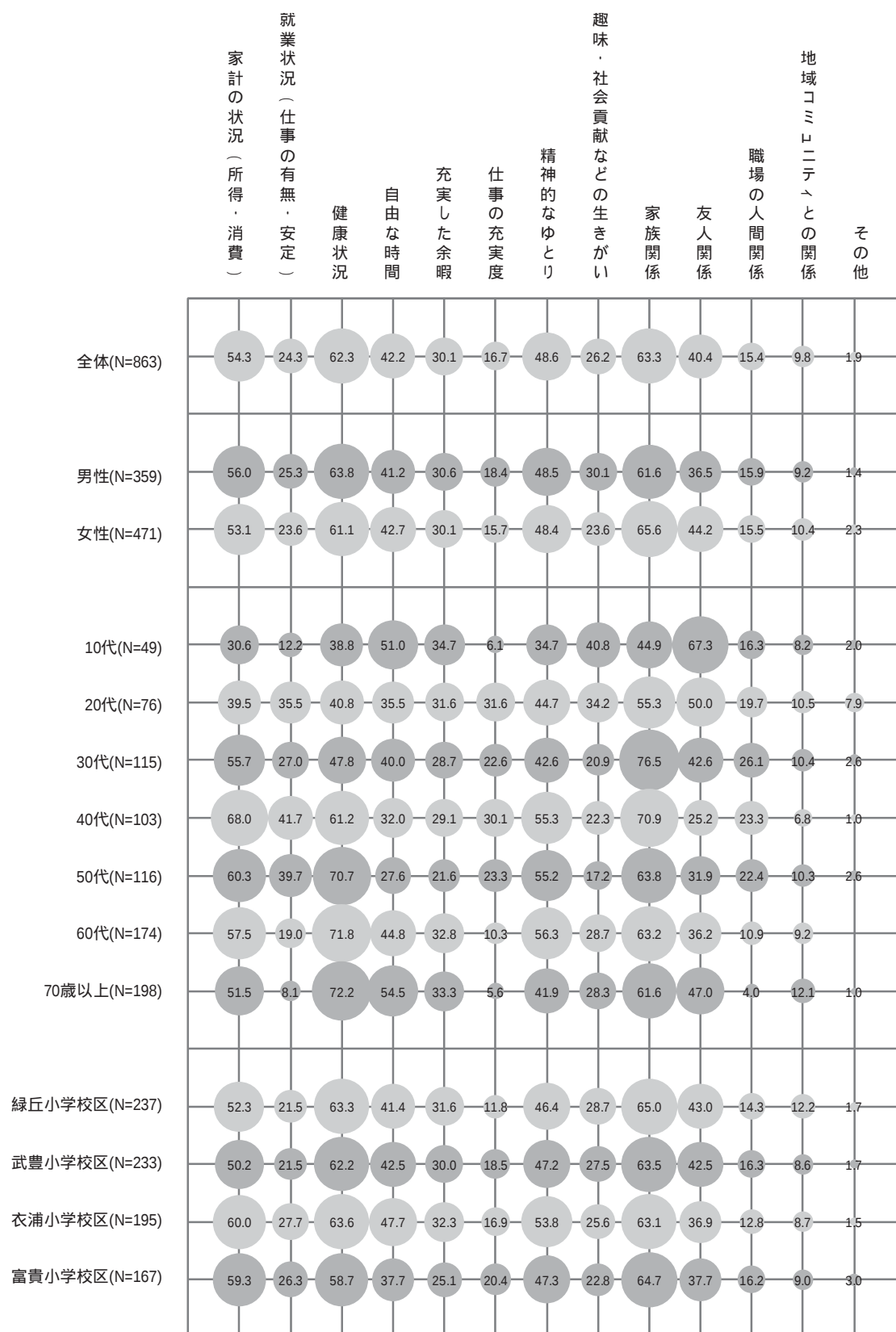


図. 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別）



(6) 町民参加・協働のまちづくり

町政や町民参加について（設問8）

『町政（武豊町のまちづくり）や町民参加について、どのようにお考えですか？』と尋ねたところ、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた肯定的な回答をした割合は、「武豊町の町政（町の仕事）、まちづくりに関心がある」が 59.7%、「地域活動やボランティア、NPO 活動に参加したい」が 35.0%、「これからのまちづくりには町民の参加や協働が必要だ」が 79.5%となっています。

前回調査では、「武豊町の町政（町の仕事）、まちづくりに関心がある」は 61.5%であり、今回の調査では 1.8 ポイント低下、「地域活動やボランティア、NPO 活動に参加したい」は 40.5%であり、今回の調査では 5.5 ポイント低下、「これからのまちづくりには町民の参加や協働が必要だ」は 80.9%であり、今回の調査では 1.4 ポイント低下しています。

以下、回答者の属性別に「そう思う」と「ややそう思う」を足した回答割合で傾向を分析します。

性別	町政への関心について、男性は 66.0%で女性より多くなっています。
年代	町政への関心について、70 歳以上や 60 代で約 7 割と特に多くなっています。 地域活動への参加意向について、20 代は 51.4%で最も多くなっています。
居住地区	居住地区では、大きな差は見られません。
居住年数	町政への関心について、30 年以上は 66.2%と最も多くなっています。
同居家族	町政への関心について、介護を要する方がいる人は 68.8%で最も多くなっています。
職業	町政への関心について、農業は 85.8%、自営業は 79.0%と、特に多くなっています。 町民の参加や協働の必要性について、自営業で 92.1%と、特に多くなっています。
通勤通学地	通勤通学地では、大きな差は見られません。

図. 町政や町民参加について

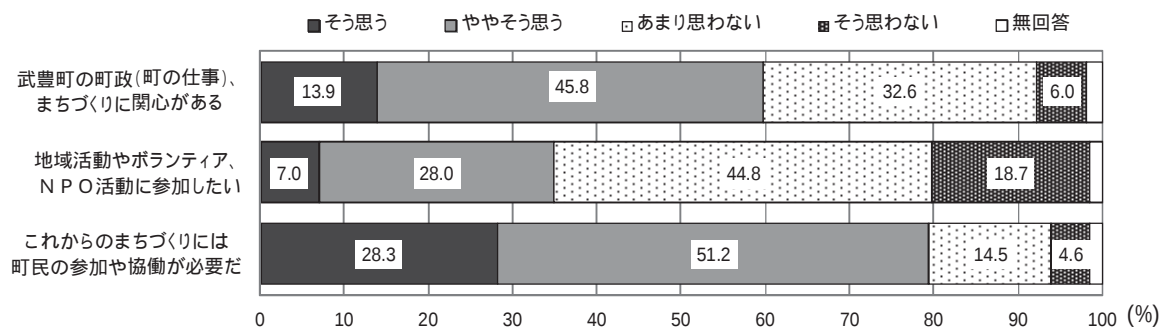


図. 町政への関心（武豊町の町政、まちづくりに関心がある）

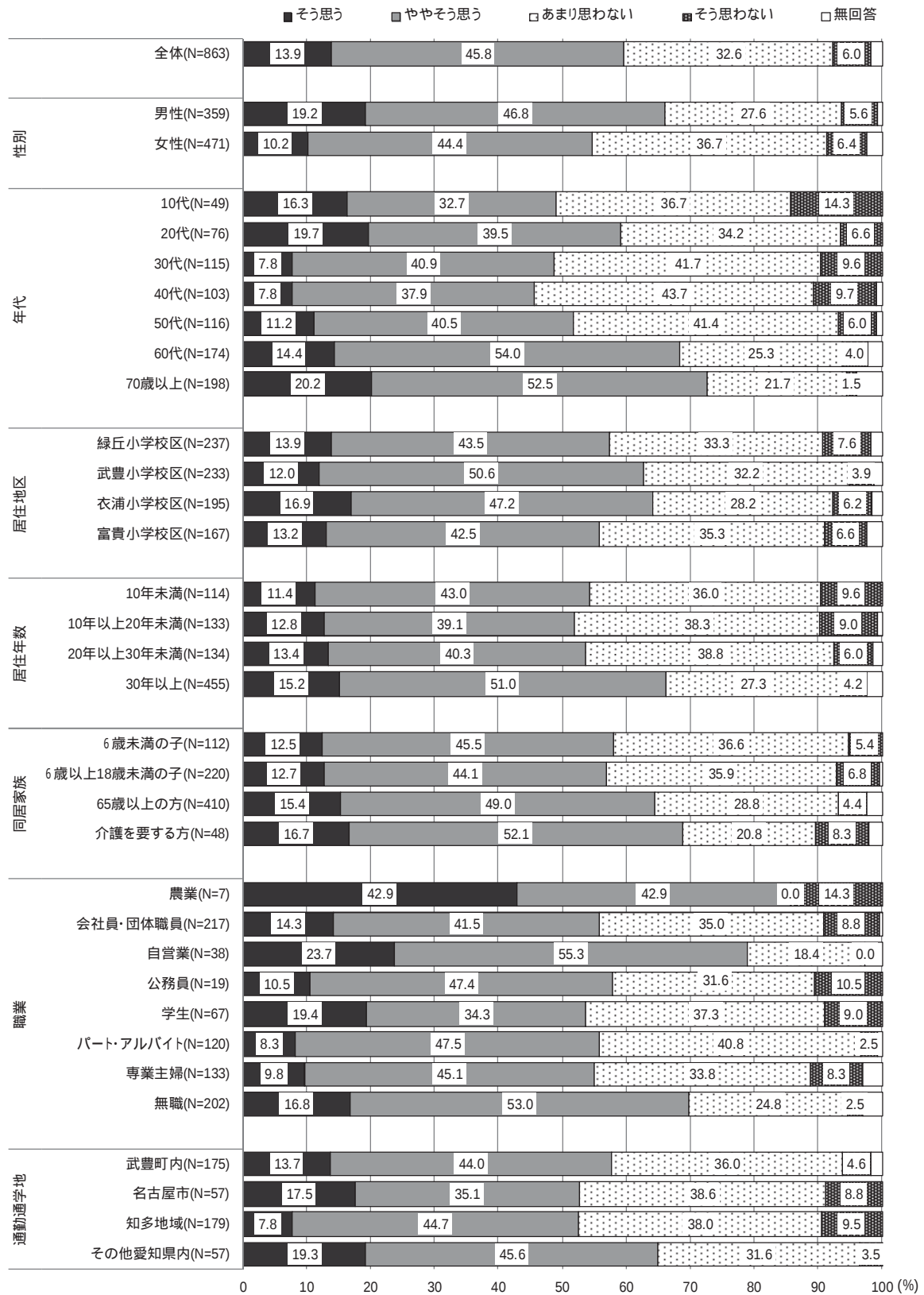


図. 地域活動等への参加意向（地域活動やボランティア、NPO活動に参加したい）

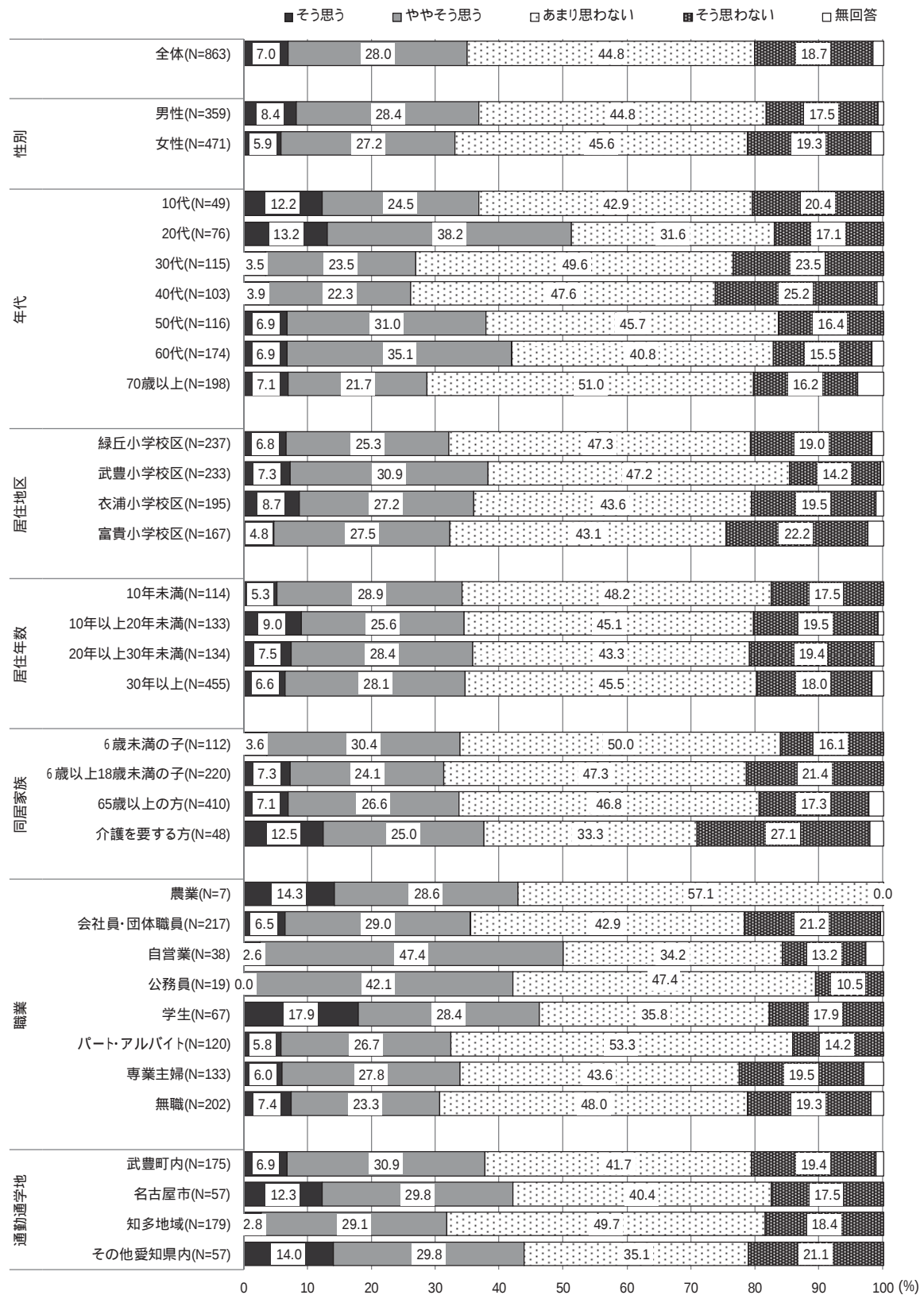
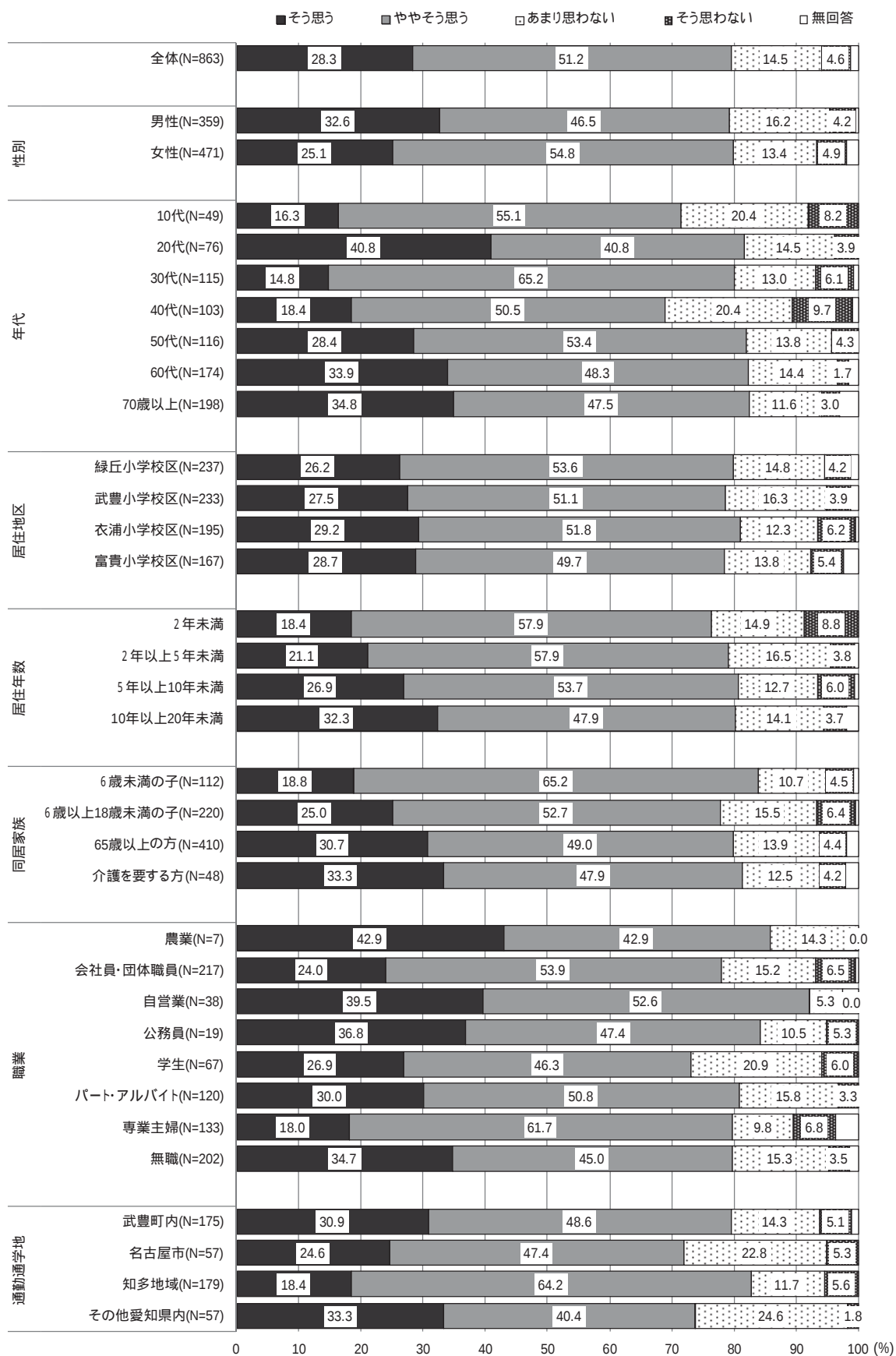


図. 町民の参加や協働の必要性（これからのまちづくりには町民の参加や協働が必要だ）



(7) 知多武豊駅・JR武豊駅間の町の中心部

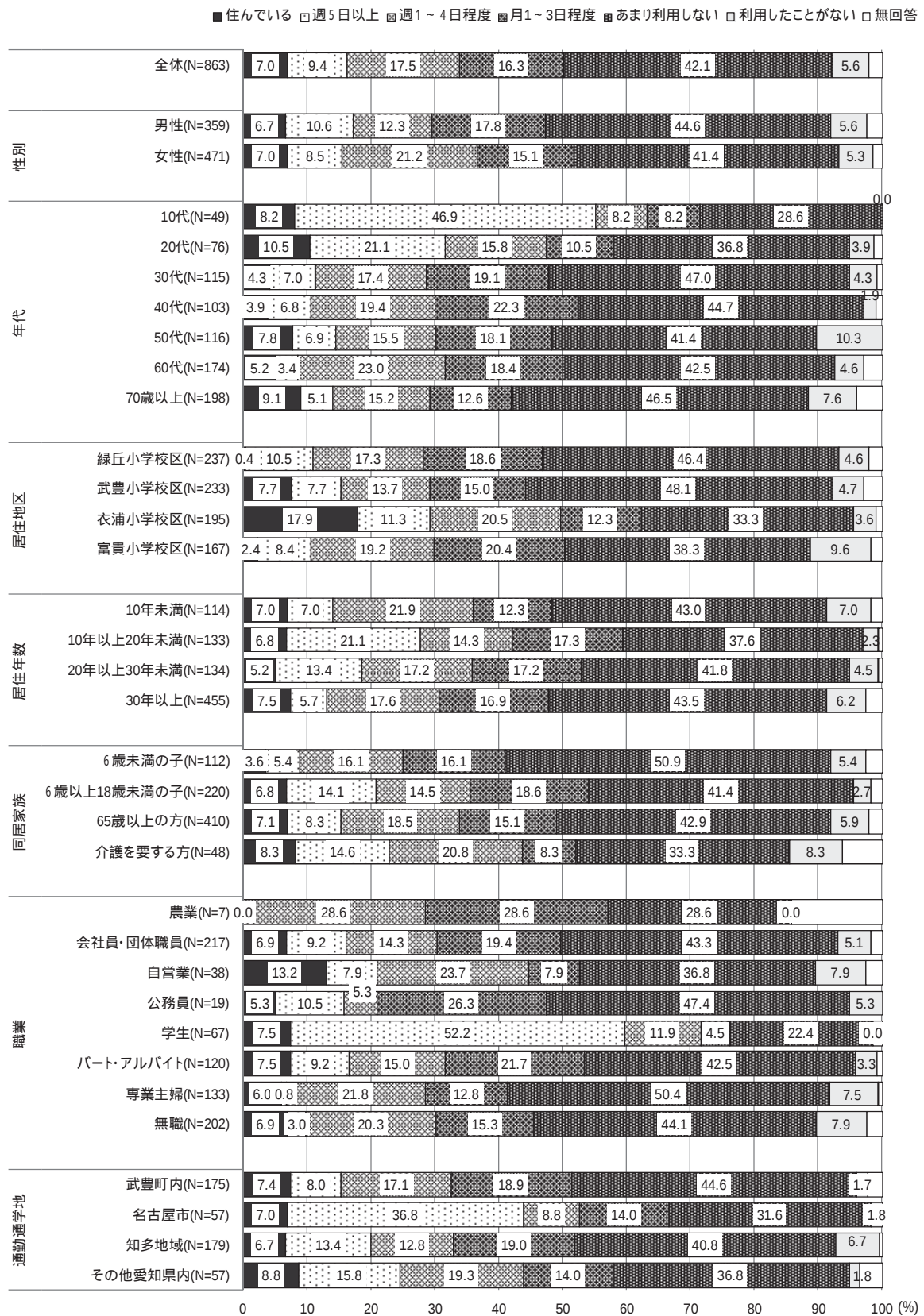
駅周辺地域への来訪頻度（設問9）

『駅周辺地域への来訪頻度はどの程度ですか?』と尋ねたところ、「あまり利用したことがない」が42.1%でした。

以下、回答者の属性別に「あまり利用したことがない」の回答割合で傾向を分析します。

性別	性別では、大きな差は見られません。
年代	20代で36.8%、10代で28.6%と、特に少なくなっています。
居住地区	衣浦小学校区で33.3%と、特に少なくなっています。
居住年数	10年以上20年未満で37.6%と、特に少なくなっています。
同居家族	6歳未満の子がいる人で50.9%と特に多くなっています。
職業	専業主婦で50.4%と他の職業に比べてやや多く、学生で22.4%、農業で28.6%と特に少なくなっています。
通勤通学地	武豊町内で44.6%となっており、知多地域で40.8%、その他愛知県内で38.6%、名古屋市で31.6%となっています。

図. 駅周辺地域への来訪頻度



駅周辺地域が武豊町の中心と思うか（設問10）

『駅周辺地域が武豊町の中心であると思いますか？』と尋ねたところ、「中心だと思わない」が42.6%で、「中心だと思う」が42.3%でした。

「中心だと思う」と回答した人に対して、『中心だと思う理由は何ですか？』と尋ねたところ、「役場があるから」が39.2%と最も多く、以下、「駅前だから」が27.1%、「大型スーパーがあるから」が13.7%、「昔からの中心地だから」が13.2%と続いています。

「中心だと思わない」と回答した人に対して、『中心だと思わない理由は何ですか？』と尋ねたところ、「活気がないと思うから」が50.0%と最も多く、以下、「店舗などが少ないから」が21.7%、「中心は別の場所だと思うから」が15.8%、「交通が不便だから」が7.3%と続いています。

性別	中心と思うかについて、「中心だと思わない」が男性で46.2%と女性より多くなっています。
年代	中心と思う理由について、40代で「駅前だから」が42.1%と特に多くなっています。 中心と思わない理由について、60代で「活気がないと思うから」が60.9%と特に多くなっています。
居住地区	中心と思うかについて、「中心だと思う」が衣浦小学校区で52.8%と、他地区に比べて多くなっています。 中心と思う理由について、衣浦小学校区で「駅前だから」が「役場があるから」と並んで37.0%と最も多くなっています。
居住年数	中心と思うかについて、概ね、居住年数が多くなるにつれて、「中心だと思う」との回答が多くなっています。
同居家族	中心と思う理由について、「役場があるから」が、介護を要する方がいる人で57.9%、6歳未満の子がいる人で54.2%と、他に比べて多くなっています。
職業	中心と思う理由について、「駅前だから」が、自営業で40.0%、会社員・団体職員が38.7%、無職で29.9%と最も多くなっています。
通勤通学地	通勤通学地では、大きな差は見られません。

図. 駅周辺地域が武豊町の中心と思うか

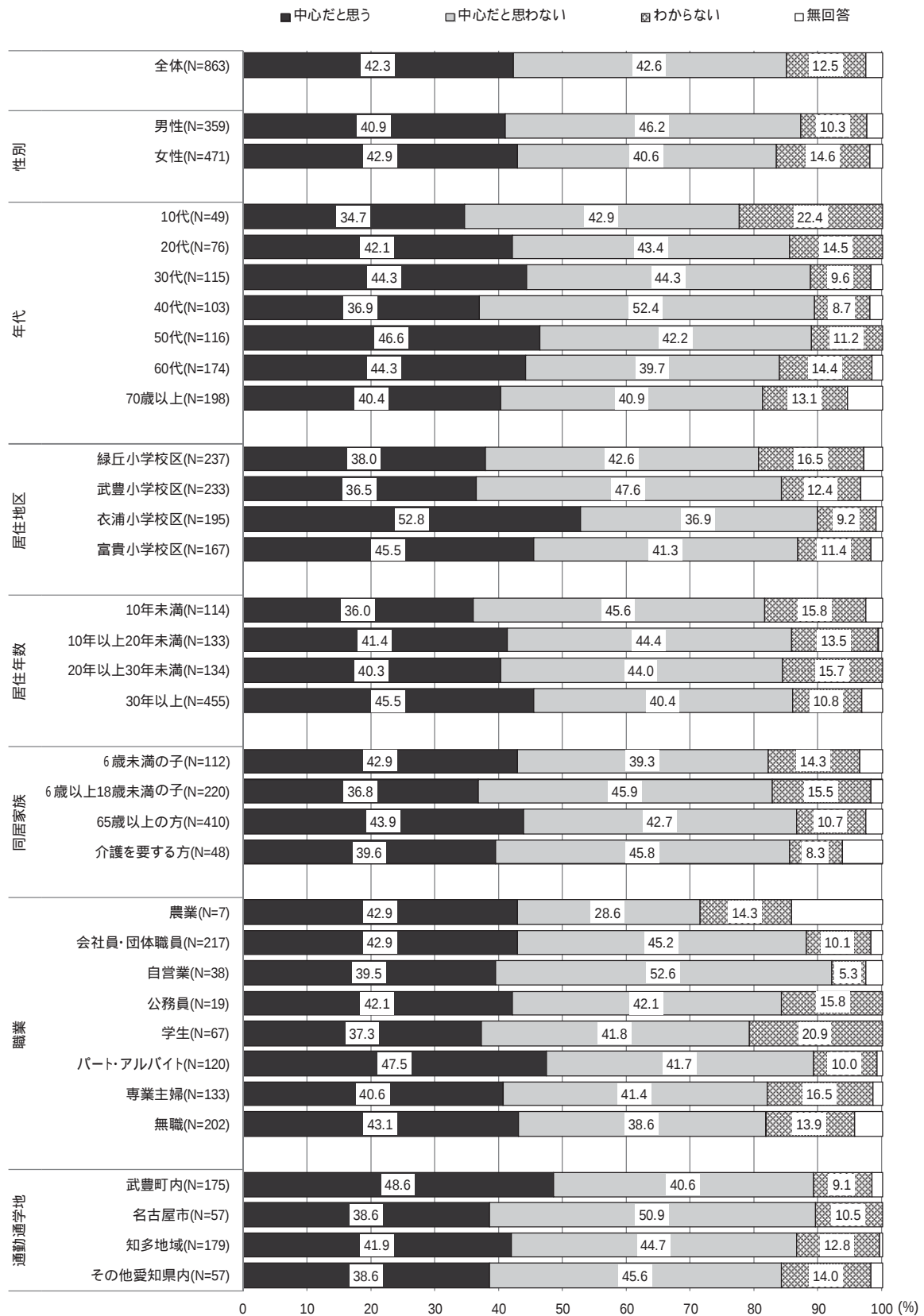


図. 中心と思う理由

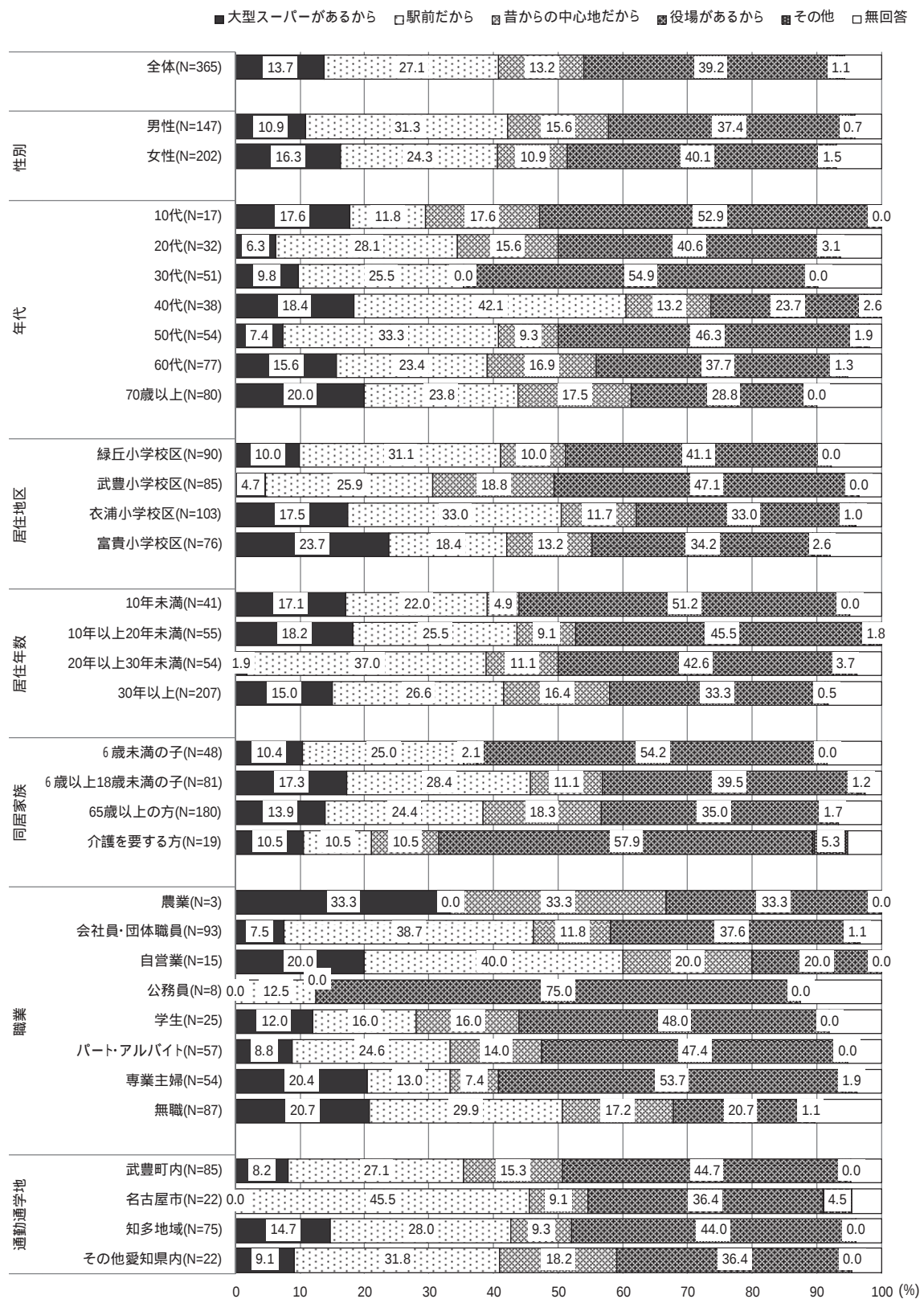
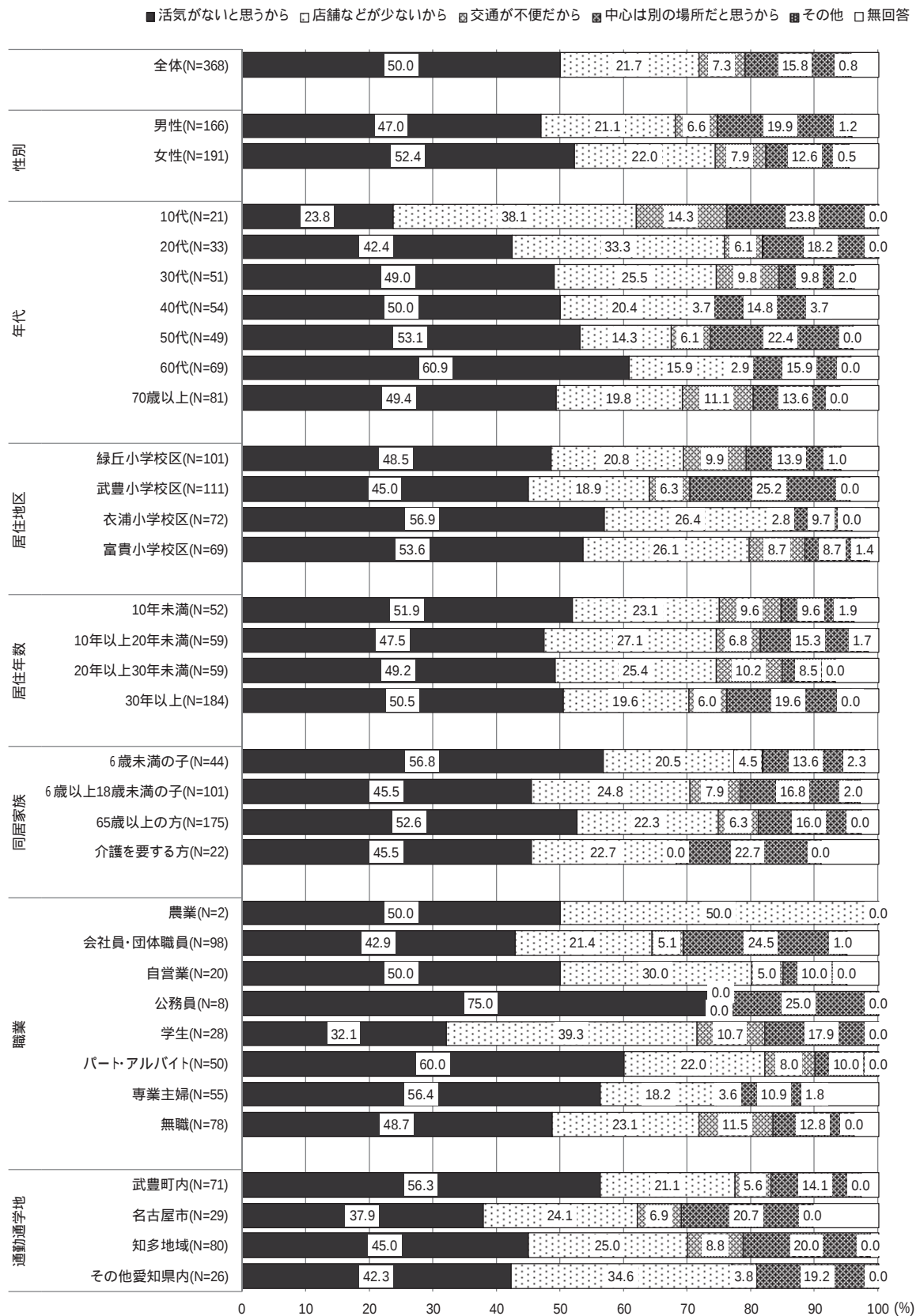


図. 中心だと思わない理由

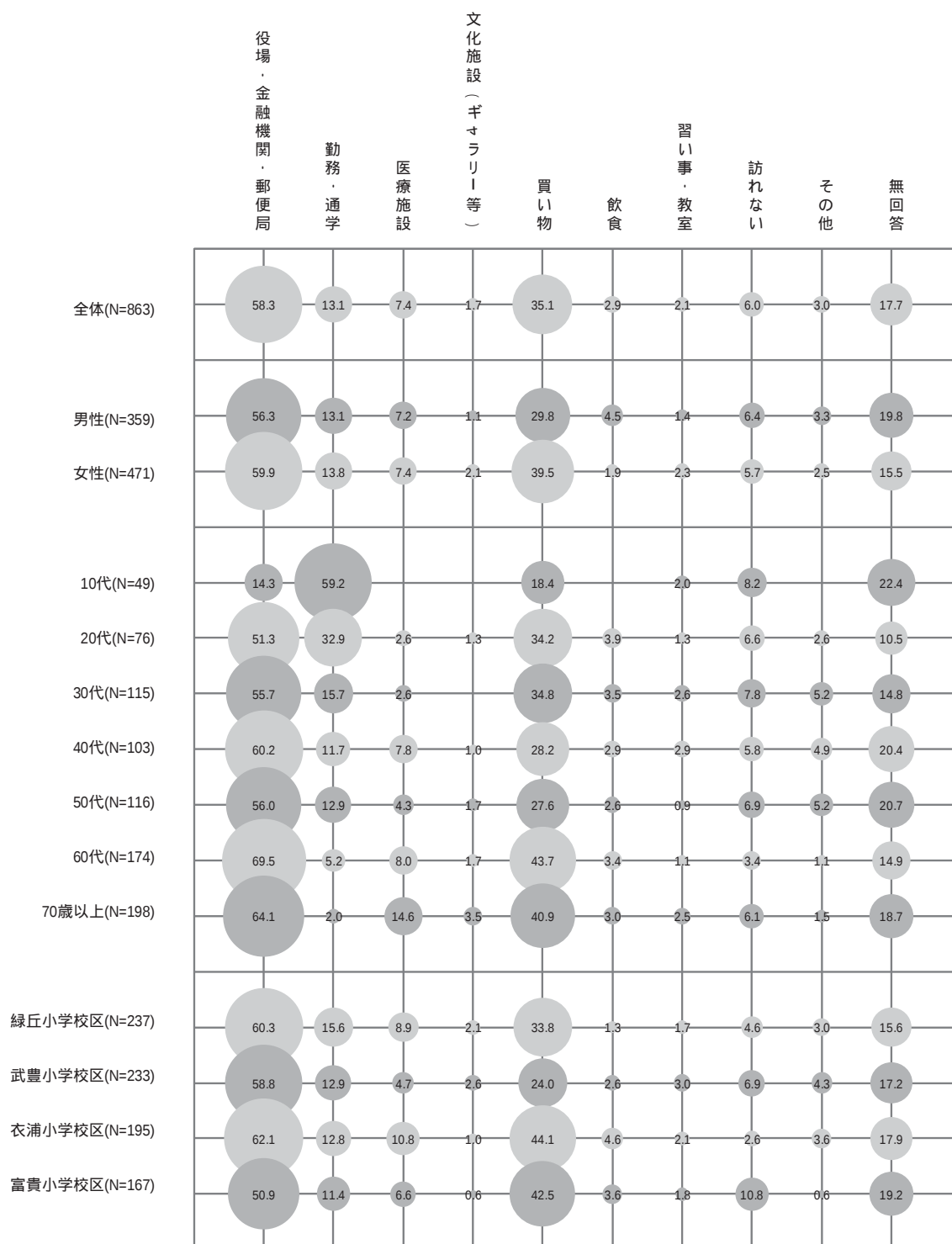


駅周辺へ訪れる目的（設問１１）

『駅周辺地域へ訪れる目的は何ですか？』と尋ねたところ、「役場・金融機関・郵便局」が58.3%と最も多く、以下、「買い物」が35.1%、「勤務・通学」が13.1%、「医療施設」が7.4%と続いています。

性別	女性は「買い物」が39.5%で男性より多くなっています。
年代	概ね、年齢が上がるほど「勤務・通学」が少なくなっています。
居住地区	武豊小学校区は「買い物」が24.0%と、他地区に比べて少なくなっています。

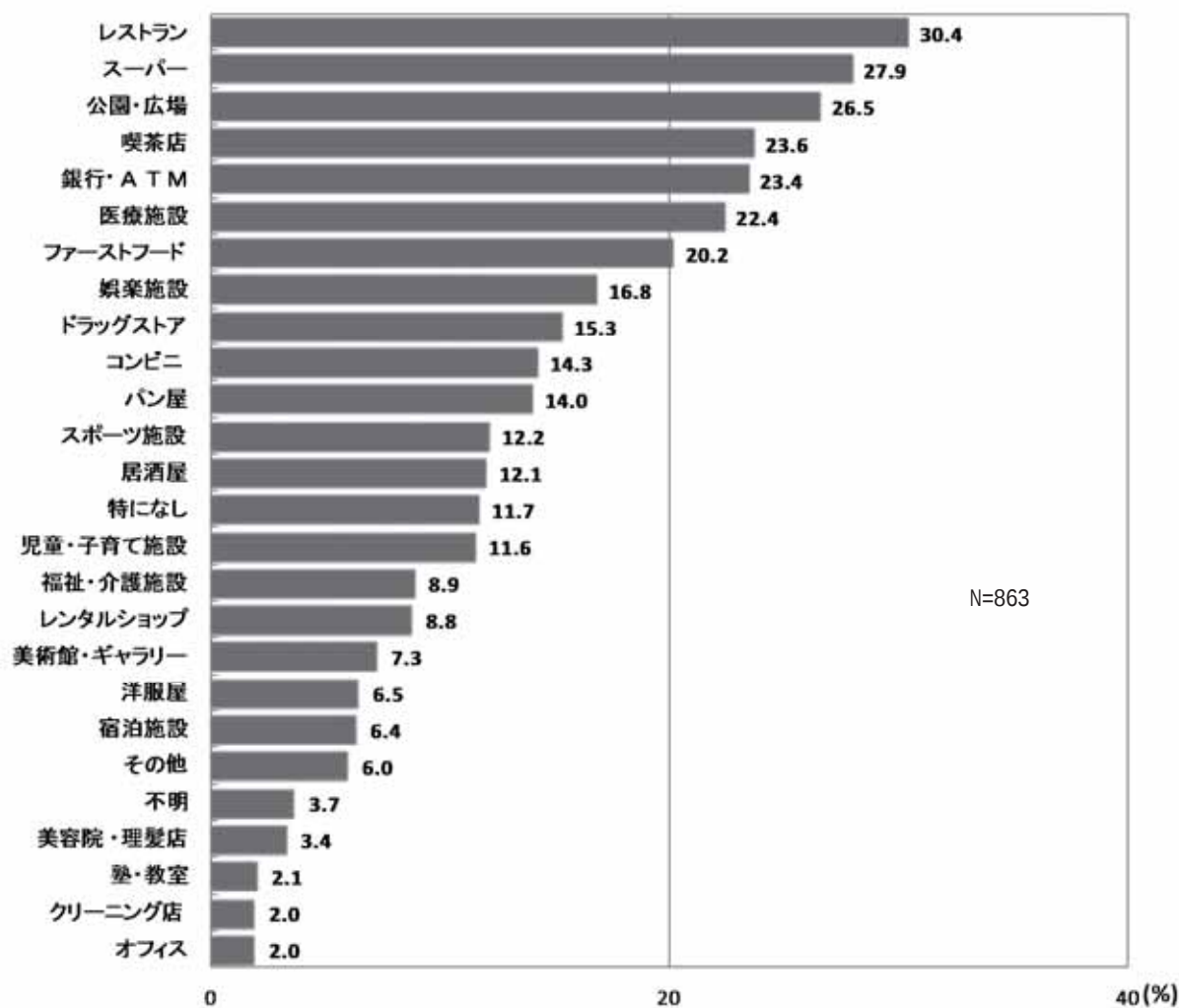
図. 駅周辺へ訪れる目的



駅周辺で行ってみたい・必要だと思う施設（設問１２）

『今後、あなたが駅周辺に行ってみたい、又必要だと思う施設は何ですか？』と尋ねたところ、「レストラン」が30.4%と最も多く、以下、「スーパー」が27.9%、「公園・広場」が26.5%と続いています。

図．駅周辺で行ってみたい・必要だと思う施設



現在の駅周辺地域のイメージ（設問１３）

現在の駅周辺地域のイメージとしては、「活気」や「お店の魅力」で「ない」がそれぞれ74.0%、71.8%で多くなっています。

性別	活気、お店の魅力、古い町並みについて、男性は「ない」が女性より多くなっています。
年代	活気、お店の魅力、古い町並みについて、概ね、年齢が上がるほど「ある」が少なくなっています。
居住地区	居住地区では、大きな差は見られません。
居住年数	活気について、10年以上20年未満で「ある」が16.5%と特に多くなっています。
同居家族	活気、お店の魅力、古い町並みについて、概ね同居家族の年齢が上がると「ある」が少なくなっています。
職業	古い町並みについて、学生で「ある」が52.2%と特に多くなっています。
通勤通学地	古い町並みについて、武豊町内で「ある」が29.1%とやや少なくなっています。

図．現在の駅周辺地域のイメージ

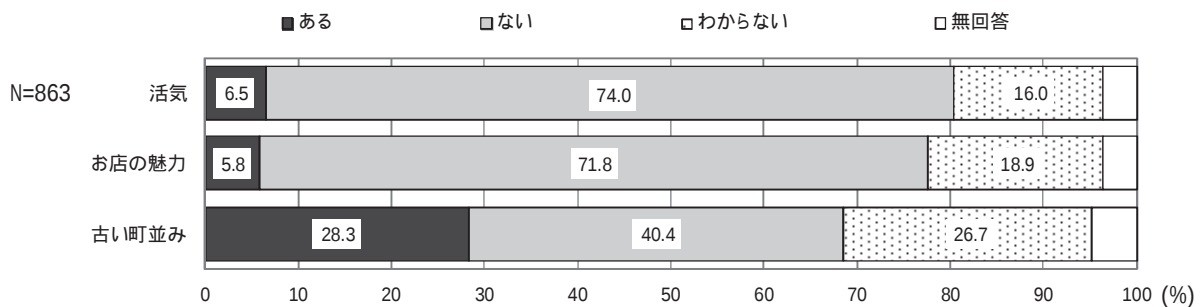


図. 活気

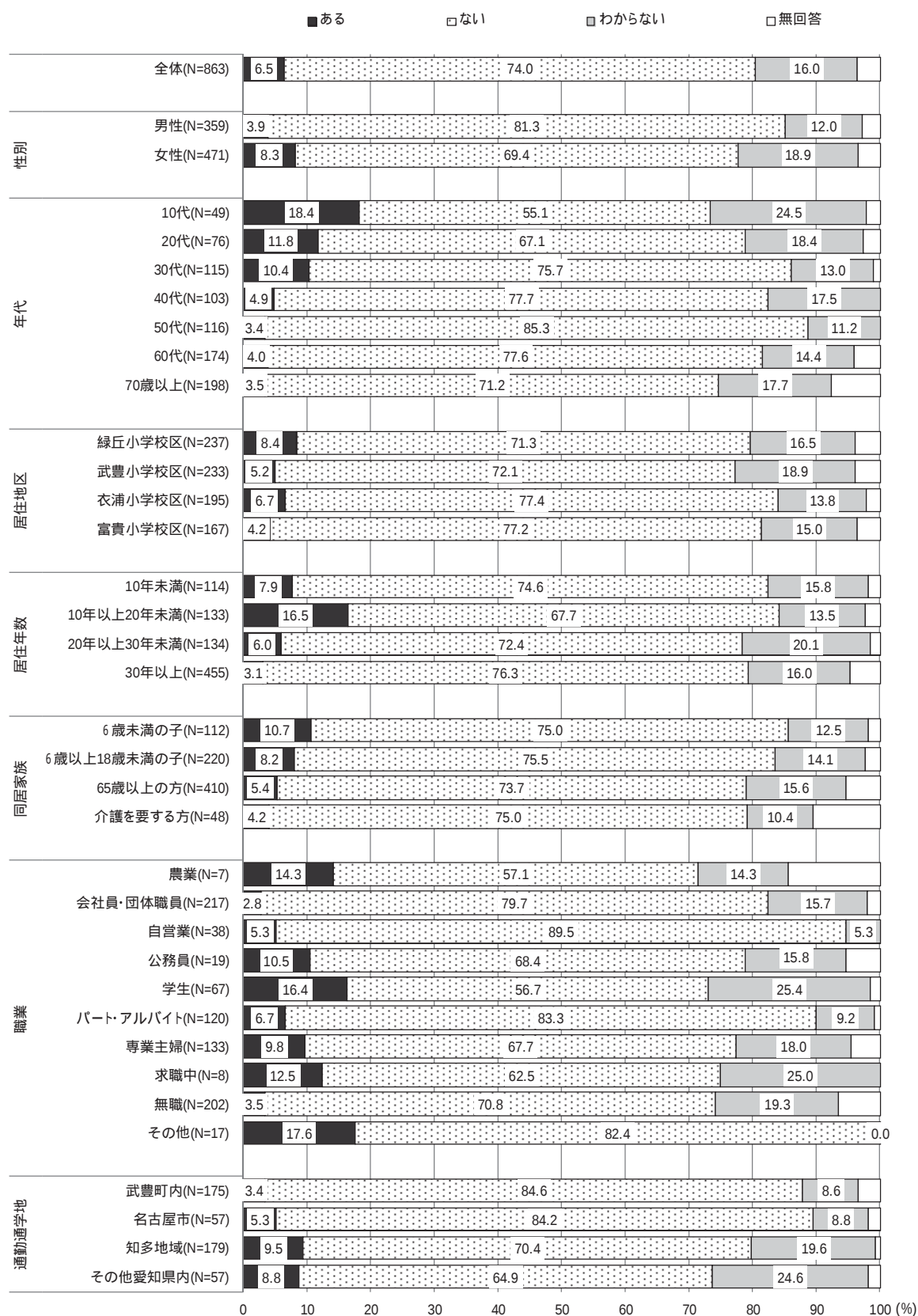


図. お店の魅力

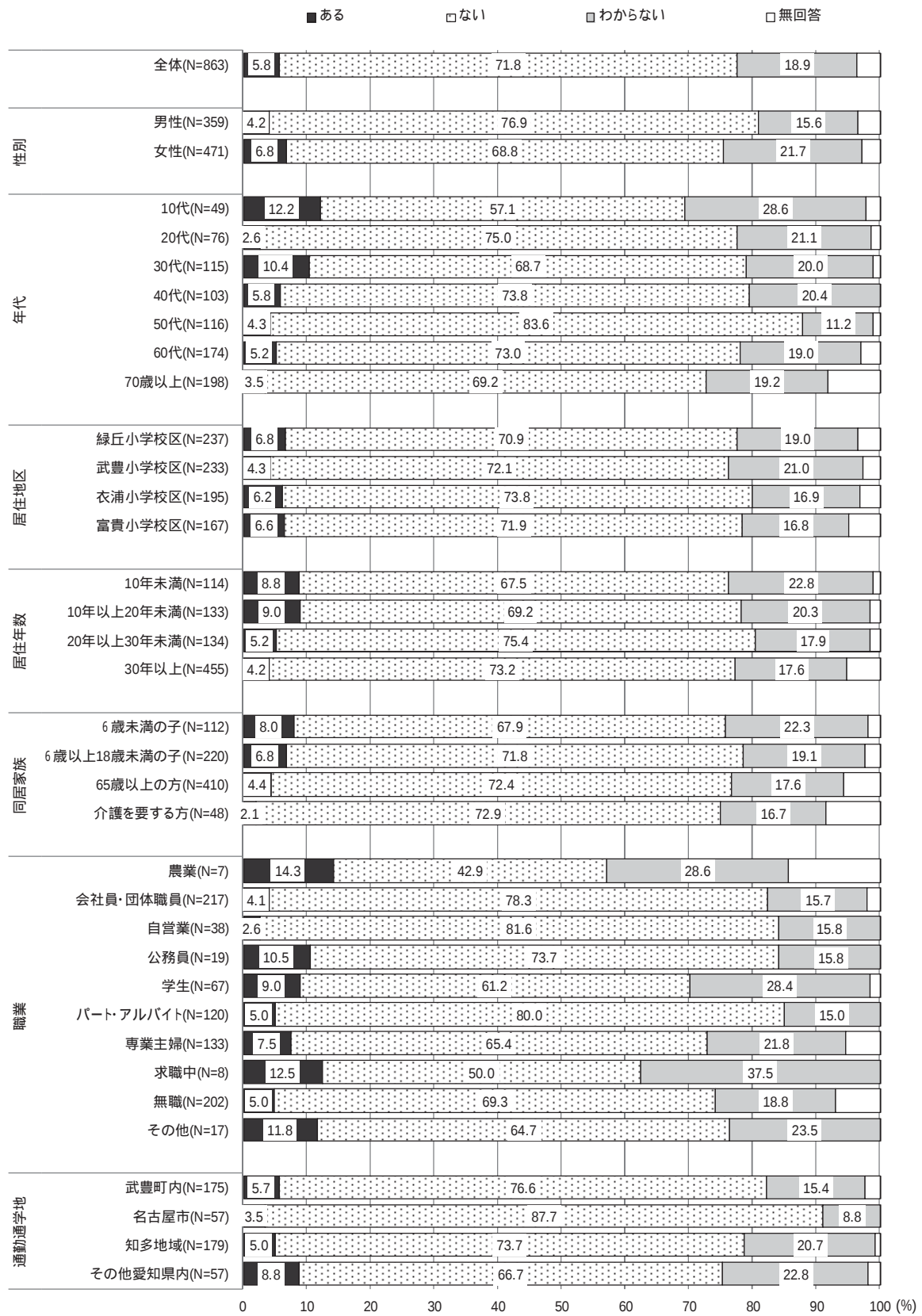
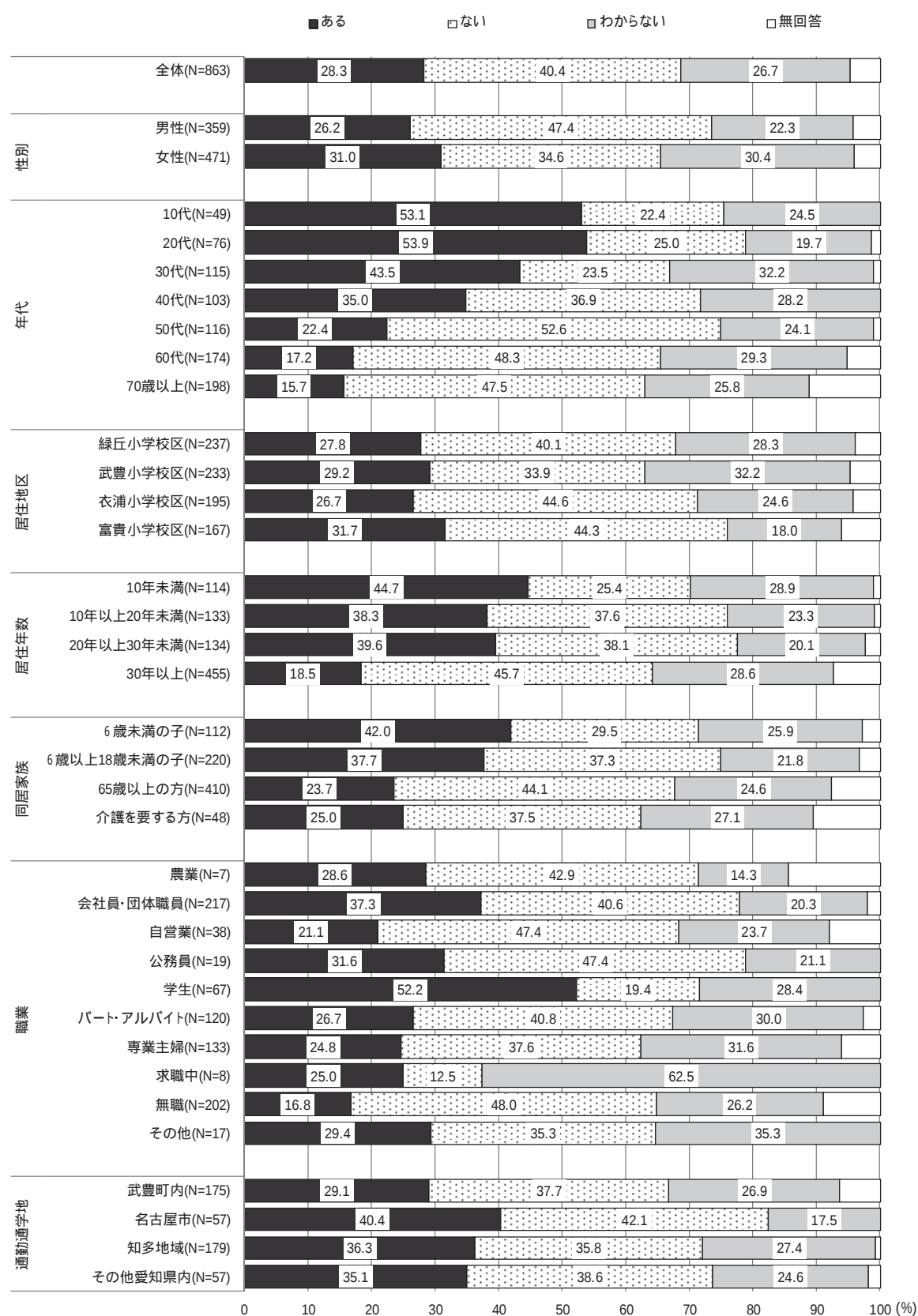


図. 古い町並み



現在の駅周辺地域のイメージとしては、「一方通行や狭い道路」で「多い」が 67.6%で特に多くなっています。

性別	若者が楽しめる施設、駐車場、一方通行や狭い道路について、男性は「少ない」が女性より多くなっています。
年代	駐車場について、概ね、年齢が下がるにつれて「多い」が多くなっています。 一方通行や狭い道路について、30代と40代で「多い」が約8割とやや多くなっています。
居住地区	居住地区では、大きな差は見られません。
居住年数	居住年数では、大きな差は見られません。
同居家族	一方通行や狭い道路について、年齢の低い家族がいる人ほど「多い」が多くなっています。
職業	一方通行や狭い道路について、公務員で「多い」が84.2%で最も多くなっています。
通勤通学地	通勤通学地では、大きな差は見られません。

図. 現在の駅周辺地域のイメージ

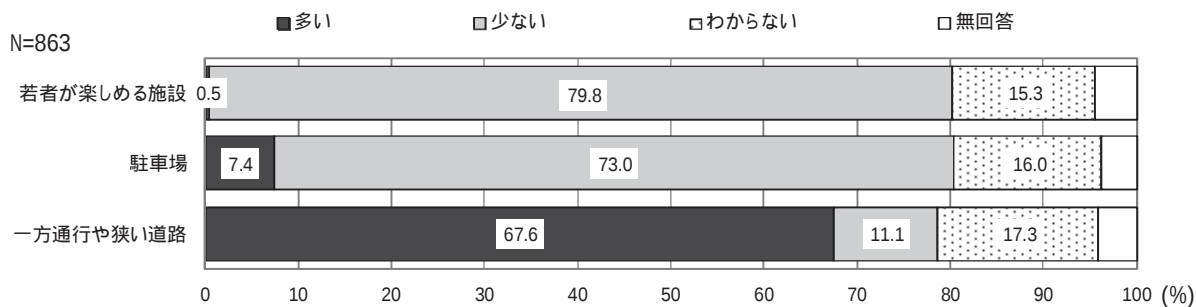


図. 若者が楽しめる施設

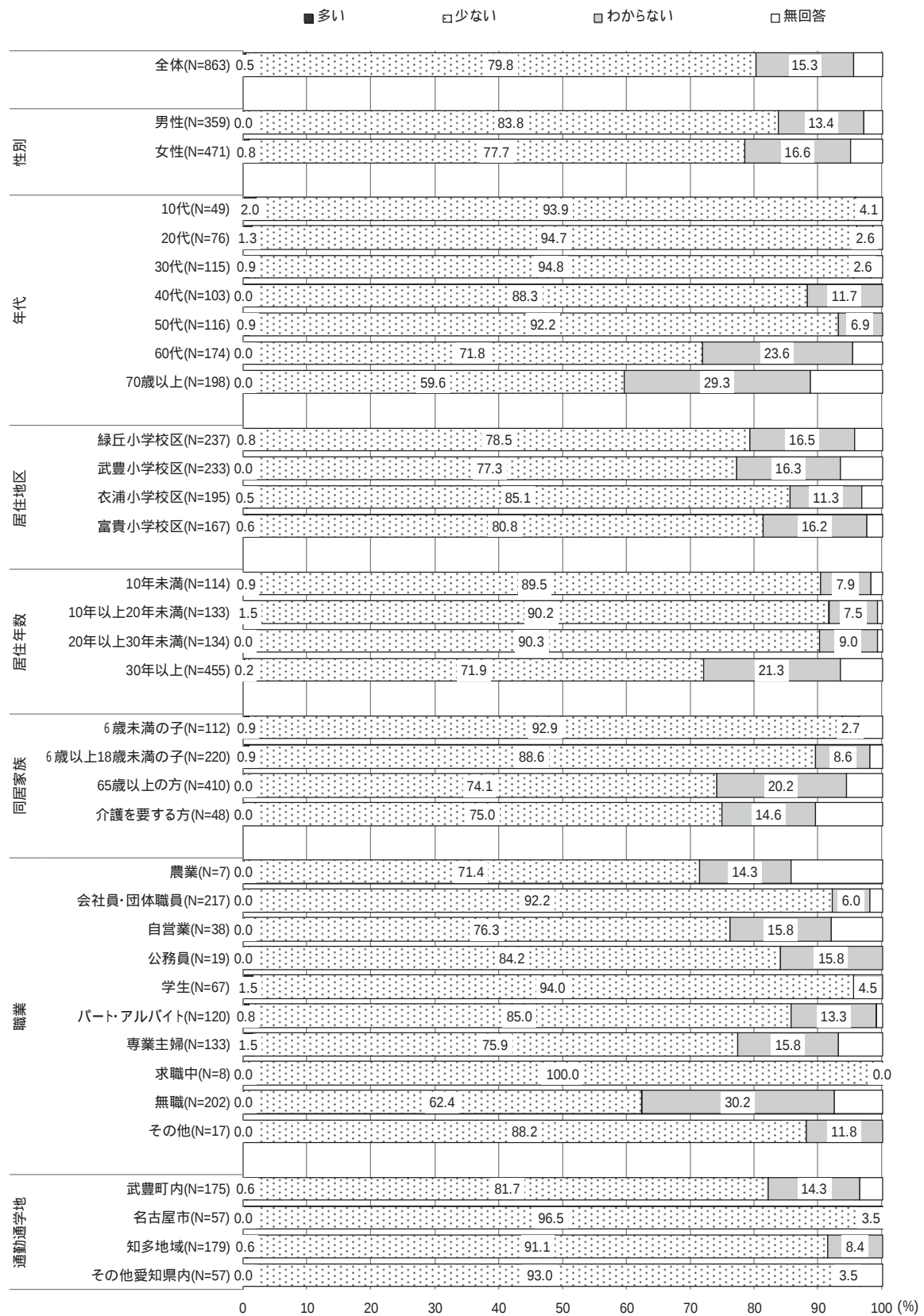


図. 駐車場

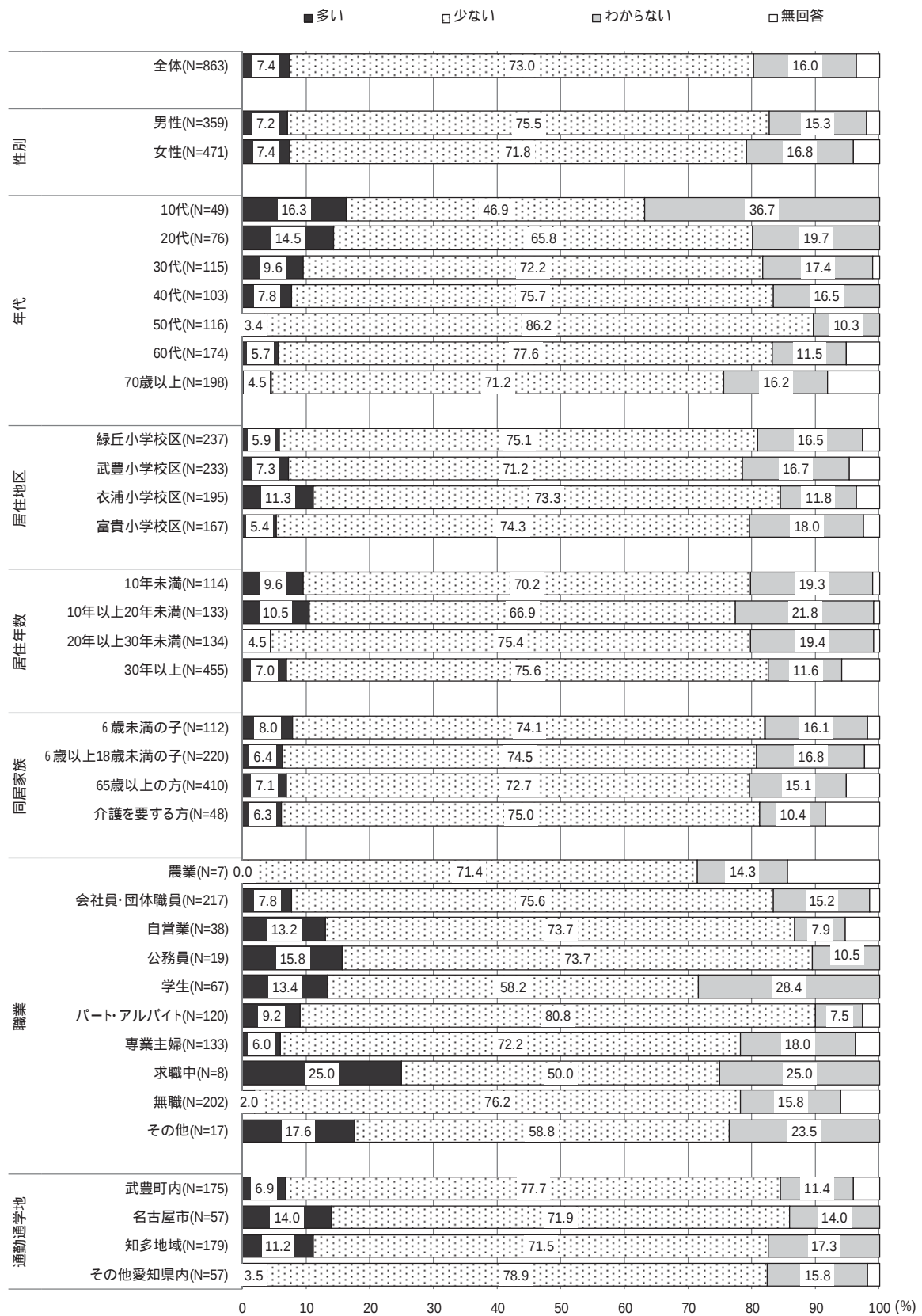
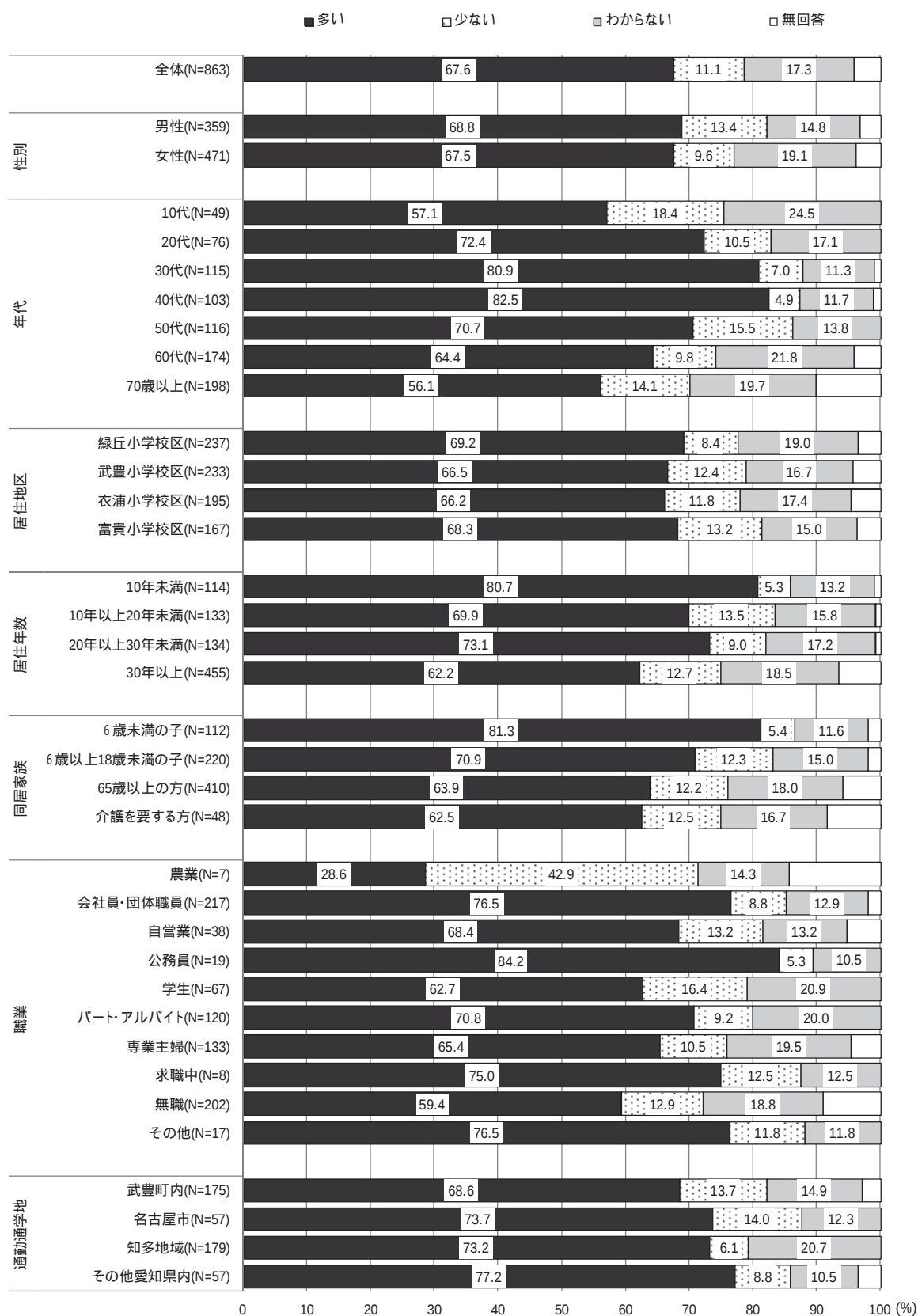


図. 一方通行や狭い道路

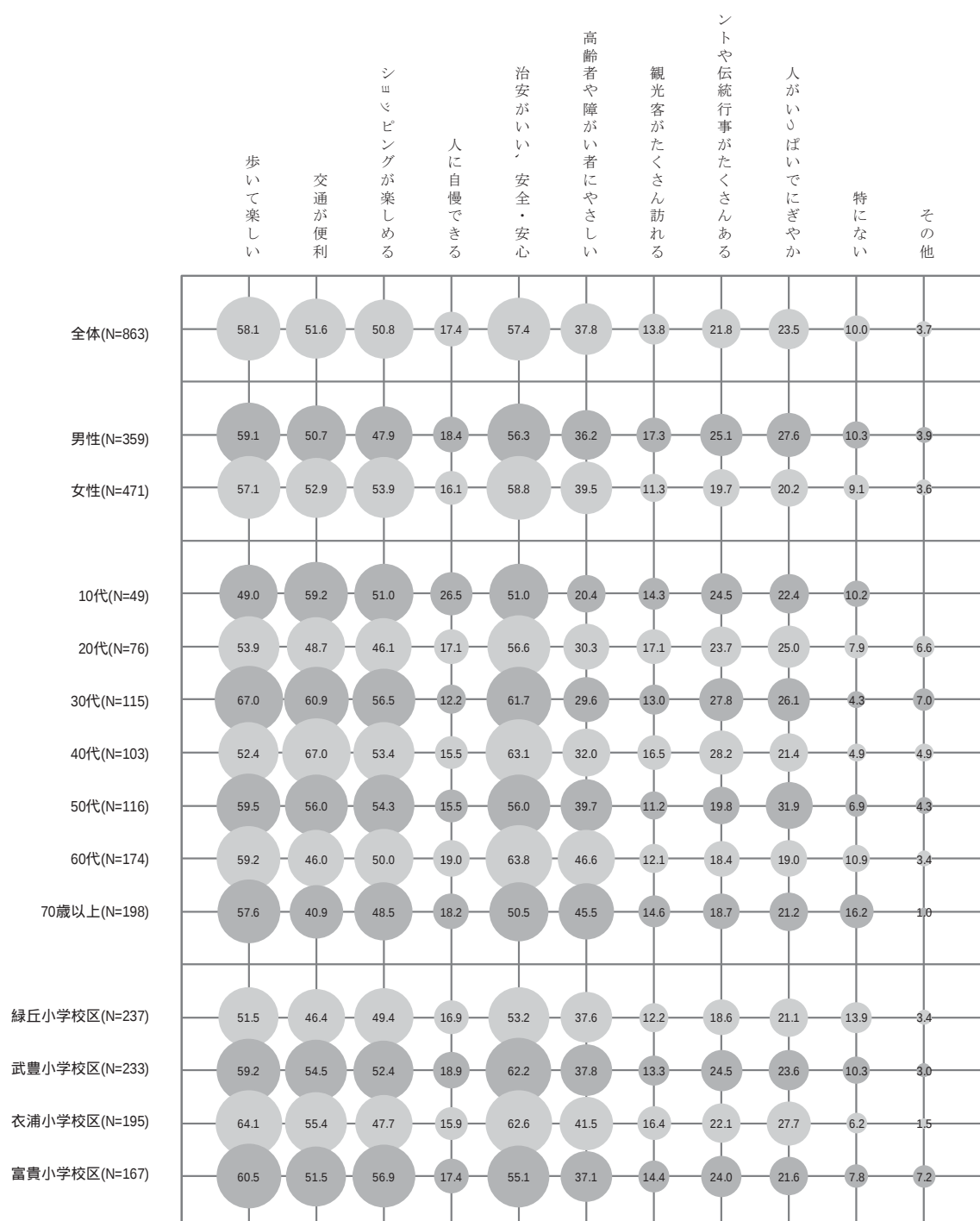


将来の駅周辺地域に相応しいイメージは何ですか？

『将来の駅周辺地域に相応しいイメージは何ですか？』と尋ねたところ、「歩いて楽しい」が58.1%と最も多く、以下、「治安がいい、安全・安心」が57.4%、「交通が便利」が51.6%、「ショッピングが楽しめる」が50.8%と続いています。

性別	性別で大きな差は見られません。
年代	「歩いて楽しい」が30代で67.0%と、他の年代に比べて多くなっています。
居住地区	居住地区で大きな差は見られません。

図. 将来の駅周辺地域に相応しいイメージ



(8)自由意見

アンケートでは、武豊町のまちづくりや町政全般について町民の皆さんの自由な意見を書いていただきました。全体の 21.1%にあたる 182 人から意見をいただきました。

分野別意見

意見の内容に応じて集計・整理し、全体的な傾向を把握しました。

第 5 次総合計画の施策体系をもとに設定した 61 の施策方針で分類すると、「保育サービスを充実する」が 23 件で最も多く、「子育ての不安や悩みを取り除く」17 件、「住み続けたいまちづくりを進める」16 件と続いています。

図. 分野別自由意見件数

施策	件数	施策	件数
1 まちづくりの意識を育てる	1	32 子ども施設を充実する	1
2 まちづくりへの参加の機会を増やす	4	33 保育サービスを充実する	23
3 まちづくり団体を応援する	0	34 ひとり親家庭を支援する	2
4 まちの情報発信を充実する	1	35 開かれた学校づくりを行う	0
5 まちづくりの意見交換ができるようにする	1	36 学校教育を充実する	1
6 気軽に情報がわかるようにする	0	37 健全な心と体の育成を進める	0
7 がんばる町職員を育てる	0	38 健康づくりを進める	0
8 頼れる役場になる	1	39 医療・介護体制を充実する	0
9 むだのない役場の仕事を行う	0	40 社会保障を支える	3
10 税金を有効に使う	1	41 社会的に援護が必要な人の暮らしを支える	0
11 民間の活力を活かす	0	42 高齢者の生きがいをづくりを支援する	1
12 広域連携を進める	0	43 障害者の自立を応援する	1
13 歩行者や自転車の安全を守る	0	44 地域ぐるみで福祉を支える	1
14 通学路の安全を守る	1	45 男女がともに活躍できる環境をつくる	2
15 狭い道路を解消する	1	46 多文化共生を進める	1
16 交通安全意識を高める	0	47 自然環境を守る	0
17 幹線道路を整備する	1	48 自然とふれあう環境をつくる	3
18 事故のない道づくりを進める	0	49 みんなでゴミを減らす	0
19 公共交通を充実する	9	50 環境美化を進める	2
20 地域の防犯・防災活動を応援する	2	51 住み続けたいまちづくりを進める	16
21 災害に強いまちにする	1	52 安定した上下水道を維持する	0
22 みんなで公園と緑地を充実する	7	53 武豊駅周辺の魅力を高める	4
23 集いの場、憩いの場を充実する	11	54 富貴駅前を利用しやすくする	2
24 生涯学習や地域行事を充実する	1	55 産業基盤を強化する	4
25 世代間交流・地域間交流を進める	3	56 農業の新しい方向を検討する	1
26 文化・芸術・科学に触れる機会を充実する	1	57 地産地消を推進する	1
27 地域活動の担い手を育成する	1	58 雇用対策を推進する	12
28 地域活動を応援する	0	59 子どもや若者に武豊を知ってもらう	2
29 地域ぐるみで子どもを育てる	2	60 武豊の魅力を発信する	4
30 子育ての不安や悩みを取り除く	17	61 武豊の魅力を守り育てる	1
31 子どもがのびのび育つ環境づくり	5	62 その他	22

4 中学生アンケートの結果

(1)回答者の属性

学校、学年、性別ごとの回答数は以下のとおりです。

学校

区分	回答数	割合
武豊中学校	632	73.4
富貴中学校	229	26.6
無回答	0	0.0

学年

年	回答数	割合
2年生	442	51.3
3年生	419	48.7
無回答	0	0.0

性別

性別	回答数	割合
男性	414	48.1
女性	446	51.8
無回答	1	0.1

(2)武豊町での暮らしについて

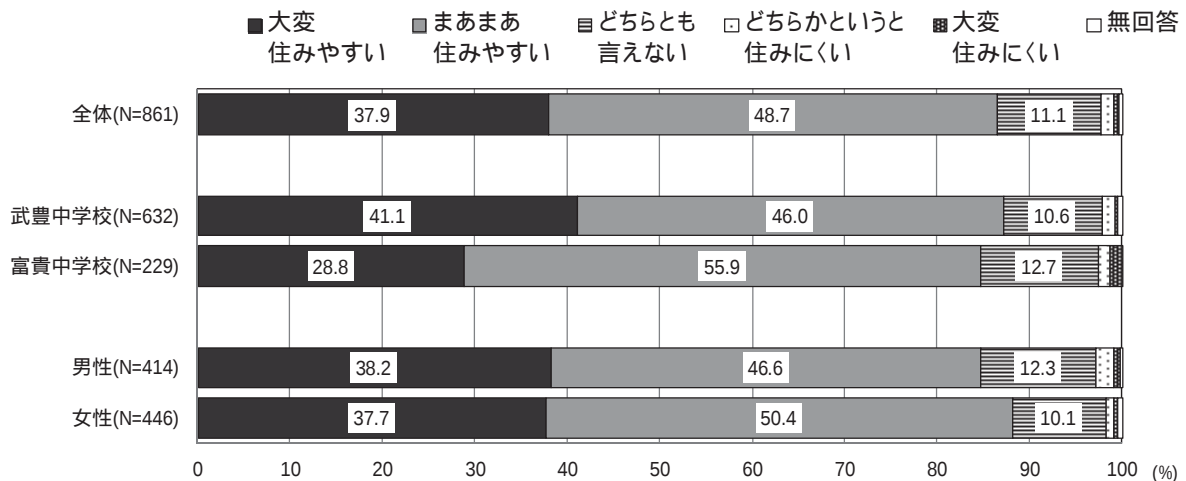
武豊町の住みごこち（設問１）

『武豊町の住みごこちはどう思いますか？』と尋ねたところ、「大変住みやすい」が 37.9%、「まあまあ住みやすい」が 48.7%であり、あわせて 86.6%が武豊町は住みやすいと評価しています。一方、「大変住みにくい」は 0.6%、「どちらかというと住みにくい」は 1.4%と少なくなっています。

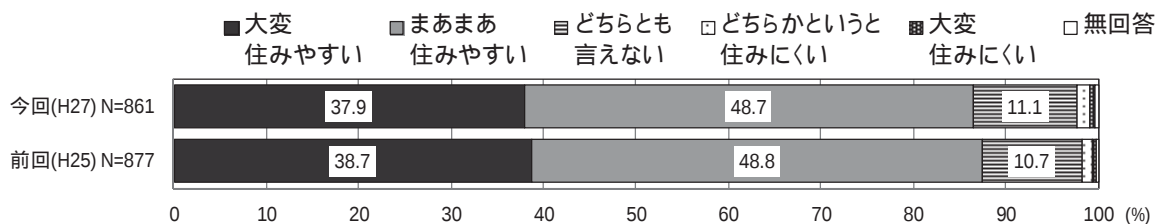
前回調査(平成 25 年)では、「大変住みやすい」が 38.7%、「まあまあ住みやすい」が 48.8%、あわせて 87.5%が住みやすいと評価しており、今回の調査では住みやすいとの評価が 0.9 ポイント下がっています。

学校別	武豊中学校では「大変住みやすい」が 41.1%、「まあまあ住みやすい」が 46.0%であり、あわせて 87.1%が住みやすいと評価し、富貴中学校では「大変住みやすい」が 28.8%、「まあまあ住みやすい」が 55.9%であり、あわせて 84.7%が住みやすいと評価しています。
性別	男性では「大変住みやすい」が 38.2%、「まあまあ住みやすい」が 46.6%であり、あわせて 84.8%が住みやすいと評価し、女性では「大変住みやすい」が 37.7%、「まあまあ住みやすい」が 50.4%であり、あわせて 88.1%が住みやすいと評価しています。

図．武豊町の住みごこち



図．武豊町の住みごこち



今後の居住意向（設問２）

『今後も武豊町で暮らしたいと思いますか？』と尋ねたところ、「今後も暮らしたい」が80.5%であり、「暮らしたいとは思わない」が19.4%となっています。

前回調査では、「今後も暮らしたい」が79.4%であり、今回の調査では1.1ポイント上昇しています。

学校別	武豊中学校では「今後も暮らしたい」が81.0%、「暮らしたいとは思わない」が19.4%、富貴中学校では「今後も暮らしたい」が79.0%、「暮らしたいとは思わない」が20.5%となっています。
性別	男性では「今後も暮らしたい」が81.9%、「暮らしたいとは思わない」が17.9%、女性では「今後も暮らしたい」が79.1%、「暮らしたいとは思わない」が20.9%となっています。

図. 今後の居住意向

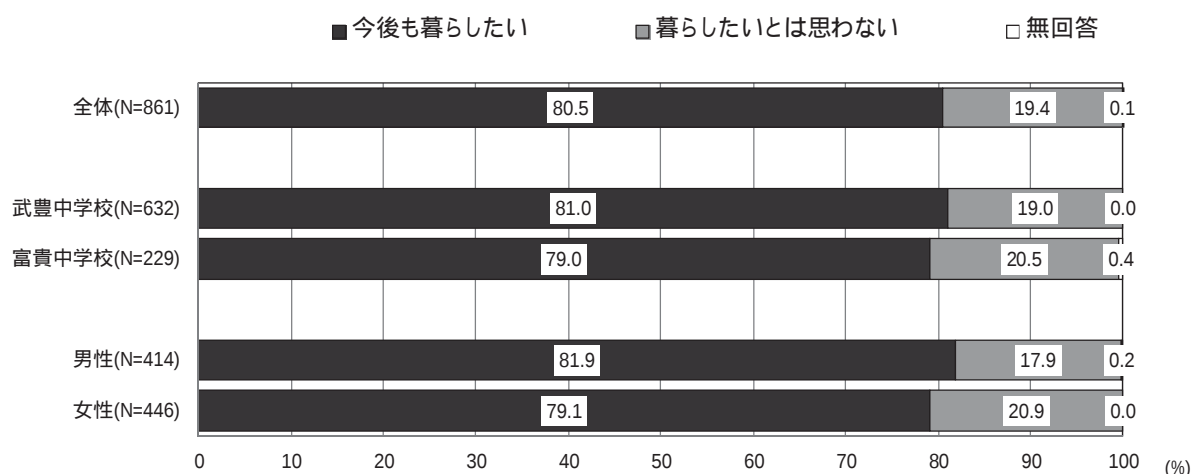
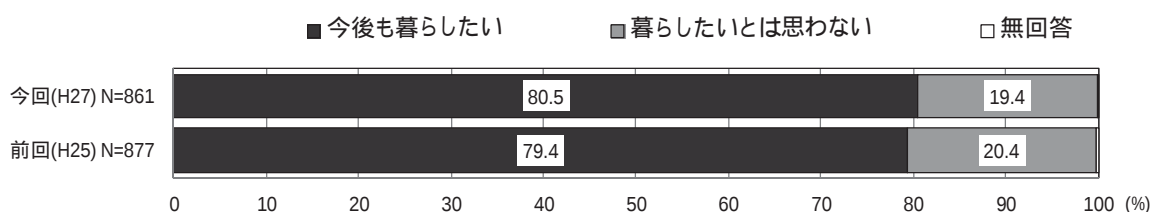


図. 今後の居住意向

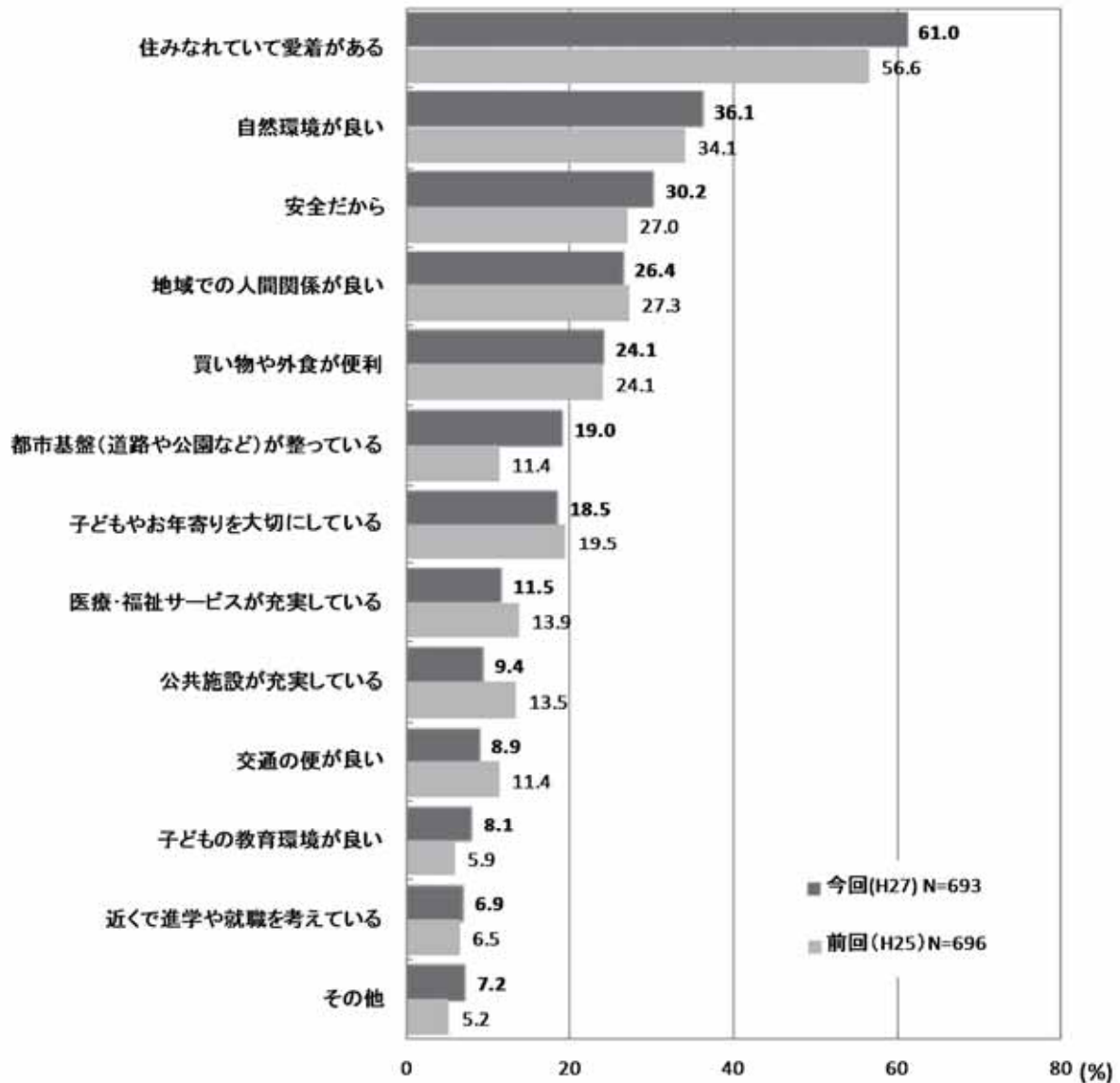


武豊町で暮らしたい理由（設問 2-1）

「今後も暮らしたい」と回答した人に対して、『武豊町で暮らしたいと思う理由は何ですか?』と尋ねたところ、「住みなれていて愛着がある」が 61.0%と最も多く、以下、「自然環境が良い」が 36.1%、「安全だから」が 30.2%、「地域での人間関係が良い」が 26.4%、「買い物や外食が便利」が 24.1%と続いています。前回調査に比べて、「住みなれていて愛着がある」や「安全だから」を理由にあげる割合が大きくなっています。

図. 武豊町で暮らしたい理由

【複数回答】



学校別	武豊中学校では「買い物や外食が便利」「道路や公園などが整っている」「住みなれて愛着がある」が、富貴中学校では「自然環境が良い」「医療・福祉サービスが充実している」が、他校に比べて多くなっています。
性別	男性では「安全だから」「道路や公園などが整っている」が、女性では「子どもやお年寄りを大切にしている」が、他の性別に比べて多くなっています。

表. 武豊町で暮らしたい理由（クロス集計）

【複数回答】

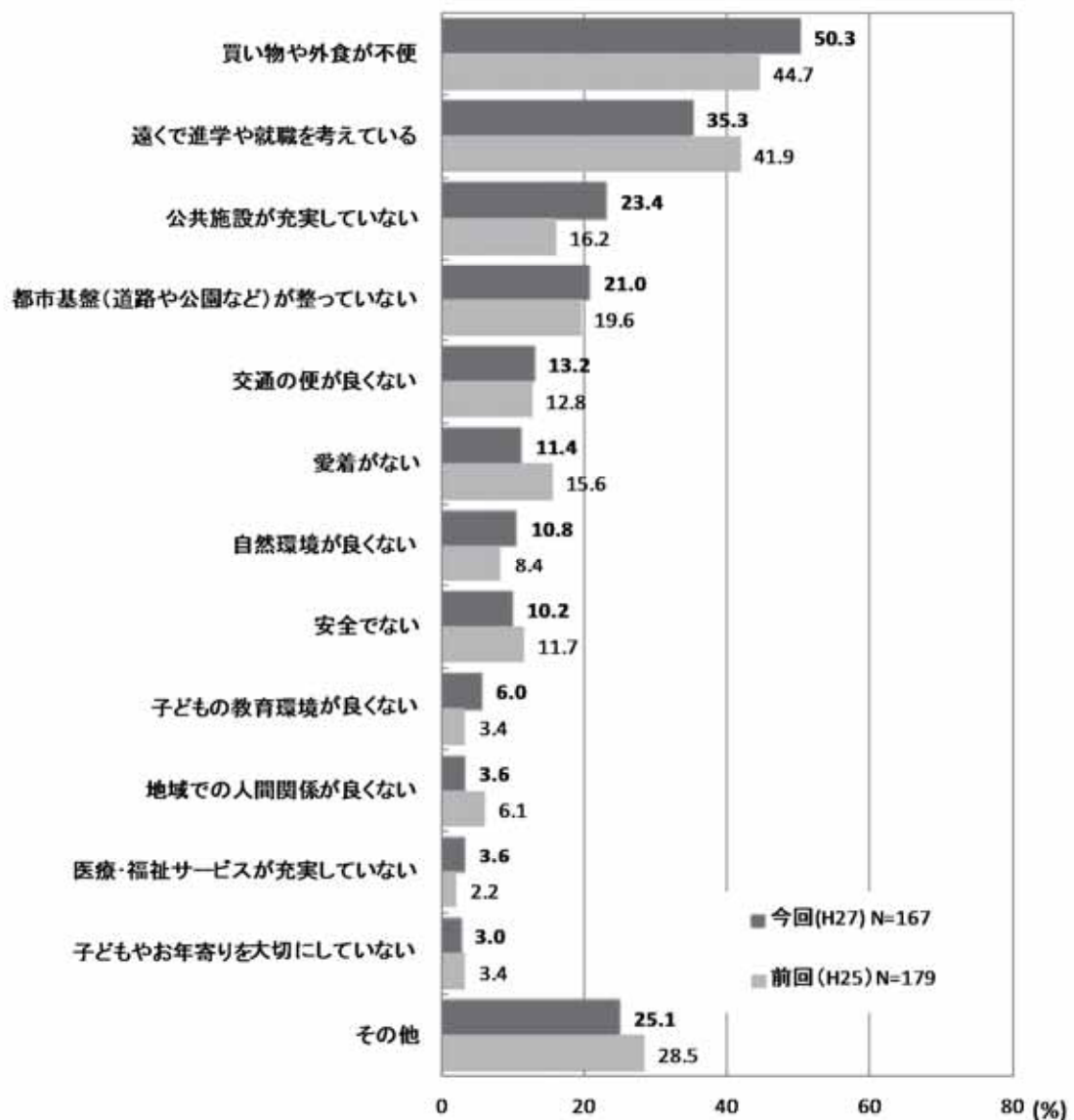
		住みなれていて愛着がある	自然環境が良い	安全だから	地域での人間関係が良い	買い物や外食が便利	都市基盤（道路や公園など）が整っている	子どもやお年寄りを大切にしている	医療・福祉サービスが充実している	公共施設が充実している	交通の便が良い	子どもの教育環境が良い	近くで進学や就職を考え	その他	無回答
全体(N=693)		61.0	36.1	30.2	26.4	24.1	19.0	18.5	11.5	9.4	8.9	8.1	6.9	7.2	0.0
学校	武豊中学校(N=512)	62.1	33.0	29.9	25.6	26.0	20.5	18.4	9.2	9.4	9.0	7.8	6.4	7.0	0.0
	富貴中学校(N=181)	58.0	44.8	30.9	28.7	18.8	14.9	18.8	18.2	9.4	8.8	8.8	8.3	7.7	0.0
性別	男性(N=339)	59.3	38.3	34.2	24.8	26.3	23.9	15.3	9.7	10.3	12.4	7.7	7.1	7.1	0.0
	女性(N=353)	62.6	34.0	26.3	28.0	22.1	14.4	21.5	13.3	8.5	5.7	8.5	6.8	7.4	0.0

武豊町で暮らしたいとは思わない理由（設問 2-2）

「暮らしたいとは思わない」と回答した人に対して、『武豊町で暮らしたいとは思わない理由は何ですか?』と尋ねたところ、「買い物や外食が不便」が 50.3%と最も多く、以下、「遠くで進学や就職を考えている」が 35.3%、「公共施設が充実していない」が 23.4%「都市基盤（道路や公園など）が整っていない」が 21.0%、「交通の便が良くない」が 13.2%と続いています。前回調査に比べて「買い物や外食が不便」や「公共施設が充実していない」を理由にあげる割合が大きくなっています。

図. 武豊町で暮らしたいとは思わない理由

【複数回答】



学校別	武豊中学校では「遠くで進学や就職を考えている」「愛着がない」が、富貴中学校では「買い物や外食が不便」「道路や公園などが整っていない」「自然環境が良い」が、他校に比べて多くなっています。
性別	男性では「遠くで進学や就職を考えている」「交通の便が良くない」が、女性では「買い物や外食が不便」「公共施設が充実していない」が、他の性別に比べて多くなっています。

表. 武豊町で暮らしたいとは思わない理由（クロス集計）

【複数回答】

		買い物や外食が不便	遠くで進学や就職を考え	公共施設が充実していない	都市基盤（道路や公園など）が整っていない	交通の便が良くない	愛着がない	自然環境が良くない	安全でない	子どもの教育環境が良くない	医療・福祉サービスが充実していない	地域での人間関係が良くない	子どもや高齢者を大切にしていない	その他	無回答
全体(N=167)		50.3	35.3	23.4	21.0	13.2	11.4	10.8	10.2	6.0	3.6	3.6	3.0	25.1	0.6
学校	武豊中学校(N=120)	45.0	36.7	22.5	17.5	14.2	13.3	7.5	9.2	4.2	3.3	3.3	2.5	26.7	0.8
	富貴中学校(N=47)	63.8	31.9	25.5	29.8	10.6	6.4	19.1	12.8	10.6	4.3	4.3	4.3	21.3	0.0
性別	男性(N=74)	44.6	40.5	18.9	21.6	18.9	10.8	9.5	12.2	6.8	4.1	2.7	2.7	25.7	0.0
	女性(N=93)	54.8	31.2	26.9	20.4	8.6	11.8	11.8	8.6	5.4	3.2	4.3	3.2	24.7	1.1

(3)幸福度

中学生の幸福度（設問3）

『あなたは、今、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか?』と尋ねたところ、7点が最も多くなっており、平均は6.0点となっています。

前回調査に比べて、平均が1.0点下がっています。

学校別	武豊中学校では平均 6.2 点、富貴中学校では平均 5.7 点となっています。
性別	男性では平均 6.0 点、女性では平均 6.1 点となっています。

図. 中学生の幸福度

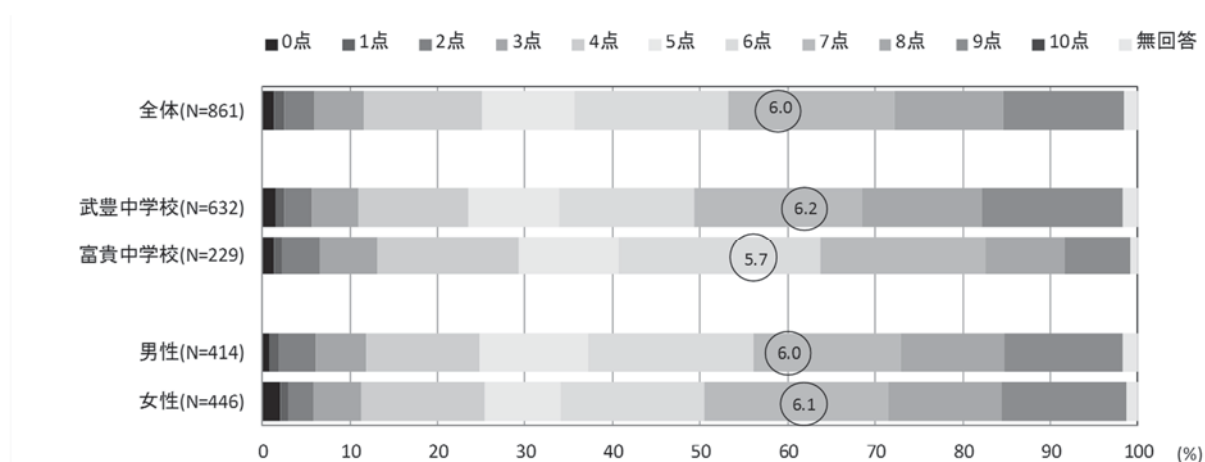
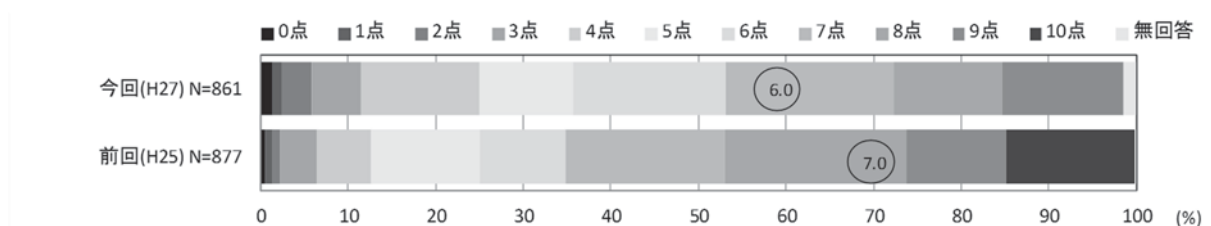


図. 中学生の幸福度



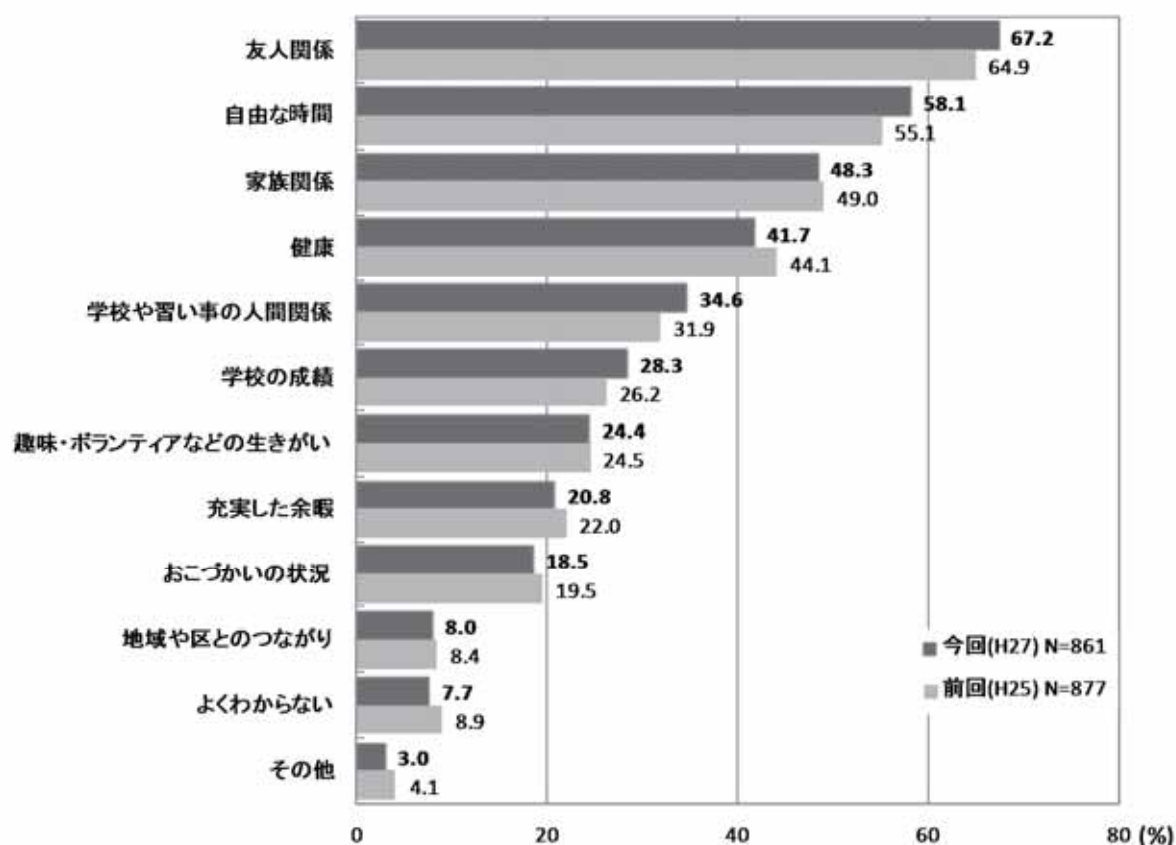
「幸せかどうか」を判断するときに重視したこと（設問４）

『あなたが「幸せかどうか」を判断するときに重視したことは何ですか？』と尋ねたところ、「友人関係」が64.9%と最も多く、以下、「自由な時間」が55.1%、「家族関係」が49.0%、「健康」が44.1%、「学校や習い事の人間関係」が31.9%と続いています。前回調査に比べて、「友人関係」や「自由な時間」をあげる割合が大きくなり、「家族関係」や「健康」は小さくなっています。

学校別	武豊中学校では「学校の成績」が、富貴中学校では「おこづかいの状況」が、他校に比べて多くなっています。
性別	男性では「自由な時間」が、女性では「友人関係」「家族関係」が、他の性別に比べて多くなっています。

図. 「幸せかどうか」を判断するときに重視したこと

【複数回答】



4 中学生アンケートの結果

表. 「幸せかどうか」を判断するときに重視したこと（クロス集計）

【複数回答】

		友人関係	自由な時間	家族関係	健康	学校や習い事の人間関係	学校の成績	趣味・ボランテアなどの生きがい	充実した余暇	おこづかいの状況	地域や区とのつながり	よくわからない	その他	無回答
		(%)												
全体(N=861)		67.2	58.1	48.3	41.7	34.6	28.3	24.4	20.8	18.5	8.0	7.7	3.0	0.0
学校	武豊中学校(N=632)	67.4	57.4	49.2	41.0	34.2	30.4	24.5	21.0	17.4	8.5	8.2	3.3	0.0
	富貴中学校(N=229)	66.8	59.8	45.9	43.7	35.8	22.7	24.0	20.1	21.4	6.6	6.1	2.2	0.0
性別	男性(N=414)	60.6	62.3	41.1	42.0	30.2	27.1	22.0	22.2	21.7	6.3	7.7	3.1	0.0
	女性(N=446)	73.3	54.0	54.9	41.5	38.8	29.6	26.5	19.3	15.2	9.6	7.6	2.9	0.0

(4)家庭や学校などでの生活

学校について（設問5）

『学校は楽しいですか？』と尋ねたところ、「とても楽しい」が42.4%、「どちらかといえば楽しい」が45.2%であり、あわせて87.6%が学校は楽しいと評価しています。一方、「楽しくない」は3.0%、「どちらかといえば楽しくない」は9.4%と少なくなっています。

前回調査（平成25年）では、「とても楽しい」が40.7%、「どちらかといえば楽しい」が46.4%、あわせて87.1%が楽しいと評価しており、今回の調査では学校は楽しいとの評価が0.5ポイント上がっています。

学校別	武豊中学校では「とても楽しい」が45.4%、「どちらかといえば楽しい」が43.4%であり、あわせて88.7%が楽しいと評価し、富貴中学校では「とても楽しい」が34.1%、「どちらかといえば楽しい」が50.2%であり、あわせて84.3%が楽しいと評価しています。
性別	男性では「とても楽しい」が37.4%、「どちらかといえば楽しい」が50.5%であり、あわせて87.9%が楽しいと評価し、女性では「とても楽しい」が46.9%、「どちらかといえば楽しい」が40.4%であり、あわせて87.3%が楽しいと評価しています。

図. 学校について

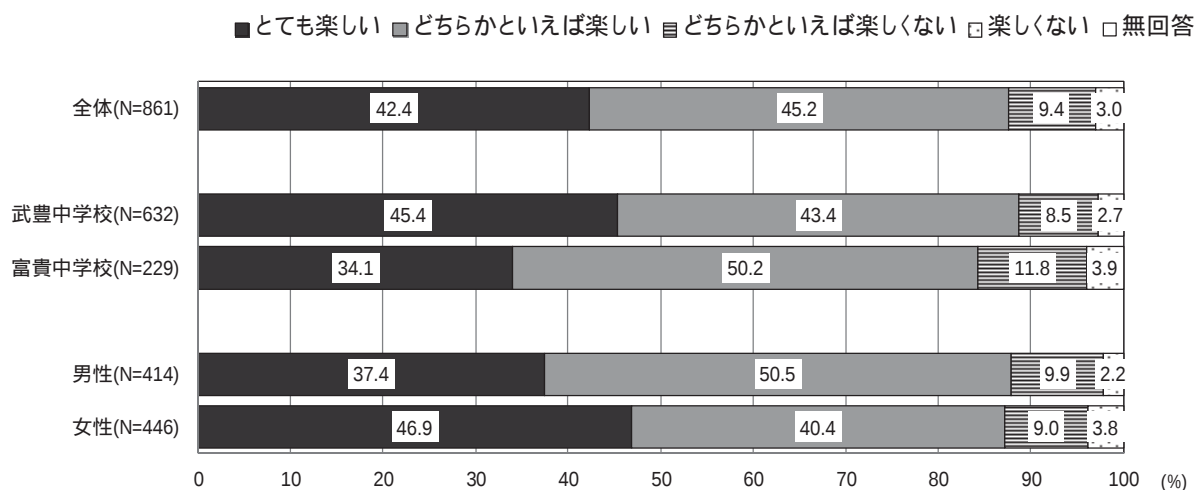
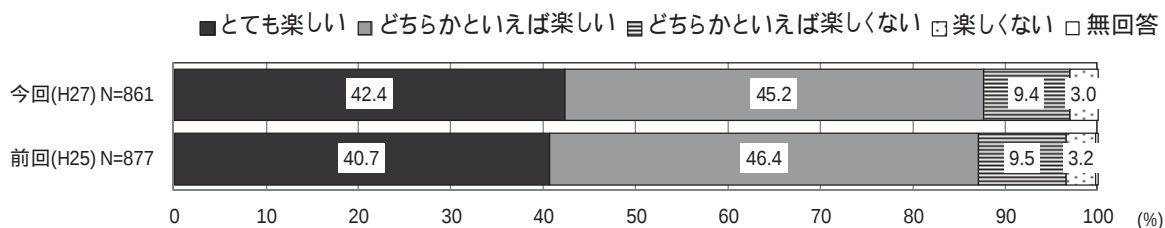


図. 学校について



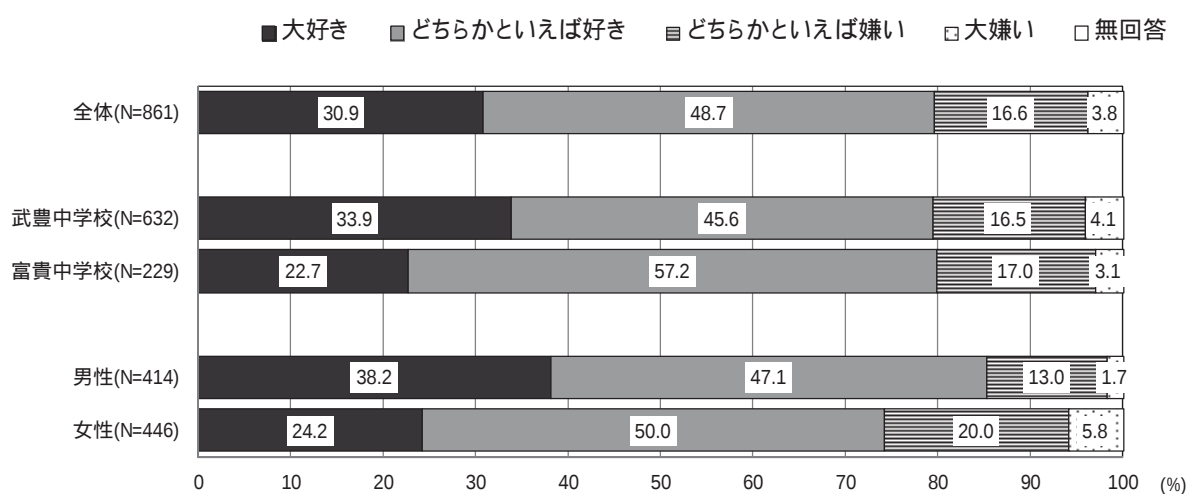
給食について（設問6）

『給食は好きですか？』と尋ねたところ、「大好き」が 30.9%、「どちらかといえば好き」が 48.7%であり、あわせて 79.6%が給食は好きと評価しています。一方、「大嫌い」は 3.8%、「どちらかといえば嫌い」は 16.6%と少なくなっています。

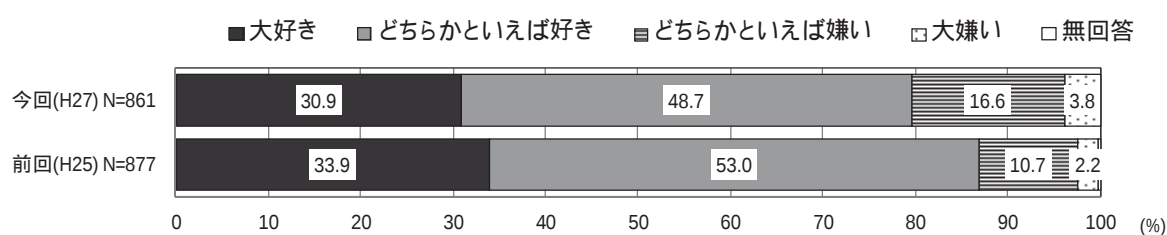
前回調査（平成 25 年）では、「大好き」が 33.9%、「どちらかといえば好き」が 53.0%、あわせて 86.9%が好きと評価しており、今回の調査では給食は好きとの評価が 7.3 ポイント下がっています。

学校別	武豊中学校では「大好き」が 33.9%、「どちらかといえば好き」が 45.6%であり、あわせて 79.5%が好きと評価し、富貴中学校では「大好き」が 22.7%、「どちらかといえば好き」が 57.2%であり、あわせて 79.9%が好きと評価しています。
性別	男性では「大好き」が 38.2%、「どちらかといえば好き」が 47.1%であり、あわせて 85.3%が好きと評価し、女性では「大好き」が 24.2%、「どちらかといえば好き」が 50.0%であり、あわせて 74.2%が好きと評価しています。

図．給食について



図．給食について



地域の祭りや行事について（設問7）

『地域の祭りや行事などを楽しみにしていますか？』と尋ねたところ、「楽しみにしている」が48.8%、「どちらかといえば楽しみにしている」が31.9%であり、あわせて80.7%が地域の祭りや行事などを楽しみにしていると評価しています。一方、「楽しみにしていない」は7.4%、「どちらかといえば楽しみにしていない」は11.7%と少なくなっています。

前回調査（平成25年）では、「楽しみにしている」が50.6%、「どちらかといえば楽しみにしている」が34.4%、あわせて85.0%が楽しみにしていると評価しており、今回の調査では地域の祭りや行事などを楽しみにしているとの評価が4.3ポイント下がっています。

学校別	武豊中学校では「楽しみにしている」が51.7%、「どちらかといえば楽しみにしている」が32.0%であり、あわせて83.7%が楽しみにしていると評価し、富貴中学校では「楽しみにしている」が40.6%、「どちらかといえば楽しみにしている」が31.9%であり、あわせて72.5%が楽しみにしていると評価しています。
性別	男性では「楽しみにしている」が48.3%、「どちらかといえば楽しみにしている」が29.0%であり、あわせて77.3%が楽しみにしていると評価し、女性では「楽しみにしている」が49.1%、「どちらかといえば楽しみにしている」が34.8%であり、あわせて83.9%が楽しみにしていると評価しています。

図. 地域の祭りや行事について

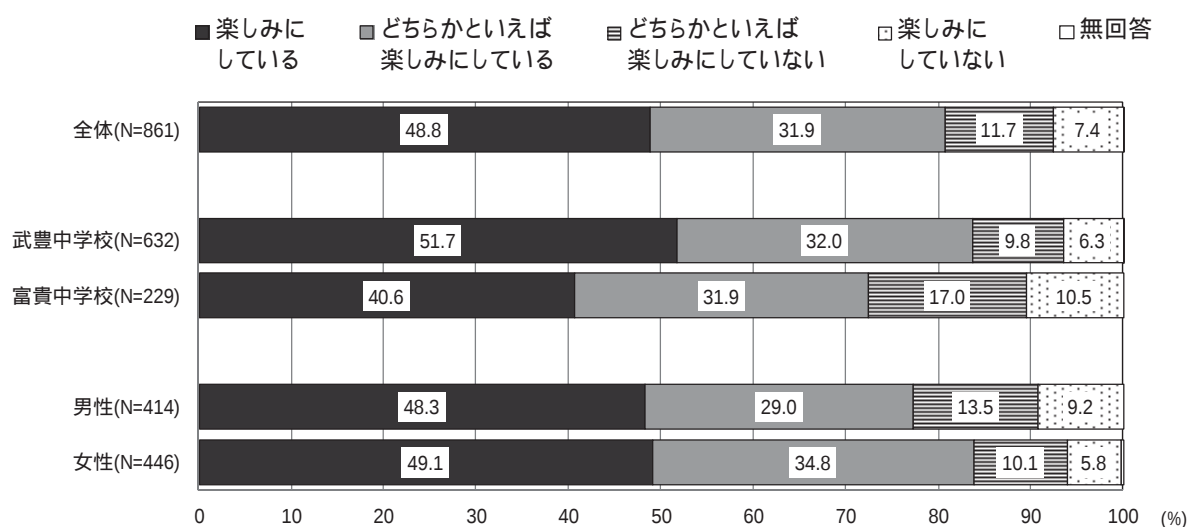
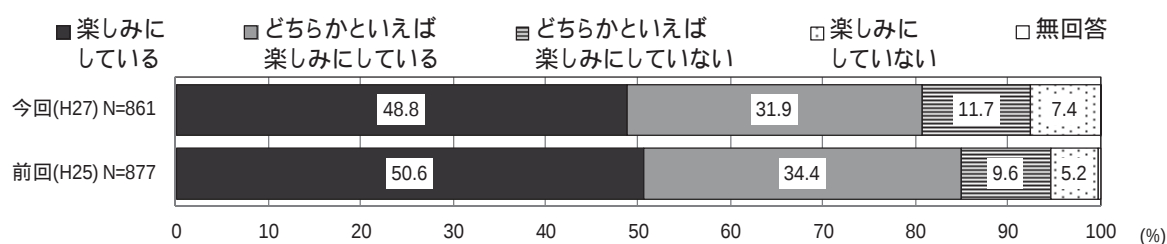


図. 地域の祭りや行事について



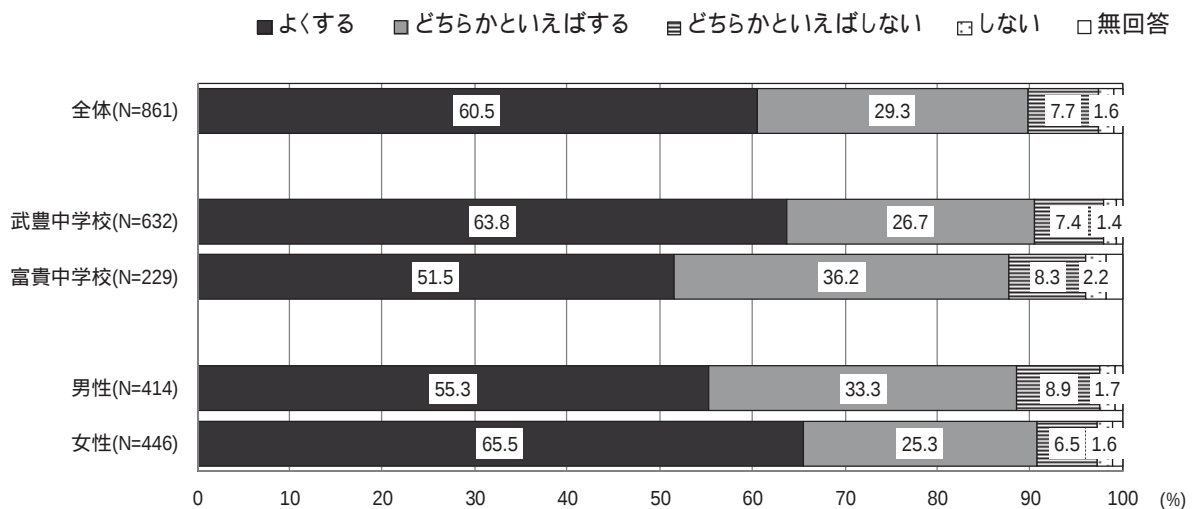
家族との会話について（設問 8）

『日ごろから、家族とよく話をしますか？』と尋ねたところ、「よくする」が 60.5%、「どちらかといえばする」が 29.3%であり、あわせて 89.8%が家族とよく話しをすると評価しています。一方、「しない」は 1.6%、「どちらかといえばしない」は 7.7%と少なくなっています。

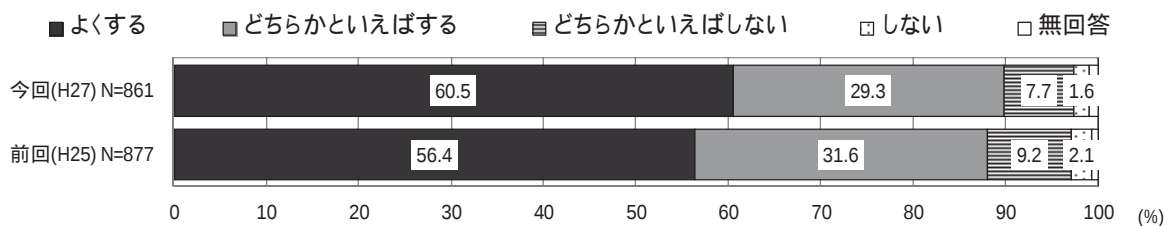
前回調査（平成 25 年）では、「よくする」が 56.4%、「どちらかといえばする」が 31.6%、あわせて 88.0%がよく話しをすると評価しており、今回の調査では家族とよく話しをするとの評価が 1.8 ポイント上がっています。

学校別	武豊中学校では「よくする」が 63.8%、「どちらかといえばする」が 26.7%であり、あわせて 90.5%がよく話しをすると評価し、富貴中学校では「よくする」が 51.5%、「どちらかといえばする」が 36.2%であり、あわせて 87.7%がよく話しをすると評価しています。
性別	男性では「よくする」が 55.3%、「どちらかといえばする」が 33.3%であり、あわせて 88.6%がよく話しをすると評価し、女性では「よくする」が 65.5%、「どちらかといえばする」が 25.3%であり、あわせて 90.8%がよく話しをすると評価しています。

図．家族との会話について



図．家族との会話について



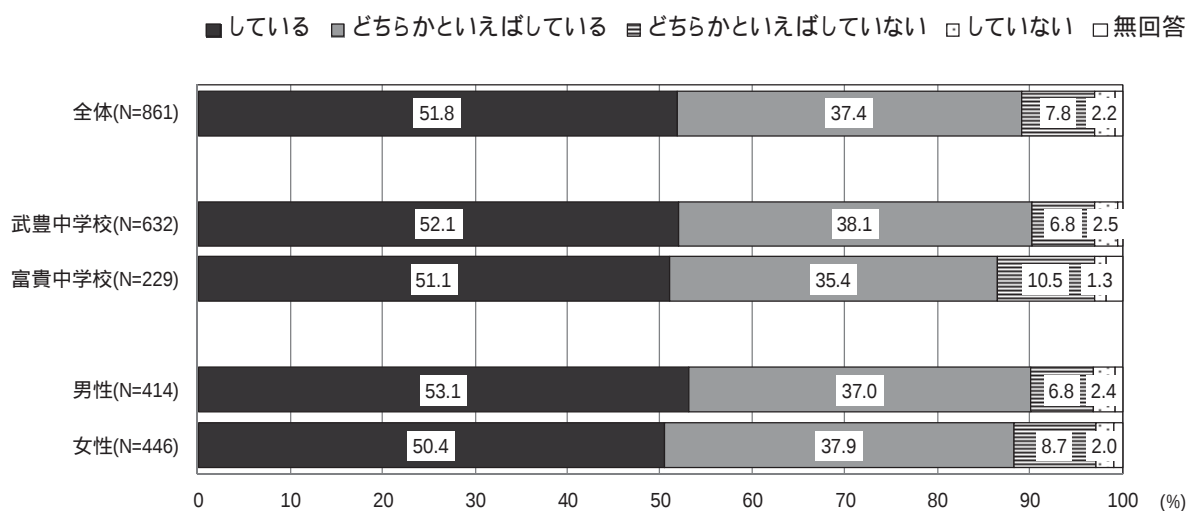
近所の人へのあいさつについて（設問９）

『近所の人をみかけたらあいさつをしていますか？』と尋ねたところ、「している」が51.8%、「どちらかといえばしている」が37.4%であり、あわせて89.2%が近所の人をみかけたらあいさつをしていると評価しています。一方、「していない」は2.2%、「どちらかといえばしていない」は7.8%と少なくなっています。

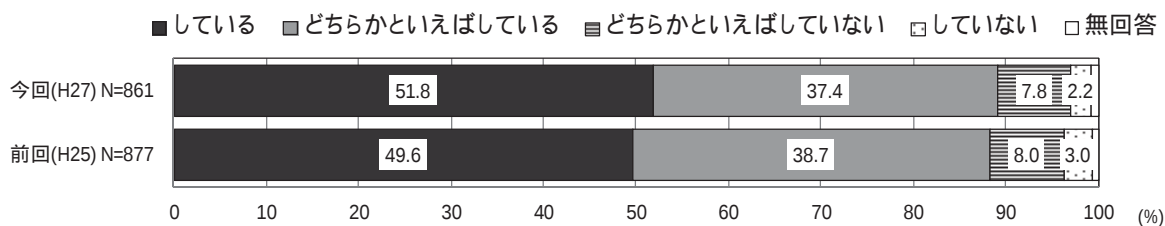
前回調査(平成25年)では、「している」が49.6%、「どちらかといえばしている」が38.7%、あわせて88.3%がしていると評価しており、今回の調査ではあいさつをしているとの評価が0.9ポイント上がっています。

学校別	武豊中学校では「している」が52.1%、「どちらかといえばしている」が38.1%であり、あわせて90.2%があいさつをしていると評価し、富貴中学校では「している」が51.1%、「どちらかといえばしている」が35.4%であり、あわせて86.5%があいさつをしていると評価しています。
性別	男性では「している」が53.1%、「どちらかといえばしている」が37.0%であり、あわせて90.1%があいさつをしていると評価し、女性では「している」が50.4%、「どちらかといえばしている」が37.9%であり、あわせて88.3%があいさつをしていると評価しています。

図．近所の人へのあいさつについて



図．近所の人へのあいさつについて



5 若年アンケートの結果

(1)回答者の属性

性別、年代別、居住地区などの属性は次のとおりです。

居住年数をみると、「2年未満」が26.6%、「2年以上5年未満」が17.2%と居住年数が少ない住民が多数いることがわかります。

家族全員の年収については、「0～99万円」が3.4%、「100～199万円」が2.5%となっています。

性別

区分	回答数	割合
男性	123	38.6
女性	192	60.2
無回答	4	1.3

年代

区分	回答数	割合
20～24歳	21	6.6
25～29歳	107	33.5
30～34歳	95	29.8
35～39歳	94	29.5
無回答	2	0.6

居住地区

区分	回答数	割合
武豊小学校区	95	29.8
緑丘小学校区	103	32.3
衣浦小学校区	57	17.9
富貴小学校区	60	18.8
無回答	4	1.3

居住年数

区分	回答数	割合
2年未満	85	26.6
2年以上5年未満	55	17.2
5年以上10年未満	54	16.9
10年以上	123	38.6
無回答	2	0.6

住まい

区分	回答数	割合
持ち家（一戸建て）	177	55.5
持ち家（マンション）	8	2.5
賃貸住宅	106	33.2
社宅・独身寮	23	7.2
その他	3	0.9
無回答	2	0.6

回答者の年収

区分	回答数	割合
0～99 万円	88	27.6
100～199 万円	26	8.2
200～299 万円	37	11.6
300～499 万円	115	36.1
500～699 万円	41	12.9
700 万円以上	3	0.9
無回答	9	2.8

家族全員の年収

区分	回答数	割合
0～99 万円	11	3.4
100～199 万円	8	2.5
200～299 万円	19	6.0
300～499 万円	98	30.7
500～699 万円	104	32.6
700 万円以上	66	20.7
無回答	13	4.1

(2)回答者の就業状況

職業については、「正社員・正職員」が 58.9%と最も多く、「就労・就学をしていない」は 17.2%です。

通勤・通学地（就労・就学者対象）については、「武豊町内」が 24.5%にとどまり、「半田市」24.1%、「常滑市」10.3%など近隣市町が多くなっています。

働いていない理由（就労・就学をしていない人対象）については、「育児のため」が 76.4%と最も多く、「よい職場がみつかならいため」が 20.0%と続いています。

性別	職業について、「正社員・正職員」は男性で 87.8%、女性で 40.6%となっています。
年代	30～34 歳で「パート・アルバイト」が 20.0%で 20 歳代と比べ増加しています。
居住地区	通勤・通学地は、すべての地区で「武豊町外」が「武豊町内」を上回り、緑丘小学校区は「半田市」が 34.1%と最も多くなっています。
婚姻・子ども	既婚・子ども有で「就労・就学をしていない」が 26.4%と他と比べて多くなっています。

図. 職業

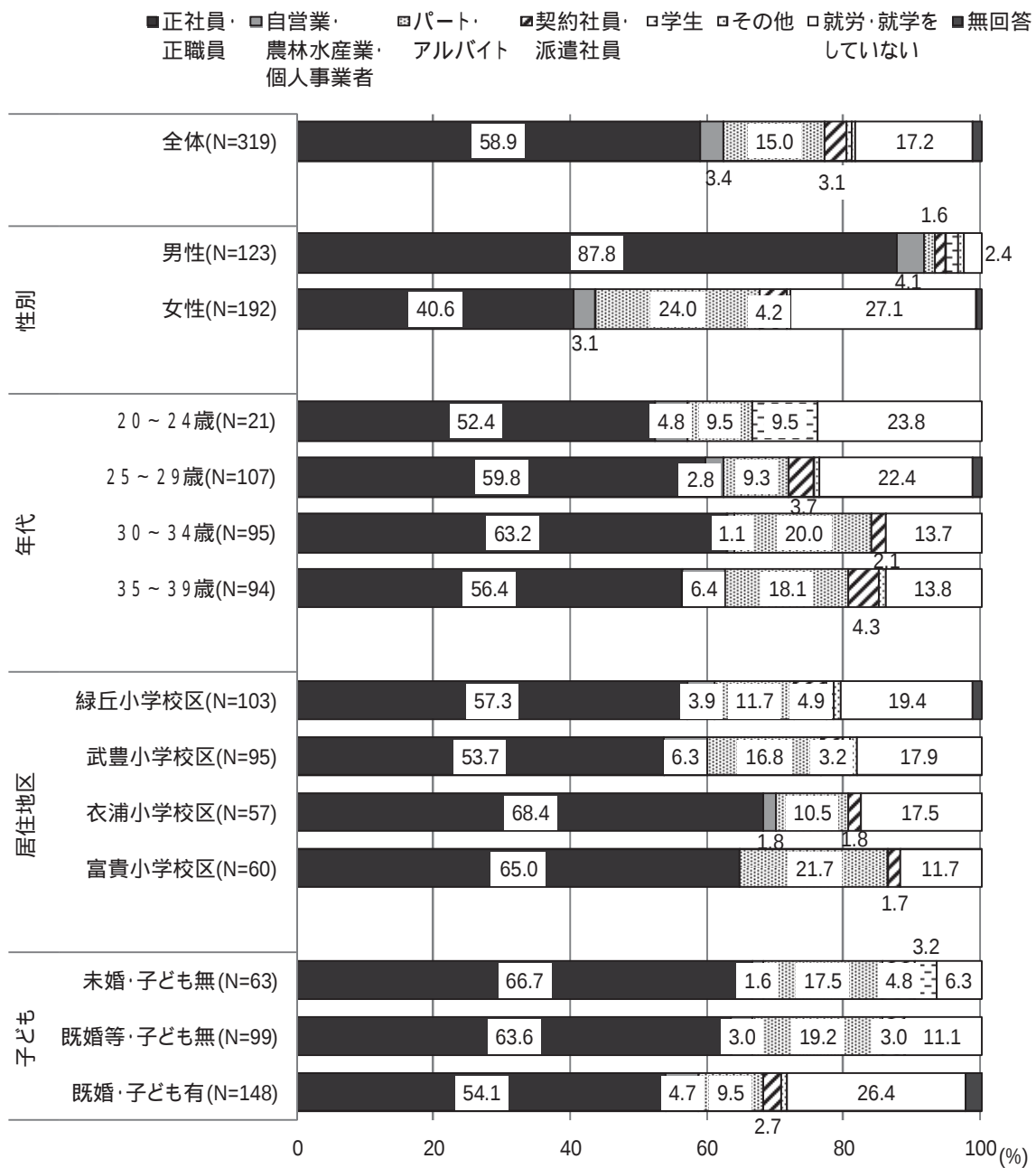


図. 通勤・通学地

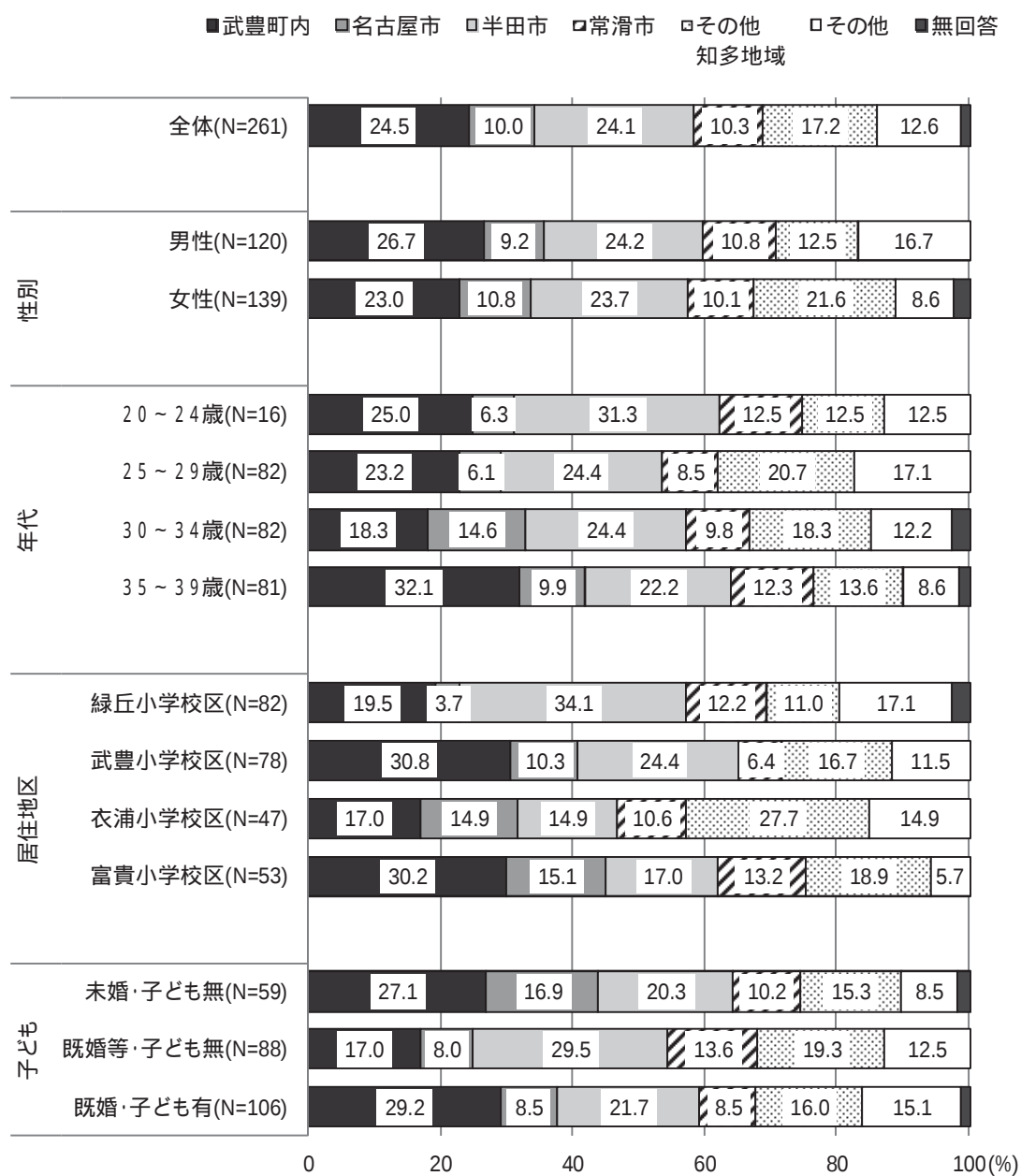


図. 働いていない理由

【複数回答】

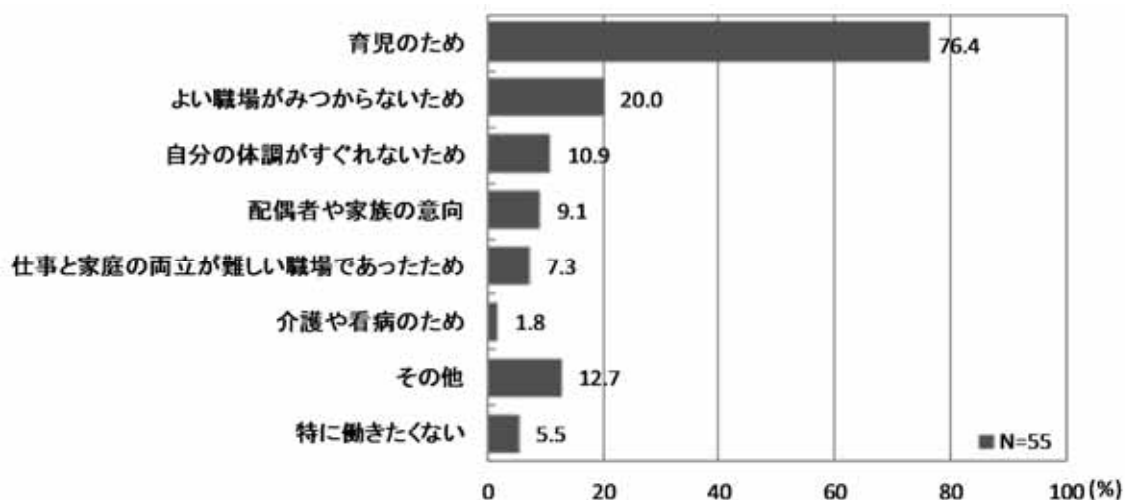


表. 働いていない理由 (クロス集計)

【複数回答】

										(%)
		育 児 の た め	か よ い な 職 場 が み つ	ぐ 自 れ な い 体 調 め が す	意 配 向 偶 者 や 家 族 の	で 立 あ が 難 し い 庭 の 場 両	め 介 護 や 看 病 の た	そ の 他	い 特 に 働 き た く な	無 回 答
全体(N=55)		76.4	20.0	10.9	9.1	7.3	1.8	12.7	5.5	1.8
性別	男性(N=3)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	女性(N=52)	80.8	17.3	9.6	9.6	7.7	1.9	9.6	5.8	1.9
年代	20～24歳(N=5)	100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	25～29歳(N=24)	83.3	20.8	0.0	4.2	8.3	4.2	12.5	0.0	4.2
	30～34歳(N=13)	69.2	7.7	7.7	23.1	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0
	35～39歳(N=13)	61.5	30.8	30.8	7.7	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0
住居地区	緑丘小学校区(N=20)	90.0	20.0	0.0	5.0	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0
	武豊小学校区(N=17)	64.7	29.4	23.5	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9
	衣浦小学校区(N=10)	70.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0
	富貴小学校区(N=7)	71.4	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
子ども	未婚・子ども無(N=4)	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	既婚等・子ども無(N=11)	36.4	18.2	36.4	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0
	既婚・子ども有(N=39)	94.9	17.9	2.6	10.3	10.3	2.6	7.7	0.0	2.6

(3)ライフプラン

人生設計について（設問2）

『ご自身の人生設計について、どのように考え、行動していますか？』と、定住、結婚、子どもに関するライフプランについて尋ねました。

住む場所や住宅について、「考えるが、行動(対応)していない」が33.2%、「真剣に考えていない」が10.7%となるなど、住まい・結婚・子育てに関する人生設計やそれに基づいた行動をしていないという回答が多く見られます。

性別	男性は女性より『今後、住む場所や住宅について』、女性は男性より『女性の出産年齢を考えて、結婚すること』で「考えて行動している（した）」が多くなっています。
年代	「考えて行動している（した）」をみると、3項目共通して、20～24歳は少ないのですが、25～29歳になると大幅に増加しています。
居住地区	緑丘小学校区で、『今後、住む場所や住宅について』で「考えて行動している（した）」が63.1%と他の地区と比べて多くなっています。
婚姻・子ども	未婚・子ども無の人は、3項目共通して、「考えて行動している（した）」が少なく、結婚がライフプランの契機になっていることがうかがえます。

図. 今後、住む場所や住宅について

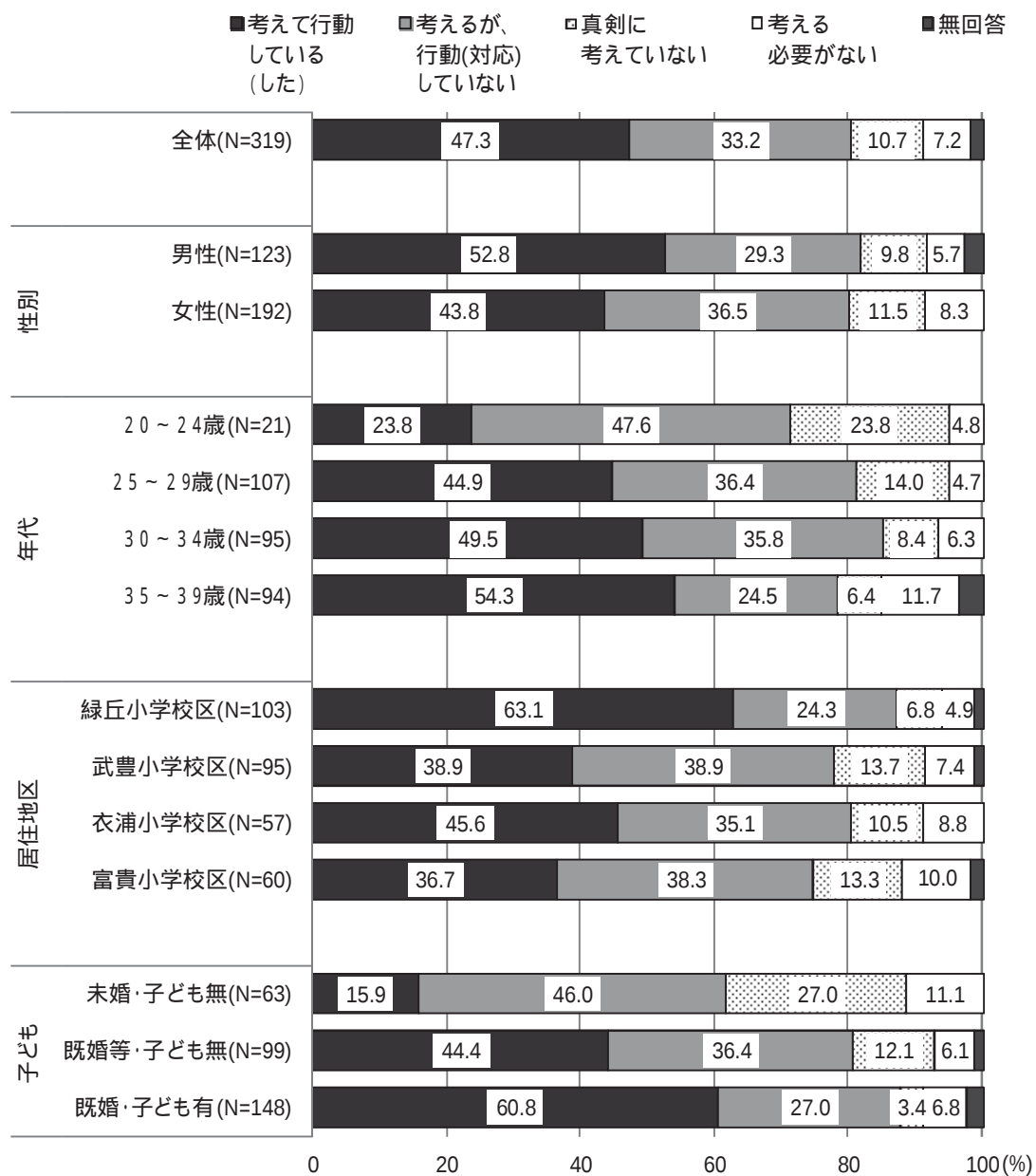


図. 女性の出産年齢を考えて、結婚すること

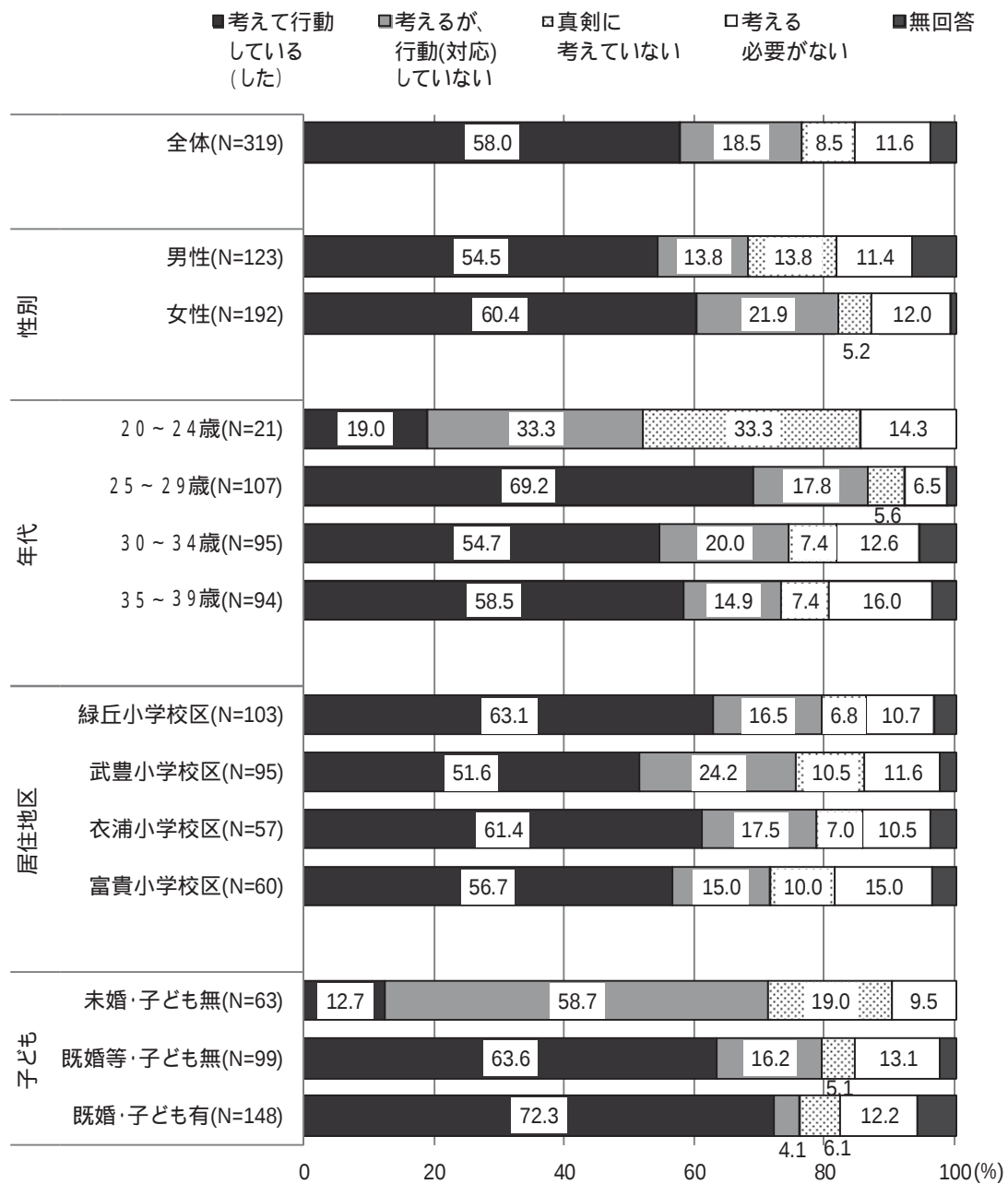
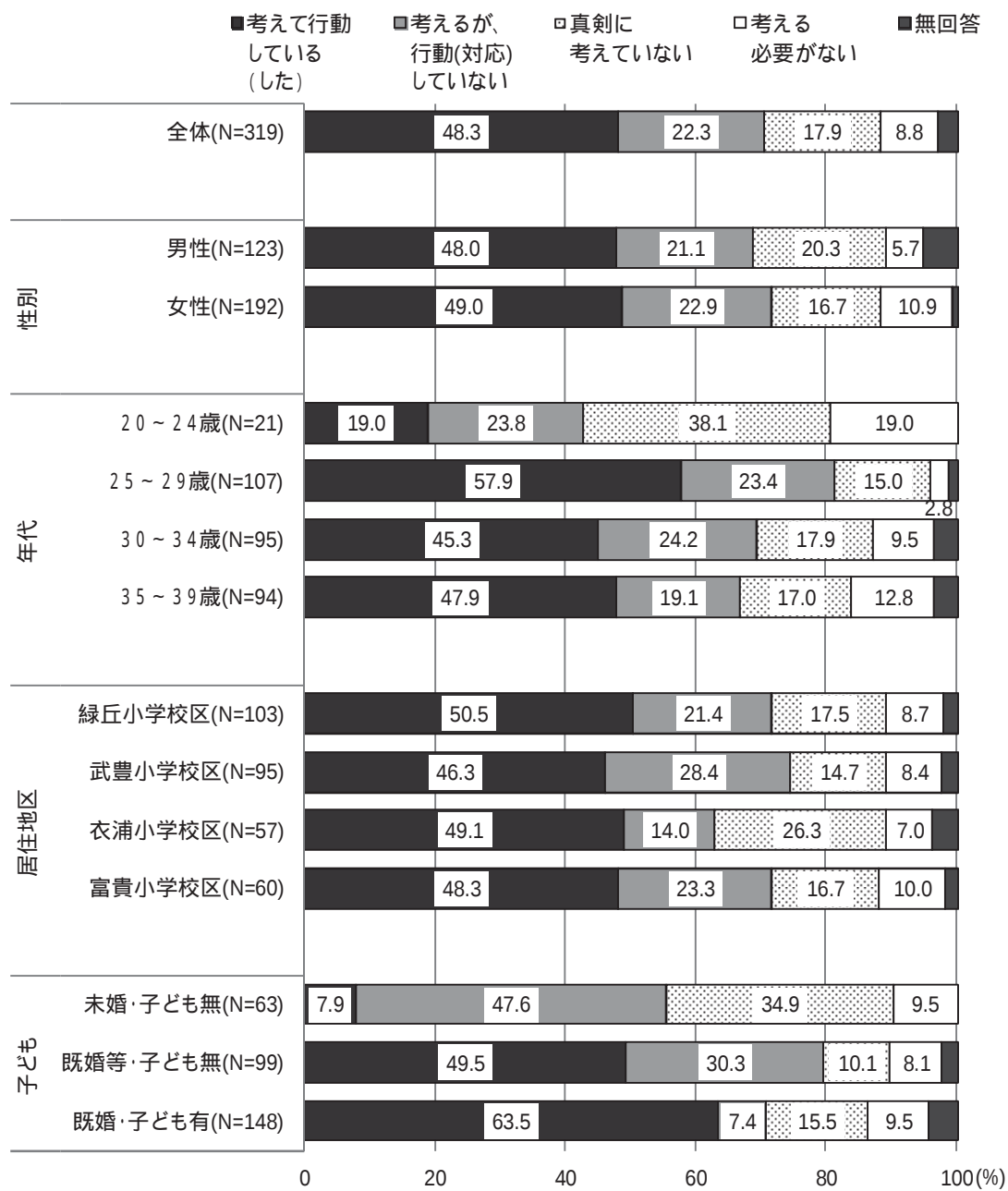


図. 定年の年齢を考えて、子どもをつくること



(4)定住について

武豊町の住みごちや今後の居留意向（設問3・4）

『武豊町の住みごちはどう思いますか？』と尋ねたところ、「まあまあ住みやすい」が68.0%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が20.7%と、多くの人が住みやすさを評価しています。

『今後も武豊町で暮らしたいと思いますか？』と尋ねたところ、「今後も暮らしたい」が84.3%、「暮らしたいとは思わない」が14.4%となっています。

性別	今後の居留意向について、女性は「暮らしたいとは思わない」が15.6%で、男性よりやや多くなっています。
年代	今後の居留意向について、20～24歳は「暮らしたいとは思わない」が28.6%で、他の年代より多くなっています。
居住地区	武豊町の住みごちについて、富貴小学校区は「大変住みやすい」が15.0%で他の地区と比べてやや少ないのですが、「今後も暮らしたい」は90.0%で4小学校区の中で最も多くなっています。
婚姻・子ども	今後の居留意向について、既婚・子ども有で「今後も暮らしたい」が91.2%と特に多くなっています。

図. 武豊町の住みごこちに対する評価

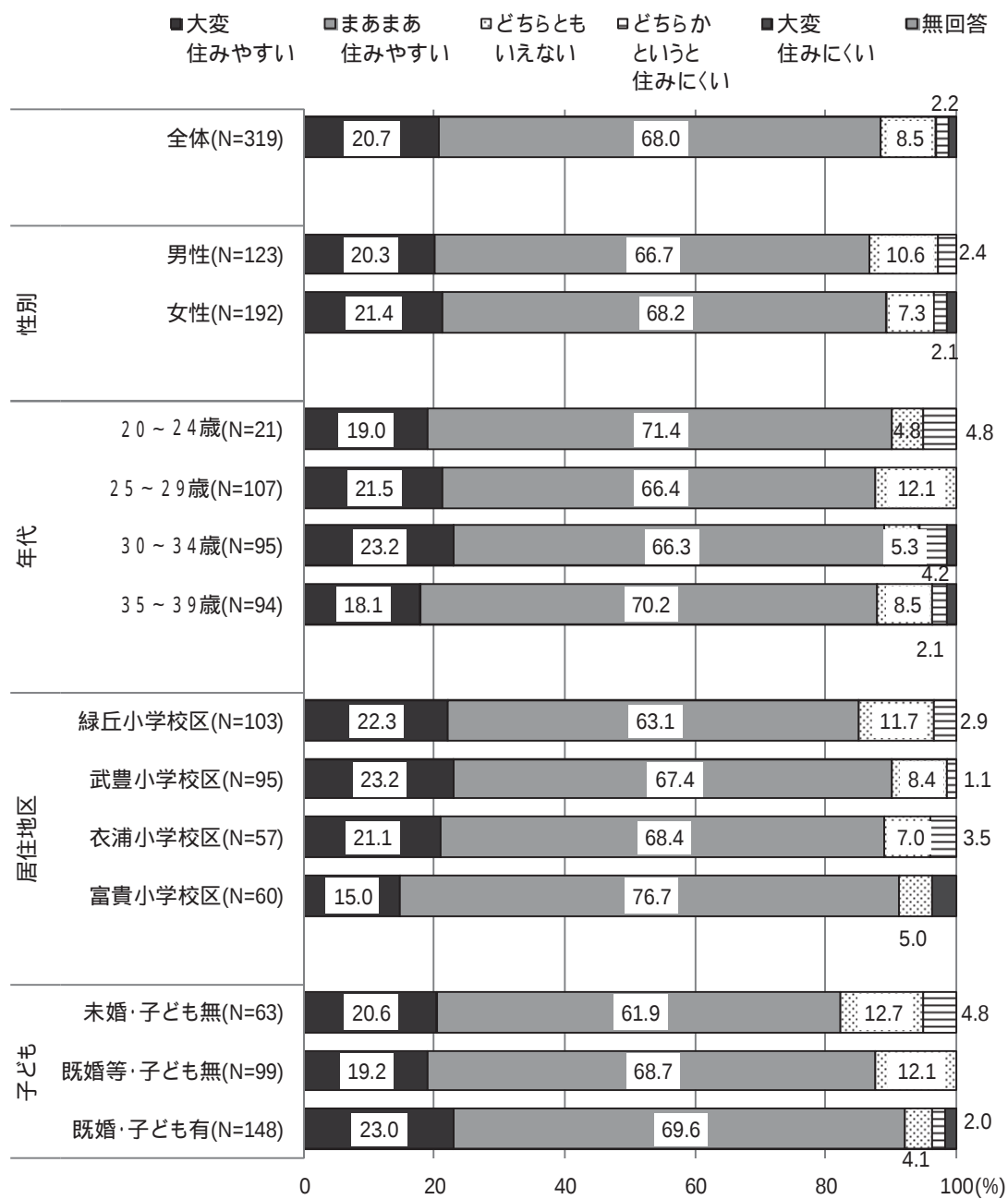
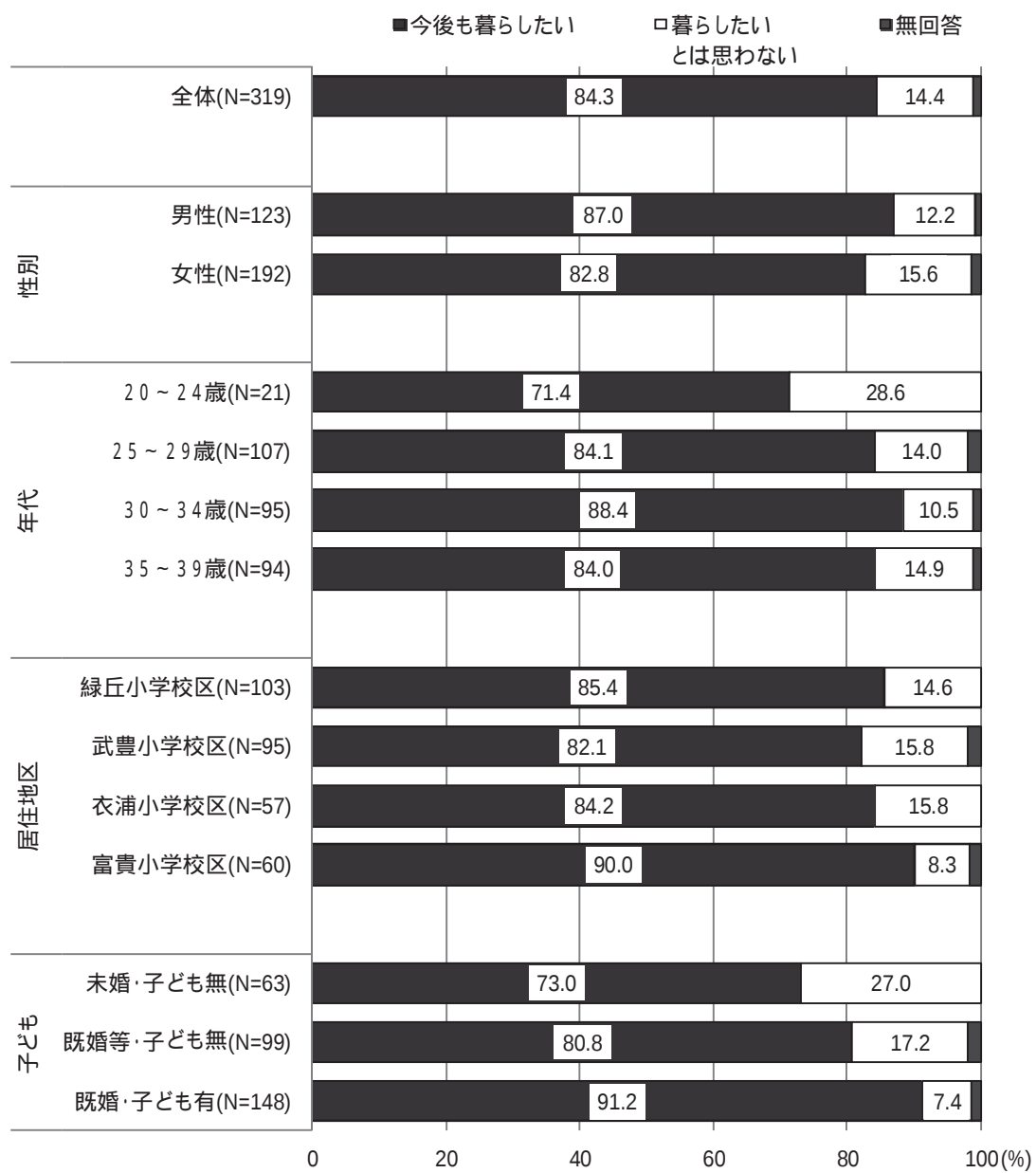


図. 今後の居住意向



武豊町で暮らしたい理由（設問 4-1）

「今後も暮らしたい」と回答した人に対して、そう思う理由を尋ねたところ、「学校や仕事、家族の都合」（36.4%）、「住みなれていて愛着がある」（33.5%）、「買い物や外食が便利」（29.4%）、「住環境が良い」（28.6%）、「自然環境が良い」（24.2%）、「子育てをしやすい」（21.9%）、「交通の便が良い」（20.1%）などがあがっています。

性別	男性は「学校や仕事、家族の都合」（43.0%）、女性は「住みなれていて愛着がある」（36.5%）が最も多くなっています。
年代	20～24 歳は「学校や仕事、家族の都合」（53.3%）、25～29 歳は「住みなれていて愛着がある」（41.1%）が特に多くなっています。
居住地区	「買い物や外食が便利」をみると、武豊小学校区、衣浦小学校区で最も多くなっていますが、衣浦小学校区は 7.4%にとどまり、地区で違いが見られます。
婚姻・子ども	未婚・子ども無は「住みなれていて愛着がある」が 60.9%と特に多くなっています。既婚・子ども有で「子育てをしやすい」が 33.3%で子ども無と比べて多くなっています。

図．武豊町で暮らしたい理由

【複数回答】

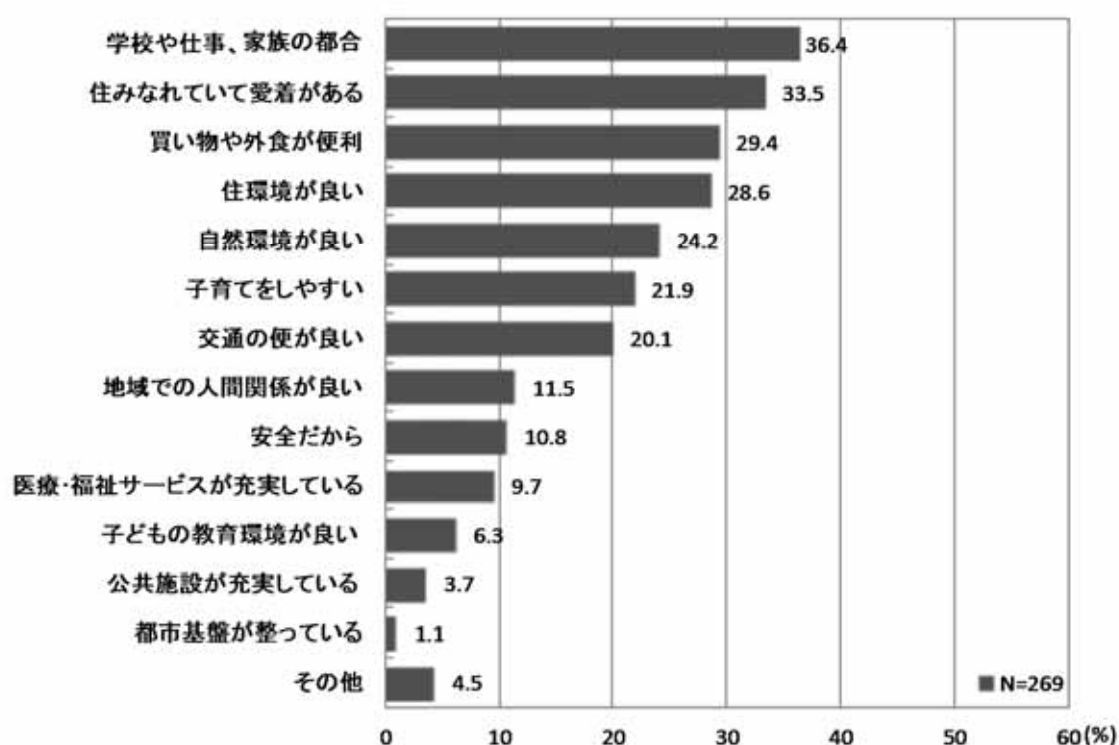


表. 武豊町で暮らしたい理由 (クロス集計)

【複数回答】

(%)

	学校や仕事、家族の都合	住みなれていて愛着がある	買い物や外食が便利	住環境が良い	自然環境が良い	子育てをしやすい	交通の便が良い	地域での人間関係が良い
全体(N=269)	36.4	33.5	29.4	28.6	24.2	21.9	20.1	11.5
性別 男性(N=107)	43.0	29.9	29.9	31.8	19.6	22.4	22.4	9.3
女性(N=159)	32.1	36.5	28.3	27.0	27.0	21.4	18.9	13.2
年代 20～24歳(N=15)	53.3	26.7	20.0	20.0	26.7	20.0	20.0	6.7
25～29歳(N=90)	34.4	41.1	31.1	23.3	23.3	25.6	16.7	13.3
30～34歳(N=84)	36.9	31.0	31.0	31.0	21.4	23.8	19.0	10.7
35～39歳(N=79)	35.4	29.1	27.8	34.2	26.6	15.2	25.3	11.4
住居地区 緑丘小学校区(N=88)	38.6	35.2	25.0	28.4	22.7	27.3	14.8	12.5
武豊小学校区(N=78)	33.3	26.9	43.6	33.3	15.4	21.8	25.6	10.3
衣浦小学校区(N=48)	35.4	39.6	39.6	29.2	25.0	18.8	16.7	8.3
富貴小学校区(N=54)	38.9	35.2	7.4	22.2	37.0	14.8	24.1	14.8
子ども 未婚・子ども無(N=46)	32.6	60.9	21.7	19.6	34.8	10.9	30.4	10.9
既婚等・子ども無(N=80)	33.8	17.5	35.0	32.5	23.8	7.5	25.0	5.0
既婚・子ども有(N=135)	39.3	34.1	28.1	29.6	21.5	33.3	14.1	15.6

(%)

	安全だから	医療・福祉サービスが充実している	子どもの教育環境が良い	公共施設が充実している	都市基盤が整っている	その他	無回答
全体(N=269)	10.8	9.7	6.3	3.7	1.1	4.5	1.5
性別 男性(N=107)	13.1	12.1	2.8	3.7	0.9	6.5	0.9
女性(N=159)	9.4	7.5	8.8	3.8	1.3	3.1	1.9
年代 20～24歳(N=15)	6.7	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0
25～29歳(N=90)	13.3	8.9	4.4	2.2	0.0	5.6	1.1
30～34歳(N=84)	9.5	9.5	6.0	6.0	2.4	2.4	2.4
35～39歳(N=79)	10.1	8.9	7.6	2.5	1.3	6.3	1.3
住居地区 緑丘小学校区(N=88)	10.2	12.5	8.0	1.1	1.1	5.7	2.3
武豊小学校区(N=78)	9.0	11.5	5.1	2.6	2.6	1.3	2.6
衣浦小学校区(N=48)	10.4	8.3	2.1	6.3	0.0	6.3	0.0
富貴小学校区(N=54)	14.8	1.9	9.3	7.4	0.0	5.6	0.0
子ども 未婚・子ども無(N=46)	19.6	4.3	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0
既婚等・子ども無(N=80)	10.0	6.3	6.3	5.0	0.0	5.0	1.3
既婚・子ども有(N=135)	8.1	14.1	8.1	3.7	1.5	5.9	2.2

武豊町で暮らしたいとは思わない理由（設問 4-2）

「暮らしたいとは思わない」と回答した人に対して、そう思う理由を尋ねたところ、「学校や仕事、家族の都合」が 43.5%と最も多く、以下「買い物や外食が不便」が 37.0%、「交通の便が良くない」が 34.8%、「愛着がない」が 23.9%と続いています。

性別	女性は「交通の便が良くない」が 36.7%で男性より多くなっています。
年代	20～24 歳で「学校や仕事、家族の都合」が 100.0%と特に多くなっています。
居住地区	富貴小学校区は「買い物や外食が不便」が 60.0%と最も多くなっています。
婚姻・子ども	既婚・子ども有は「買い物や外食が不便」「交通の便が良くない」がともに 54.5%と最も多くなっています。

図. 武豊町で暮らしたいとは思わない理由

【複数回答】

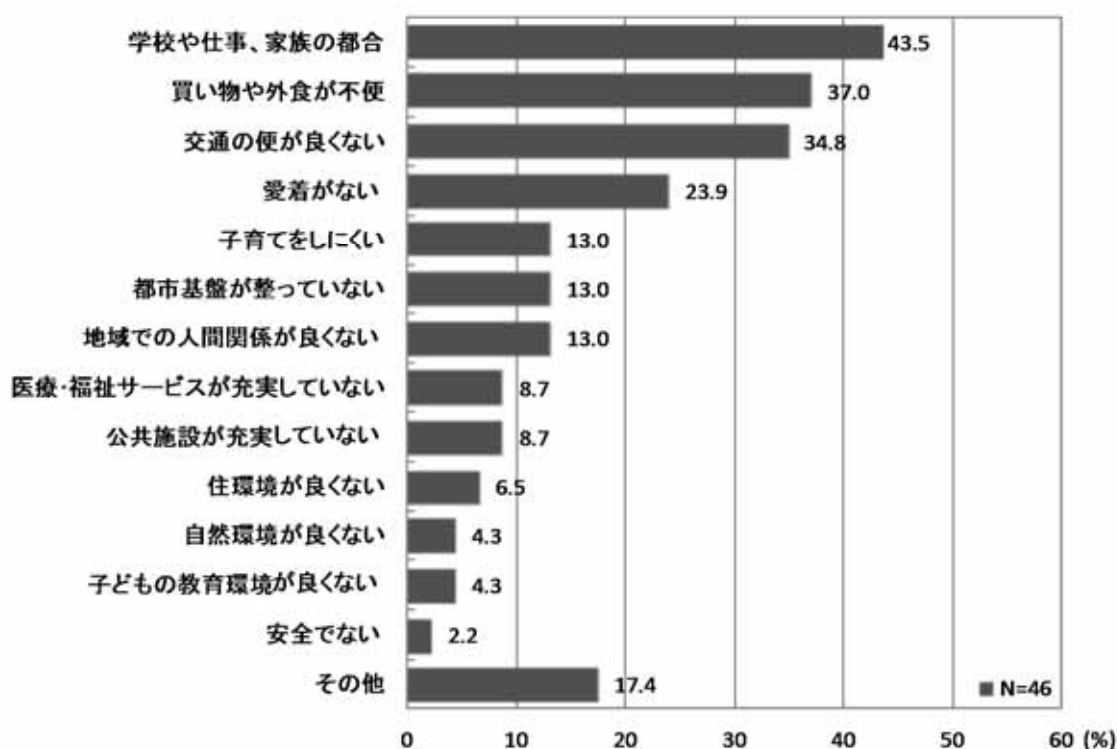


表. 武豊町で暮らしたいとは思わない理由 (クロス集計)

【複数回答】

(%)

	学校や仕事、家族の都合	買い物や外食が不便	交通の便が良くない	愛着がない	子育てをしにくい	都市基盤が整っていない	地域での人間関係が良くない	医療・福祉サービスが充実していない
全体(N=46)	43.5	37.0	34.8	23.9	13.0	13.0	13.0	8.7
性別 男性(N=15)	46.7	40.0	26.7	26.7	0.0	20.0	6.7	6.7
女性(N=30)	40.0	36.7	36.7	23.3	20.0	6.7	16.7	10.0
年代 20～24歳(N=6)	100.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
25～29歳(N=15)	26.7	26.7	26.7	26.7	33.3	6.7	6.7	20.0
30～34歳(N=10)	30.0	60.0	60.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0
35～39歳(N=14)	42.9	42.9	35.7	42.9	7.1	7.1	21.4	0.0
住居地区 緑丘小学校区(N=15)	40.0	46.7	40.0	20.0	20.0	6.7	6.7	20.0
武豊小学校区(N=15)	46.7	26.7	26.7	33.3	6.7	13.3	20.0	6.7
衣浦小学校区(N=9)	55.6	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0
富貴小学校区(N=5)	20.0	60.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
子ども 未婚・子ども無(N=17)	52.9	23.5	29.4	23.5	0.0	5.9	23.5	5.9
既婚等・子ども無(N=17)	47.1	35.3	23.5	29.4	11.8	17.6	11.8	11.8
既婚・子ども有(N=11)	27.3	54.5	54.5	18.2	27.3	18.2	0.0	9.1

(%)

	公共施設が充実していない	住環境が良くない	自然環境が良くない	子どもの教育環境が良くない	安全でない	その他	無回答
全体(N=46)	8.7	6.5	4.3	4.3	2.2	17.4	0.0
性別 男性(N=15)	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0
女性(N=30)	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	20.0	0.0
年代 20～24歳(N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
25～29歳(N=15)	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0	26.7	0.0
30～34歳(N=10)	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
35～39歳(N=14)	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0
住居地区 緑丘小学校区(N=15)	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0
武豊小学校区(N=15)	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	20.0	0.0
衣浦小学校区(N=9)	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0
富貴小学校区(N=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
子ども 未婚・子ども無(N=17)	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0
既婚等・子ども無(N=17)	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	23.5	0.0
既婚・子ども有(N=11)	18.2	18.2	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0

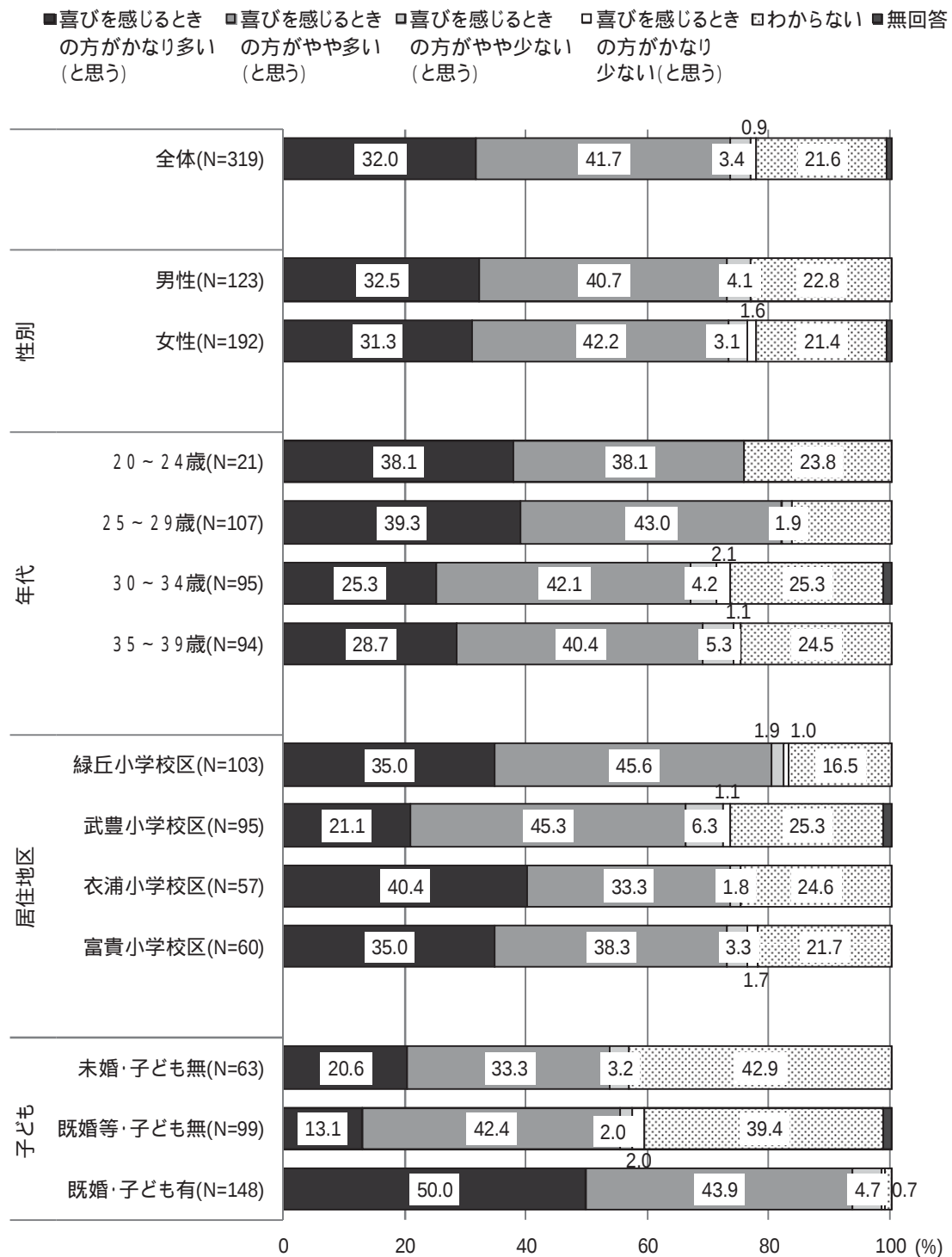
(5)子育てについて

「子育て」のイメージ（設問5）

『子育てをどのように感じますか？』と尋ねたところ、「喜びを感じる時の方がやや多い」が 41.7%、「喜びを感じる時の方がかなり多い」が 32.0%で、子育てが楽しいと考えている人が多いことがわかります。

性別	男性と女性で大きな違いは見られません。
年代	20 歳代の方が 30 歳代より「喜びを感じる時の方がかなり多い」がやや多くなっています。
居住地区	武豊小学校区は「喜びを感じる時の方がかなり多い」が 21.1%で、他地区と比べて少なくなっています。
婚姻・子ども	既婚・子ども有は「喜びを感じる時の方がかなり多い」が 50.0%で、子ども無と比べて多くなっています。

図.「子育て」のイメージ



「子育て」の楽しさ（設問 6）

『子育ては、どのような楽しさがあると思いますか？』と尋ねたところ、「子どもの成長がわかること」（82.1%）、「子どもの笑顔が見られること」（78.4%）の回答が多く、この他「子育てで、自分自身も成長できること」（60.8%）、「夫婦・家族の中で会話が増えること」（43.9%）、「子どもを通じて、近所や地域に知りあいが増えること」（36.4%）、「自分が大切な存在と思うようになること」（32.9%）、「子育ての経験が仕事等に役立つこと」（18.5%）など、自分自身、家族、地域、仕事など多様な場面で楽しみがあると回答されています。

性別	女性は男性より「子育てで、自分自身も成長できること」（67.2%）、「子どもを通じて、近所や地域に知りあいが増えること」（42.7%）が多くなっています。
年代	すべての年代で「子どもの成長がわかること」「子どもの笑顔が見られること」が多くなっています。
居住地区	すべての地区で「子どもの成長がわかること」「子どもの笑顔が見られること」が多くなっています。
婚姻・子ども	既婚・子ども有は「子どもの成長がわかること」（95.3%）、「子どもの笑顔が見られること」（92.6%）が特に多くなっています。

図. 「子育て」の楽しさ

【複数回答】

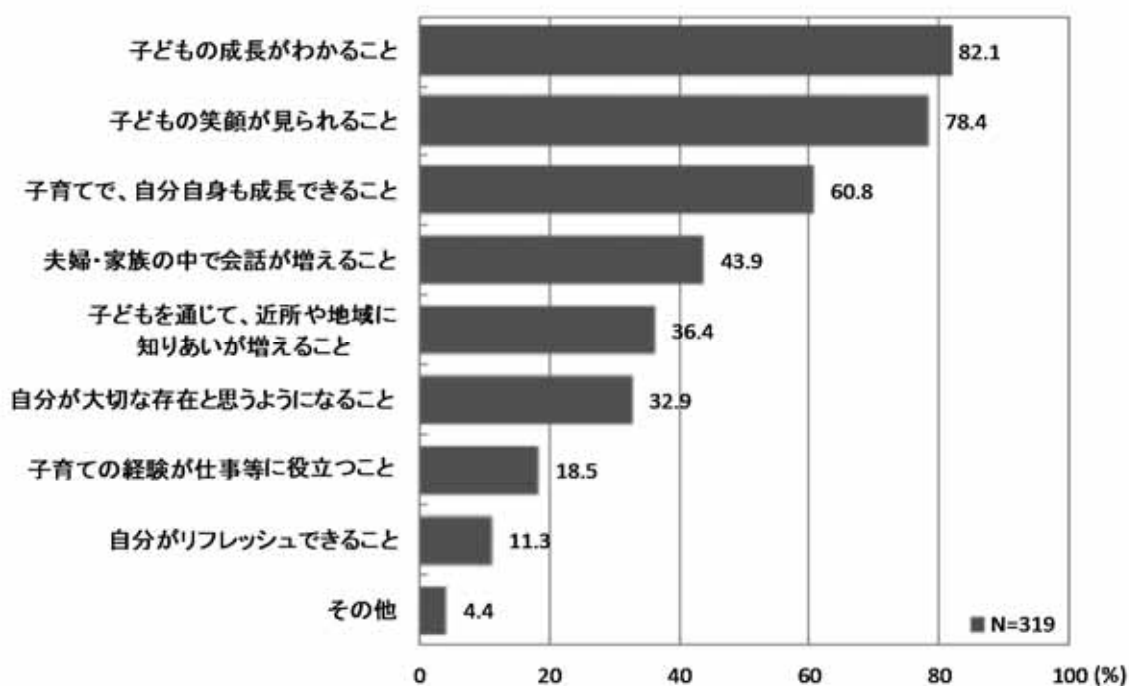


表. 「子育て」の楽しさ (クロス集計)

【複数回答】

		か 子 る こ も の 成 長 が わ	ら 子 れ ど も の 笑 顔 が 見	と 身 も 成 長 で 自 分 こ	会 夫 話 が ・ 増 え る こ と で	あ 近 い 所 が や も 増 え る こ と に 知 り	こ と 思 う が よ う に な る 存	事 子 等 育 に 役 立 つ こ と 仕	シ 自 分 が リ フ レ ッ シ な こ と	そ の 他	(%) 無 回 答
全体(N=319)		82.1	78.4	60.8	43.9	36.4	32.9	18.5	11.3	4.4	2.5
性 別	男性(N=123)	82.1	73.2	51.2	43.1	26.0	37.4	13.8	18.7	4.1	3.3
	女性(N=192)	81.8	81.3	67.2	44.8	42.7	30.2	21.4	6.3	4.7	2.1
年 代	20～24歳(N=21)	71.4	85.7	76.2	38.1	47.6	19.0	14.3	14.3	4.8	0.0
	25～29歳(N=107)	84.1	85.0	61.7	43.0	35.5	33.6	22.4	14.0	3.7	0.9
	30～34歳(N=95)	81.1	77.9	65.3	51.6	42.1	32.6	15.8	8.4	1.1	3.2
	35～39歳(N=94)	83.0	69.1	53.2	39.4	29.8	36.2	18.1	9.6	8.5	4.3
住 居 地 区	緑丘小学校区(N=103)	82.5	83.5	60.2	46.6	39.8	36.9	21.4	13.6	1.9	2.9
	武豊小学校区(N=95)	73.7	73.7	60.0	43.2	27.4	29.5	14.7	7.4	5.3	4.2
	衣浦小学校区(N=57)	82.5	75.4	54.4	42.1	38.6	35.1	19.3	10.5	7.0	1.8
	富貴小学校区(N=60)	93.3	78.3	70.0	43.3	43.3	30.0	18.3	11.7	5.0	0.0
子 ど も	未婚・子ども無(N=63)	68.3	66.7	57.1	36.5	30.2	30.2	15.9	12.7	6.3	3.2
	既婚等・子ども無(N=99)	72.7	63.6	59.6	29.3	24.2	26.3	14.1	4.0	7.1	5.1
	既婚・子ども有(N=148)	95.3	92.6	63.5	58.1	46.6	37.8	23.0	15.5	2.0	0.0

子どもの人数の理想や現状（問7～9）

現在の子どもの人数は、「0人」が50.8%、「1人」が21.0%、「2人」が22.6%となっています。

子どもがいる人を対象に、子どもの年齢について尋ねたところ、「0～2歳」が67.1%、「3～5歳」が40.6%と、低年齢が多くなっています。

すべての人に『これから何人子どもを持ちたいですか？』と尋ねたところ、「2人」が37.6%と最も多く、以下、「1人」が29.5%、「0人」が25.4%と続いています。

将来の理想の子どもの人数について、「2人」が55.8%、と最も多く、次いで「3人」が28.2%となっています。「1人」は8.2%、「0人」は5.0%です。

性別	将来の理想の子どもの人数について、女性は「3人」が31.8%で男性より多くなっています。
年代	現在の子どもの人数について、35～39歳でも「0人」が40.4%となっています。これから持ちたい子どもの人数について、35～39歳は「0人」が44.7%と多くなっています。
居住地区	現在の子どもの人数について、武豊小学校区は「0人」が61.1%と他地区と比べて多くなっています。
婚姻・子ども	将来の理想の子どもの人数について、既婚・子ども有は「3人」が44.6%と、子ども無と比べて多くなっています。

図. 現在の子どもの人数

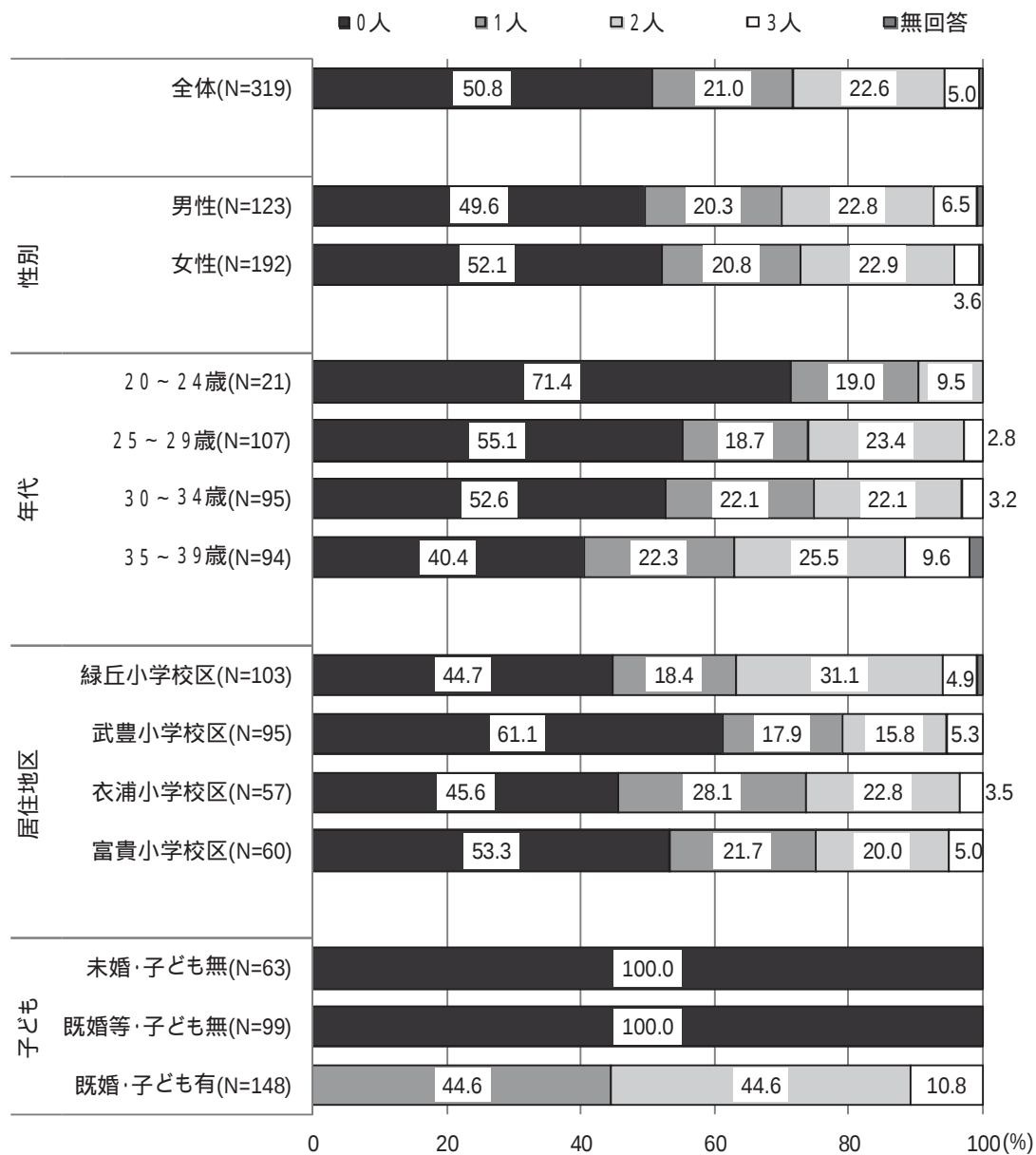


図. 子どもの年齢

【複数回答】

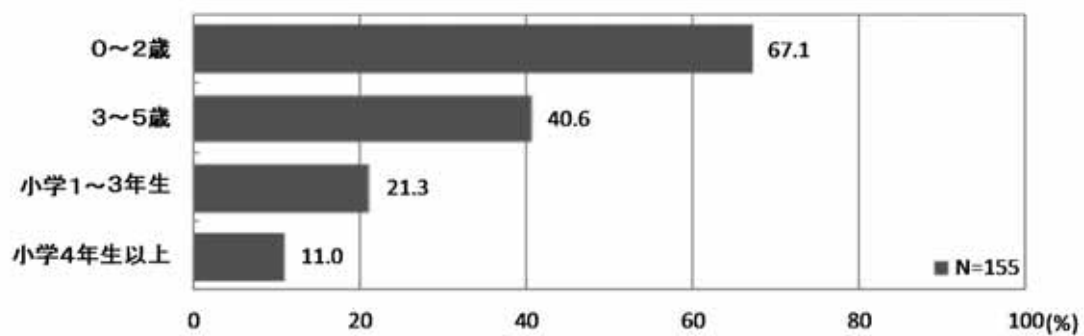


図. 将来の理想の子ども的人数

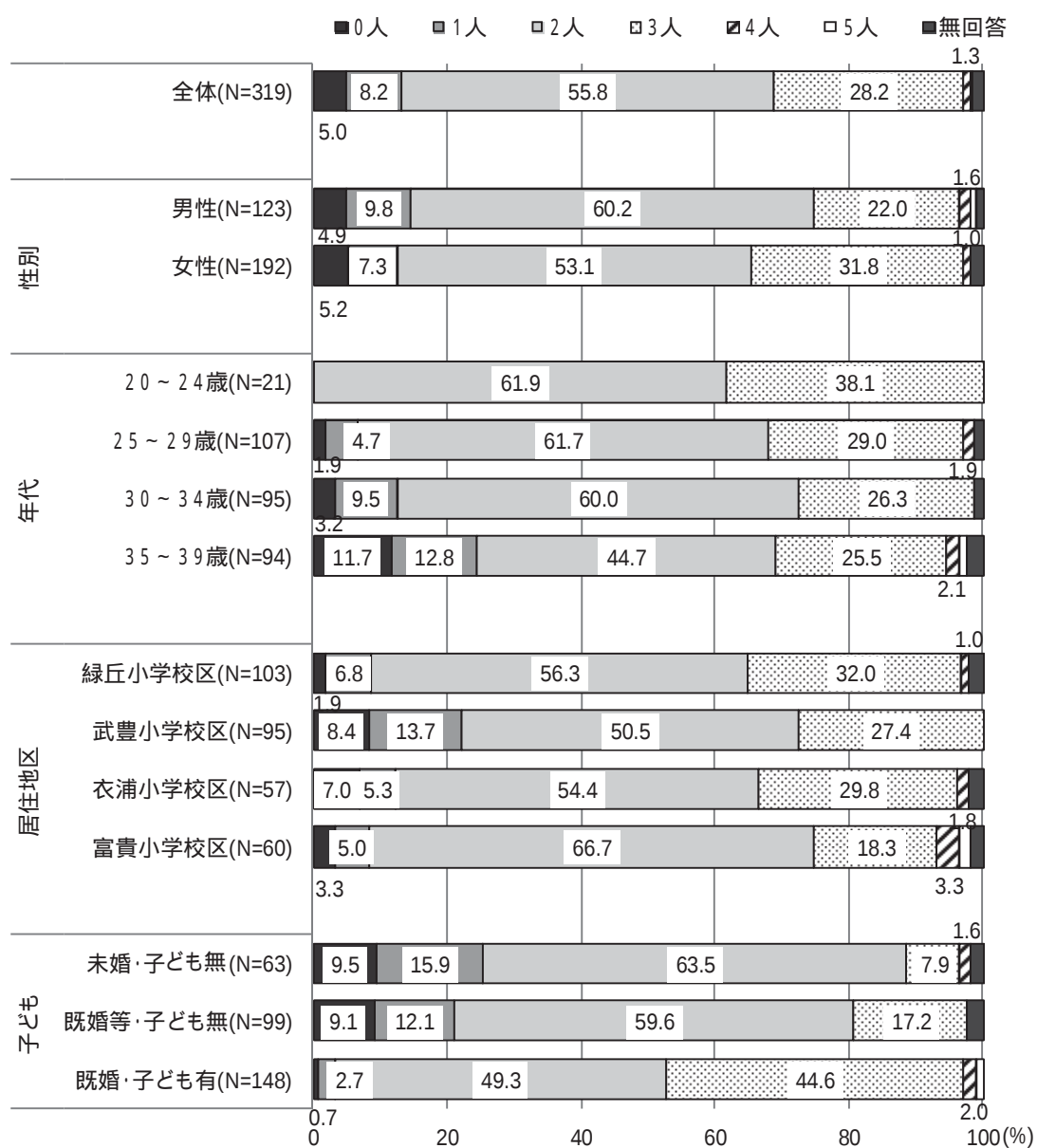
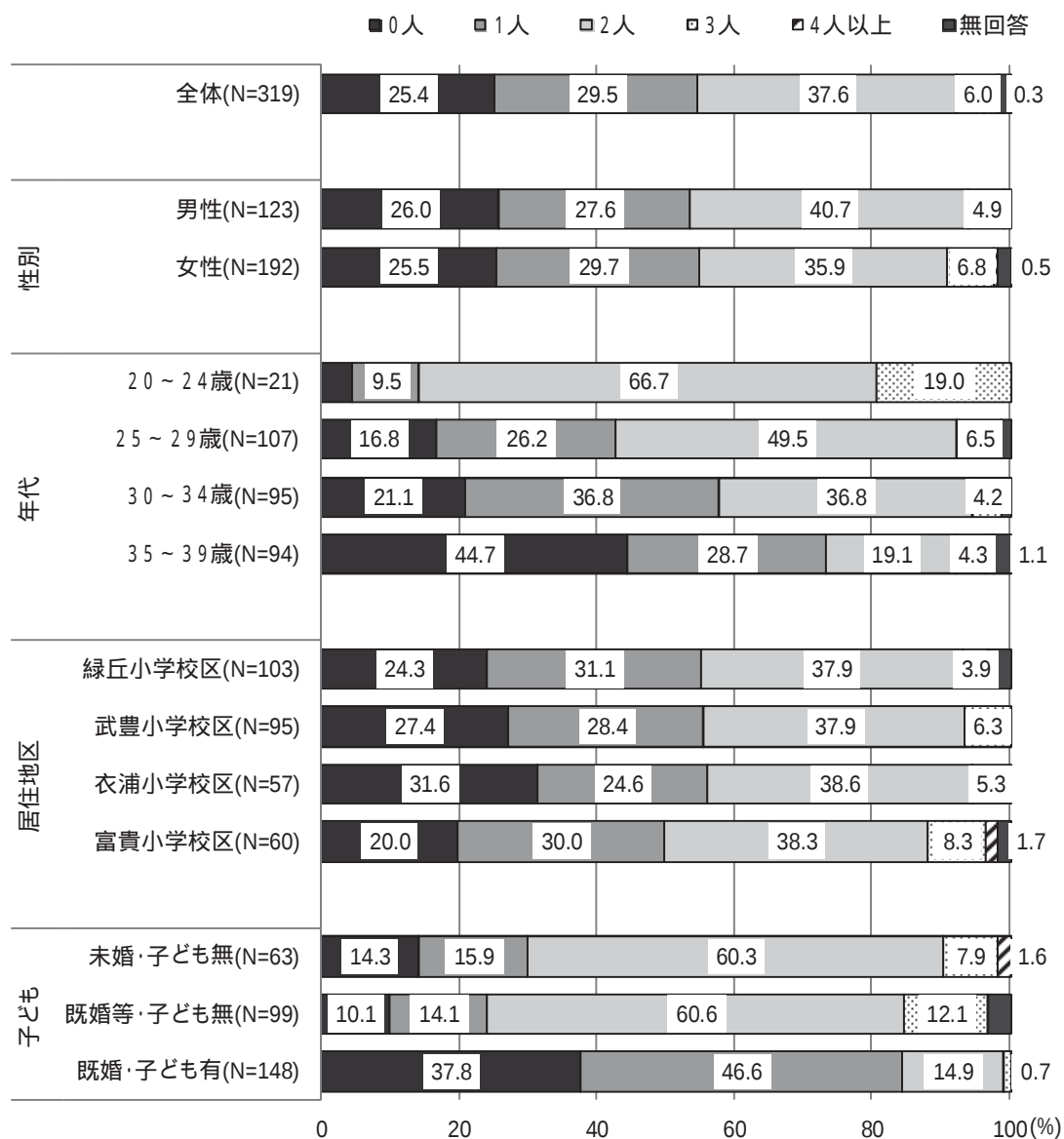


図. これから持ちたい子どもの人数



希望する人数の子どもを持たない場合の原因（設問 10）

これから子どもを持ちたいと回答した人に対して、『今後持ちたい人数を持たない場合の可能性が高い原因は？』と尋ねたところ、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が 50.9%と最も多く、以下、「収入が不安定なこと」が 33.8%、「自分や配偶者の仕事の事情」が 29.5%、「保育所など子どもの預け先がないこと」が 18.8%、「家事・育児の協力者がいないこと」が 15.0%と続き、年齢、経済的な負担、仕事との両立、子どもの預け先が上位となっています。

性別	男性は女性より「収入が不安定なこと」、女性は男性より「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が多くなっています。
年代	20 歳代は「収入が不安定なこと」、30 歳代は「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が多くなっています。
居住地区	すべての地区で「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が最も多くなっています。
婚姻・子ども	子ども無は「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」、子ども有は「収入が不安定なこと」が最も多くなっています。

図．希望する人数の子どもを持たない場合の原因

【複数回答】

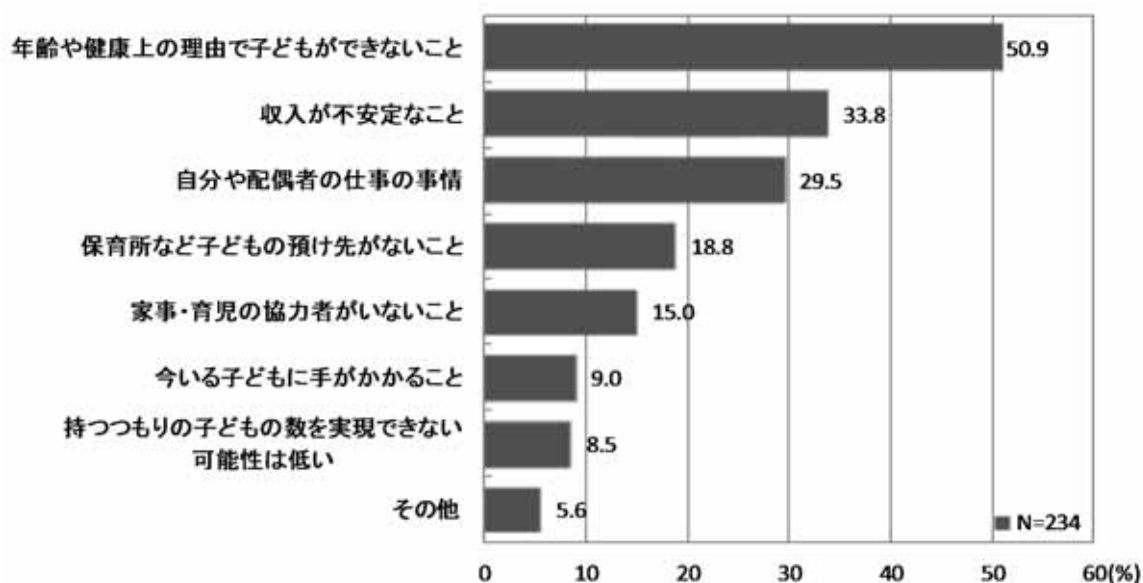


表. 希望する人数の子どもを持たない場合の原因 (クロス集計)

【複数回答】

(%)

		な い こ と	由 で 子 や 健 も が 上 で の き 理	年 齢 や こ の 理	と 収 入 が 不 安 定 な こ	事 自 の 分 事 や 情 配 偶 者 の 仕	と の 保 育 所 先 が な い こ も	者 家 が 事 い ・ 育 児 こ と 協 力	が 今 か い か る 子 こ も に 手	な も の つ つ 可 能 性 実 は 現 い き ど	そ の 他	無 回 答
	全体(N=234)	50.9	33.8	29.5	18.8	15.0	9.0	8.5	5.6	1.7		
性	男性(N=90)	45.6	34.4	34.4	21.1	8.9	10.0	11.1	3.3	2.2		
別	女性(N=140)	54.3	33.6	25.7	17.9	18.6	8.6	7.1	7.1	1.4		
年	20～24歳(N=20)	35.0	50.0	35.0	20.0	25.0	5.0	10.0	0.0	5.0		
代	25～29歳(N=88)	34.1	40.9	37.5	22.7	20.5	11.4	11.4	6.8	2.3		
	30～34歳(N=74)	59.5	32.4	21.6	18.9	9.5	10.8	5.4	8.1	1.4		
	35～39歳(N=50)	74.0	18.0	24.0	12.0	8.0	4.0	8.0	2.0	0.0		
住	緑丘小学校区(N=75)	48.0	40.0	32.0	13.3	17.3	10.7	9.3	6.7	0.0		
居	武豊小学校区(N=69)	60.9	36.2	24.6	18.8	11.6	8.7	5.8	4.3	0.0		
地	衣浦小学校区(N=39)	43.6	25.6	25.6	20.5	10.3	12.8	5.1	7.7	7.7		
区	富貴小学校区(N=47)	48.9	27.7	34.0	25.5	19.1	4.3	14.9	4.3	2.1		
子	未婚・子ども無(N=54)	55.6	35.2	37.0	13.0	11.1	1.9	1.9	9.3	3.7		
ど	既婚等・子ども無(N=86)	62.8	29.1	29.1	19.8	16.3	4.7	7.0	3.5	1.2		
も	既婚・子ども有(N=92)	37.0	38.0	26.1	20.7	16.3	17.4	14.1	5.4	1.1		

理想の人数より子どもの数が少ない理由（設問 11）

現在の子どもの人数が理想の人数より少ない人に対して、その理由を尋ねたところ、「今後予定している、もう少し先にしたい」が 29.6%と最も多く、以下、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 18.1%、「収入が不安定なこと」が 14.8%、「ほしいけれどもできないから」が 14.8%と続き、経済的な負担や不妊が上位となっています。

性別	女性は「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」が 12.1%と男性と比べてやや多くなっています。
年代	25～29 歳は「今後予定している、もう少し先にしたい」(38.9%)、35～39 歳は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(26.4%)が他の年代と比べて多くなっています。
居住地区	衣浦小学校区は「今後予定している、もう少し先にしたい」が 45.2%で他地区と比べて多くなっています。
婚姻・子ども	既婚等・子ども無は「ほしいけれどもできないから」(22.7%)、既婚・子ども有は「今後予定している、もう少し先にしたい」(43.3%)、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(28.9%)が他と比べて多くなっています。

図．理想の人数より子どもの数が少ない理由

【複数回答】

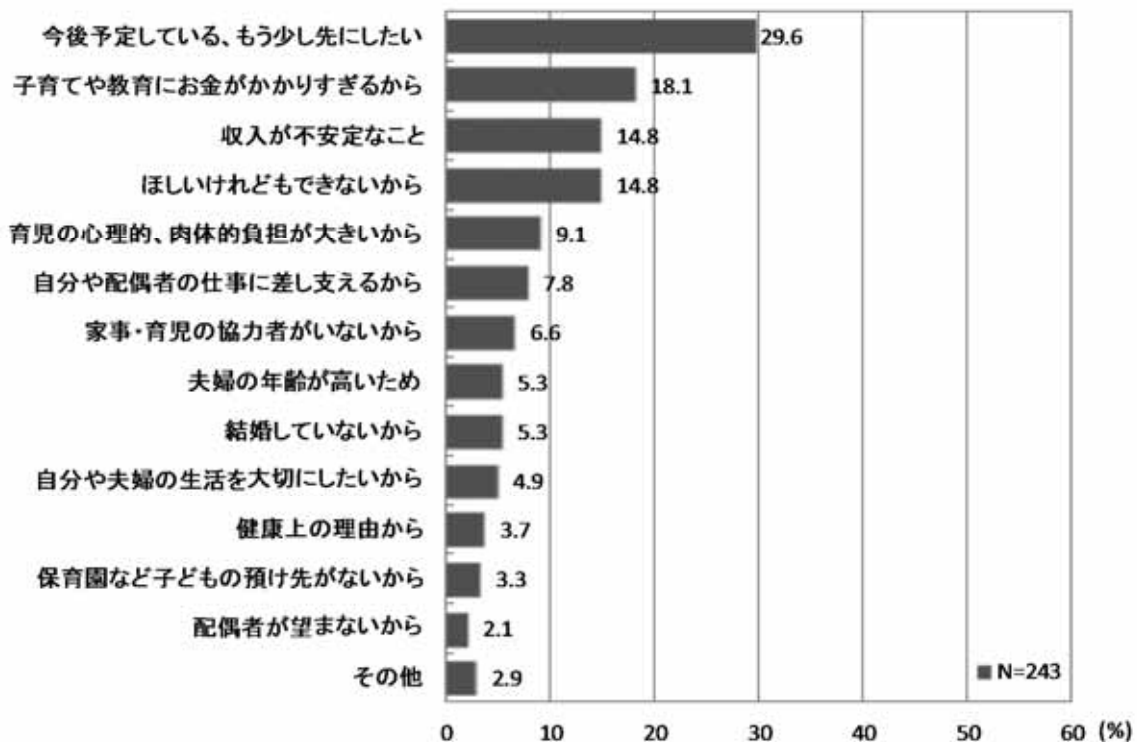


表. 理想の人数より子どもの数が少ない理由 (クロス集計)

【複数回答】

		(%)									
		にる今ぎお子こ収でほき肉育る仕自ら力家いた夫か結い活自 したも後る金育と入きしい体的児か事分者事た婦婚婚かを分 いう定予からがてが不安がなけいから差配し育ないの年いして大や 少してかや教不安いれか心理的偶のいの齡がてい切夫 先いすにになでも的的えの支のが高高くないに婦のし た生									
全体(N=243)		29.6	18.1	14.8	14.8	9.1	7.8	6.6	5.3	5.3	4.9
性別	男性(N=91)	27.5	20.9	15.4	15.4	4.4	8.8	3.3	6.6	2.2	3.3
	女性(N=149)	29.5	16.8	14.8	14.8	12.1	7.4	8.7	4.0	7.4	6.0
年代	20～24歳(N=20)	15.0	15.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
	25～29歳(N=90)	38.9	16.7	16.7	8.9	7.8	8.9	7.8	0.0	5.6	6.7
	30～34歳(N=79)	27.8	15.2	10.1	21.5	12.7	7.6	5.1	2.5	5.1	3.8
	35～39歳(N=53)	20.8	26.4	18.9	18.9	9.4	9.4	9.4	18.9	5.7	5.7
住居地区	緑丘小学校区(N=78)	32.1	24.4	17.9	10.3	14.1	11.5	11.5	6.4	2.6	1.3
	武豊小学校区(N=73)	26.0	19.2	17.8	24.7	6.8	4.1	5.5	9.6	8.2	11.0
	衣浦小学校区(N=42)	45.2	11.9	7.1	4.8	7.1	7.1	2.4	0.0	4.8	7.1
	富貴小学校区(N=48)	16.7	12.5	12.5	16.7	6.3	8.3	4.2	0.0	6.3	0.0
子ども	未婚・子ども無(N=56)	12.5	8.9	10.7	7.1	1.8	3.6	1.8	1.8	23.2	0.0
	既婚等・子ども無(N=88)	26.1	10.2	11.4	22.7	4.5	6.8	3.4	8.0	0.0	9.1
	既婚・子ども有(N=97)	43.3	28.9	19.6	11.3	16.5	11.3	12.4	5.2	0.0	4.1

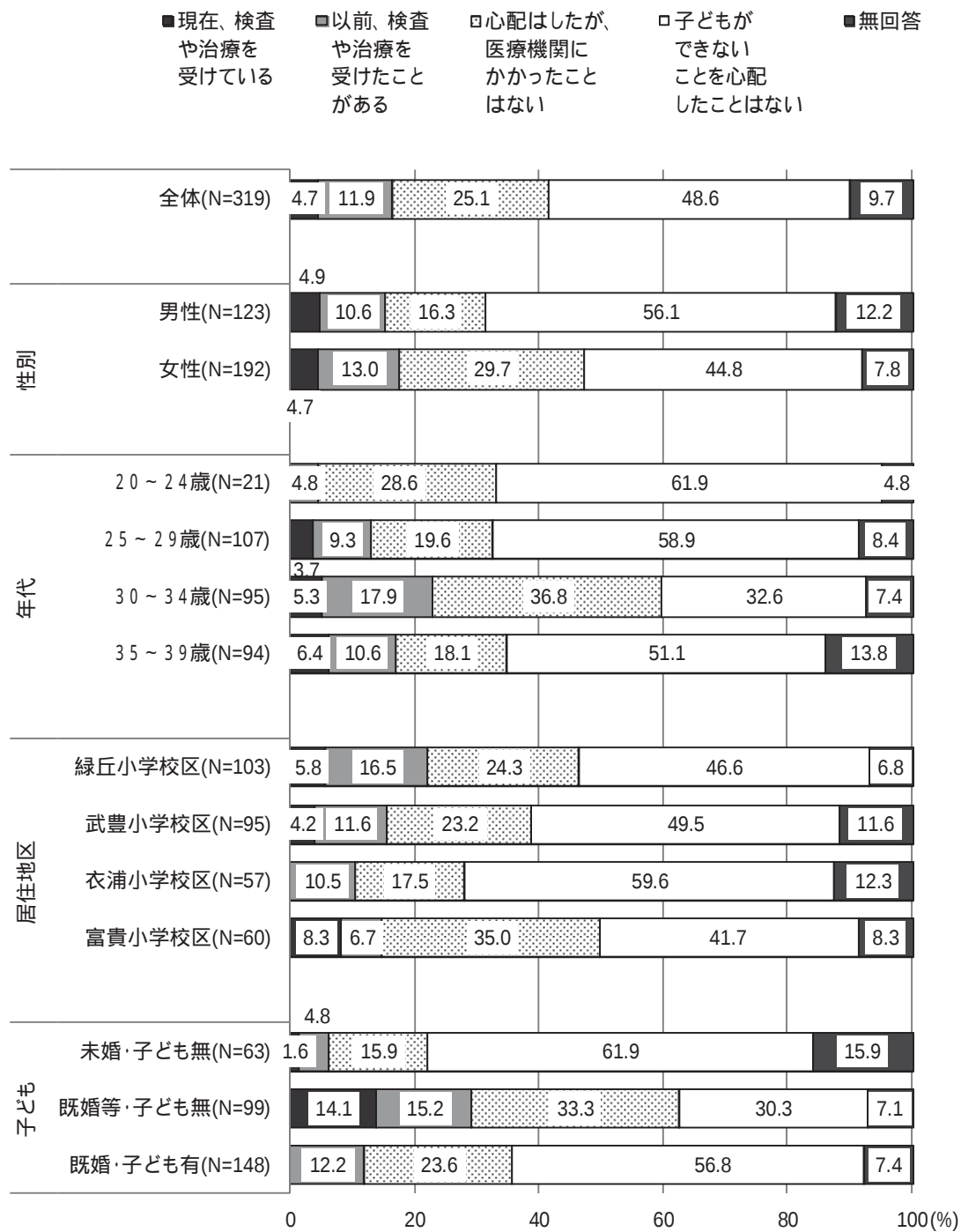
		(%)				
		か 健 康 上 の 理 由	が ど 保 な も 育 いの 園 か 預 な ら け ど 先 子	な 配 い 偶 か 者 ら が 望 ま	そ の 他	無 回 答
全体(N=243)		3.7	3.3	2.1	2.9	30.5
性 別	男性(N=91)	3.3	4.4	1.1	3.3	34.1
	女性(N=149)	4.0	2.7	2.7	2.7	28.9
年 代	20～24歳(N=20)	0.0	5.0	0.0	0.0	60.0
	25～29歳(N=90)	2.2	3.3	2.2	2.2	33.3
	30～34歳(N=79)	5.1	5.1	3.8	5.1	25.3
	35～39歳(N=53)	5.7	0.0	0.0	1.9	22.6
住 居 地 区	緑丘小学校区(N=78)	1.3	2.6	3.8	2.6	30.8
	武豊小学校区(N=73)	9.6	1.4	1.4	2.7	23.3
	衣浦小学校区(N=42)	0.0	2.4	0.0	4.8	31.0
	富貴小学校区(N=48)	2.1	8.3	2.1	2.1	39.6
子 ど も	未婚・子ども無(N=56)	7.1	1.8	1.8	1.8	48.2
	既婚等・子ども無(N=88)	4.5	1.1	0.0	4.5	36.4
	既婚・子ども有(N=97)	1.0	6.2	4.1	2.1	15.5

不妊についての不安や悩み（設問 12）

『不妊についての不安や悩みはありますか？』と尋ねたところ、「現在、検査や治療を受けている」が 4.7%、「以前、検査や治療を受けたことがある」が 11.9%、「心配はしたが、医療機関にかかったことはない」が 25.1%となっています。

性別	女性は「心配はしたが、医療機関にかかったことはない」が 29.7%で男性より多くなっています。
年代	30～34 歳は「心配はしたが、医療機関にかかったことはない」が 36.8%で最も多くなっています。
居住地区	富貴小学校区は「心配はしたが、医療機関にかかったことはない」が 35.0%で他地区と比べて多くなっています。
婚姻・子ども	既婚等・子ども無は「現在、検査や治療を受けている」が 14.1%、「以前、検査や治療を受けたことがある」が 15.2%で約 3 割の人が治療経験があると回答しています。

図. 不妊についての不安や悩み



(6)仕事と家庭の両立について

仕事と家庭の両立と子育て環境（設問 13～14）

「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて、「非常に共感する」が 28.2%、「ある程度共感する」が 48.6%で、多くの人に両立支援が重要なことがうかがわれます。

就労している人に対して、「あなたの職場は、子育てをする人（男女問わず）にとって働きやすいと思いますか？」と尋ねたところ、「ややそう思う」が 29.5%、「あまりそう思わない」が 27.6%、「まったくそう思わない」が 15.7%で、両立支援に課題のある職場が多いことがうかがわれます。

性別	両立と子育て環境について、女性は「非常に共感する」が 30.2%で男性よりやや多くなっています。職場の環境については、男性は「そう思う」が 8.3%にとどまるなど、女性と比べて職場は子育てをする人にとって働きやすいと考える人が多くなっています。
年代	両立と子育て環境について、25～29 歳は「非常に共感する」が 35.5%と他の年代と比べて多くなっています。職場の環境については、30～34 歳で「まったくそう思わない」が 20.7%で他の年代と比べて多くなっています。
居住地区	両立と子育て環境について、すべての地区で「非常に共感する」「ある程度共感する」の合計が 7 割を超えています。
婚姻・子ども	両立と子育て環境について、未婚・子ども無は「非常に共感する」が 30.2%、「ある程度共感する」が 54.0%で特に多くなっています。

図. 「仕事と家庭の両立を図ることが、子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて

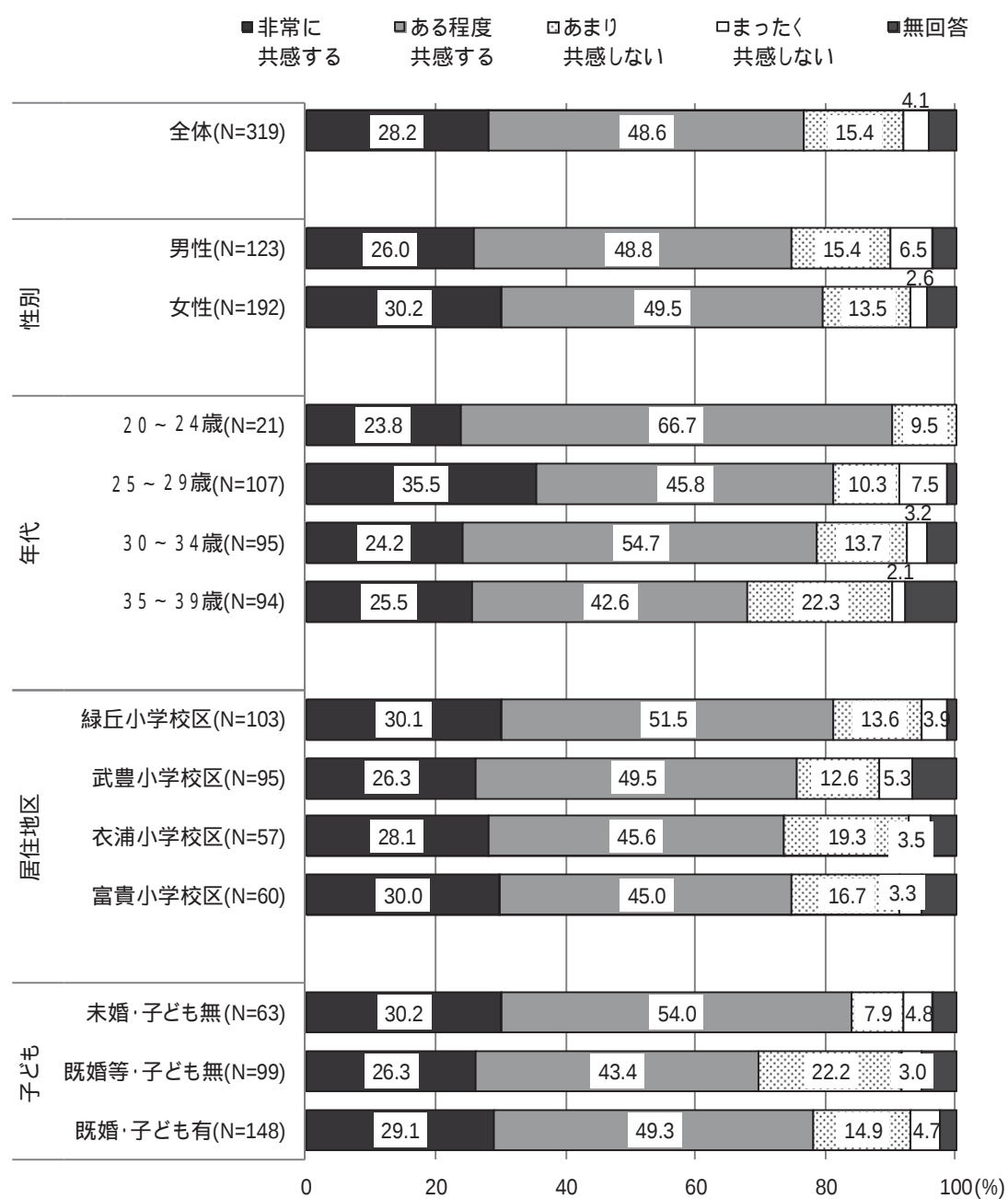
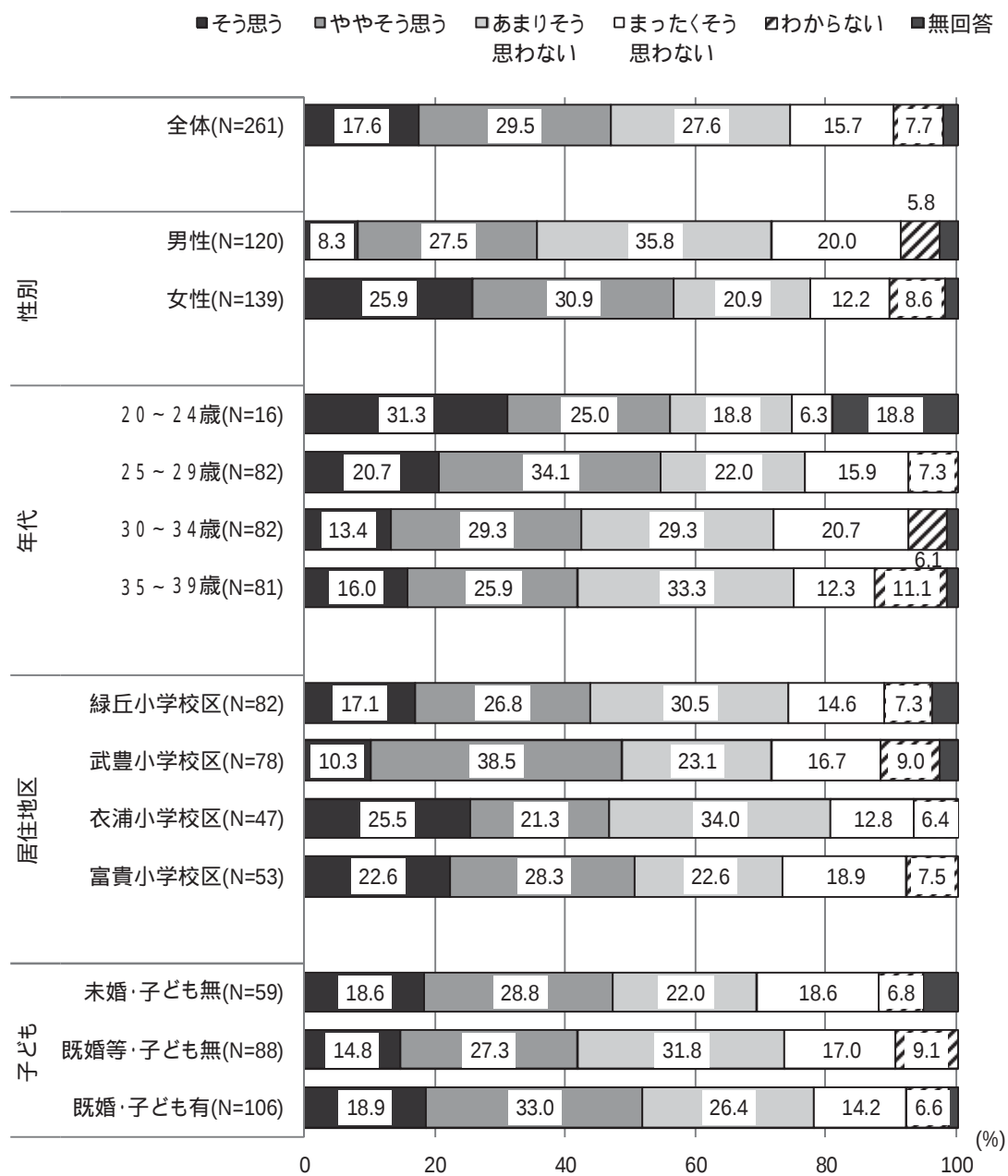


図. 職場は子育てをする人にとって働きやすいか



職場が両立しやすすくない原因（設問 15）

前問で「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した人に対して、『働きやすすくないのは、何が原因だと思いますか？』と尋ねたところ、「日常的に労働時間が長い」が 58.4%と最も多く、以下「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」が 41.6%、「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」が 38.9%、「一人ひとりの業務量が多い」が 38.1%、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」が 36.3%、「子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない」が 34.5%と続き、労働時間の短縮、休暇の取得、職場の雰囲気や理解、子どもの病児の対応など、多様な課題が回答されています。

性別	男性は女性より「日常的に労働時間が長い」(68.7%)、「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」(47.8%)、「一人ひとりの業務量が多い」(46.3%)、女性は男性より「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」(43.5%)、「子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない」(41.3%)、「結婚・出産などで継続就業している人が少ない」(43.5%)が多くなっています。
年代	25～29 歳は「日常的に労働時間が長い」(77.4%)、35～39 歳は「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」(54.1%)、「一人ひとりの業務量が多い」(51.4%)が他の年代と比べて多くなっています。
居住地区	すべての地区で「日常的に労働時間が長い」が最も多くなっています。
婚姻・子ども	すべてで「日常的に労働時間が長い」が最も多くなっています。この他、未婚・子ども無は「結婚・出産などで継続就業している人が少ない」(41.7%)、既婚・子ども有は「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」(53.5%)、「一人ひとりの業務量が多い」(51.2%)が他と比べて多くなっています。

図. 職場が両立しやすすくない原因

【複数回答】

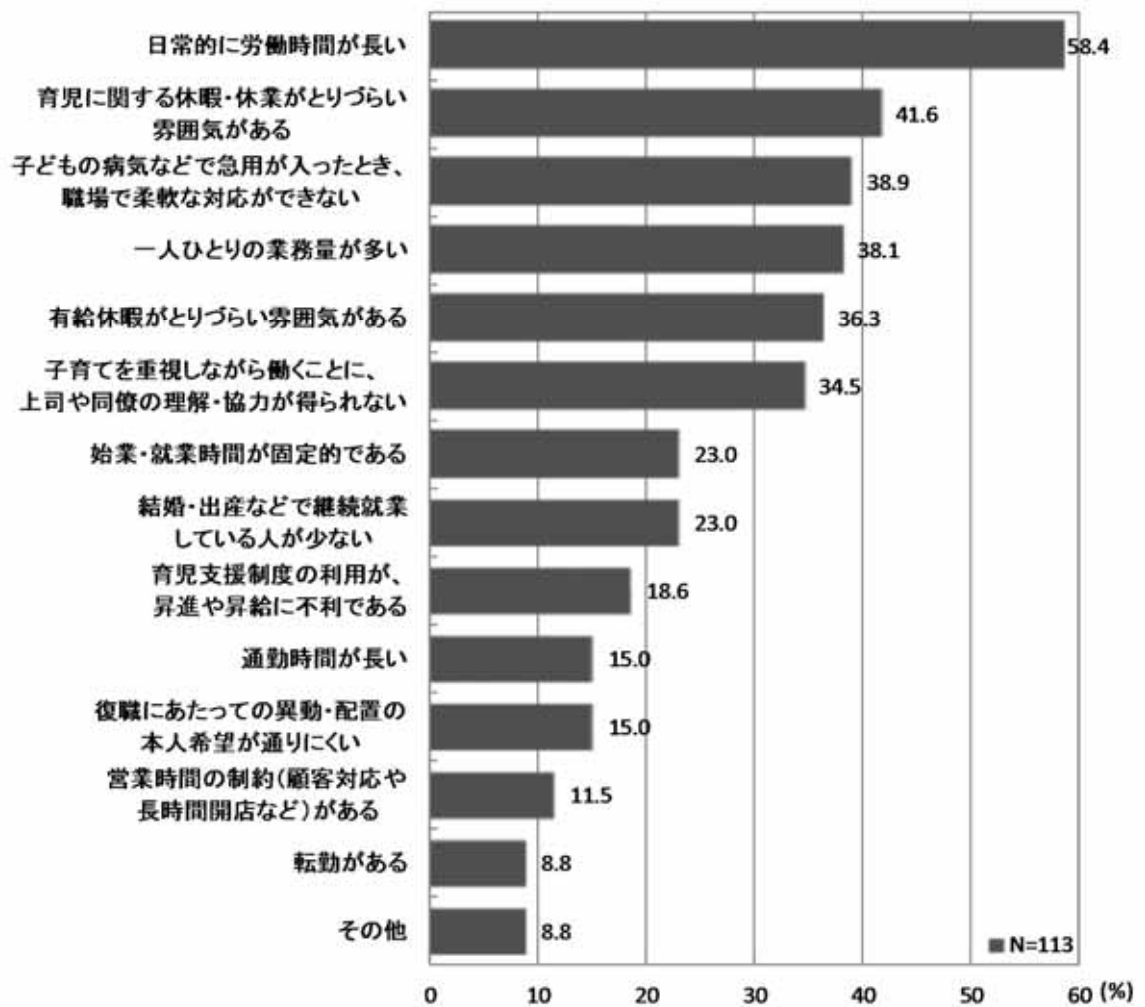


表. 職場が両立しやすすくない原因 (クロス集計)

【複数回答】

(%)

	日常的に労働時間が長い	育児・子育てに関する負担が大きい	子どもの病気など急用がある	一人ひとりの業務量が多い	有給休暇がとれない	理解・協力が得られない	子育てを重視しながら働ける環境がない	始業・就業時間が固定的である	結婚・出産などで継続が難しい	育児・支援給付金の利用が難しい	通勤時間が長い	配置の本人希望との不一致
全体(N=113)	58.4	41.6	38.9	38.1	36.3	34.5	23.0	23.0	18.6	15.0	15.0	
性別												
男性(N=67)	68.7	47.8	35.8	46.3	35.8	29.9	16.4	9.0	19.4	13.4	14.9	
女性(N=46)	43.5	32.6	43.5	26.1	37.0	41.3	32.6	43.5	17.4	17.4	15.2	
年代												
20～24歳(N=4)	25.0	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
25～29歳(N=31)	77.4	35.5	35.5	38.7	35.5	29.0	19.4	19.4	19.4	6.5	16.1	
30～34歳(N=41)	46.3	34.1	48.8	26.8	39.0	34.1	26.8	34.1	17.1	19.5	17.1	
35～39歳(N=37)	59.5	54.1	29.7	51.4	32.4	37.8	18.9	10.8	21.6	18.9	13.5	
住居地区												
緑丘小学校区(N=37)	62.2	51.4	43.2	29.7	40.5	48.6	27.0	18.9	24.3	13.5	16.2	
武豊小学校区(N=31)	58.1	35.5	45.2	45.2	29.0	22.6	19.4	12.9	19.4	12.9	16.1	
衣浦小学校区(N=22)	68.2	31.8	27.3	50.0	31.8	27.3	9.1	40.9	4.5	18.2	13.6	
富貴小学校区(N=22)	45.5	40.9	31.8	31.8	45.5	31.8	31.8	27.3	22.7	18.2	13.6	
子ども												
未婚・子ども無(N=24)	41.7	25.0	37.5	25.0	37.5	25.0	25.0	41.7	8.3	20.8	12.5	
既婚等・子ども無(N=43)	67.4	39.5	37.2	32.6	34.9	25.6	20.9	18.6	11.6	9.3	11.6	
既婚・子ども有(N=43)	58.1	53.5	41.9	51.2	37.2	46.5	23.3	18.6	30.2	16.3	20.9	

(%)

	営業時間延長の制限がある	転勤がある	その他	無回答
全体(N=113)	11.5	8.8	8.8	4.4
性別				
男性(N=67)	10.4	10.4	9.0	4.5
女性(N=46)	13.0	6.5	8.7	4.3
年代				
20～24歳(N=4)	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳(N=31)	12.9	0.0	6.5	6.5
30～34歳(N=41)	17.1	12.2	17.1	2.4
35～39歳(N=37)	5.4	13.5	2.7	5.4
住居地区				
緑丘小学校区(N=37)	13.5	8.1	5.4	2.7
武豊小学校区(N=31)	12.9	16.1	3.2	6.5
衣浦小学校区(N=22)	13.6	9.1	9.1	4.5
富貴小学校区(N=22)	4.5	0.0	22.7	4.5
子ども				
未婚・子ども無(N=24)	8.3	0.0	8.3	4.2
既婚等・子ども無(N=43)	14.0	11.6	7.0	2.3
既婚・子ども有(N=43)	11.6	11.6	11.6	7.0

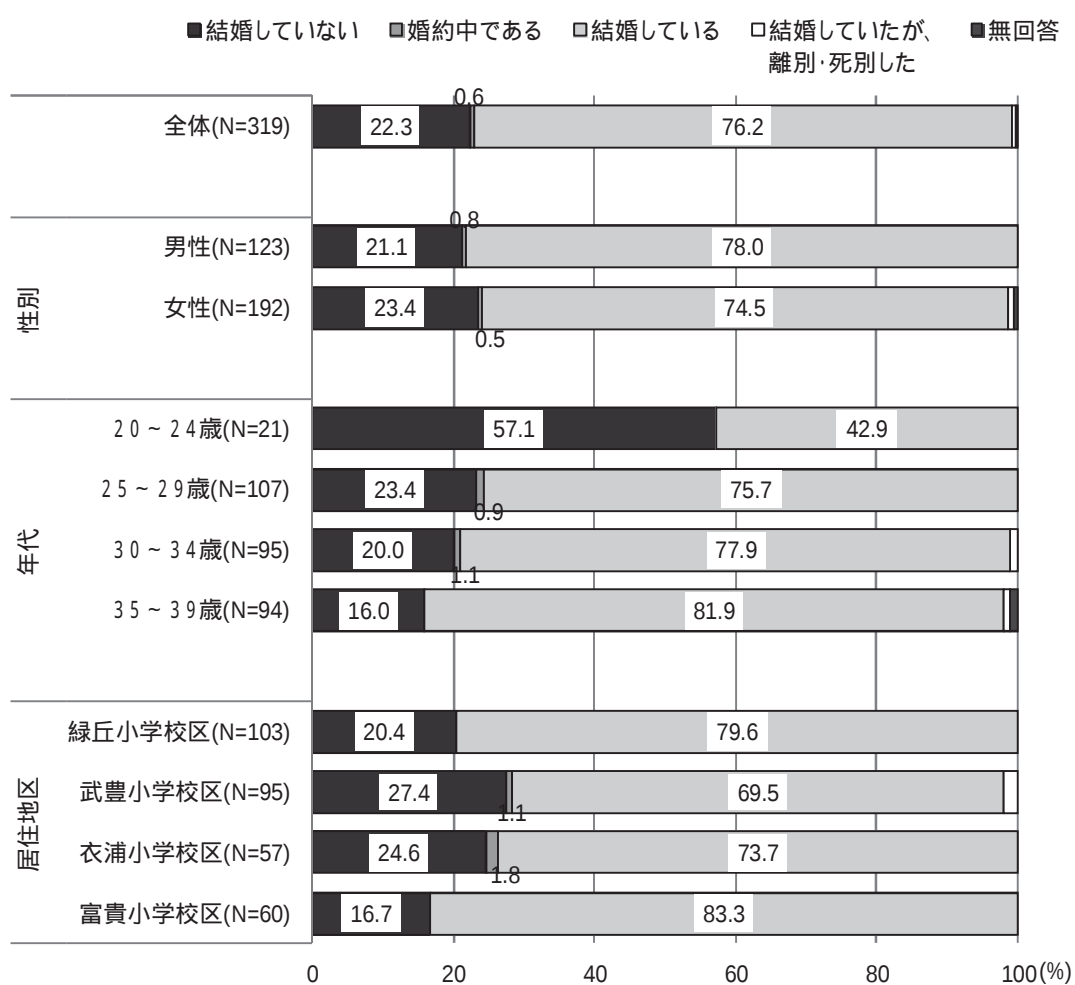
(7)結婚について

婚姻状況（設問 16）

回答者の婚姻状況について、「結婚している」が 76.2%、「結婚していない」が 22.3%です。

性別	「結婚している」をみると、男性は 78.0%、女性は 74.5%となっています。
年代	「結婚している」をみると、20～24 歳は 42.9%、25～29 歳は 75.7%、30～34 歳は 77.9%、35～39 歳は 81.9%となっています。
居住地区	「結婚している」をみると、緑丘小学校区で 79.6%、武豊小学校区で 69.5%、衣浦小学校区は 73.7%、富貴小学校区は 83.3%となっています。

図．婚姻状況

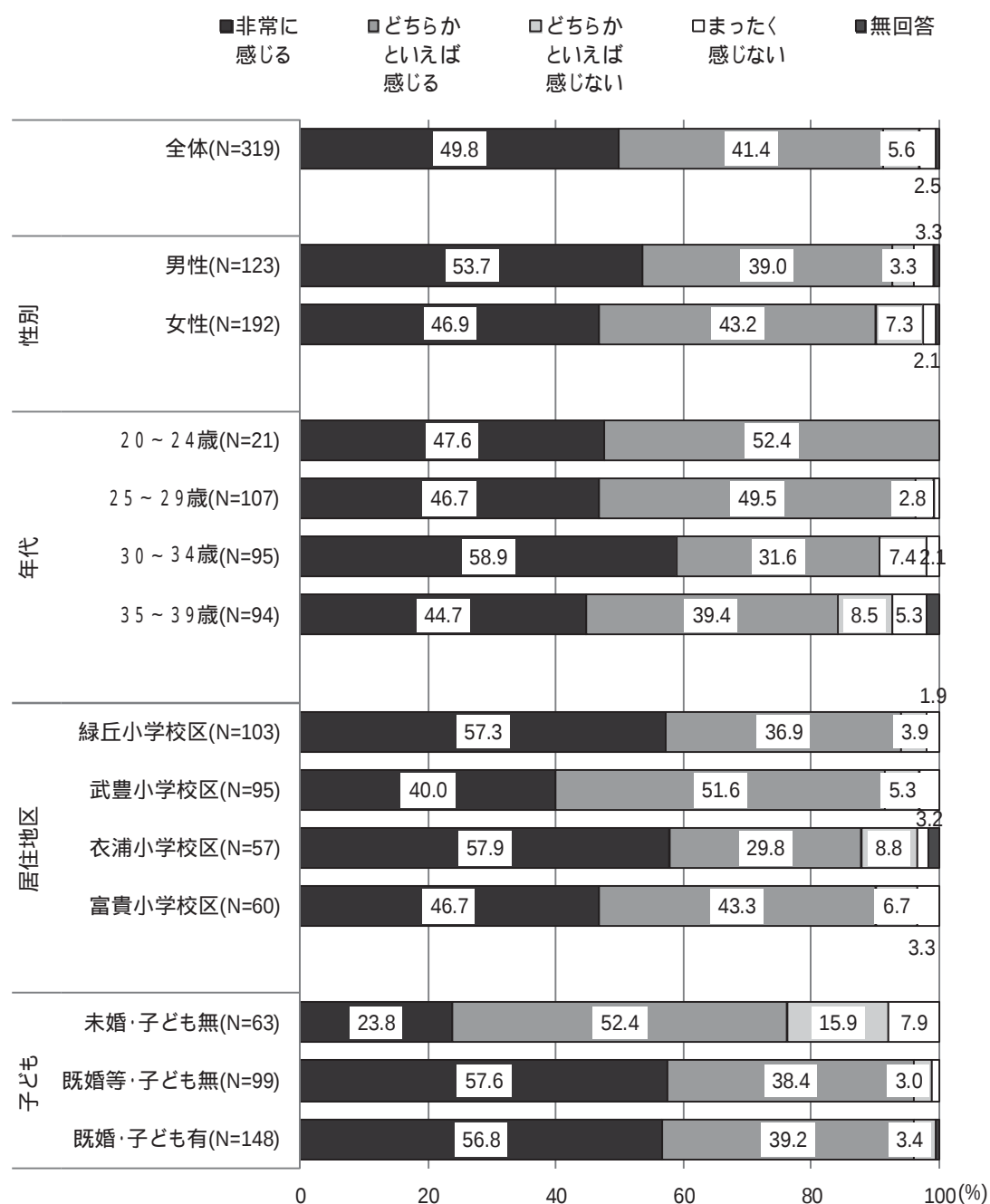


結婚の喜びや希望（設問 17）

『あなたは、結婚に、喜びや希望を感じますか？』と尋ねたところ、「非常に感じる」が 49.8%、「どちらかといえば感じる」が 41.4%となっています。

性別	「非常に感じる」をみると、男性で 53.7%、女性で 46.9%となっています。
年代	30～34 歳で「非常に感じる」が他の年代と比べて多くなっています。
居住地区	「非常に感じる」をみると、緑丘小学校区で 57.3%、武豊小学校区で 40.0%、衣浦小学校区は 57.9%、富貴小学校区は 46.7%となっています。
婚姻・子ども	既婚の方が未婚より「非常に感じる」が多くなっています。

図. 結婚の喜びや希望



結婚の利点と負担（設問 18～19）

結婚の利点について尋ねたところ、「自分の子どもや家族をもてる」（63.0%）、「精神的な安らぎの場が得られる」（44.5%）、「愛情を感じている人と暮らせる」（41.7%）の回答が多く見られます。

一方、結婚を負担に感じることについては、「行動の自由が制約されること」が 36.4%、「仕事と家庭を両立すること」が 33.5%、「生計を立てること」が 25.4%、「家事が増えること」が 23.2%で、余暇時間、仕事、生計、家事負担などが上位となっています。

性別	負担について、男性は「行動の自由が制約されること」が 43.9%、女性は「仕事と家庭を両立すること」が 39.1%と、最も多くなっています。
年代	負担について、20～24 歳は「生計を立てること」が 52.4%と最も多くなっています。
居住地区	負担について、武豊小学校区は「生計を立てること」（32.6%）、衣浦小学校区は「行動の自由が制約されること」（43.9%）が他の小学校区と比べてやや多くなっています。
婚姻・子ども	利点について、未婚・子ども無と既婚子ども有は「自分の子どもや家族をもてる」、既婚・子ども無は「精神的な安らぎの場が得られる」が最も多くなっています。 負担について、子ども無は「仕事と家庭を両立すること」、子ども有は「行動の自由が制約されること」が最も多くなっています。

図．結婚の利点

【複数回答】

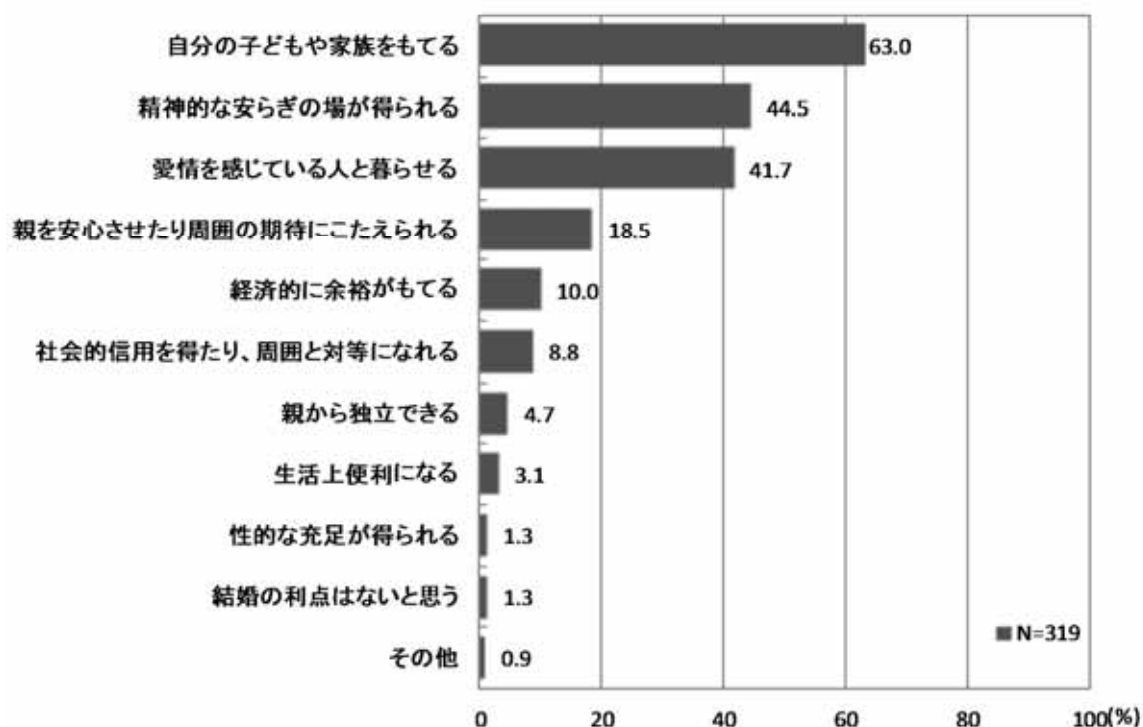


表. 結婚の利点 (クロス集計)

【複数回答】

(%)

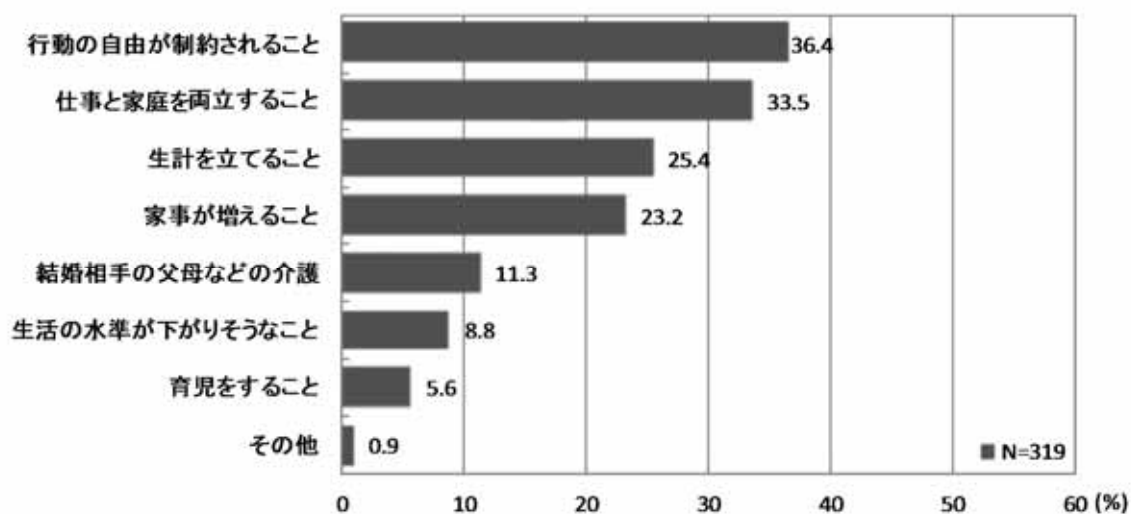
		家自 族分 をの 子ど もや	の精 場神 が得 なら 安ら るぎ	る愛 人情 とを 暮ら せて るい	こり親 た周を え囲安 られの れ期心 待させ るにた	も経 済的 に余 裕が	等たり に社会 な信用 なとを れ得	る親 から 独立 でき	る生 活上 便利 にな	ら性 的な 充足 が得	い結 婚の 思の う利 点は な
	全体(N=319)	63.0	44.5	41.7	18.5	10.0	8.8	4.7	3.1	1.3	1.3
性	男性(N=123)	56.9	45.5	40.7	15.4	5.7	13.0	4.9	5.7	1.6	1.6
別	女性(N=192)	66.7	43.2	42.2	20.8	13.0	6.3	4.7	1.6	1.0	1.0
年	20～24歳(N=21)	76.2	47.6	57.1	28.6	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0
代	25～29歳(N=107)	66.4	38.3	48.6	18.7	7.5	5.6	2.8	2.8	1.9	0.9
	30～34歳(N=95)	58.9	52.6	37.9	21.1	11.6	8.4	7.4	4.2	1.1	0.0
	35～39歳(N=94)	59.6	41.5	34.0	13.8	11.7	12.8	4.3	3.2	1.1	3.2
住	緑丘小学校区(N=103)	63.1	38.8	53.4	18.4	8.7	6.8	3.9	2.9	1.0	0.0
居	武豊小学校区(N=95)	58.9	44.2	35.8	22.1	11.6	13.7	8.4	4.2	2.1	2.1
地	衣浦小学校区(N=57)	61.4	42.1	35.1	12.3	10.5	8.8	5.3	3.5	0.0	1.8
区	富貴小学校区(N=60)	68.3	56.7	38.3	20.0	10.0	5.0	0.0	1.7	1.7	1.7
子	未婚・子ども無(N=63)	66.7	30.2	36.5	28.6	14.3	11.1	7.9	4.8	1.6	4.8
ど	既婚等・子ども無(N=99)	35.4	56.6	53.5	15.2	12.1	6.1	5.1	4.0	3.0	1.0
も	既婚・子ども有(N=148)	79.7	43.9	37.8	16.9	6.1	10.1	3.4	2.0	0.0	0.0

(%)

		そ の 他	無 回 答
	全体(N=319)	0.9	1.6
性	男性(N=123)	1.6	1.6
別	女性(N=192)	0.5	1.6
年	20～24歳(N=21)	0.0	0.0
代	25～29歳(N=107)	0.9	2.8
	30～34歳(N=95)	2.1	0.0
	35～39歳(N=94)	0.0	2.1
住	緑丘小学校区(N=103)	1.0	1.9
居	武豊小学校区(N=95)	1.1	1.1
地	衣浦小学校区(N=57)	1.8	3.5
区	富貴小学校区(N=60)	0.0	0.0
子	未婚・子ども無(N=63)	0.0	1.6
ど	既婚等・子ども無(N=99)	0.0	0.0
も	既婚・子ども有(N=148)	2.0	1.4

図．結婚で負担と感ずること

【複数回答】



表．結婚で負担と感ずること（クロス集計）

【複数回答】

		と制行 約動 さの れ自 る由 こが	両仕 立事 すと る家 庭とを	こ生 と計 を立 てる	こ家 と事 が増 える	母結 婚な ど相 手の 手介 の護 父	こ下 生 とが 活 りの そ水 準な が	と育 児を する こ	そ 他	じ特 ない 負 担 は 感	無 回 答
全体(N=319)		36.4	33.5	25.4	23.2	11.3	8.8	5.6	0.9	16.3	1.3
性別	男性(N=123)	43.9	24.4	33.3	10.6	5.7	13.0	4.1	0.0	20.3	3.3
	女性(N=192)	31.3	39.1	20.8	31.8	14.6	5.7	6.8	1.6	13.5	0.0
年代	20～24歳(N=21)	33.3	38.1	52.4	19.0	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0
	25～29歳(N=107)	39.3	32.7	25.2	28.0	12.1	12.1	4.7	0.0	14.0	0.9
	30～34歳(N=95)	34.7	35.8	21.1	27.4	10.5	8.4	9.5	0.0	16.8	2.1
	35～39歳(N=94)	35.1	29.8	24.5	14.9	12.8	7.4	3.2	2.1	21.3	1.1
住居 地区	緑丘小学校区(N=103)	38.8	30.1	21.4	23.3	16.5	7.8	2.9	0.0	18.4	1.0
	武豊小学校区(N=95)	31.6	34.7	32.6	24.2	10.5	9.5	7.4	3.2	12.6	2.1
	衣浦小学校区(N=57)	43.9	36.8	22.8	24.6	7.0	8.8	7.0	0.0	19.3	0.0
	富貴小学校区(N=60)	33.3	31.7	25.0	20.0	6.7	10.0	6.7	0.0	16.7	1.7
子ども	未婚・子ども無(N=63)	42.9	47.6	25.4	27.0	14.3	6.3	4.8	0.0	6.3	1.6
	既婚等・子ども無(N=99)	31.3	36.4	23.2	25.3	9.1	10.1	4.0	3.0	20.2	0.0
	既婚・子ども有(N=148)	37.8	25.0	28.4	19.6	12.2	9.5	7.4	0.0	17.6	1.4

結婚への意向（設問 20・21）

これまで結婚したことがない人を対象に、結婚についての考えを尋ねたところ、「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」が 39.4%、「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない）」が 35.2%で、多くの人が結婚したいと考えています。

これまで結婚したことがない人を対象に、『あなたは、どのような理由で結婚していませんか?』と尋ねたところ、「適当な相手にめぐり合わない」が 45.1%と最も多く、以下、「自由や気楽さを失いたくない」が 26.8%、「経済的な余裕がない」が 22.5%、「趣味や娯楽を楽しみたい」が 19.7%と続いています。

性別	意向をみると、女性は「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない）」が 40.0%で男性より多くなっています。 結婚しない理由については、男女ともに「適当な相手にめぐり合わない」が最も多くなっています。男性は女性より「経済的な余裕がない」(34.6%)、女性は男性より「自由や気楽さを失いたくない」(33.3%)が多くなっています。
年代	意向をみると、30～34 歳は 20 歳代より「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」が減少しています。 結婚しない理由については、30～34 歳で「適当な相手にめぐり合わない」が特に多くなっています。
居住地区	すべての地区で「適当な相手にめぐり合わない」が最も多くなっています。

図. 結婚への意向

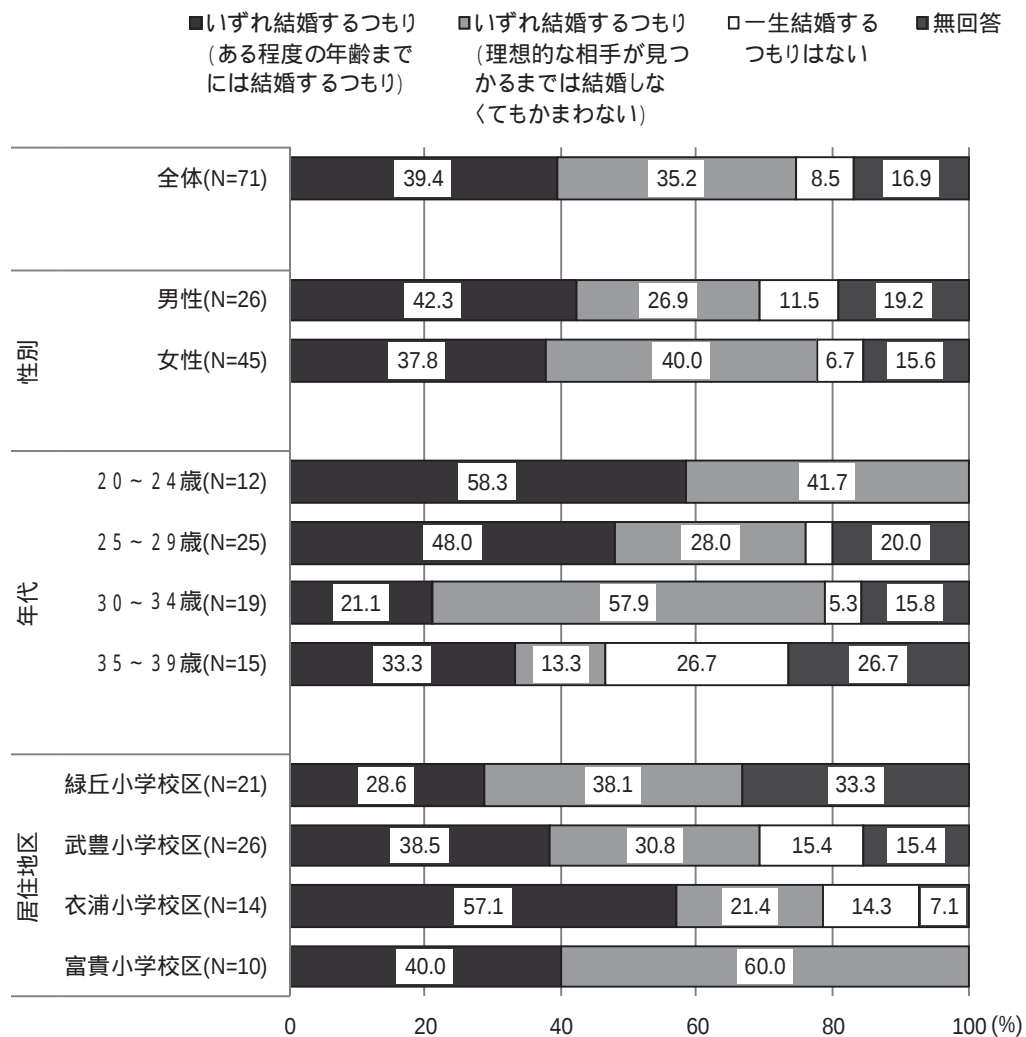


図. 結婚しない理由

【複数回答】

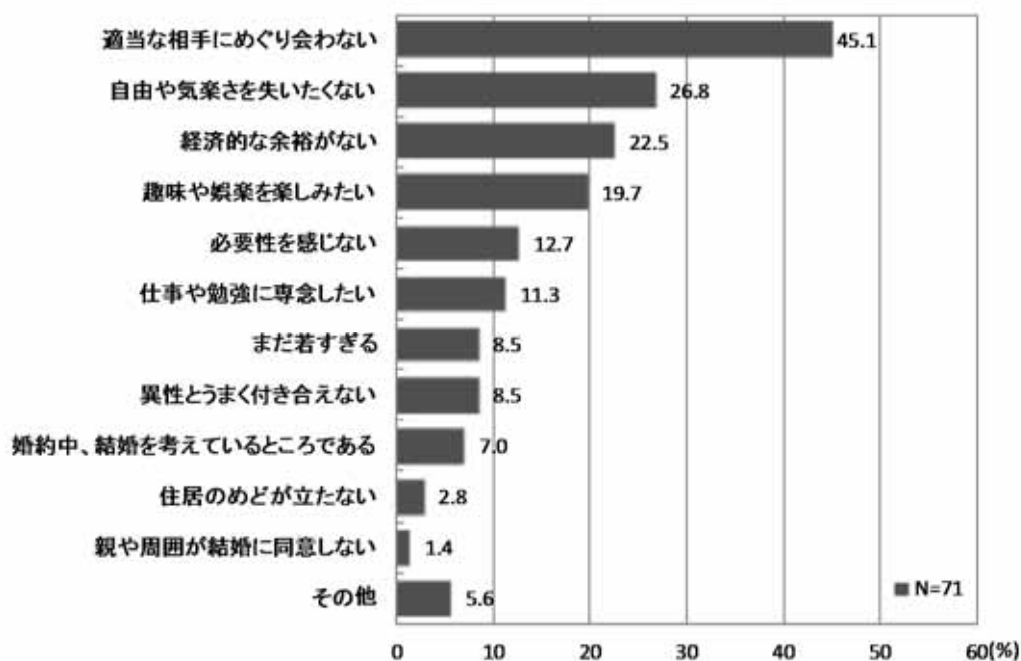


表. 結婚しない理由 (クロス集計)

【複数回答】

(%)

		ぐ適 り当 会な わ相 手な いに め	失自 い由 たや く気 な楽 いさ を	な経 い済 的 な 余 裕 が	し趣 み味 たや い娛 楽 を 楽	い必 要性 を 感 じ な	念仕 し事 たや い勉 強 に 専	まだ 若 す ぎ る	き異 合性 と な う ま く 付	ろ考 でえ 約中 あて い る 結 婚 こ を	た住 な居 いの め ど が 立
	全体(N=71)	45.1	26.8	22.5	19.7	12.7	11.3	8.5	8.5	7.0	2.8
性別	男性(N=26)	38.5	15.4	34.6	11.5	11.5	23.1	15.4	15.4	0.0	3.8
	女性(N=45)	48.9	33.3	15.6	24.4	13.3	4.4	4.4	4.4	11.1	2.2
年代	20～24歳(N=12)	41.7	8.3	41.7	16.7	8.3	25.0	41.7	0.0	16.7	0.0
	25～29歳(N=25)	40.0	36.0	20.0	32.0	4.0	20.0	4.0	8.0	4.0	4.0
	30～34歳(N=19)	63.2	31.6	10.5	15.8	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	5.3
	35～39歳(N=15)	33.3	20.0	26.7	6.7	33.3	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0
住居 地区	緑丘小学校区(N=21)	42.9	14.3	23.8	23.8	4.8	19.0	9.5	9.5	0.0	4.8
	武豊小学校区(N=26)	42.3	26.9	26.9	15.4	11.5	7.7	11.5	11.5	7.7	3.8
	衣浦小学校区(N=14)	50.0	35.7	14.3	14.3	21.4	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0
	富貴小学校区(N=10)	50.0	40.0	20.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0
子ども	未婚・子ども無(N=63)	50.8	30.2	25.4	22.2	14.3	12.7	9.5	9.5	7.9	3.2
	既婚等・子ども無(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	既婚・子ども有(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

		い婚親 にや 同周 意 困 し が な 結	そ の 他	無 回 答
	全体(N=71)	1.4	5.6	15.5
性別	男性(N=26)	0.0	11.5	19.2
	女性(N=45)	2.2	2.2	13.3
年代	20～24歳(N=12)	8.3	0.0	0.0
	25～29歳(N=25)	0.0	12.0	20.0
	30～34歳(N=19)	0.0	5.3	10.5
	35～39歳(N=15)	0.0	0.0	26.7
住居 地区	緑丘小学校区(N=21)	0.0	4.8	33.3
	武豊小学校区(N=26)	0.0	11.5	11.5
	衣浦小学校区(N=14)	7.1	0.0	7.1
	富貴小学校区(N=10)	0.0	0.0	0.0
子ども	未婚・子ども無(N=63)	1.6	6.3	4.8
	既婚等・子ども無(N=0)	0.0	0.0	0.0
	既婚・子ども有(N=0)	0.0	0.0	0.0

6 企業・事業所アンケートの結果

(1)回答者の属性

事業所のタイプ、業種、本社所在地、従業員数などの属性は以下のとおりです。

業種では、多い順に「製造業」が23.1%、「卸売業・小売業・飲食店」が22.3%、「建設業」が16.2%、「サービス業」が13.5%、「医療機関・福祉施設」が12.2%となっています。

町内の事業所の従業員数では、「1～9 人」が52.4%、「10～19 人」が17.9%と規模の小さな事業所が多くなっています。

事業所のタイプ

【複数回答】

区分	回答数	割合
本社・本部	68	29.7
工場	55	24.0
営業所・支店	44	19.2
店舗・飲食店	53	23.1
医療機関・福祉施設	27	11.8
その他	13	5.7
無回答	2	0.9

主な業種

区分	回答数	割合
建設業	37	16.2
製造業	53	23.1
運輸業、郵便業	15	6.6
卸・小売業、飲食店	51	22.3
サービス業	31	13.5
医療機関・福祉施設	28	12.2
その他	13	5.7
無回答	1	0.4

本社所在地

区分	回答数	割合
武豊町内	154	67.2
愛知県内	57	24.9
愛知県外	18	7.9
無回答	0	0.0

全社の従業員数

区分	回答数	割合
1～9人	89	38.9
10～19人	21	9.2
20～49人	32	14.0
50～299人	44	19.2
300人以上	36	15.7
無回答	7	3.1

町内事業所の従業員数

区分	回答数	割合
1～9人	120	52.4
10～19人	41	17.9
20～49人	31	13.5
50～299人	28	12.2
300人以上	3	1.3
無回答	6	2.6

(2)人材の確保について

従業員数等の変化（設問2）

町内事業所の従業員数について、「減少した」が24.9%、「増加した」が22.7%となっています。増加した人数の合計は278人、減少した人数の合計は405人で、回答企業の中では127人の減少となっています。

町内事業所の正社員数について、「増加した」が21.8%、「減少した」が19.2%となっています。増加した人数の合計は238人、減少した人数の合計は338人で、回答企業の中では100人の減少となっています。

業種	従業員数・正社員数ともに、医療機関・福祉施設は「増加した」、運輸業、郵便業は「減少した」が他と比べ多くなっています。
本社	従業員数・正社員数ともに、愛知県外は、「増加した」「減少した」双方が他と比べて多くなっています。
従業員数	正社員数について、10～19人、20～49人は「増加した」が他と比べて多くなっています。

図. 5年間の「従業員数」の変化

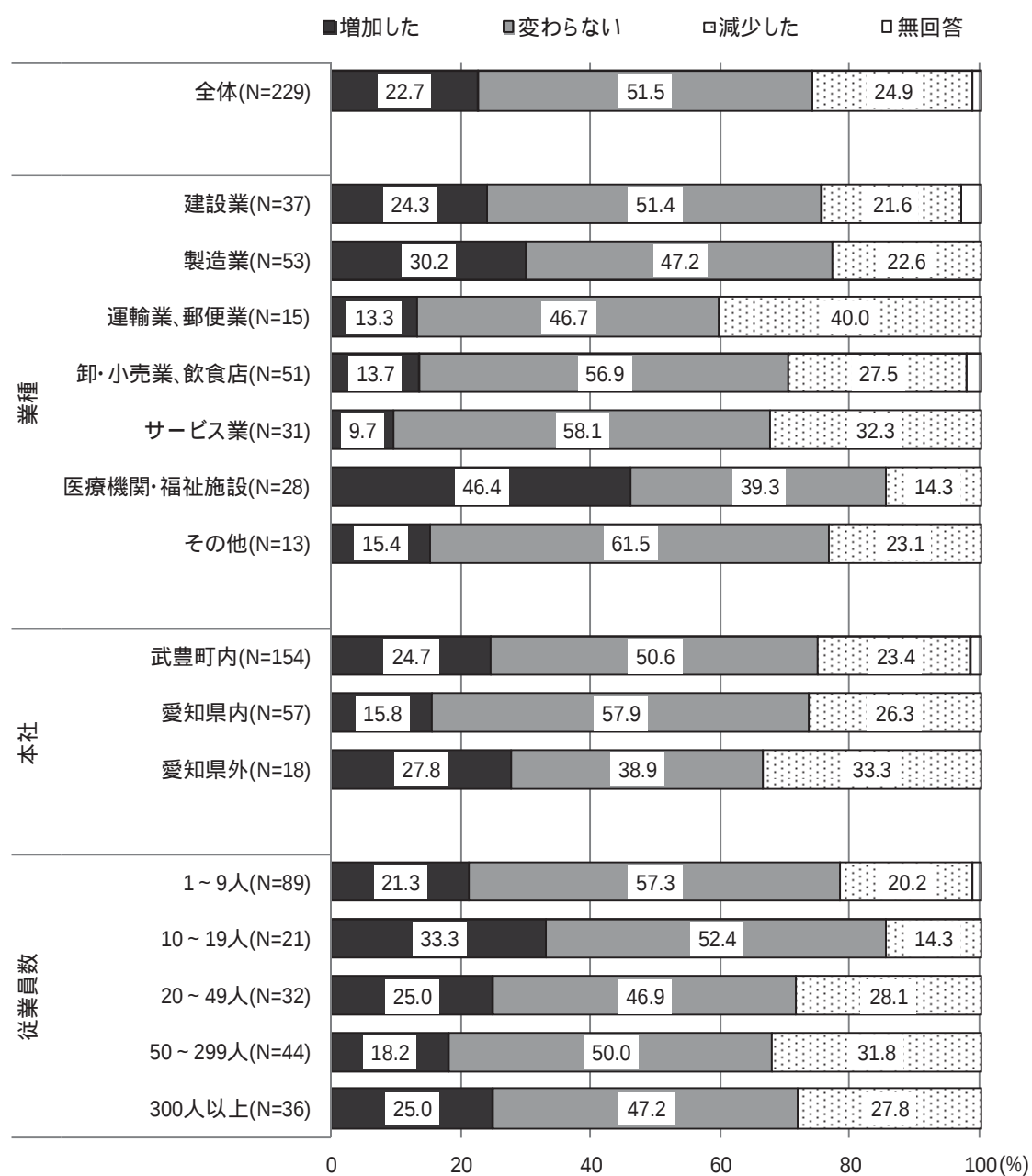
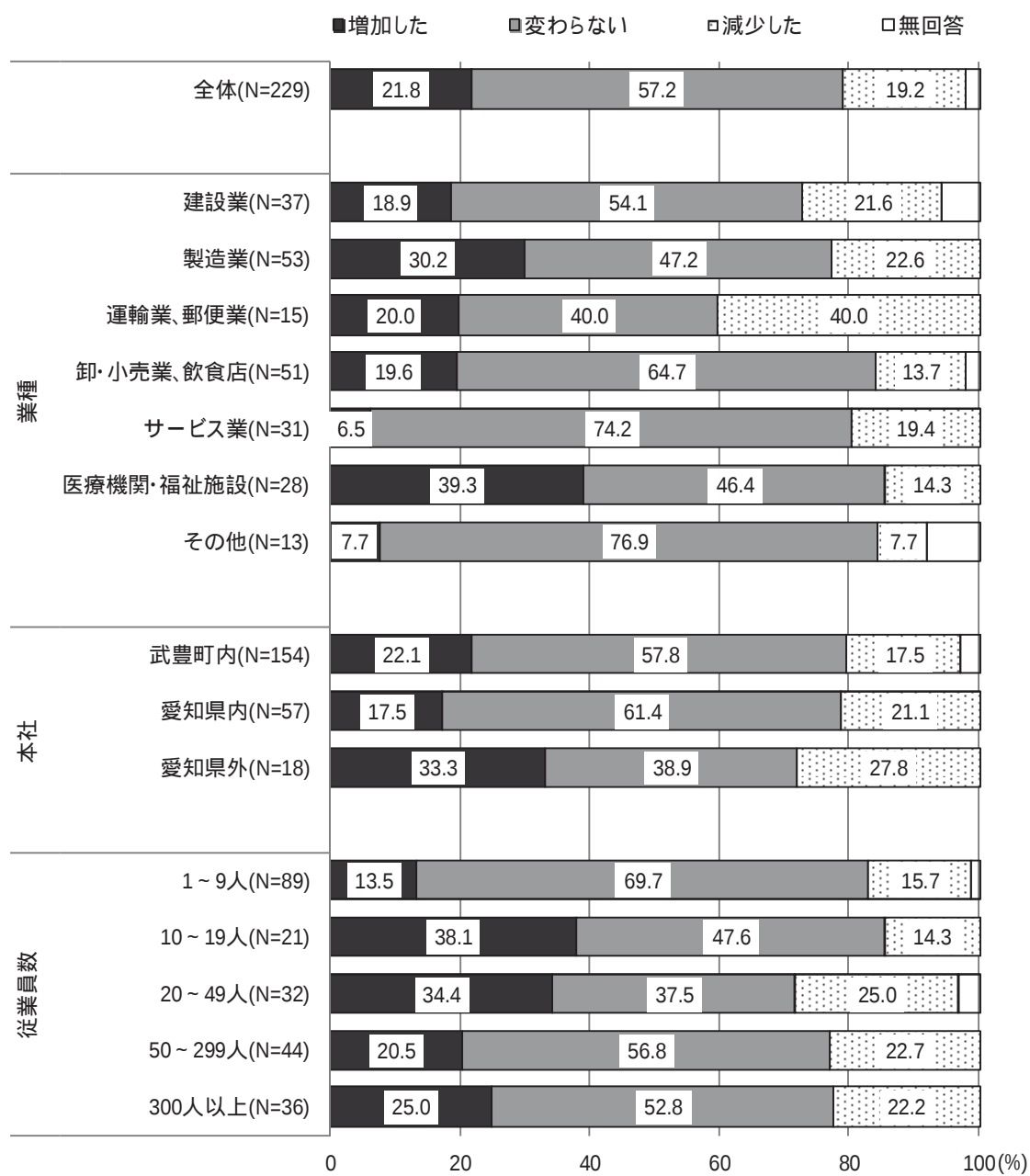


図. 5年間の「正社員数」の変化

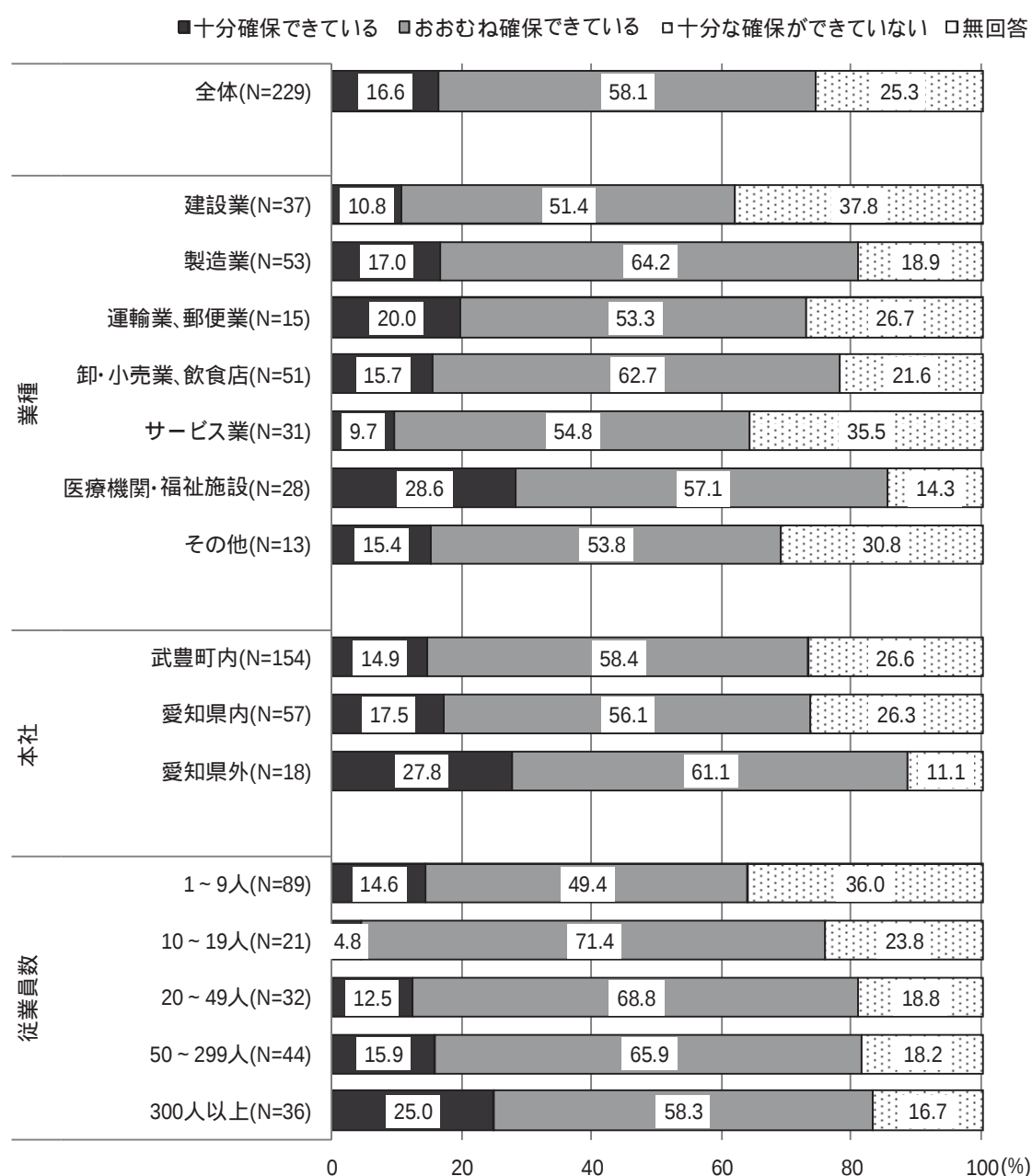


町内の事業所における人材確保の見通し（設問 3）

『町内事業所において、人材確保の見通しは』と尋ねたところ、人材確保が「おおむね確保できている」が 58.1%と最も多くなっています。一方で、「十分な確保ができていない」が 25.3%で、人材確保に課題を有する事業所が見られます。

業種	建設業、サービス業は「十分な確保ができていない」が他と比べて多くなっています。
本社	武豊町内、愛知県内は「十分な確保ができていない」が愛知県外と他と比べて多くなっています。
従業員数	1～9人で「十分な確保ができていない」が 36.0%など、規模の小さな事業所で確保が難しい傾向が見られます。

図. 町内の事業所における人材確保の見通し

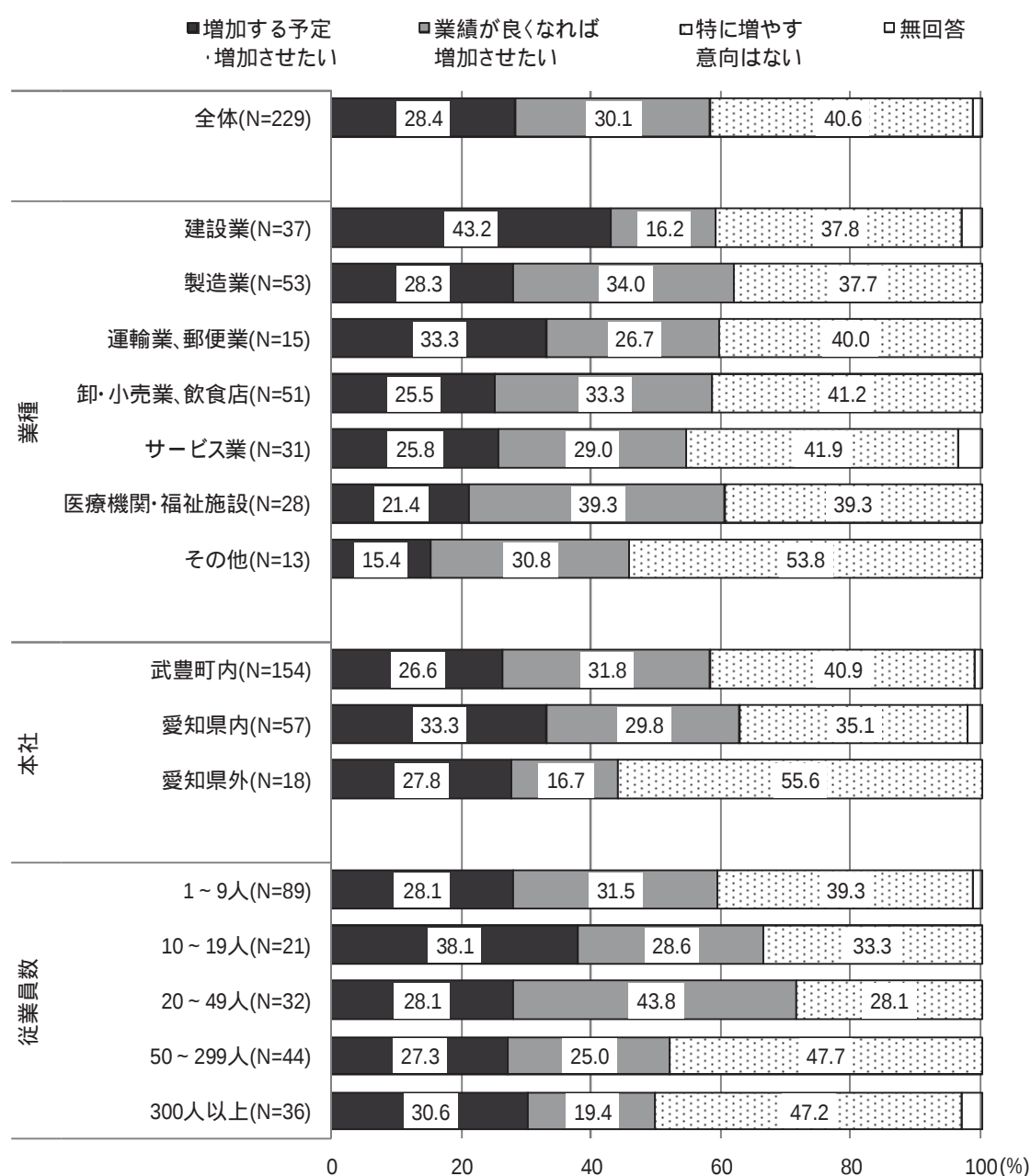


町内事業所における従業員の増加の予定や意向（設問４）

『町内事業所における従業員の増加の予定や意向は？』と尋ねたところ、「増加する予定・増加させたい」が 28.4%、「業績が良くなれば増加させたい」が 30.1%で、従業員の確保に関心のある企業が多く見られます。

業種	建設業は「増加する予定・増加させたい」が 43.2%と多くなっています。
本社	武豊町内・愛知県内は「増加する予定・増加させたい」「業績が良くなれば増加させたい」の合計が５割を超えています。
従業員数	10～19 人は「増加する予定・増加させたい」が 38.1%と多くなっています。

図．町内事業所における従業員の増加の予定や意向



増加する予定・増加させたい、業績が良くなれば増加させたいと回答した企業に、増やす意向のある勤務形態を尋ねたところ、「正社員」が68.7%、「パートタイマー・嘱託職員」が60.4%となっています。

増やす意向のある職種については、「生産・輸送・建設・労務職」が38.8%と最も多く、以下「専門・技術職」が31.3%、「販売・サービス職」が22.4%と続いています。

図. 増やす意向のある勤務形態

【複数回答】

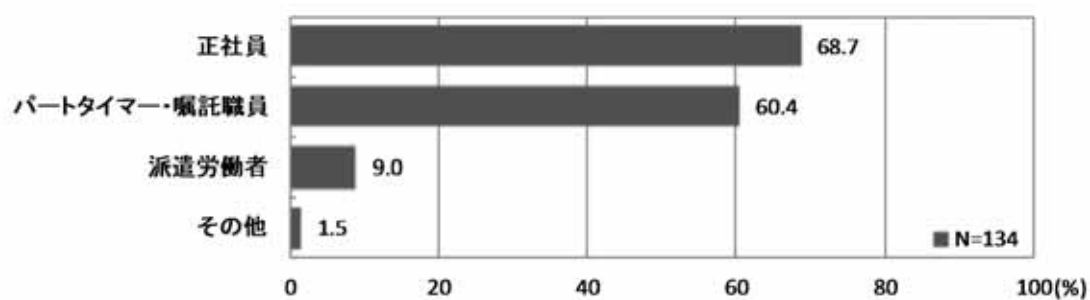


表. 増やす意向のある勤務形態（クロス集計）

【複数回答】

		(%)				
		正社員	パートタイマー・嘱託職員	派遣労働者	その他	無回答
全体(N=134)		68.7	60.4	9.0	1.5	0.0
業 種	建設業(N=22)	90.9	22.7	4.5	4.5	0.0
	製造業(N=33)	81.8	42.4	21.2	0.0	0.0
	運輸業、郵便業(N=9)	100.0	55.6	11.1	0.0	0.0
	卸・小売業、飲食店(N=30)	50.0	76.7	6.7	0.0	0.0
	サービス業(N=17)	35.3	94.1	5.9	0.0	0.0
	医療機関・福祉施設(N=17)	76.5	82.4	0.0	5.9	0.0
	その他(N=6)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
本 社	武豊町内(N=90)	67.8	57.8	7.8	2.2	0.0
	愛知県内(N=36)	69.4	63.9	8.3	0.0	0.0
	愛知県外(N=8)	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0
従 業 員 数	1～9人(N=53)	60.4	58.5	3.8	1.9	0.0
	10～19人(N=14)	92.9	50.0	14.3	0.0	0.0
	20～49人(N=23)	69.6	56.5	8.7	0.0	0.0
	50～299人(N=23)	91.3	60.9	13.0	4.3	0.0
	300人以上(N=18)	50.0	72.2	16.7	0.0	0.0

図. 増やす意向のある職種

【複数回答】

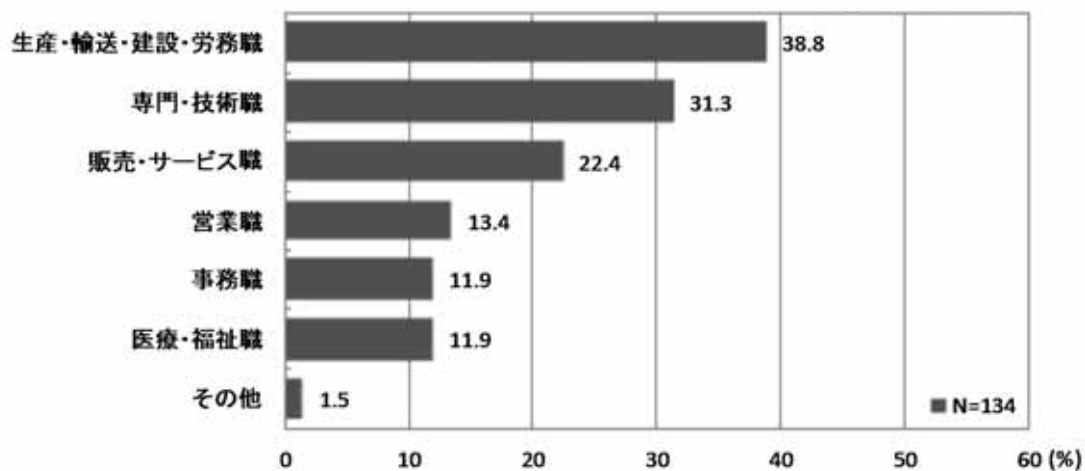


表. 増やす意向のある職種 (クロス集計)

【複数回答】

(%)

		生産・輸 送・建設・ 労務職	専門・ 技術職	販売・ サービス 職	営業職	事務職	医療・ 福祉職	その他	無回答
全体(N=134)		38.8	31.3	22.4	13.4	11.9	11.9	1.5	0.7
業 種	建設業(N=22)	40.9	68.2	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0
	製造業(N=33)	69.7	48.5	0.0	15.2	12.1	0.0	0.0	0.0
	運輸業、郵便業(N=9)	88.9	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	卸・小売業、飲食店(N=30)	10.0	13.3	66.7	20.0	10.0	0.0	0.0	3.3
	サービス業(N=17)	35.3	11.8	58.8	11.8	17.6	0.0	11.8	0.0
	医療機関・福祉施設(N=17)	0.0	17.6	0.0	0.0	5.9	94.1	0.0	0.0
	その他(N=6)	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
本 社	武豊町内(N=90)	40.0	37.8	16.7	13.3	10.0	13.3	0.0	0.0
	愛知県内(N=36)	36.1	13.9	38.9	8.3	11.1	11.1	2.8	2.8
	愛知県外(N=8)	37.5	37.5	12.5	37.5	37.5	0.0	12.5	0.0
従 業 員 数	1～9人(N=53)	35.8	34.0	26.4	11.3	7.5	7.5	0.0	0.0
	10～19人(N=14)	14.3	50.0	14.3	21.4	14.3	14.3	0.0	0.0
	20～49人(N=23)	52.2	34.8	17.4	13.0	8.7	8.7	0.0	4.3
	50～299人(N=23)	47.8	30.4	13.0	21.7	21.7	21.7	8.7	0.0
	300人以上(N=18)	33.3	11.1	38.9	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0

「拡張する予定・拡張させたい」「業績が良くなれば拡張させたい」と回答する拡張ニーズのある事業所に対して、どのような用途に利用するかを尋ねたところ、「工場」が 42.3%と最も多く、以下、「店舗（医療施設等含む）」が 34.6%、「事務所」が 19.2%、「駐車場」が 19.2%、「倉庫・配送センター」が 17.3%と続いています。

拡張ニーズのある事業所に対して、武豊町での拡張用地の確保の見通しについて尋ねたところ、「希望の場所には確保できない」（30.8%）、「あまり確保はできない」（21.2%）など課題を有する事業所が見られます。

図. 新たな拡張の用途

【複数回答】

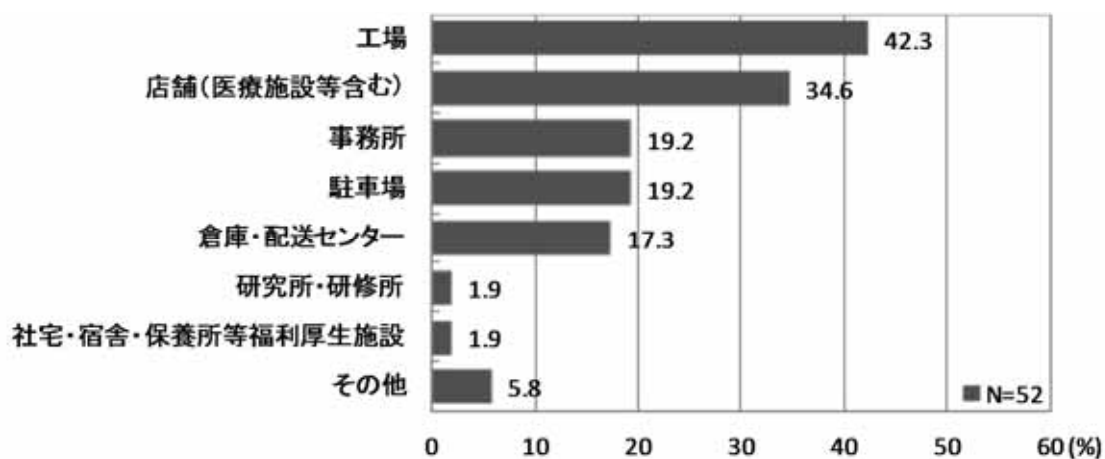
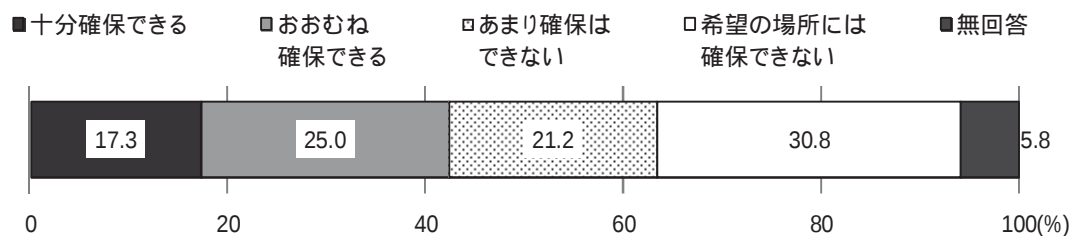


図. 武豊町での拡張用地の確保の見通し

N=52



今後のビジネス展開を行うために、必要なこと（設問 7～8）

『貴事業所において、これからのビジネス展開を行うために、「武豊町において」どのようなことが必要だと思いますか』と尋ねたところ、「公共交通の利便性の向上」（35.4%）、「道路交通網の充実」（33.6%）、「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」（32.8%）、「より多くの人が武豊町に訪れるためのまちの魅力の向上」（32.8%）が上位となっています。

同様に、「知多武豊駅東地区」で何が必要かを尋ねたところ、「より多くの人が武豊町に訪れるためのまちの魅力の向上（特産品、名所旧跡のアピール等）」（46.3%）、「訪問者を受け入れる「駅東地区の賑わい」」（41.5%）、「接待、慰労（飲み会）等ができる飲食店等の充実」（32.8%）が上位となり、街のにぎわいや魅力向上に関する回答が多く見られます。

業種	武豊町で必要なことについて、建設業、医療機関・福祉施設は「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」、製造業は「公共交通の利便性の向上」、卸・小売業、飲食店、サービス業は「より多くの人が武豊町に訪れるためのまちの魅力の向上」が最も多くなっています。
本社	武豊町について、愛知県外は「公共交通の利便性の向上」が 66.7%と最も多くなっています。武豊町東地区について、愛知県外は「接待、慰労（飲み会）等ができる飲食店等の充実」（50.0%）、「宿泊施設の充実」（61.1%）が多くなっています。
従業員数	武豊町について、1～9 人は「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」（42.7%）、10～19 人は「道路交通網の充実」（52.4%）が最も多くなっています。

図. 今後のビジネス展開を行うために、「武豊町」で必要なこと

【複数回答】

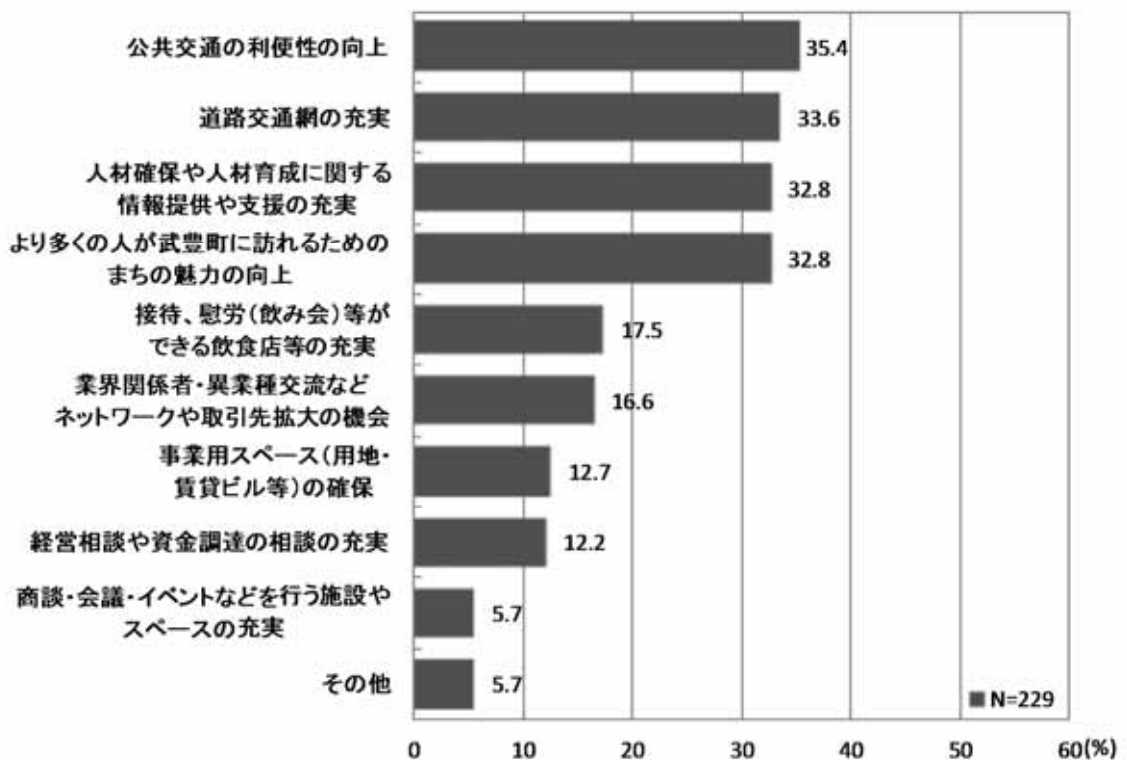


表. 今後のビジネス展開を行うために、「武豊町」で必要なこと（クロス集計）【複数回答】

										(%)			
		公共交通の利便性の向上	道路交通網の充実	実情の把握と人材の確保・提供や支援の充実	訪れるための人が魅力に	より多くの人が武豊町に	接待できる飲食店等が充実	先など拡大の機会	業界関係者・異業種交流	賃金・労働条件の確保	事業用スペース（用地・建物）の確保	経営相談や資金調達の相談の充実	商談・会議・イベントなどを行う施設やスペースの充実
全体(N=229)		35.4	33.6	32.8	32.8	17.5	16.6	12.7	12.2	5.7			
業種	建設業(N=37)	18.9	29.7	54.1	24.3	24.3	27.0	16.2	27.0	10.8			
	製造業(N=53)	49.1	43.4	34.0	17.0	18.9	13.2	15.1	11.3	3.8			
	運輸業・郵便業(N=15)	26.7	33.3	33.3	26.7	13.3	20.0	6.7	0.0	0.0			
	卸・小売業・飲食店(N=51)	43.1	39.2	27.5	49.0	11.8	13.7	15.7	9.8	7.8			
	サービス業(N=31)	25.8	25.8	22.6	45.2	22.6	9.7	6.5	6.5	6.5			
	医療機関・福祉施設(N=28)	32.1	17.9	35.7	28.6	10.7	21.4	10.7	7.1	3.6			
	その他(N=13)	38.5	38.5	7.7	38.5	23.1	15.4	7.7	23.1	0.0			
本社	武豊町内(N=154)	31.8	33.8	35.7	36.4	18.2	18.2	14.3	16.9	7.8			
	愛知県内(N=57)	35.1	33.3	28.1	29.8	15.8	12.3	10.5	3.5	1.8			
	愛知県外(N=18)	66.7	33.3	22.2	11.1	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0			
従業員数	1～9人(N=89)	22.5	27.0	42.7	37.1	19.1	20.2	13.5	21.3	10.1			
	10～19人(N=21)	33.3	52.4	23.8	19.0	19.0	14.3	14.3	14.3	9.5			
	20～49人(N=32)	43.8	40.6	34.4	31.3	25.0	12.5	12.5	9.4	6.3			
	50～299人(N=44)	45.5	29.5	31.8	27.3	15.9	18.2	11.4	2.3	0.0			
	300人以上(N=36)	47.2	36.1	19.4	33.3	8.3	11.1	11.1	2.8	0.0			

		(%)	
		その他	無回答
全体(N=229)		5.7	7.4
業種	建設業(N=37)	5.4	8.1
	製造業(N=53)	3.8	3.8
	運輸業、郵便業(N=15)	6.7	6.7
	卸・小売業、飲食店(N=51)	5.9	9.8
	サービス業(N=31)	9.7	3.2
	医療機関・福祉施設(N=28)	3.6	7.1
	その他(N=13)	7.7	23.1
本社	武豊町内(N=154)	3.2	9.1
	愛知県内(N=57)	12.3	1.8
	愛知県外(N=18)	5.6	11.1
従業員数	1～9人(N=89)	5.6	9.0
	10～19人(N=21)	4.8	9.5
	20～49人(N=32)	12.5	9.4
	50～299人(N=44)	4.5	6.8
	300人以上(N=36)	2.8	2.8

図. 今後のビジネス展開を行うために、「知多武豊駅東地区」で必要なこと 【複数回答】

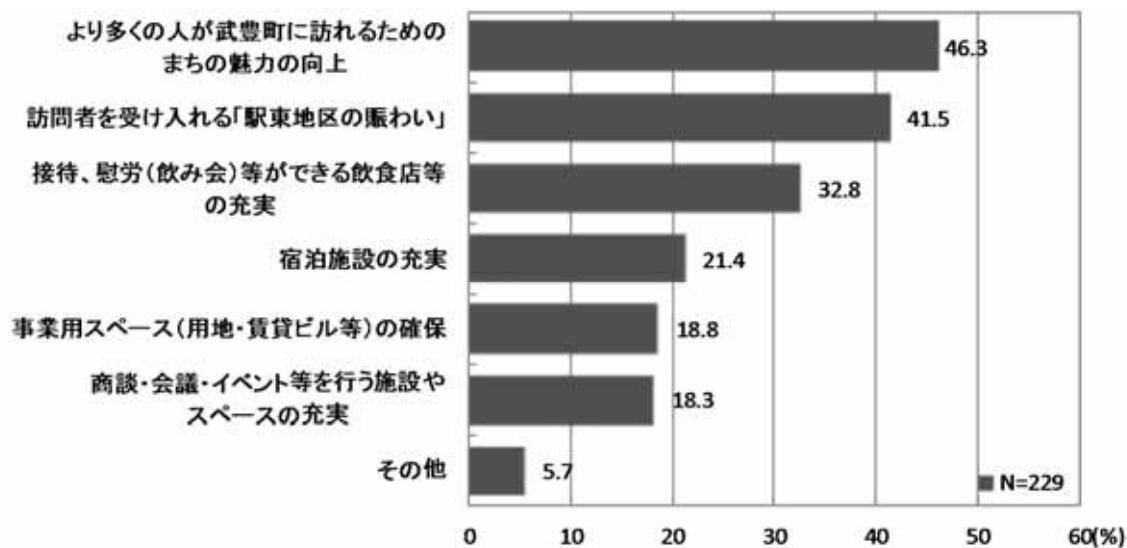


表. 今後のビジネス展開を行うために、「知多武豊駅東地区」で必要なこと (クロス集計)

【複数回答】

(%)											
		品 名 所 跡 の ア ピ ル 等	た め の ま ち の 魅 力 の 向 上 （ 特 産	の 販 わ い －	訪 問 者 を 受 け 入 れ る 「 駅 東 地 区	接 待 「 慰 労 （ 飲 み 会 ） 等 が で き	宿 泊 施 設 の 充 実	事 業 用 ス ペ ー ス （ 用 地 ・ 賃 貸 ビ ル 等 ） の 確 保	施 商 談 や ス ペ ー ス の 充 実	そ の 他	無 回 答
	全体(N=229)	46.3	41.5	32.8	21.4	18.8	18.3	5.7	10.5		
業 種	建設業(N=37)	51.4	54.1	43.2	27.0	16.2	21.6	5.4	16.2		
	製造業(N=53)	35.8	39.6	39.6	26.4	13.2	18.9	5.7	9.4		
	運輸業、郵便業(N=15)	26.7	33.3	46.7	26.7	20.0	20.0	6.7	6.7		
	卸・小売業、飲食店(N=51)	58.8	41.2	31.4	13.7	21.6	17.6	7.8	11.8		
	サービス業(N=31)	58.1	41.9	19.4	19.4	12.9	12.9	3.2	9.7		
	医療機関・福祉施設(N=28)	39.3	42.9	17.9	17.9	35.7	25.0	3.6	0.0		
	その他(N=13)	30.8	23.1	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7	23.1		
本 社	武豊町内(N=154)	48.1	44.2	31.2	19.5	20.1	18.2	5.8	13.0		
	愛知県内(N=57)	49.1	40.4	31.6	14.0	14.0	15.8	5.3	7.0		
	愛知県外(N=18)	22.2	22.2	50.0	61.1	22.2	27.8	5.6	0.0		
従 業 員 数	1～9人(N=89)	49.4	46.1	34.8	18.0	19.1	21.3	4.5	15.7		
	10～19人(N=21)	33.3	52.4	33.3	23.8	33.3	19.0	4.8	9.5		
	20～49人(N=32)	43.8	34.4	31.3	21.9	12.5	25.0	0.0	12.5		
	50～299人(N=44)	43.2	38.6	34.1	29.5	18.2	18.2	6.8	4.5		
	300人以上(N=36)	50.0	36.1	27.8	16.7	16.7	8.3	8.3	5.6		

(4)地域活性化

地域活性化施策への関心（設問 10）

『貴事業所では、地域活性化施策について関心がありますか？』と尋ねたところ、「地域の農産品を提供する飲食サービスなど、「地産地消」による地域循環を進める」が 21.4%、「みそ・たまりなど、地場産品を活かした商品を開発・販売し、地域を売り込む」が 21.0%で地場産品に関する回答が多く見られます。

地域活性化策に関心があると回答した事業所に『どのように取り組む予定ですか？』と尋ねたところ、「町役場や地元事業者・各種団体（まちづくり会社）と連携して取り組みたい」が 33.3%、「自社単独で取り組みたい」が 17.5%です。

業種	関心について、サービス業は「地域の農産品を提供する飲食サービスなど、「地産地消」による地域循環を進める」が 32.3%と他の業種と比べて多くなっています。
本社	関心について、武豊町内は「地域の農産品を提供する飲食サービスなど、「地産地消」による地域循環を進める」など他と比べて回答が多い傾向が見られます。
従業員数	1～9人と300人以上は「地域の農産品を提供する飲食サービスなど、「地産地消」による地域循環を進める」「みそ・たまりなど、地場産品を活かした商品を開発・販売し、地域を売り込む」が他の規模と比べて多くなっています。

図．地域活性化施策への関心

【複数回答】

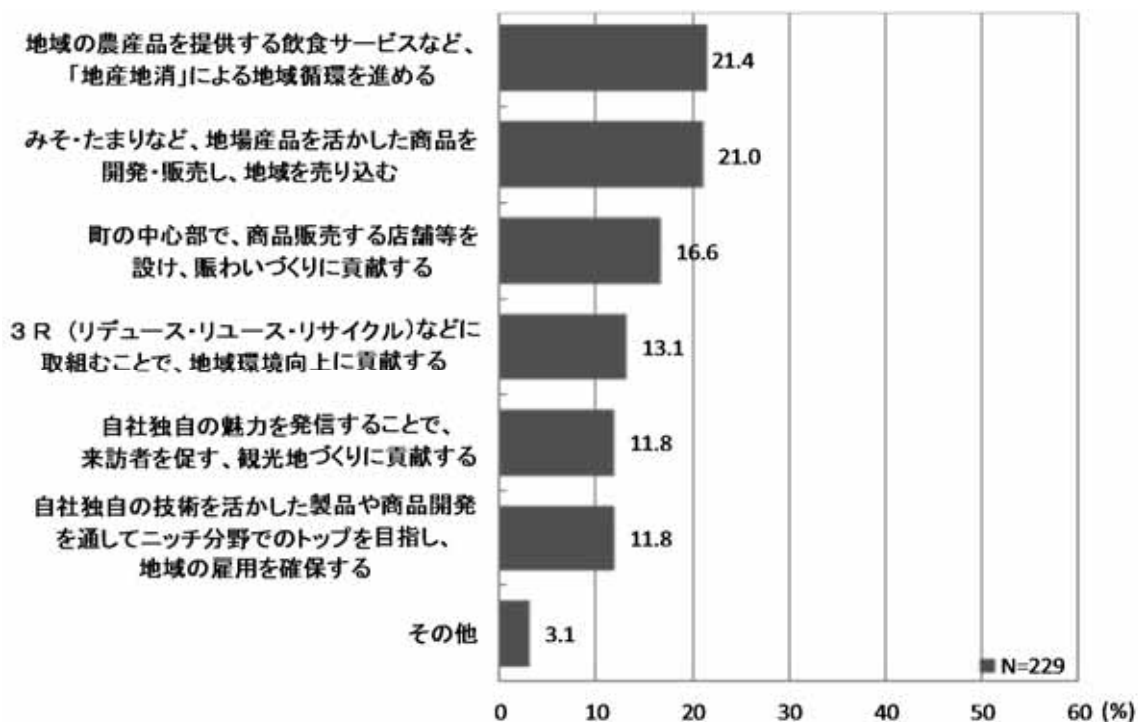


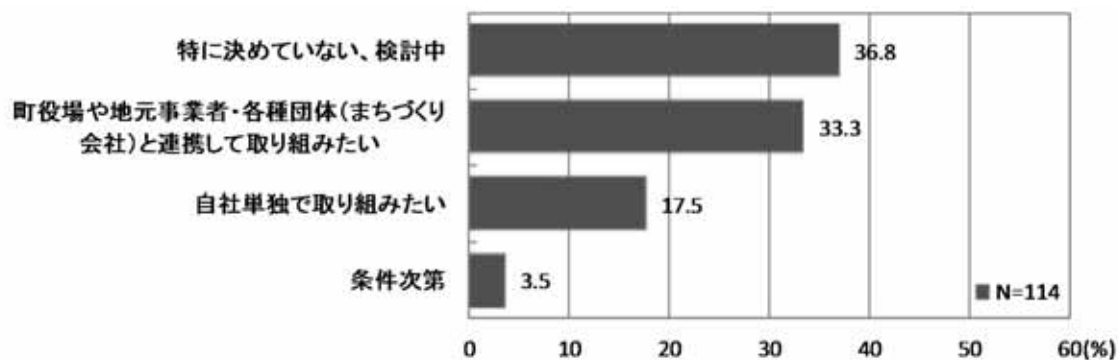
表. 地域活性化施策への関心 (クロス集計)

【複数回答】

										(%)							
		進め る	地域の農 産品を提 供する飲 食サービ ス	むた商 品を開 発・販 売し地 域を売 り込	みそ・た まりな ど、地 場産品 を活か し	設けの 中心部 で、商 品販売 する店 舗等を	町に貢 献する	向上に 貢献す る	3R（リ デュース ・リユース ・リサイ クル）な どに取 組むこと で、地 域環境	訪客を 促す観 光地づく りに貢 献する 来	自社独自の 魅力を発 信すること で、	目指し、地 域の雇用 を確保す る	開発を通 じて、ニ ッチ分野 でのト ピ	自社独自の 技術を活 かした製 品や商	その他	特 に な い	無 回 答
全体(N=229)		21.4	21.0	16.6	13.1	11.8	11.8	3.1	45.0	6.1							
業 種	建設業(N=37)	21.6	21.6	16.2	16.2	2.7	10.8	0.0	45.9	10.8							
	製造業(N=53)	18.9	17.0	13.2	15.1	11.3	20.8	1.9	50.9	5.7							
	運輸業、郵便業(N=15)	6.7	26.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	53.3	6.7							
	卸・小売業、飲食店(N=51)	27.5	25.5	23.5	15.7	23.5	9.8	2.0	45.1	2.0							
	サービス業(N=31)	32.3	12.9	16.1	12.9	12.9	6.5	3.2	29.0	12.9							
	医療機関・福祉施設(N=28)	14.3	17.9	10.7	7.1	3.6	10.7	7.1	53.6	3.6							
	その他(N=13)	15.4	38.5	30.8	7.7	15.4	7.7	0.0	30.8	0.0							
本 社	武豊町内(N=154)	25.3	23.4	23.4	13.6	12.3	13.6	3.9	40.3	5.8							
	愛知県内(N=57)	12.3	17.5	3.5	8.8	12.3	7.0	1.8	54.4	8.8							
	愛知県外(N=18)	16.7	11.1	0.0	22.2	5.6	11.1	0.0	55.6	0.0							
従 業 員 数	1～9人(N=89)	28.1	23.6	27.0	13.5	15.7	10.1	2.2	36.0	9.0							
	10～19人(N=21)	14.3	9.5	9.5	9.5	9.5	19.0	0.0	47.6	4.8							
	20～49人(N=32)	15.6	21.9	15.6	12.5	12.5	15.6	0.0	62.5	0.0							
	50～299人(N=44)	9.1	9.1	9.1	13.6	4.5	6.8	11.4	54.5	2.3							
	300人以上(N=36)	27.8	33.3	8.3	16.7	13.9	16.7	0.0	36.1	8.3							

図．地域活性化に取り組む方法

【複数回答】



表．地域活性化に取り組む方法（クロス集計）

【複数回答】

(%)

		特に決めていない、検討中	連団町携し（まちづくり団体）と連携して取り組みたい	自社単独で取り組みたい	条件次第	無回答
全体(N=114)		36.8	33.3	17.5	3.5	14.9
業種	建設業(N=16)	43.8	37.5	6.3	0.0	12.5
	製造業(N=24)	45.8	25.0	20.8	0.0	16.7
	運輸業、郵便業(N=6)	33.3	0.0	16.7	16.7	33.3
	卸・小売業、飲食店(N=27)	25.9	44.4	22.2	3.7	18.5
	サービス業(N=18)	33.3	22.2	22.2	5.6	22.2
	医療機関・福祉施設(N=13)	38.5	46.2	7.7	7.7	0.0
	その他(N=9)	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0
本社	武豊町内(N=84)	35.7	36.9	19.0	3.6	10.7
	愛知県内(N=22)	40.9	22.7	9.1	4.5	27.3
	愛知県外(N=8)	37.5	25.0	25.0	0.0	25.0
従業員数	1～9人(N=49)	40.8	38.8	16.3	4.1	8.2
	10～19人(N=10)	20.0	40.0	30.0	0.0	10.0
	20～49人(N=13)	30.8	15.4	23.1	7.7	23.1
	50～299人(N=20)	45.0	25.0	20.0	5.0	15.0
	300人以上(N=20)	35.0	30.0	10.0	0.0	30.0

(5)仕事と家庭の両立支援

女性の従業員数（設問 11）

事業所の女性従業員数について、「0～2人」が36.7%と最も多く、以下、「3～5人」が21.8%、「6～10人」が17.0%と続いています。

正社員数をみると、「0～2人」が62.9%となり、女性正社員がいない、もしくは、わずかな職場が多く見られます。

業種	従業員数について、「0～2人」は建設業で75.7%、運輸業、郵便業で60.0%と多い一方、医療機関・福祉施設で3.6%と少なく業種により違いが見られます。
本社	正社員数について、「0～2人」の割合に大きな違いは見られません。
従業員数	正社員数について、300人以上でも「0～2人」が47.2%となっています。

図. 女性の従業員数

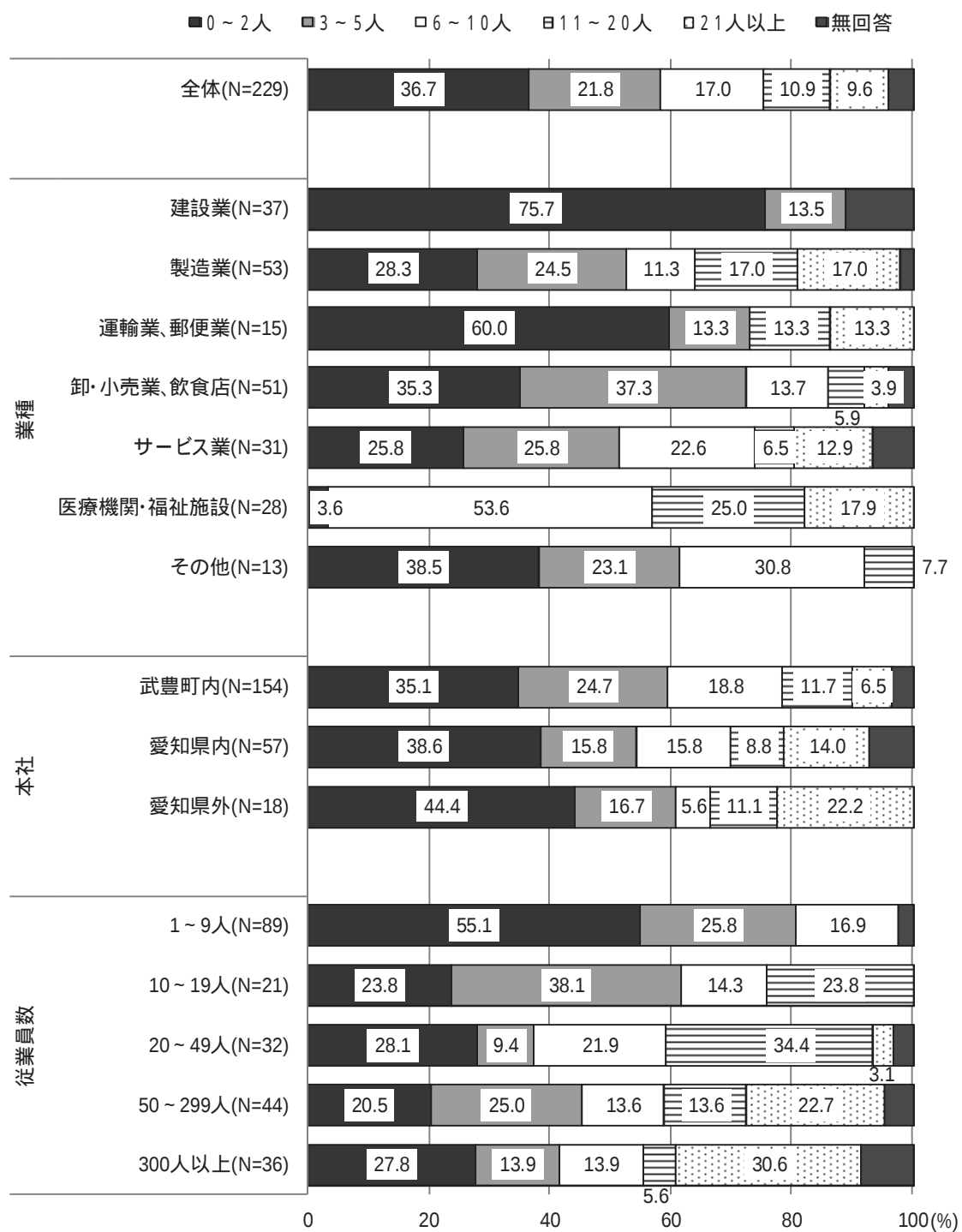
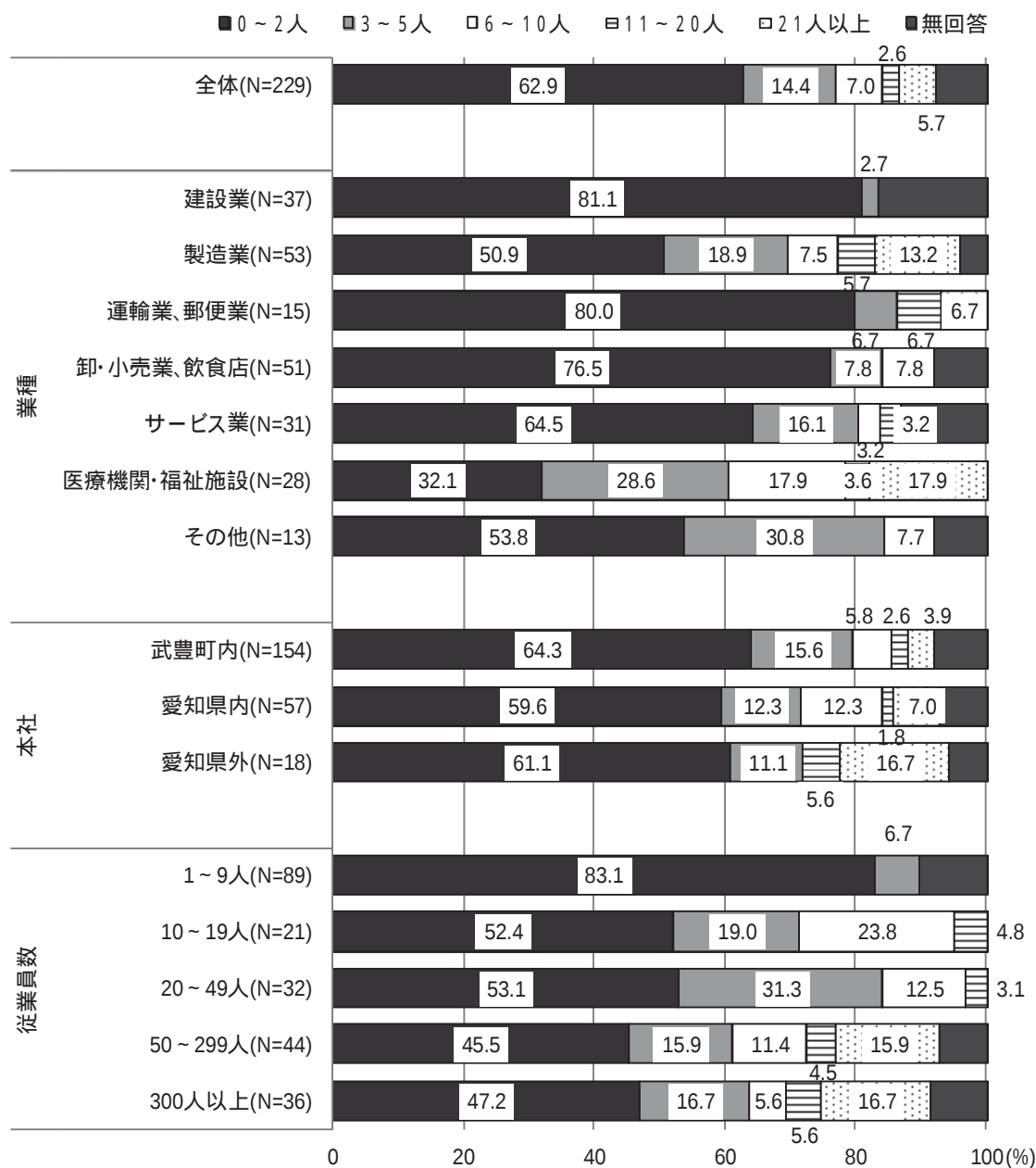


図. 女性の正社員数

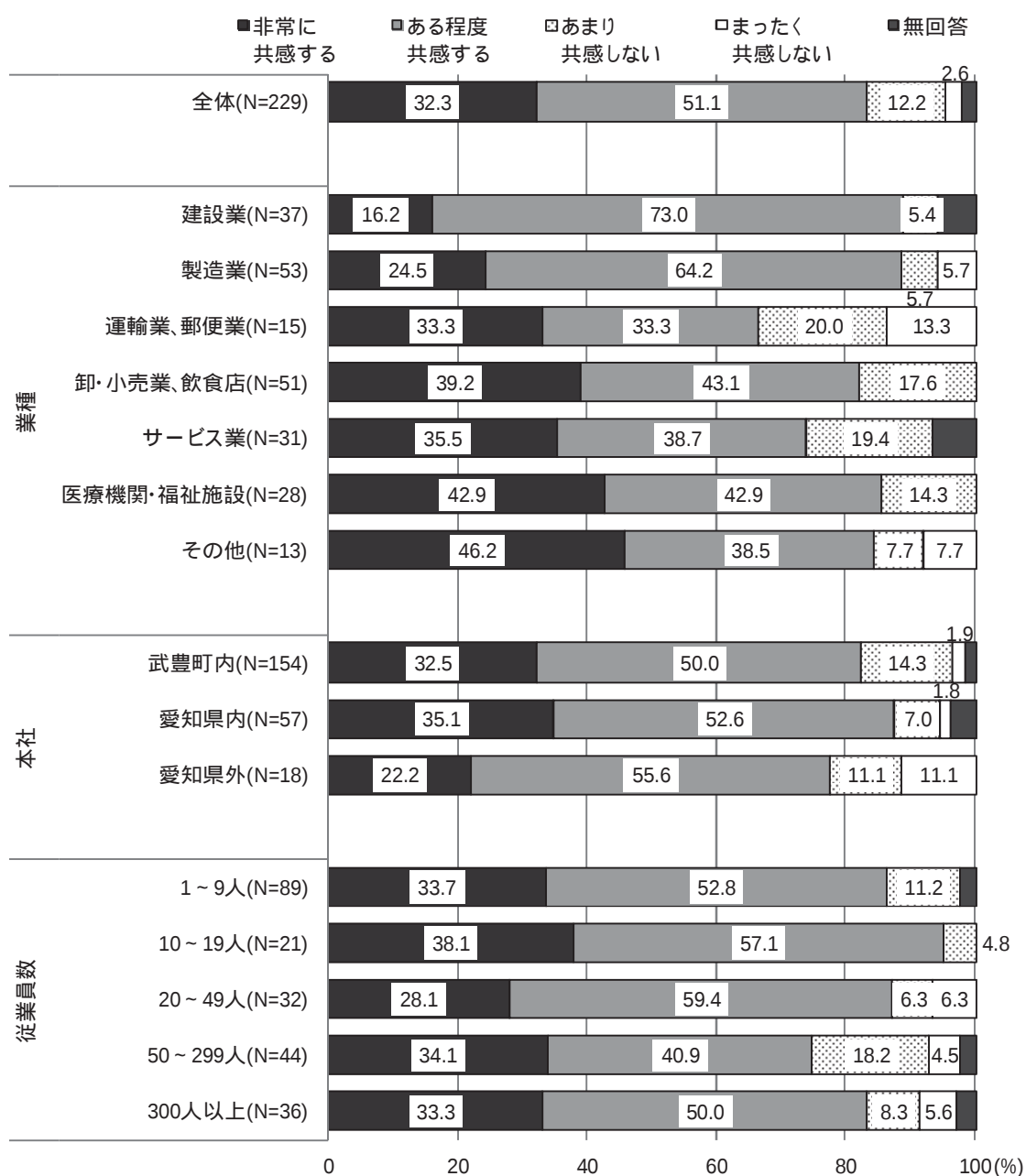


仕事と家庭の両立と子育て環境（設問 12）

『仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる』という考えについて、「非常に共感する」が 32.3%「ある程度共感する」が 51.1%で、両立環境が出生数や子育てに影響していると考える企業が多数を占めています。

業種	医療機関・福祉施設をはじめすべての業種で「非常に共感する」「ある程度共感する」の合計が3分の2以上を占めています。
本社	「非常に共感する」をみると、武豊町内で 32.5%、愛知県内で 35.1%、愛知県外で 22.2%となっています。
従業員数	10～19 人をはじめすべての規模で「非常に共感する」「ある程度共感する」の合計が4分の3以上を占めています。

図．仕事と家庭の両立と子育て環境

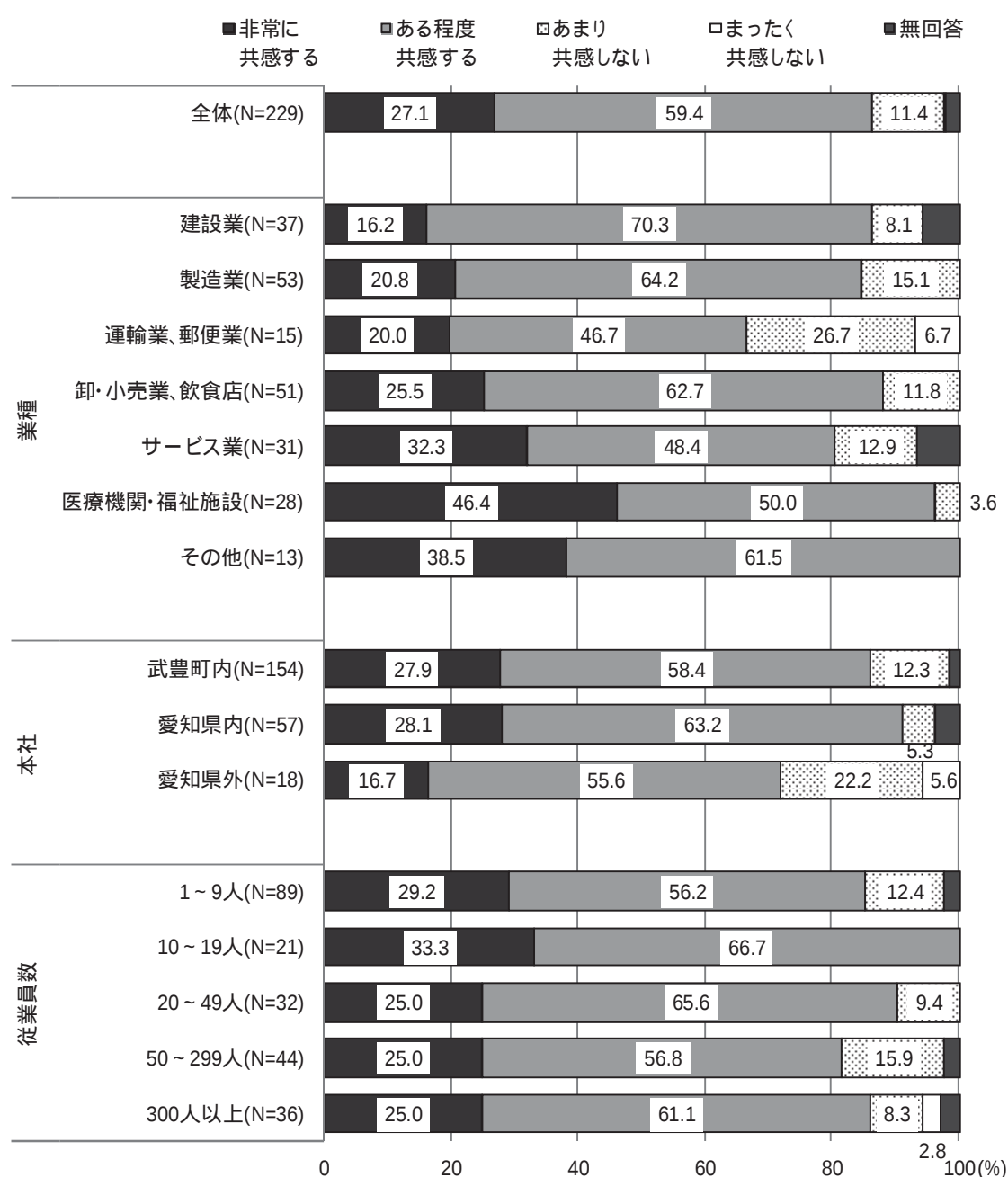


女性活躍と企業経営（設問 13）

「女性の活躍が、今後の経営戦略の鍵を握る」という考え方について、「非常に共感する」が 27.1%、「ある程度共感する」が 59.4%で、生産年齢が減少していく中、女性の活躍に注目する企業が多く見られます。

業種	医療機関・福祉施設をはじめすべての業種で「非常に共感する」「ある程度共感する」の合計が3分の2以上を占めています。
本社	「非常に共感する」をみると、武豊町内で 27.9%、愛知県内で 28.1%、愛知県外で 16.7%となっています。
従業員数	10～19 人をはじめすべての規模で「非常に共感する」「ある程度共感する」の合計が8割以上を占めています。

図. 女性活躍と企業経営



仕事と家庭の両立支援や女性活躍を推進するために（設問 14・15）

『「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍」を推進するために、貴事業所では、どのようなことを一層充実する必要があるとお考えですか』と尋ねたところ、「仕事と家庭の両立を図る制度の充実や、勤務時間等の配慮」が 54.1%と最も多く、以下、「女性の重要な業務への配置や人材育成」が 27.5%、「女性の積極的な採用」が 24.5%と続いています。

同様、武豊町が取り組むべきこととして、「夏休みの小学生の預かりを充実する」(45.9%)、「低年齢保育（0～2歳）を充実する」(45.0%）の回答が多く、以下、「祝日の保育を実施する」が 33.2%、「病児・病後児保育を充実する」が 28.4%と、保育や子どもの預かりに関する回答が上位を占めています。

業種	事業所が取り組むべきこととして、すべての業種で「仕事と家庭の両立を図る制度の充実や、勤務時間等の配慮」が最も多くなっています。 武豊町が取り組むべきこととして、医療機関・福祉施設は「夏休みの小学生の預かりを充実する」(71.4%)、「低年齢保育（0～2歳）を充実する」(57.1%)と特に多くなっています。
本社	事業所が取り組むべきこととして、愛知県外は「女性の重要な業務への配置や人材育成」が 44.4%、「女性の管理職への積極的な採用」が 38.9%と、他と比べて多くなっています。
従業員数	武豊町が取り組むべきこととして、300人以上は「低年齢保育（0～2歳）を充実する」(58.3%)と特に多くなっています。

図. 「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍」を推進するために、事業所が取り組むべきこと
【複数回答】

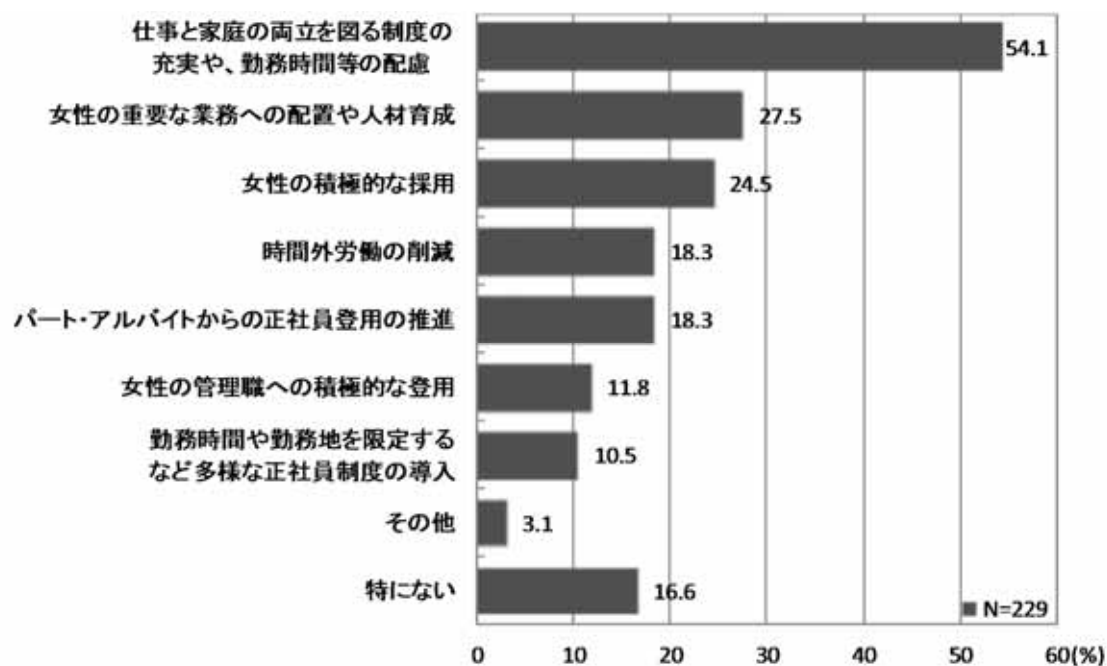
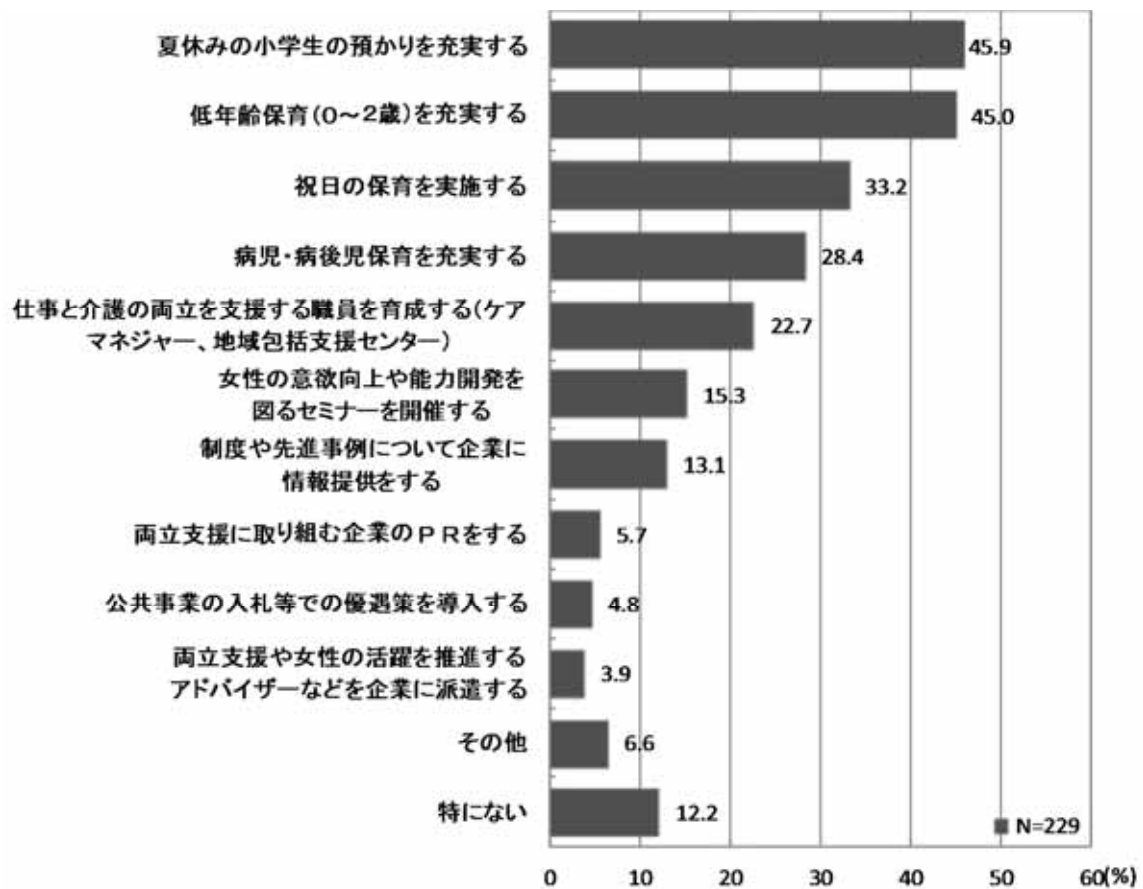


表. 「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍」を推進するために、事業所が取り組むべきこと
(クロス集計) 【複数回答】

(%)

		勤務時間等の配慮	仕事と家庭の両立を	女性の重要な業務への配置や人材育成	女性の積極的な採用	時間外労働の削減	推進の正社員登用のト	パート・アルバイトのト	極的な管理職への積	女性の登用への積	正社員制度の導入	限定する多様な	勤務時間や勤務地を	その他	特にな	無回答
	全体(N=229)	54.1	27.5	24.5	18.3	18.3	11.8	10.5	3.1	16.6	4.4					
業 種	建設業(N=37)	51.4	21.6	13.5	18.9	16.2	5.4	5.4	0.0	27.0	5.4					
	製造業(N=53)	47.2	34.0	24.5	13.2	15.1	20.8	5.7	1.9	24.5	3.8					
	運輸業、郵便業(N=15)	46.7	13.3	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	40.0	6.7					
	卸・小売業、飲食店(N=51)	60.8	23.5	25.5	15.7	15.7	5.9	13.7	2.0	7.8	5.9					
	サービス業(N=31)	61.3	29.0	38.7	25.8	29.0	12.9	12.9	0.0	6.5	3.2					
	医療機関・福祉施設(N=28)	57.1	32.1	25.0	28.6	32.1	14.3	17.9	14.3	3.6	0.0					
	その他(N=13)	53.8	38.5	23.1	23.1	15.4	15.4	15.4	0.0	15.4	7.7					
本 社	武豊町内(N=154)	57.8	25.3	24.0	17.5	17.5	8.4	7.1	1.9	15.6	4.5					
	愛知県内(N=57)	47.4	28.1	22.8	19.3	21.1	12.3	17.5	5.3	19.3	3.5					
	愛知県外(N=18)	44.4	44.4	33.3	22.2	16.7	38.9	16.7	5.6	16.7	5.6					
従 業 員 数	1～9人(N=89)	56.2	16.9	20.2	18.0	15.7	7.9	5.6	1.1	18.0	6.7					
	10～19人(N=21)	57.1	33.3	38.1	28.6	14.3	14.3	9.5	4.8	9.5	4.8					
	20～49人(N=32)	46.9	40.6	15.6	15.6	21.9	6.3	12.5	9.4	21.9	0.0					
	50～299人(N=44)	47.7	27.3	25.0	20.5	9.1	15.9	18.2	2.3	18.2	2.3					
	300人以上(N=36)	55.6	41.7	33.3	16.7	33.3	22.2	13.9	2.8	11.1	5.6					

図.「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍」を推進するために、武豊町が取り組むべきこと
【複数回答】



6 企業・事業所アンケートの結果

表、「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍」を推進するために、武豊町が取り組むべきこと
(クロス集計) 【複数回答】

【複数回答】

(%)

		夏 休 み の 小 学 生 の 預 か り を 充 実 す	低 年 齢 保 育 （ 0 ～ 2 歳 ） を 充 実 す	祝 日 の 保 育 を 実 施 す	病 児 ・ 病 後 児 保 育 を 充 実 す	域 包 括 支 援 セ ン タ ー （ を 育 成 す る ヘ ケ ア マ ネ ジ ャ ー ・ 地	仕 事 と 介 護 の 両 立 を 支 援 す る 職 員	女 性 の 意 欲 向 上 や 能 力 開 発 を 図 る セ ミ ナ ー を 開 催 す	報 制 度 や 先 進 事 例 に つ い て 企 業 に 情 報 提 供 を す る	両 立 支 援 に 取 り 組 む 企 業 の P R を す る	公 共 事 業 の 入 札 等 で の 優 遇 策 を 導 入 す る	ア ド バ イ ザ ー な ど を 企 業 に 派 遣 す る
全体(N=229)		45.9	45.0	33.2	28.4	22.7	15.3	13.1	5.7	4.8	3.9	
業 種	建設業(N=37)	51.4	45.9	32.4	32.4	32.4	13.5	16.2	8.1	8.1	2.7	
	製造業(N=53)	34.0	47.2	17.0	28.3	30.2	22.6	24.5	0.0	5.7	0.0	
	運輸業、郵便業(N=15)	40.0	33.3	33.3	20.0	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	
	卸・小売業、飲食店(N=51)	49.0	45.1	43.1	25.5	19.6	15.7	9.8	13.7	5.9	7.8	
	サービス業(N=31)	38.7	38.7	38.7	32.3	16.1	16.1	6.5	9.7	6.5	0.0	
	医療機関・福祉施設(N=28)	71.4	57.1	35.7	39.3	17.9	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	
	その他(N=13)	38.5	38.5	46.2	7.7	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	23.1	
本 社	武豊町内(N=154)	47.4	45.5	29.2	29.9	23.4	16.2	15.6	6.5	5.8	3.9	
	愛知県内(N=57)	43.9	45.6	45.6	26.3	21.1	14.0	8.8	5.3	3.5	5.3	
	愛知県外(N=18)	38.9	38.9	27.8	22.2	22.2	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	
従 業 員 数	1～9人(N=89)	44.9	37.1	30.3	32.6	29.2	16.9	12.4	10.1	3.4	6.7	
	10～19人(N=21)	57.1	52.4	33.3	28.6	28.6	14.3	4.8	0.0	14.3	0.0	
	20～49人(N=32)	53.1	53.1	34.4	21.9	9.4	12.5	15.6	3.1	9.4	0.0	
	50～299人(N=44)	40.9	43.2	36.4	36.4	13.6	11.4	18.2	0.0	4.5	4.5	
	300人以上(N=36)	41.7	58.3	41.7	13.9	25.0	19.4	13.9	8.3	0.0	2.8	

(%)

		その他	特 に ない	無 回 答
全体(N=229)		6.6	12.2	9.6
業 種	建設業(N=37)	5.4	10.8	8.1
	製造業(N=53)	1.9	11.3	11.3
	運輸業・郵便業(N=15)	13.3	33.3	6.7
	卸・小売業・飲食店(N=51)	7.8	11.8	5.9
	サービス業(N=31)	0.0	16.1	12.9
	医療機関・福祉施設(N=28)	14.3	7.1	7.1
	その他(N=13)	15.4	0.0	23.1
本 社	武豊町内(N=154)	8.4	10.4	8.4
	愛知県内(N=57)	3.5	15.8	10.5
	愛知県外(N=18)	0.0	16.7	16.7
従 業 員 数	1～9人(N=89)	7.9	12.4	7.9
	10～19人(N=21)	9.5	0.0	14.3
	20～49人(N=32)	9.4	12.5	3.1
	50～299人(N=44)	6.8	18.2	13.6
	300人以上(N=36)	0.0	11.1	8.3

1 武豊町の暮らしやすさなどについて

説明1 武豊町の住みごころはどう思いますか？ <1つに○印>

1. 大変住みやすい
2. まあまあ住みやすい
3. どちらとも言えない
4. どちらかというと住みにくい
5. 大変住みにくい

説明2 今後も武豊町で暮らしたいと思いませんか？ <1つに○印>

1. 今後も暮らしたい
2. 暮らしたいとは思わない

「1」と回答した方は
<説明2-1>をお答えください

「2」と回答した方は
<説明2-2>をお答えください

説明2-1 武豊町で暮らしたいと思う理由は
何ですか？ <3つまでに○印>

1. 自然環境が良い
2. 住環境が良い
3. 医療・福祉サービスが充実している
4. 子育てしやすい
5. 買い物や外食が便利
6. 都市基盤が整っている
7. 交通の便が良い
8. 公共施設が充実している
9. 子どもの教育環境が良い
10. 安全だから
11. 地域での人間関係が良い
12. 学校や仕事、家族の都合
13. 住みなれていて愛着がある
14. その他 ()

説明2-2 武豊町で暮らしたいとは思わない
理由は何ですか？ <3つまでに○印>

1. 自然環境が良くない
2. 住環境が良くない
3. 医療・福祉サービスが充実していない
4. 子育てしにくい
5. 買い物や外食が不便
6. 都市基盤が整っていない
7. 交通の便が良くない
8. 公共施設が充実していない
9. 子どもの教育環境が良くない
10. 安全でない
11. 地域での人間関係が良くない
12. 学校や仕事、家族の都合
13. 愛着がない
14. その他 ()

2 日常生活におけるあなたの意識

説明3 第5次総合計画では、将来像「心つなぎ みんな輝くまち 武豊」の実現を目指して、7つの基本目標を設定して取り組みを進めています。以下の項目について、あなたの「日常生活における意識・行動」や「町に対する満足度」をお答えください。

『基本目標1 ともに創るまち（行政課題）』に関することについてお答えください

あなたの日常生活における意識や行動として、『はい』の場合は1、『いいえ』の場合は2に、それぞれ○印をつけてください。

- ① 広報だけよを見ていますか？
- ② 日常生活のなかでインターネットを利用していますか？

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
③ 町民がまちづくりに参画しやすい	5	4	3	2	1	0
④ 行政に市民の意向が反映されている	5	4	3	2	1	0
⑤ 行政情報が市民に公開・発信されている	5	4	3	2	1	0
⑥ 行政サービスが充実している	5	4	3	2	1	0
⑦ 税金が正しく効果的に使われている	5	4	3	2	1	0

『基本目標2 安全に暮らせるまち（安全課題）』に関することについてお答えください

あなたの日常生活における意識や行動として、『はい』の場合は1、『いいえ』の場合は2に、それぞれ○印をつけてください。

- ① 普段から災害に備えていますか？
- ② 防災訓練などに参加したり、見学したことはありますか？
- ③ 普段から防犯に心がけていますか？
- ④ 公共交通機関を利用しますか？

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
⑤ 町民から災害対策がしっかりしている	5	4	3	2	1	0
⑥ 防犯対策がしっかりしている	5	4	3	2	1	0
⑦ 幹線道路が整備され車で移動しやすい	5	4	3	2	1	0
⑧ 徒歩や自転車での道を安全に通行できる	5	4	3	2	1	0
⑨ 公共交通機関が利用しやすい／便利である	5	4	3	2	1	0

【基本目標3 ふれあいのあるまち（地域交流）】に関することについてお答えください

あなたの日常生活における意識や行動として、『はい』の場合は1、『いいえ』の場合は2に、それぞれO印をつけてください。	はい	いいえ
① 趣味や教養、スポーツなどの活動を楽しんでいますか？	1	2
② 芸術や文化に触れていますか？	1	2
③ 町民会館や図書館、公民館、体育館などの公共施設を利用しますか？	1	2
④ 近所の公園や児童遊園地を利用しますか？	1	2
⑤ 地域の行事やお祭りに参加していますか？	1	2
⑥ 余暇は充実していますか？	1	2
⑦ 生きがいを感じているものがありますか？	1	2

【基本目標4 子どもが健やかに育つまち（次世代育成）】に関することについてお答えください

町の状態に対する満足度として、「5：満足」～「1：不満足」までであなたの考えに近い番号を1つ選んでO印をつけてください。 わからない場合は「0」にO印をつけてください。	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない	
① 子育てがしやすい	5	4	3	2	1	0
② 地域で子どもの安全・安心が確保されている	5	4	3	2	1	0

【基本目標5 いそいそと暮らせるまち（健康福祉）】に関することについてお答えください

あなたの日常生活における意識や行動として、『はい』の場合は1、『いいえ』の場合は2に、それぞれO印をつけてください。	はい	いいえ
① 普段から健康に心がけていますか？	1	2
② かかりつけの医師はいますか？	1	2
③ 食生活に満足していますか？	1	2
④ ご家族との関係は良好ですか？	1	2
⑤ 日常生活のなかで近所の方との関わりはありますか？	1	2
⑥ 人から頼りにされていると感じますか？	1	2
⑦ 自分が活躍できる場はありますか？	1	2
⑧ 他の世代の人や外国人と交流したり、ふれあうことはありますか？	1	2

町の状態に対する満足度として、「5：満足」～「1：不満足」までであなたのお考えに近い番号を1つ選んでO印をつけてください。 わからない場合は「0」にO印をつけてください。	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない	
⑨ 健康づくりの機会や対応が充実している	5	4	3	2	1	0
⑩ 病院や休日診療などを受診しやすい	5	4	3	2	1	0

町の状態に対する満足度として、「5：満足」～「1：不満足」までであなたの考えに近い番号を1つ選んで○印をつけてください。わからない場合は「0」に○印をつけてください。	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない	
⑪ 盛りごとに対する相応な体制が充実している	5	4	3	2	1	0
⑫ 近所で共に助け合い、支え合う関わりがある	5	4	3	2	1	0
⑬ 男女が差別なく参画できる社会となっている	5	4	3	2	1	0

【基本目標6 自然環境と生活環境が調和したまち（生活環境）】に関することについてお答えください

あなたの日常生活における意識や行動として、『はい』の場合は1、『いいえ』の場合は2に、それぞれO印をつけてください。	はい	いいえ
① ごみの分別をきちんとしていますか？	1	2
② 省エネルギーやリサイクルに心がけていますか？	1	2

町の状態に対する満足度として、「5：満足」～「1：不満足」までであなたのお考えに近い番号を1つ選んでO印をつけてください。わからない場合は「0」にO印をつけてください。	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない	
③ 水や緑などの自然を身近に感じられる	5	4	3	2	1	0
④ 暮らしやすい住環境が整っている	5	4	3	2	1	0

【基本目標7 活かに満ち溢れを持ち続けるまち（地域活性）】に関することについてお答えください

あなたの日常生活における意識や行動として、『はい』の場合は1、『いいえ』の場合は2に、それぞれO印をつけてください。	はい	いいえ
① 武蔵町に愛着がありますか？	1	2
② 武蔵町に魅力や誇りを感じていますか？	1	2
③ できるだけ地元の高産物を購入するようにしていますか？	1	2

町の状態に対する満足度として、「5：満足」～「1：不満足」までであなたのお考えに近い番号を1つ選んでO印をつけてください。 わからない場合は「0」にO印をつけてください。	満足	やや満足	やや不満足	不満足	わからない	
④ 町の中心部に魅力や活気がある	5	4	3	2	1	0

3 武豊町のまちづくりに対する評価

説明4 第5次総合計画で取り組みを進めている22項目について、「現在までの達成度」と「今後に向けた重要度」の評価をお願いします。回答例にならって、お考えに近い番号を1つずつ選んで○印をつけてください。

	達成度					重要度						
左記のことについて、現在、まちの姿が達成されていると思いますか？	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
今後、左記のことを実現したいと考えていくことは無理だと思いますか？	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
※『達成度』、『重要度』のそれぞれについて5～0の中から1つを選んで○印をつけてください。												
回答例 住民がまちづくりに参画しやすいまち	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
※『住民がまちづくりに参画しやすいまち』が、現在『どちらかといえば達成されている』と思えば、達成度の「4」に○をつけ、次に、今後『住民がまちづくりに参画しやすいまち』の達成度が「高い」と思えば達成度の「5」に○をつける。												
1. 住民がまちづくりに参画しやすい	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
2. 情報相互に共有されている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
3. 住民に満足される行政サービスが行われている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
4. 健全に行財政が運営されている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
5. 徒歩や自転車など安全に道路を通行できる	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
6. 道路や公共交通を利用して気軽に移動できる	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
7. 災害への備えや日常生活の安全性が確保されている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
8. 強い・勉める魅力的な環境がある	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
9. 誰もが気軽に学習や健康の活動に参加できる	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
10. 地域活動が活発に行われている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
11. 安心して子どもをまみ育てることができる	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
12. 働きながらでも子育てをしやすい環境が整っている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
13. 子どもが楽しく学校生活を送っている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
14. 楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15. 高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16. みんなが相互に理解しやさしさを持っている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17. みんなが自然環境を大切にしている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
18. 健康へ負荷をかけない生活環境になっている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
19. 快適で豊かな住環境が整っている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20. 中心市街地にぎやかに活気づいている	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
21. 産業が活性化している	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
22. 住民が誇りを持って生活している	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

4 幸福度について

説明5 現在あなたは、どの程度幸せですか、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。〈あてはまる数字1つに○印〉

とても不幸	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても幸せ
点												点

説明6 5年前と比べて、あなたの幸福感に変化はありますか？ <1つに○印>

1. より幸せになった 2. 変わらない 3. より不幸になった

説明7 説明5・6で、あなたが幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか？ <あてはまるものすべてに○印>

1. 家計の状況（所得・消費） 2. 就業状況（仕事の有無・安定）
3. 健康状況 4. 自由な時間
5. 充実した余暇 6. 仕事の充実度
7. 精神的なゆとり 8. 趣味・社会貢献などの生きがい
9. 家族関係 10. 友人関係
11. 職場の人間関係 12. 地域コミュニティとの関係
13. その他（ ） 14. よくわからない

5 市民参加・協働のまちづくりについて

説明8 町政（武豊町のまちづくり）や市民参加について、どのようにお考えですか？

※①～③のすべての項目について、1～4の中からお気持ちに近いものを1つに○印をつけてください。	そ う 思 う	そ や や 思 う	思 あ わ な い	思 そ う な い
① 武豊町の町政（町の仕事）、まちづくりに関心がある	4	3	2	1
② 地域活動やボランティア、NPO活動に参加したい	4	3	2	1
③ これからのまちづくりには市民の参加や協働が必要だ	4	3	2	1

※「NPO」とは、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う非営利の組織・団体のことです。

6 知多武豊駅・JR武豊駅間の町の中心部について

現在の武豊町の駅周辺地域（名鉄知多武豊駅・JR武豊駅）についてお聞かせください。

設問 9 駅周辺地域への来訪頻度はどの程度ですか？ <1つに○印>

1. 住んでいる 2. 週5日以上 3. 週1～4日程度
4. 月1～3日程度 5. あまり利用しない 6. 利用したことがない

設問 10 駅周辺地域が町中心部であると思いますか？ <1つに○印>

1. 中心だと思ふ ⇒ 設問 10-1へ
2. 中心だと思わない ⇒ 設問 10-2へ
3. わからない ⇒ 設問 11へ

設問 10-1 中心だと思ふ理由は何ですか？ <1つに○印>

1. 大型スーパーがあるから 2. 駅前だから 3. 街からの中心地から
4. 役所があるから 5. その他（ ）

設問 10-2 中心だと思わない理由は何ですか？ <1つに○印>

1. 活気がないと思うから 2. 店舗などが少ないから 3. 交通が不便だから
4. 中心は別の場所だと思うから 5. その他（ ）

設問 11 駅周辺地域へ入る目的は何ですか？ <あてはまるものすべてに○印>

1. 店舗・金融機関・郵便局 2. 勤務・通学 3. 医療施設
4. 文化施設（ギャラリー等） 5. 買い物 6. 飲食
7. 遊び・娯楽 8. 訪れない
9. その他（ ）

設問 12 現在、名鉄知多武豊駅周辺地区において区画整理事業を進めています。（P9図1参照）
今後、あなたが駅周辺に行ってみたい、又必要だと思う施設はありますか？
<5つまでに○印>

1. レストラン 2. 喫茶店 3. 居酒屋
4. スーパー 5. コンビニ 6. パン屋
7. ファーストフード 8. ドラッグストア 9. 洋服屋
10. クリーニング店 11. 美容室・理髪店 12. レンタルショップ
13. 娯楽施設 14. スポーツ施設 15. オフィス
16. 児童・子育て施設 17. 福祉・介護施設 18. 医療施設
19. 美術館・ギャラリー 20. 塾・教室 21. 図書館
22. 銀行・ATM 23. 公園・広場 24. 特になし
25. その他（ ）

設問 13 現在の駅周辺地域のイメージについて、どのようにお考えですか？

※①～③のすべての項目について、
1～3の中から今のお気持ちに最も近いもの1つに
○印をつけてください。

①活気	あ	な	わ
	3	2	1
②お店の魅力	3	2	1
③古い町並み	3	2	1
※④～⑥のすべての項目について、 1～3の中から今のお気持ちに最も近いもの1つに ○印をつけてください。	多	少	わ
	い	な	か
④若者が楽しめる施設	3	2	1
⑤駐車場	3	2	1
⑥一方通行や狭い道路	3	2	1

駅周辺地域のイメージとして、その他ご意見があればご自由にお書きください。

設問 14 将来の駅周辺地区に相応しいイメージはありますか？

<あてはまるものすべてに○印>

1. 歩いて楽しい 2. 交通が便利
3. ショッピングが楽しめる 4. 人に自慢できる
5. 治安が良い、安全・安心 6. 高齢者や障がい者にやさしい
7. 観光客がたくさん訪れる 8. イベントや伝統行事がたくさんある
9. 人がいっぱいにぎやか 10. 特になし
11. その他（ ）

7 人口減少社会について

疑問 16 武蔵町において、「人口減少社会」に对应していくために、どのようなことを実行する必要があるとお考えですか。 <3つまでに〇印>

1. 町外からの企業等の誘致
2. 町内の企業等の育成
3. 若い世代の就労・正社員化の支援
4. 婚活の支援
5. 子育て支援
6. 仕事と家庭の両立の推進
7. 職場における女性の活躍支援
8. 住宅用地の確保
9. 移住希望者の募集・支援
10. 観光・特産品・文化等まちの魅力の向上
11. 商業や駅前再開発など都市機能の充実
12. 周辺自治体との連携など圏域としての魅力向上
13. その他（ ）
14. 特になし

疑問 17 武豊町において「人口減少社会」に的確に対応していくために、意見や提案（アイデア）をお持ちでしたら、100字程度で提言してください。

[illegible]

8 あなた(回答者)ご自身について

F1 あなたの性別は？ <1つに○印>

1. 男性

F2 あなたの年齢は？ <1つに○印>

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70歳以上

10

設問 15 駅周辺整備において、どのようなイベント（催し物）があれば参加しますか？
 <あてはまるものすべてに○印>

1. マルシェ (市街)
2. フリーマーケット
3. 襲撃
4. ノロウィンバーディー
5. 特になし
6. その他く



图1:知多武豊駅東土地地区画整理事業 108+図

9

F3 あなたの在住まいの地区はどれですか？ <1つに○印>

1. 北山区	2. 中山区	3. 下門区	4. 馬場区	5. 市道区
6. 上ヶ区	7. 小畑区	8. 玉東区	9. 玉西1区	10. 玉西2区
11. 新田区	12. 緑区	13. 大定区	14. 富貴区	15. 富貴市道区
16. 東大高区	17. 市道区	18. 新田区		

※区がわからない方は、字をきこ記入ください 武豊町 _____

F4 あなたは武豊町に住んで、通算何年になりますか？ <1つに○印>

1. 2年未満	2. 2年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満	5. 20年以上30年未満	6. 30年以上

F5 あなたの家族（一緒に暮らしている方、あなた自身も含む）に次の方は含まれていますか？ <あてはまるものをすべてに○印>

1. 6歳未満の子	2. 6歳以上18歳未満の子
3. 65歳以上の方	4. 介護を受ける方

F6 あなたの職業は？ <1つに○印>

1. 農林	2. 会社員・団体職員	3. 自営業	4. 公務員
5. 学生	6. パート・アルバイト	7. 専業主婦	8. 求職中
9. 無職	10. その他（具体的に _____）		

F7 あなたの通勤・通学先はどこですか？ <1つに○印>

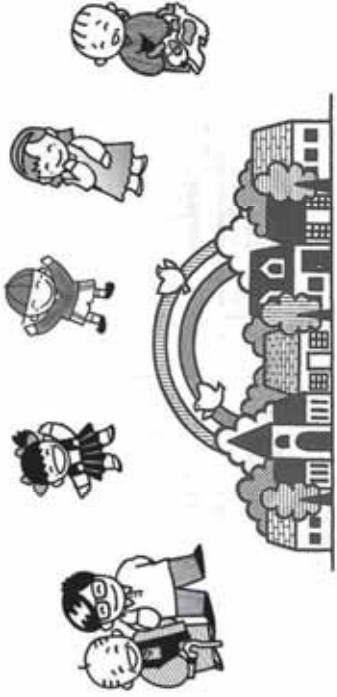
1. 武豊町内	2. 名古屋市内	3. 半田市	4. 常滑市
5. 武豊町・半田市・常滑市以外の知多地域	6. その他愛知県内		
7. 愛知県外	8. 通勤・通学していない		

長時間にわたり、お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。
締め切りの6月21日（日）までに、前回の通算期間に入れ、ポストにご投函くださるようお願い申し上げます。

(2)中学生アンケート

武豊町中学生意識調査

あなたのご意見をお聞かせください



記入にあたってのお願い

- 設問は、全部で10問あります。
- 回答は設問ごとの指示に従い、『番号に○印をつける』か、『☐』の中に自由に回答を記入』してください。
- 『番号に○印をつける』場合、設問によって○印をつける数が異なりますので、間違えないように注意してください。

中学校	年	組	男・女
-----	---	---	-----

1 武豊町での暮らしについて

設問1 武豊町の住みこころはどのようになりますか？ <1つに○印>

1. 大変住みやすい
2. まあまあ住みやすい
3. どちらとも言えない
4. どちらかというと住みにくい
5. 大変住みにくい

設問2 今後も武豊町で暮らしたいと思いませんか？ <1つに○印>

1. 今後も暮らしたい
2. 暮らしたいとは思わない

「1」と回答した方は
<設問2-1>をお答えください

「2」と回答した方は
<設問2-2>をお答えください

設問2-1 武豊町で暮らしたいと思う理由は
何ですか？ <3つまでに○印>

1. 自然環境が良い
2. 医療・福祉サービスが充実している
3. 子どもやお年寄りを大切にしている
4. 買い物や外食が便利
5. 道路や公園などが整っている
6. 交通の便が良い
7. 公共施設が充実している
8. 子どもの教育環境が良い
9. 安全だから
10. 地域での人間関係が良い
11. 近くで進学や就職を考えている
12. 住みながら子育て支援がある
13. その他

具体的に

設問2-2 武豊町で暮らしたいとは思わない
理由は何ですか？ <3つまでに○印>

1. 自然環境が良くない
2. 医療・福祉サービスが充実していない
3. 子どもやお年寄りを大切にしていない
4. 買い物や外食が不便
5. 道路や公園などが整っていない
6. 交通の便が良くない
7. 公共施設が充実していない
8. 子どもの教育環境が良くない
9. 安全でない
10. 地域での人間関係が良くない
11. 近くで進学や就職を考えている
12. 子育て支援がない
13. その他

具体的に

2 あなたの幸福度について

設問3 あなたは、今、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになりますか？ <あてはまる数字1つに○印>

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-------|
| とても不幸 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | とても幸せ |
| | | | | | | | | | | | | 点 |

設問4 あなたが「幸せかどうか」を判断するときに着用したことは何ですか？

<あてはまるものをすべてに○印>

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 健康 | 2. 学校の成績 |
| 3. 家族関係 | 4. 友人関係 |
| 5. 自由な時間 | 6. 充実した余暇 |
| 7. 学校や習い事の人間関係 | 8. 趣味・ホラントなどの生きがい |
| 9. 地域や区とのつながり | 10. おこづかいの状況 |
| 11. その他（ | 12. よくわからない |

3 家庭や学校などでの生活について

設問5 学校は楽しいですか？ <1つに○印>

1. とても楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

設問6 給食は好きですか？ <1つに○印>

1. 大好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い
4. 大嫌い

設問7 「地域の祭りや行事など」を楽しみにしていますか？ <1つに○印>

1. 楽しみにしている
2. どちらかといえば楽しみにしている
3. どちらかといえば楽しみにしていない
4. 楽しみにしていない

裏面につづきます

設問8 日ごろから、家族とよく話をしますか？ <1つに○印>

- 1. よくする
- 2. どちらかといえばする
- 3. どちらかといえばしない
- 4. しない

設問9 近所の人をみかけただらあいさつをしていますか？ <1つに○印>

- 1. している
- 2. どちらかといえばしている
- 3. どちらかといえばしていない
- 4. していない

4 武豊町のまちづくりについて

設問10 これから、武豊町がどんなまちになっただらいいと思いますか？

<自由に記入してください>

これで終わります。ご協力ありがとうございました。

(3)若年アンケート

住まい・結婚・子育てに関するアンケート調査

あなたの声をお聞かせください



調査のお願い

日頃から町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

我が国における急速な少子高齢化の進展に際し、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生法が制定され、本町においても「武豊町人口ビジョン」及び「武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を本町、策定する予定です。

この調査は、町内の20歳代、30歳代のみなさまから無作為に抽出した1,000人を対象に、お住まい、結婚、子育てについての現状・課題・行政への要望などをお聞きし、本町の状況に即した対応を検討していくために行うものです。

集計結果は統計的に処理し公表させていただく予定ですが、回答は無記名で行い、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成27年6月

武豊町長 細山 芳輝

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。事情によりご本人様が回答しえない場合は、ご郵筒でもご家族の方が代わってお答えくださいますようお願いいたします。
- ご回答は、黒のボールペン、鉛筆、サインペンなどで、設問ごとの指示により、番号に○印をつけるか、回答欄に直接文字や数字をご記入ください。設問により回答方法が異なりますので、お間違えのないようにご注意ください。
- ご回答いただいたアンケート票は、6月21日(日)までに封筒の返信用の封筒(貼紙は不要です)に入れて、郵便ポストへご投函ください。

<連絡先>

武豊町 企画部 企画政策課 担当(神鍋)

TEL: 72-1111 (内線 514) e-mail:kikaku@town.taketooyo.lg.jp

196

住まい・結婚・子育てに関するアンケート調査

問1 あなたのことにについて、お尋ねします。

(1) 年齢 (1つに○印)

* ご記入いただいた年齢は、調査時の年齢をお答えください。

1) 20～24歳 2) 25～29歳 3) 30～34歳 4) 35～39歳

(2) 性別 (1つに○印)

1 男性 2 女性

(3) 武蔵町での通算の在住期間 (1つに○印)

1) 2年未満 3) 5年以上10年未満
2) 2年以上5年未満 4) 10年以上

(4) お住まいの地区 (1つに○印)

1 武蔵小学校区 3 衣通小学校区
2 緑丘小学校区 4 富貴小学校区

わからない方はお住まいの字名をご記入ください ()

(5) 住まい (1つに○印)

1 持ち家 (一戸建て) 4 社宅 (借上げを含む)・社宅
2 持ち家 (マンション) 5 その他 ()
3 賃貸住宅

(6) 職業の有無 (1つに○印)

* 収入を得る就労 (営業の手伝いも含む) を対象とし、家事やボランティア活動は除いてください。

1 正社員・正職員 (育児休業中も含む) 4 契約社員・派遣社員
2 自営業・農林水産業・個人事業主 5 学生
3 パート・アルバイト 6 その他 ()
7 就労・就学をしていない → (8)へ

※ (6) で「1」～「6」とお答えの方にお尋ねします。

(7) 勤務先や通学先の所在地 (1つに○印)

1 武蔵町内 4 常滑市
2 名古屋市内 5 武蔵町・半田市・常滑市以外の知多地域
3 半田市 6 その他

※ (6) で「7」とお答えの方にお尋ねします。

(8) 働いていない理由をお答えください。 (主な理由2つに○印)

1 より働けなくなつたため 5 配偶者や家族の意向
2 自分の体調がすぐれないため 6 仕事と家庭の両立が難しい職場であったため
3 育児のため 7 その他 ()
4 介護や看病のため 8 特に働きたくない

※すべての方にお尋ねします。

(9) あなたの年収 (平成25年) をお答えください。 (1つに○印)

* ボーナス等も含めた税込です。

1) 0～99万円 4) 300～499万円
2) 100～199万円 5) 500～699万円
3) 200～299万円 6) 700万円以上

(10) ご家族全員の年収 (平成26年) について (1つに○印)

* 同居している家族全員の収入を対象とします。1人ぐらしの場合は、(9)と同じになります。

1) 0～99万円 4) 300～499万円
2) 100～199万円 5) 500～699万円
3) 200～299万円 6) 700万円以上

生活や住まいについて

※すべての方にお尋ねします。

問2 あなたは、ご自身の人生設計について、どのように考え、行動していますか。 (A～Cそれぞれ1つに○印)

	考えて行動している(しな)	考えながら、行動していない	真剣に考えていない	考える必要がない
A. 今後、住む場所や住宅について	1*	2	3	4
B. 女性の出産年齢を考えて、結婚すること	1	2	3	4
C. 定年の年齢を考えて、子どもをつくること	1	2	3	4

* 自宅があり、今後も自宅に在り続けようと考えている場合も含みます。

21021975

※すべての方にお届けします。

問5 あなたは、「子育て」をどのように感じますか。(1つに○印)

- 1 喜びを感じる時の方がかなり多い。(と思う)
 - 2 喜びを感じる時の方がやや多い。(と思う)
 - 3 喜びを感じる時の方がやや少ない。(と思う)
 - 4 喜びを感じる時の方がかなり少ない。(と思う)
- わからない

問6 「子爵で」は、どのような楽しさがあると思いますか。(高てはまるものすべてに○印)

- 1 子どもの成長がわかること
 - 2 子どもの笑顔が見えること
 - 3 子育てで、自分自身も成長できること
 - 4 自分がリフレッシュできること
 - 5 夫婦・家族の中で会話が弾むこと
 - 6 子どもを通じて、近所や地域に知り合いが増えること
 - 7 子育ての経験が仕事に役立つこと
 - 8 自分が大切な存在と思うようになること
- その他（ ）

問7 何れの「理想の子どもの人数」は何人ですか。(1つに○印)

- | 1) 0人 | 2) 1人 | 3) 2人 | 4) 3人 | 5) 4人以上(人) |
|-------|-------|-------|-------|------------|
| | | | | |

問 白 「現在」の子どもの人数は何人ですか。また何歳ですか。(1つに○印)

- | | 1) 0人 | 2) 1人 | 3) 2人 | 4) 3人 | 5) 4人以上 (人) |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 1) 0人 | | | | | |
| 2) 1人 | | | | | |
| 3) 2人 | | | | | |
| 4) 3人 | | | | | |
| 5) 4人以上 (人) | | | | | |

※お子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

* 4月1日時点の年齢をお願いします。4月1日以降、出陣の方は「0歳」としてください。

『お子さんの年齢』（あではまるものに○印）

- 1) 0~2歳 2) 3~5歳 3) 小学1~3年生 4) 小学4年生以上

※すべての方にお届けします。

問9 これから何人の子どもを持ちたいですか。(1つに○印)

- | 1) 0人 | 2) 1人 | 3) 2人 | 4) 3人 | 5) 4人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| | | | | |

問3 武豊町の住みごちはどう思いますか。(1つに○印)

- 1 大雲住みやすい
2 ままあ住みやすい
3 どちらともいえない
4 どちらかというと住みにくい
5 大雲住みにくい

問4 今後も武豊町で暮らしたいと思えますか。(1つに○印)

- 1 今後も暮らしたい
- 2 暮らしたいとは思わない

「1」と回答した方は

＜問4-1＞をお答えください。

「2」と回答した方は、

＜問4-2＞をお答えください。

問4-1 武蔵野で暮らしたいと思う理由は何か。(3つまでに○印)

問4-2 武蔵野で暮らしたいとは思わない理由は何ですか。(3つまでに○印)

- 1 自然環境が良い
- 2 住環境が良い
- 3 医療・福祉サービスが充実している
- 4 子育てしやすい
- 5 買い物や外食が便利
- 6 都市景観が整っている
- 7 交通の便が良い
- 8 公共施設が充実している
- 9 子どもの教育環境が良い
- 10 安全だから
- 11 地域での人間関係が良い
- 12 学校や仕事、家族の都合
- 13 住み方について愛着がある
- 14 その他（ ）

- 1 自然環境が良くない
- 2 住環境が良くない
- 3 医療・福祉サービスが充実していない
- 4 子育てににくい
- 5 買い物や外出が不便
- 6 都市部が混雑していない
- 7 交通の便が良くない
- 8 公共施設が充実していない
- 9 子どもの教育環境が良くない
- 10 安全でない
- 11 地域での人間関係が良くない
- 12 学校や仕事、家族の都合
- 13 愛着がない
- 14 その他

※問9で2)～5)とお答えの方にお尋ねします。1)の方は問11へ

問10 今後持つつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとした場合、それはどのような原因の可能性が高いでしょうか。(あてはまるものすべてに○印)

1 収入が不安定なこと	4 まったくそう思わない
2 自分や配偶者の仕事の事情	5 わからない
3 家事・育児の能力者がいないこと	
4 保育園など子どもへの預け先がないこと	
5 今いる子どもに手が回らないこと	
6 年齢や健康上の理由で子どもができないこと	
7 その他()	
8 持つつもりのお子さんの数を実現できない可能性は低い	

※現在の子どもの数が理想より少ない(問8の人数が問7の人数より少ない)方にお尋ねします。

問11 現在のお子さんの数が、理想とする数より少ないのは、どのような理由からです。(3つまでに○印)

1 収入が不安定なこと	7 育児の心情的、肉体的負担が大きいか
2 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	8 夫婦の年齢が高いため
3 自分や配偶者の仕事に差し支えるから	9 健康上の理由から
4 家事・育児の能力者がいないから	10 はいけれどもできないから
5 保育園など子どもへの預け先がないから	11 配偶者が望まないから
6 自分や夫婦の生活を大切にしたいから	12 今後予定している、もう少し先にしたい
	13 その他()

問12 不妊についての不安や悩みはありますか。(1つに○印)

1 子どもができないことを心配したことはない
2 心配はしたが、医療機関にかかったことはない
3 以前、検査や治療を受けたことがある
4 現在、検査や治療を受けている

問13 「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて、どのようにお考えですか。(1つに○印)

1 非常に共感する
2 ある程度共感する
3 あまり共感しない
4 まったく共感しない

※就労している方にお尋ねします。

問14 あなたの職場は、子育てをする人(男女問わず)にとって働きやすいと思いますか。(1つに○印)

1 そう思う	4 まったくそう思わない
2 ややそう思う	5 わからない
3 あまりそう思わない	

※問14で3または4と答えた方にお尋ねします。

問15 働きやすいのは、何が原因だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

1 子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない
2 日常的に労働時間が長い
3 通勤時間が長い
4 始業・就業時間が限定的である
5 営業時間の制約(顧客対応や長時間勤務など)がある
6 一人ひとりの業務量が多い
7 有給休暇がとりづらい雰囲気がある
8 育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある
9 育児支援制度の利用が、昇進や昇給に不利である
10 転勤がある
11 結婚・出産などで継続就業している人が少ない
12 子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない
13 現職にあたっての異動・配置の本人希望が通りにくい
14 その他()

結婚についての考え方・イメージ

問16 婚姻について、お考えください。(1つに○印)

1 結婚していない	3 結婚している
2 婚約中である	4 結婚していたが、離別・死別した

※すべての方にお尋ねします。結婚していない方も、イメージをお答えください。

問17 あなたは、結婚に、喜びや希望を感じますか。(1つに○印)

1 非常に感じる
2 どちらかといえば感じる
3 どちらかといえば感じない
4 まったく感じない

問18 あなたは、結婚の利点をどのようにお考えですか。(2つまでに○印)

1 経済的に余裕がもてる	7 生活上の便利になる
2 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	8 親から独立できる
3 精神的な安らぎの場が得られる	9 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる
4 愛情を感じている人と暮らせる	10 その他 ()
5 自分の子どもや家族をもてる	11 結婚の利点はないと思う
6 性的な充足が得られる	

問19 あなたが、結婚を負担に感じるのは、どのようなことですか。(2つまでに○印)

1 家事が増えること	6 仕事と家庭を両立すること
2 育児をすること	7 行動の自由が制約されること
3 結婚相手の父母などの介護	8 その他 ()
4 生計を立てること	9 物に負担は感じない
5 生活の水準が下がってしまうこと	

並問1.6で「1. 結婚していない」とお答えの方にお尋ねします。

問20 あなたは、結婚について、どのようにお考えですか。(1つに○印)

1 いずれ結婚するつもり (ある程度年齢までは結婚するつもり)
2 いずれ結婚するつもり (理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない)
3 一生結婚するつもりはない

問21 あなたは、どのような理由で結婚していませんか。(3つまでに○印)

1 まだ若すぎる	7 経済的な余裕がない
2 仕事や勉強に専念したい	8 住居のめどが立たない
3 趣味や暇を楽しみたい	9 親や周囲が結婚に同意しない
4 自由や気楽さを失いたくない	10 婚約中、結婚を考えているところである
5 適当な相手にめぐり合わない	11 必要性を感じない
6 異性とうまく付き合えない	12 その他 ()

※すべての方にお尋ねします。

問22 住まい、結婚、子育てについて、一人ひとりの思いが叶う社会づくりについて、ご意見やご要望などをご記入ください。

ご協力ありがとうございました

(4)企業・事業所アンケート

地方創生に関する企業・事業所アンケート

【ご協力をお願い】

日頃、町政にご理解とご協力をたまわり、お礼申し上げます。

我が国における急速な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生法が策定され、本町においても「武蔵町人口ビジョン」及び「武蔵町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を本年、策定する予定です。

つきましては、町内に立地する企業・事業所のみならず、雇用や人材、今後の事業展開、女性従業員の活躍支援などについての現状・課題・行政への要望などを把握するアンケート調査を行うことといたしました。

なお、この調査の集計・分析は、町の個人情報保護条例に基づき、武蔵町から三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託して実施するものであり、本町の地方創生を検討する資料として利用させていただきます。また、ご回答いただいた意向等に照して、武蔵町からお問合せやご相談等させていただくことがあります。

調査結果は統計的処理等を行い、ホームページ等に掲載する予定ですが、回答者を特定して公表したり、回答いただいた内容が他の目的に使用されたりすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成27年6月

武蔵町長 相山芳輝

ご記入にあたってのお願い

1. 貴事業所の“経営担当者等”で、回答できる範囲でご記入ください。本社等まで転送していただくことなく結構です。
2. “武蔵町内”の事業所（本社・工場・事業所・店舗等）を対象にお考えください。町外の事業所は対象としません。
3. 回答は、あくはまる回答の番号を○で囲んでください。
4. 若閉気や町への期待に関する設問については、ご回答者の所感で結構です。
5. 同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、6月30日（火）までにご返送ください。

【問合せ先】

武蔵町役場 企画政策課 担当（柳原）
電話 0569-72-1111
FAX 0569-72-1115

貴事業所について

問1 貴事業所についてお聞かせください。(企業・事業所名等記入、事業所のタイプ等は2つまで○印、主な業種は1つに○印)

企業・事業所名						
担当部署 ご担当者名						
事業所のタイプ (2つまで○)	1 本社・本部	4 店舗・飲食店				
	2 工場	5 医療機関・福祉施設				
	3 営業所・支店	6 その他()				
主な業種	1 建設業	4 卸売業・小売業・飲食店				
	2 製造業	5 サービス業				
	3 運輸業・郵便業	6 医療機関・福祉施設				
	7 その他()					
本社所在地	1 武蔵町内	2 愛知県内(武蔵町外)	3 愛知県外			
	1 1~9人	4 50~99人				
	2 10~19人	5 100~299人				
全体の 従業員数	3 20~49人	6 300人以上				
	1 1~9人	4 50~99人				
	2 10~19人	5 100~299人				
貴事業所の 従業員数	3 20~49人	6 300人以上				

※従業員は、正職員・嘱託職員・パートタイマー・アルバイトなどを含みます。

雇用・人材について

問2 貴事業所の社員数の変化について(該当する番号に○をつけ、増減のある場合、数字を記入)

この5年間の「従業員数」の変化	1 増加した	⇒	□	人
	2 変わらない			
	3 減少した	⇒	□	人
この5年間の「正社員数」の変化	1 増加した	⇒	□	人
	2 変わらない			
	3 減少した	⇒	□	人

問3 貴事業所において、人材確保の状況はどのようになっていますか。(1つに○印)

1 十分確保できている
2 おおむね確保できている
3 十分な確保できていない

問4 貴事業所において、従業員の増加の予定や意向はありますか。(1つに○印)

1 増加する予定・増加させたい	⇒問4-1~4-2へ
2 業績が良くなれば増加させたい	⇒問4-1~4-2へ
3 特に増やす意向はない	⇒問5へ

問4-1 どのような勤務形態の人材を増やす意向がありますか。(あてはまるものすべてに○印)

1 正社員
2 パートタイマー・嘱託職員
3 派遣労働者
4 その他()

問4-2 どのような種類の人材を増やす意向がありますか。(あてはまるものすべてに○印)

1 事務職	5 販売・サービス職
2 専門・技術職	6 医療・福祉職
3 生産・輸送・建設・労務職	7 その他()
4 営業職	

※すべての方にお尋ねします。

問5 貴事業所における従業員の人事確保について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

--

今後の事業展開について

問6 興事業所において、事業所の拡張等の予定や意向はありますか。(1つに○印)

- 1 拡張する予定・拡張させたい } ⇒問6-1～6-2へ
 2 業績が良くなれば拡張させたい
 3 特に拡張する予定はない
 4 武豊町外へ移転する予定 } ⇒問7へ
 5 集約等により閉鎖する予定
 6 その他()

問6-1 新たな拡張は、どのような用途に利用する計画ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 事務所 5 駐車場
 2 工場 6 店舗(医療施設等含む)
 3 倉庫・配送センター 7 社宅・宿舍・保養所等福利厚生施設
 4 研究所・研修所 8 その他()

問6-2 武豊町での拡張用地の確保の観測はどのように考えますか。(1つに○印)

- 1 十分確保できる 3 あまり確保はできない
 2 おおむね確保できる 4 希望の場所には確保できない

※すべての方におかれします。

問7 興事業所において、これからのビジネス展開を行うために、「武豊町において」どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 公共交通の利便性の向上
 2 道路交通網の充実
 3 事業用スペース(用地・賃貸ビル等)の確保
 4 人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実
 5 経営相談や資金調達の相談の充実
 6 商談・会議・イベントなどを行う施設やスペースの充実
 7 接待、献労(飲み会)等ができる飲食店等の充実
 8 より多くの人が武豊町に訪れるためのまちの魅力の向上(特産品、名所旧跡のアピール等)
 9 業界関係者・異業種交流などネットワークや取引先拡大の機会
 10 その他()

問8 現在、知多武豊駅東地区において区画整理事業を進めています。(図1参照)今後、これからのビジネス展開を行うために、特に知多武豊駅東地区では何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 訪問者を受け入れる「駅東地区の賑わい」
 2 商談・会議・イベント等を行う施設やスペースの充実
 3 接待、献労(飲み会)等ができる飲食店等の充実
 4 事業用スペース(用地・賃貸ビル等)の確保
 5 より多くの人が武豊町に訪れるためのまちの魅力の向上(特産品、名所旧跡のアピール等)
 6 宿泊施設の充実
 7 その他()

問9 武豊町における事業用地の確保やビジネス環境の向上に対して、ご意見がありましたらご自由に書きください。

図1：知多武豊駅東地区区画整理事業 設計図



地域活性化に関わる事業展開について

問10 試問では、将来のまちづくりに向けて、地域活性化施策の展開を進めたいと考えています。貴事業所では、下記に示すような、地域活性化施策について関心がありますか。
(あてはまるものをすべてに○印)

1	みそ・たまりなど、特産品を活かした商品を開発・販売し、地域を盛り込む
2	地域の農産品を提供する飲食サービスなど、「地産地消」による地域循環を進める
3	町の中心部で、商品販売する店舗等を設け、賑わいづくりに貢献する
4	自社独自の魅力を発信することで、来訪者を促す、観光地づくりに貢献する
5	3R（リデュース・リユース・リサイクル）などに取組むことで、地域環境向上に貢献する
6	自社独自の技術を活かした製品や商品開発を通してニッチ分野でのトップを目指す、地域の雇用を確保する
7	その他（
8	特になし

⇒ 問11へ

問 10-1 上記の地域活性化について、どのように取り組む予定ですか。（あてはまるものをすべてに○印）

1	自社単独で取り組みたい
2	町政連や地元事業者・各種団体（まちづくり会社等）と連携して取り組みたい
3	条件次第（その条件は？
4	特に決めていない、検討中

※まちづくり会社とは、地域振興などを目的として設立される公共性が強い会社

問 10-2 貴事業所において事業計画が考えられる具体的な方法・アイデアを教えてください。

--

問 10-3 町の中心部や町全体を活性化させるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。行政、地産物、事業者等が行うべき取り組みがあれば、ご自由にお書きください。

--

仕事と家庭の両立支援・女性の活躍について

問11 女性の従業員数は何人ですか。（数字を記入）

① 貴事業所の女性従業員数	人
② 上記のうち女性正社員数	人

問12 「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて、どのようにお考えですか。（1つに○印） *回答者の所属で区別です。

1 非常に共感する	2 ある程度共感する	3 あまり共感しない	4 まったく共感しない
-----------	------------	------------	-------------

問13 「女性の活躍が、今後の経営戦略の鍵を握る」という考え方について、どのようにお考えですか（1つに○印） *回答者の所属で区別です。

1 非常に共感する	2 ある程度共感する	3 あまり共感しない	4 まったく共感しない
-----------	------------	------------	-------------

問14 仕事と家庭の両立支援や女性の活躍を推進するために、貴事業所では、どのようなことを一層推進する必要があるとお考えですか。（あてはまるものをすべてに○印）

1	女性の積極的な採用
2	女性の重要な業務への配置や人材育成
3	仕事と家庭の両立を図る制度の充実や、勤務時間等の配慮
4	時間外労働の削減
5	勤務時間や勤務地を固定するなど多様な正社員制度の導入
6	女性の管理職への積極的な登用
7	パート・アルバイトからの正社員登用の推進
8	その他（
9	特になし

問15 今後、企業・事業所が「従業員の仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍」を進めていく中で、
試行中にどのようなことを期待しますか。（あてはまるものをすべてに○印）

1	制度や先導事例について企業に情報提供をする
2	両立支援や女性の活躍を推進するアドバイザーなどを企業に派遣する
3	女性の意欲向上や能力開発を図るセミナーを開催する
4	両立支援に取り組む企業のPRをする
5	公共事業の入れ替り等での優遇策を導入する
6	低年齢保育（0～2歳）を充実する
7	祝日の保育を実施する
8	夏休みの小学生の預かりを充実する
9	病児・病後児保育を充実する
10	仕事と介護の両立を支援する職員を育成する（ケアマネジャー、地域包括支援センター）
11	その他（
12	特にない

ご協力ありがとうございました

「武豊町人口ビジョン」及び「武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」
策定支援業務 調査・分析報告書

平成 27 年 11 月
武豊町 企画部 企画政策課

〒470-2392 武豊町字長尾山 2 番地
TEL 0569-72-1111 FAX 0569-72-1115
E-mail kikaku@town.taketoyo.lg.jp
URL <http://www.town.taketoyo.lg.jp/>